

I S S N 0285-9424
F E R C 第41卷5号

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成20年度年報

(2008)

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成二十年年度年報

第四十一卷五号

福井県環境放射能測定技術会議

平成21年9月

福井県環境放射能測定技術会議

はじめに

福井県環境放射能測定技術会議は、平成20年度（2008年度）の調査結果を四半期毎にとりまとめ、平成20年度第1報～第4報として、第164回～第167回福井県原子力環境安全管理協議会に報告し公表してきました。この報告書はこれらを総合してとりまとめ、年報としたものです。

この報告書には、「平成20年度調査計画（FERC第40巻6号）」に基づく定期的な調査結果のほか、各種環境試料中の放射化学分析結果や年間降下量など四半期報告書で報告していないものもすべて収載しました。

また、調査結果の詳細な技術的検討を「4.付」に、発電所の運転状況や放射性廃棄物の放出管理の状況などを「5.参考資料」にそれぞれ示しました。ご参照下さい。

平成20年度中の環境モニタリングに係る出来事としては、原子力発電所に起因するコバルト-60が、平成17年度から4カ年継続して、年間のどの試料からも検出されなかったことがあります。このような状況を踏まえて、敦賀地区浦底湾において、放射能調査の見直しに資するため従来より詳細な海底土分布調査を行い、今後の調査計画を策定しました。

本会議は、今後とも一層の信頼が寄せられるような綿密な環境放射線（能）調査を行い、原子力発電所周辺環境の放射線安全の確保・確認に万全を期してまいりたい所存です。

なお、この報告書は、平成20年3月に新たに策定された「環境放射線モニタリング指針」に基づいてまとめたものです。

平成21年9月

福井県環境放射能測定技術会議

福井県環境放射能測定技術会議

構成機関

福井県安全環境部原子力安全対策課

福井県原子力環境監視センター

福井県水産試験場

日本原子力発電株式会社

関西電力株式会社

独立行政法人日本原子力研究開発機構

目 次

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要	1
2. 調査結果	4
2.1 調査結果の概要	4
2.1.1 周辺公衆の線量評価	5
2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	7
2.2 線量評価に関連した調査	9
2.2.1 空間線量	9
2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分	14
2.2.3 陸水	14
2.2.4 農産物、指標植物	14
2.2.5 海産食品、指標海産生物	15
2.2.6 海水	16
2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査	16
2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定	16
2.3.2 陸土	17
2.3.3 指標植物、松葉	18
2.3.4 降下物	19
2.3.5 海底土	20
2.3.6 指標海産生物	21
(参考) 今年度のセシウム-137分析結果	22

3. 添付資料

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点(概要)	23
3.1.2 調査方法(概要)	23
3.1.3 調査の分担実績	25
3.1.4 測定値の取り扱いについて	26

3.2 調査地点図表

第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図	31
第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)	32
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)周辺の試料採取地点	34
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点	35
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点	36
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点	37
第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点	38
第8図 対照地区(嶺北地方)の試料採取地点	39
第1表 調査地点の詳細	40

3.3 測定法

第2表 空間線量測定法	44
第3表 浮遊じん放射能の連続測定法	45
第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法	46
第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値	47
第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法	47
第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法	47
第7表 測定器	48

3.4 測定結果

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム	49
第9表 " その2 施設者のテレメータシステム	55
第10表 積算線量測定結果	76
第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果	83
第12表 大気中のヨウ素-131分析結果	89
第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん	91
第14表 " その2 陸水	96
第15表 " その3 陸土	98
第16表 " その4 指標植物	99
第17表 " その5 松葉(2年葉)	101
第18表 " その6 農産物	102
第19表 " その7 降下物	103
第20表 " その8 海水	107
第21表 " その9 海底土	109
第22表 " その10 海産食品	112
第23表 " その11 指標海産生物	114
第24表 " その12 海底土分布調査	117

第25表	トリチウム分析結果	その1	陸	水	・・・・・・・・・・・・・・・・	118
第26表	〃	その2	大気中	水分	・・・・・・・・・・・・・・・・	120
第27表	〃	その3	雨	水	・・・・・・・・・・・・・・・・	126
第28表	〃	その4	海	水	・・・・・・・・・・・・・・・・	128
第29表	放射化学分析等による ⁹⁰ Sr, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果					131
第30表	年間降下物の ⁹⁰ Sr, ²² Na, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs, ²³⁹ Pu分析結果 (参考: 定期外調査)					135
第31表	各地の積雪量(2008年11月~2009年3月) [参考データ]					136

4. 付

4.1	空間放射線の構成成分	・・・・・・・・・・・・・・・・	139		
4.2	県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果	・・・・・・・・	141		
	各地の気象	その1	降雨(降雪)、風速、気温	・・・・・・・・	143
	各地の気象	その2	3ヶ月毎の風向出現率	・・・・・・・・	151
	空間線量率と降雨量の測定結果(2008年4月~2009年3月)				155
	各地の風配図				164
4.3	大気中水分、雨水(降下物)のトリチウム分析結果について	・・・・・・・・	168		
4.4	環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果	・・・・・・・・	170		
4.5	新・旧リーダ間の測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の検定について	・・・・・・	174		

5. 参 考 資 料

5.1	平成20年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過	・・・・・・・・	177
5.2	(1)各発電所の設備の概要、建設経過	・・・・・・・・	181
	(2)主要設備の改造および新設工事	・・・・・・・・	183
5.3	(1)原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)廃止措置作業状況	・・・・・・・・	185
	(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況	・・・・・・・・	186
5.4	各発電所の運転実績	・・・・・・・・	187
5.5	各発電所の発電停止状況	・・・・・・・・	189
5.6	各発電所の放射性廃棄物放出実績(気体廃棄物)	・・・・・・・・	191
5.7	各発電所の放射性廃棄物放出実績(液体廃棄物)	・・・・・・・・	196
5.8	各発電所の液体廃棄物中の核種存在比	・・・・・・・・	199
5.9	各発電所の年度別放射性廃棄物放出量	・・・・・・・・	203
5.10	緊急時モニタリングルートでの線量率調査	・・・・・・・・	207

平成20年度に刊行した福井県環境放射能測定技術会議報告書の訂正	・・・・・・・・	218
---------------------------------	----------	-----

1. 環境放射線モニタリングの目的と調査概要

我が国における原子力発電所周辺の環境モニタリングを規定している「環境放射線モニタリング指針（平成20年3月、原子力安全委員会）」は、環境放射線モニタリングの基本目的を「原子力施設の周辺住民等の健康と安全を守るため、環境における原子力施設に起因する放射性物質又は放射線による周辺住民等の線量が、1年間の線量限度を十分に下回っていることを確認し、その結果を周辺住民等に提供することである」としている。さらに、「異常事態又は緊急事態が発生した場合に、速やかに対応できるモニタリング体制を整備することにある」とし、具体的には次の四項目に要約している。

- (a) 周辺住民等の線量の推定及び評価
- (b) 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- (c) 原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- (d) 異常事態又は緊急事態が発生した場合における環境放射線モニタリングの実施体制の整備

各種試料等の測定の間々の目的は下記の通りである。

- ①空間線量：線量率—連続測定による環境放射線の短期的変動の把握および体外からの放射線による外部被ばく線量の推定
：積算線量—体外からの放射線による外部被ばく積算線量の推定（3ヶ月毎）
：モニタリング—緊急時モニタリングルートの線量率確認
- ②大気・浮遊じん、大気中水分：空気の吸入による内部被ばくの把握
- ③陸水、農産物、海産食品：飲食物の摂取による内部被ばくの把握
- ④指標植物、指標海産生物：放射能水準の把握および農産物、海産食品の調査の補完
- ⑤陸土、海底土：環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- ⑥海水：放射能水準の把握（および海産食品への濃縮を通じての潜在的な内部被ばくの推定）
- ⑦降下物：放射性物質の降下量の把握、検出された核種の起源の推定

このうち①の空間線量については、平常の変動幅との比較等から必要に応じて更に詳細な調査を行って発電所寄与の有無を判断することとしている。また内部被ばくに係わる③の飲食物等については、地区別年間平均核種濃度を算出し、それをもとにまず過去の核実験等の寄与分も含めた線量を推定して放射線安全を確認し、次いで起源の判断を加え県内の原子力発電所寄与分を推定している。④の指標生物は内部被ばくに関する線量推定の際の補完的試料として評価しているほか、上記(c)の目的にも役立っている。

各地区毎では、大別して以下のような調査を行った。

- (イ) テレメータシステム等による線量調査
- (ロ) ゲルマニウム(Ge)半導体検出器による核種分析調査
- (ハ) 陸水等のトリチウム調査
- (ニ) 放射化学分析によるストロンチウム-90、プルトニウム-239(注1)等の調査

今年度の調査地点・測定の総数を第1表(p.2~p.3)に示す。

なお、この報告書では、空間放射線モニタリングにおける自然放射線のレベル、および環境試料中の放射能モニタリングにおける過去の核実験影響等の外因によるレベルをバックグラウンドレベルと表記した。

(注1) アルファ線スペクトロメトリによるプルトニウム分析では、プルトニウム-239 およびプルトニウム-240のアルファ線を分離できないため、正確にはプルトニウム-239(+240)と表記すべきであるが、本報告書では簡略にプルトニウム-239と表示する。

(ア) 福井県環境放射能測定技術会議構成機関である独立行政法人日本原子力研究開発機構の新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター（通称；ふげん）に改組した。

(イ) 本報告書で用いる調査機関の略称名称は、以下のとおりとする。

- ① 福井県原子力環境監視センター：県または福井県（記号；A）
- ② 日本原子力発電株式会社：原電（記号；B）
- ③ 関西電力株式会社：関電（記号；C）
- ④ 独立行政法人日本原子力研究開発機構：原子力機構または機構（記号；D）

第1表 調査地点・測定 の総数

県: 福井県原子力環境監視センター 原電: 日本原子力発電株式会社
 機構: 独立行政法人日本原子力研究開発機構 関電: 関西電力株式会社

(イ) 連続測定調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)		
線量率(テレメータシステム)		20	7	14	16	14		71	連続
積算線量(3ヶ月積算値)	地点数	26	14	22	26	25	10	123	4
	測定数	104	56	85	104	100	40	489	
浮遊じん(テレメータシステム)		2	2	2	2	3		11	連続

(ロ) 核種分析調査

・定期調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)	
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)			
大気中ヨウ素-131	地点数	1	1	1	1	1		5	12	
	測定数	12	12	12	12	12		60		
浮遊じん	地点数	5	3	3	3	5	1	20	4~12	
	測定数	52	28	28	28	44	12	192		
陸水	水道水	地点数	2	1	2	1	2	1	9	2~4
		測定数	8	8	6	6	8	4	40	
	河川水	地点数			1				1	
		測定数			2				2	
陸土	地点数	2	1	1	2	2	2	10	2~4	
	測定数	8	4	4	4	4	3	27		
指標植物(ヨモギ)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	7	
	測定数	7	7	7	7	7	7	42		
松葉(2年葉)	地点数	2	1	1	1	1	1	7	1~2	
	測定数	4	2	2	2	2	1	13		
農産物(大根葉)	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1	
	測定数	1	1	1	1	1	1	6		
降下物(雨水・ちり)	地点数	2	2	2	2	2	1	11	12	
	測定数	24	24	24	24	24	12	132		
海水	地点数	3	2	2	1	2	1	11	2~6	
	測定数	10	6	12	6	12	2	48		
海底土	地点数	8	5	8	4	7		32	1~8	
	測定数	32	14	24	11	21		102		
海産食品	魚類(近海魚)	10	6	9	6	6	3	40	1~2	
	貝類(サザエ、アワビ)	4	4	5	4	4	1	22	1~2	
	藻類(ワカメ、モズク)	4	4	5	4	4	2	23	2~4	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数	7	1	2	2	4	1	17	1~8	
	測定数	32	8	16	8	20	4	88		
測定数合計		208	128	157	123	169	52	837		

・海底土分布調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)		
海底土	地点数	25	5					30	1
	測定数	35	5					40	

(ハ) トリチウム分析調査

調査項目		調査地区						合計	頻度(回/年)
		敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)		
陸水(水道水)	地点数	2	1	2	1	2	1	9	2~8
	測定数	8	8	6	6	8	4	40	
大気中水分(除湿水)	地点数	5	2	2	2	2	1	14	12
	測定数	60	24	24	24	24	12	168	
雨水(降下物)	地点数	2	1	2	2	2	1	10	4
	測定数	8	8	8	8	8	4	44	
海水(表層水)	地点数	3	2	4	2	4	1	16	2~10
	測定数	14	8	16	8	30	2	78	
測定数合計		90	48	54	46	70	22	330	

(二) 放射化学分析による⁹⁰Sr、²³⁹Pu調査

・⁹⁰Sr

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1
	測定数		1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			2	2	2	2	2	2	12	

・²³⁹Pu

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
陸土	地点数			1				1	2	1~4
	測定数			4				1	5	
指標植物(ヨモギ)	地点数		1	1	1	1	1	1	6	1~7
	測定数		1	7	1	1	1	1	12	
農産物(大根葉)	地点数			1					1	1
	測定数			1					1	
海底土	地点数		2	6	1	1	1		11	1~5
	測定数		2	15	1	1	1		20	
海産食品	魚類(近海魚)			6					6	1~2
	貝類(サザエ、アワビ)			4					4	1~2
	藻類(ワカメ)		1	4	1	1	1	1	9	1
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		1	1	2	1	1	1	7	1~2
	測定数		1	4	2	1	1	1	10	
測定数合計			5	45	5	4	4	4	67	

(ホ) ¹³⁷Cs(アンチコインシデンス測定)

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
海底土	地点数		1	1	3	1	2		8	1
	測定数		1	1	3	1	2		8	
海産食品	藻類(ワカメ)		1	1	1	1	1	1	6	1
	貝類(サザエ)		1	1	1	1	1	1	6	1
指標海産生物(ホンダワラ)	地点数		2	1	1	1	1		6	1
	測定数		2	1	1	1	1		6	
測定数合計			5	4	6	4	5	2	26	

(ヘ) 定期外調査

・年間降下物

調査項目		調査地区	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	福井(対照)	合計	頻度(回/年)
γ線スペクトロメトリ	²² Na	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
	⁶⁰ Co	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
	¹³⁷ Cs	地点数	2	2	2	2	2	1	11	1
		測定数	2	2	2	2	2	1	11	
放射化学分析	⁹⁰ Sr	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
	²³⁹ Pu	地点数	1	1	1	1	1	1	6	1
		測定数	1	1	1	1	1	1	6	
測定数合計			8	8	8	8	5	45		

※各地点における月間降下物測定試料(パウデックス樹脂)の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物コンポジット試料として測定

2. 調査結果

2.1 調査結果の概要

本年度の調査結果を要約すれば次のとおりである。

(1) 周辺公衆の線量

県内の原子力発電所の運転に起因する放射線による周辺公衆の線量に関しては、線量限度（年間 1 ミシーベルト）はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値（年間 0.05 ミシーベルト）をはるかに下まわっていた。

① 外部被ばくに関して

- ・ 県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定では、県内の発電所からの放射性物質の放出に起因する有意な線量率上昇は認められなかった。
- ・ 年間積算線量では、各地区のいずれの地点でも自然線量と比較して有意な線量上昇は認められなかった。

② 内部被ばくに関して

- ・ 内部被ばくを評価するために核種分析を行っている試料（大気・浮遊じん、飲料水、農産物および海産食品）およびその補完となる試料（指標植物、指標海産生物）からは原子力発電所に起因する核種は検出されなかった。
- ・ 放射性ヨウ素はあらゆる試料から全く検出されなかった。
- ・ 大気中水分から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

(2) 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

- ・ この目的で調査している試料（陸土、指標植物、降下物、海水、海底土、指標海産生物）については、原子力発電所に起因する核種は、全く検出されなかった。これらの試料の過去の核実験に由来する核種の濃度は従来と同程度かそれ以下であった。
- ・ 雨水、海水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

したがって、今年度の県内各原子力発電所の運転による影響は、全く無視し得るとみなすことができる。

注 2 に参考として、発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に相当する放射能濃度を示す。

(注 2) 成人の預託実効線量が 0.05 ミシーベルトとなる食品中の核種濃度（単位：Bq/kg 生）

	魚 類	無脊椎動物	藻 類	葉 菜
⁵⁸ Co	930	9,300	4,600	3,700
⁶⁰ Co	200	2,000	1,000	810
¹³⁷ Cs	53	530	260	210
³ H	16,000	160,000	82,000	33,000
⁹⁰ Sr	25	250	120	98
²³⁹ Pu	2.7	27	14	11
摂取量 (g/日)	200 g	20 g	40 g	100 g

1 日当たり最下段の量を 1 年間食べ続けるとした場合の濃度。葉菜の除染係数を 0.5 とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。
トリチウム（³H）は有機物とした場合の値。

2.1.1 周辺公衆の線量評価

調査結果の概要で既に明らかなように、特に線量を評価する必要はないが、公衆の線量限度等の規定が年間で定められているのでそれと対比できるように、また、過去の核実験の影響として検出されているセシウム-137等の濃度に目安をつけるために、外部被ばくと内部被ばくに区分して線量の評価を行った。

評価の結果、今年度の県内発電所の運転による発電所周辺公衆の線量については、外部被ばくと内部被ばくを合計しても、いずれの地区とも年線量限度はもとより発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値をはるかに下まわっていた。

(1) 外部被ばく

第1-1表に、今年度の空間線量測定結果から評価された発電所寄与による外部被ばくの推定線量をまとめた。県および施設者のテレメータシステムによる線量率連続測定ならびに積算線量測定結果では、発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。また、各発電所の放射性廃棄物の放出量から計算した外部被ばく線量は0.001ミリシーベルト以下であった。したがって、発電所に起因する線量影響は無視できる程度であった。

第1-1表 検出値の実効線量換算値（外部被ばく） (ミリシーベルト/年)

	放射線監視テレメータシステムによる調査結果	積算線量の調査結果 *1	(参考) 放出量から計算した外部被ばく
敦賀発電所 ふげん	—	—	0.001以下
もんじゅ	—	—	0.001以下
美浜発電所	—	—	0.001以下
大飯発電所	—	—	0.001以下
高浜発電所	—	—	0.001以下
参考：過去の核実験影響	—	—	/

(注) —は検出限界値未満。 /は調査対象外であることを示す（以下同様）。

*1：検出限界はほぼ0.05ミリシーベルト/年。

(2) 内部被ばく

内部被ばくに係る試料から、発電所に起因するコバルト-60は、全く検出されなかったが、トリチウムや過去の核実験の寄与と考えられるセシウム-137などが検出されていること等より、参考として、検出された値に目安をつけるため、例年と同様、各種試料中の年間平均濃度をもとに内部被ばくに関する預託実効線量の計算を行った。計算に当たったの具体的事項は注3に示した。

内部被ばくに関する預託実効線量の計算結果を第1-2表に、計算に用いた各試料毎の平均値を第2表から第4表に示す。評価の結果、発電所の運転に起因する内部被ばくは無視できる程度であった。

ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の目的核種(添付資料第4表(p.46)参照)のうち、検出された核種はいずれもセシウム-137のみであり、過去の核実験のフォールアウトとみなすことができるレベルである(第2表)。

(注3) 通常食用とはしない指標生物のホンダワラ等を食品と同等に摂取するものとして取扱い、地区別の年平均核種濃度の計算に加えた。年平均値の算定には検出値のあるものだけを用いたので、実際の食品レベルよりは高くなっており、安全側に見積られている。線量計算は原子力安全委員会の「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(以下、評価指針という)」に従い、上記の年平均核種濃度の食品等を、成人で1日当たり葉菜100g、魚200g、無脊椎動物20g、海藻40gずつ、呼吸率を22.2m³/日として1年間摂取し続けるとして計算を行った。飲料水の摂取量はICRP Publ.23により2.65ℓ/日とした。

第1-2表 検出値の預託実効線量換算値 (内部被ばく) (ミリシーベルト)

	内部被ばくの預託実効線量*1			
	呼吸 *2	飲料水	葉菜	海産物
敦賀発電所 ふげん	0.001以下	—	—	—
もんじゅ	0.001以下	—	—	—
美浜発電所	0.001以下	—	—	—
大飯発電所	0.001以下	—	—	—
高浜発電所	0.001以下	—	—	—
参考：過去の核実験影響	0.001以下	0.001以下*2	0.001以下*3	0.001以下*3

*1：1年間の摂取に基づく、摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量。
 計算の基礎として指標植物(ヨモギ)および指標海産生物(ホンダワラ等)を含む。
 *2：各発電所近傍で観測した大気中水分等のトリチウムによるもの。付4.3、付4.4参照
 *3：過去の核実験影響のセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムによるもの。

第2表 検出された目的核種の試料毎の平均値 (いずれもセシウム-137)

	試料	単位	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	浮遊じん	mBq/m ³	—	—	—	—	—	—
	陸水(飲料水)	mBq/ℓ	—	—	—	—	—	—
	指標植物	Bq/kg 生	—	0.1	0.2	—	—	—
	農産物	〃	0.0	—	—	—	—	—
海洋	海水	mBq/ℓ	1.8	1.5	1.5	1.9	1.6	1.4
	海産食品(魚類)	Bq/kg 生	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	海産食品(貝類)	〃	—	0.0	—	0.0	—	—
	海産食品(藻類)	〃	—	—	—	—	—	—
	指標海産生物	〃	—	—	0.1	0.0	0.1	—

(注) ①—は検出されなかったことを示す。(以下同様)。
 ②平均値は検出されたもののみから計算した。0.0は0.05未満であることを示す(以下同様)。

第3表 トリチウム測定結果(平均値) 単位：陸水 Bq/l、大気中水分 Bq/m³

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸水(飲料水)	1.0	1.0	1.4	1.0	1.1	0.7
大気中水分	0.034	0.021	0.034	0.052	0.14	0.0087

(注) 大気中水分のトリチウム濃度については、検出された水分あたりの平均濃度(Bq/l)を年間平均気温、年間平均相対湿度を基に大気中濃度(Bq/m³)に換算した。

(注4) 成人の預託実効線量0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度

飲料水	大気中水分
2,900 Bq/ℓ	340 Bq/m ³

第4表 Sr-90, Pu-239 の測定結果 (全地区平均値)

単位: Bq/kg 生

核種	指標植物	大根葉	魚類	貝類	藻類	指標海産生物
Sr-90	0.52	/	/	/	/	0.038
Pu-239	0.00034	-	-	0.031	0.0030	0.012

各地区の陸水(飲料水)のトリチウムは、いずれもバックグラウンドレベルであった(添付資料、測定値の取り扱い(5)(p.29)参照)。また、大気中水分のトリチウムは、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べ、はるかに低い濃度であった(以上第3表)。参考として、成人の預託実効線量が0.05ミリシーベルトになるトリチウム濃度を前ページの脚注4に示した。

ストロンチウム-90とプルトニウム-239は、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比(参考資料5.7~5.8(p.196~p.202)参照)から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでと同程度であった(第4表)。

2.1.2 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

(1) 浮遊じん放射能の連続測定

大気中の発電所由来の人工放射性核種を連続的に監視する目的で行っている浮遊じん連続測定の結果では、その指標となるベータ/アルファ放射能濃度比において、発電所の運転に起因する変動は観測されなかった(添付資料第11表(p.83~p.88)参照)。

(2) 核種分析

第5表に、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の結果検出された目的核種の試料毎の平均値を示す。陸上モニタリング関係では、セシウム-137が検出されたが、バックグラウンドレベルであった。海洋モニタリング関係では、セシウム-137がバックグラウンドレベルで検出されたのみで、2004年度まで敦賀地区浦底湾内の海底土から検出されていたコバルト-60は、2005年度から4ケ年継続して検出されなかった。

第5表 検出された目的核種の試料毎の平均値

	試料	核種	単位	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
陸上	陸土	Cs-137	Bq/kg 乾土	17	1.5	4.4	36	5.6	52
	指標植物	Cs-137	Bq/kg 生	-	0.1	0.2	-	-	-
	松葉	Cs-137	"	-	-	-	-	-	-
海洋	降下物	Cs-137	Bq/m ²	-	-	-	-	-	-
	海水	Cs-137	mBq/l	1.8	1.5	1.5	1.9	1.6	1.4
	海底土	Cs-137	Bq/kg 乾土	1.3	-	5.9	2.3	1.0	/
	指標海産生物	Cs-137	Bq/kg 生	-	-	0.1	0.0	0.1	-

(注) 対照地区の陸土では、奥越高原牧場の結果を含めて計算した。

(3) トリチウム

第6表にトリチウム測定結果のまとめを示す。雨水から発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

海水のトリチウムは過去の核実験の影響で、発電所寄与がなくても検出値がおおよそ2.0Bq/l程度となる可能性がある(注5)。今年度、このレベルを超えるトリチウムが検出されたのは、敦賀地区の3例(3.6～6.3Bq/l)、美浜地区の2例(2.3～2.6Bq/l)と高浜地区の8例(2.0～10Bq/l)を合わせた13例(添付資料第29表(p.128～p.130)参照)であったが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった(注6)。

第6表 トリチウム測定結果(平均値)

単位: Bq/l

試料	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照
雨水	1.8	1.0	2.3	2.8	4.3	0.7
海水	2.2	0.7	1.2	1.3	2.1	1.0

(4) 放射化学分析

放射化学分析の結果の概要を第7表に示す。ストロンチウム-90とプルトニウム-239が、各種環境試料から検出されているが、これらは例年の傾向や対照地区での調査結果、および放射性廃棄物放出実績とその核種存在比(参考資料5.7～5.8(p.196～p.202)参照)から過去の核実験のフォールアウトと見なすことができる。濃度はこれまでとほぼ同程度であった。

第7表 Sr-90, Pu-239の測定結果(全地区平均値)

核種	陸土 Bq/kg 乾土	指標植物 Bq/kg 生	降下物 Bq/m ² ・年	海底土 Bq/kg 乾土	指標海産生物 Bq/kg 生
Sr-90	/	0.52	0.20	/	0.038
Pu-239	0.98	0.00034	0.0061	0.37	0.012

(注) 陸土では、勝山市池ヶ原の結果を含めて計算した。

以下に、線量評価に関連した調査、変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査について、調査試料毎に詳細に述べる。

(注5) 「測定値の取り扱いについて(5)」(p.29)参照

(注6) トリチウムが海水から海産物へ移行し、それを成人が年間摂取した場合に預託実効線量が0.05mSvとなる海水中濃度は約13,000Bq/lである。ただし、濃縮係数を1とし、有機物トリチウムの実効線量係数 4.2×10^{-8} mSv/Bqを用いた。

2. 2 線量評価に関連した調査

2. 2. 1 空間線量

(1) 線量率連続測定

第1表と第1図に、今年度のテレメータシステムによる線量率の連続測定結果の概要を示す。線量率の短期的変動の評価として第1表に示したように、「平均値+標準偏差(σ)の3倍」(測定値の取り扱い(1)(p.26)参照)を超えたものについて原因の調査を行っている。今年度の「平均値+3σ」は、春から秋にかけてはほぼ平均値+8.4nGy/hであり、冬期はおよそ平均値+16nGy/hであった。今年度は冬期に雪が少なかったため「平均値+3σ」は、例年の値(20~30nGy/h)に比べて小さくなった。また、「平均値+3σ」を超える線量率が、各観測局で年間119~255時間観測されているが、そのほとんどは降雨、降雪等の自然現象によるものであり、県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量率上昇は観測されなかった。降雨・降雪以外のものとして、敦賀地区、美浜地区および大

第1表 テレメータシステムによる線量率連続測定結果の概要 線量率単位:nGy/h

地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3σを超えた 原因とその時間数*1			地区	観測局	年間 平均 線量率	年間 最高値	M+3σを超えた 原因とその時間数*1		
				降雨	降雨以外*2	発電所					降雨	降雨以外*2	発電所
敦賀	敦賀A	53.8	95.4	179	7	0	美浜	新庄C	61.3	102.6	204	0	0
	浦底A	66.6	119.7	209	0	0		郷市C	36.3	88.6	227	0	0
	立石A	62.8	99.5	190	0	0		早瀬C	35.2	75.7	216	0	0
	河野A	43.7	74.1	239	2	0		日向C	41.9	78.1	237	0	0
	ふげん北D	61.5	112.1	202	0	0		三方C	31.7	96.1	249	0	0
	立石B	89.8	112.9	115	4	0		小浜A	43.1	76.7	216	3	0
	立石山頂B	78.4	132.2	196	0	0		日角浜A	39.4	76.1	229	2	0
	ふげん西D	38.4	107.8	226	0	0		宮留A	33.4	67.1	221	6	0
	猪ヶ池B	80.5	148.4	212	0	0		阿納尻A	30.4	67.9	203	1	0
	浦底B	79.6	137.3	199	1	0		長井A	35.5	83.0	242	0	0
	水試裏B	80.0	150.2	199	0	0	宮留C	40.4	83.4	228	0	0	
	色ヶ浜B	81.3	134.3	221	1	0	日角浜C	38.0	82.9	235	1	0	
	沓D	58.5	108.6	206	0	0	本郷C	43.1	88.7	235	0	0	
	赤崎D	50.4	103.8	227	0	0	加斗C	47.0	103.5	233	0	0	
	五幡B	47.6	98.1	249	1	0	小浜C	47.4	112.5	216	0	0	
	阿曾D	49.3	96.3	237	0	0	西津C	36.8	82.6	219	0	0	
	杉津B	53.2	100.9	245	0	0	堅海C	39.7	97.2	223	0	0	
	甲楽城B	45.9	91.2	236	0	0	川上C	49.3	115.9	220	0	0	
	今庄B	39.7	77.9	188	0	0	鹿野C	42.9	101.4	238	0	0	
	越前厨D	40.2	89.5	238	0	0	名田庄C	44.2	97.4	194	0	0	
白木	白木A	72.4	122.6	211	0	0	上中C	36.9	95.2	237	0	0	
	白木峠A	71.9	123.5	213	0	0	小黒飯A	37.6	76.1	246	0	0	
	松ヶ崎D	62.0	115.7	205	0	0	音海A	40.1	88.0	246	0	0	
	白木ID	65.3	121.1	200	0	0	神野浦A	27.8	72.3	243	0	0	
	白木IID	38.6	107.9	222	0	0	山中A	26.9	67.3	233	0	0	
	白木IIID	55.0	109.4	204	0	0	音海C	44.5	88.1	243	0	0	
	白木IVD	45.6	99.4	213	0	0	田ノ浦C	39.2	83.9	243	0	0	
美浜	丹生A	54.3	101.5	229	0	0	小黒飯C	38.1	85.3	248	0	0	
	竹波A	62.4	119.4	216	0	0	神野浦C	29.3	82.3	237	0	0	
	坂尻A	55.7	115.0	212	0	0	日引C	36.1	80.1	234	0	0	
	奥浦C	61.6	117.8	210	0	0	青郷C	40.3	94.4	225	0	0	
	丹生C	52.6	96.9	215	0	0	高浜C	36.8	75.5	232	0	0	
	丹生寮C	52.0	105.3	214	0	0	和田C	37.2	90.2	236	0	0	
	竹波C	74.5	128.0	207	0	0	田井C	43.9	89.2	255	0	0	
	菅浜C	37.7	87.2	229	2	0	夕潮台C	31.0	81.8	205	0	0	
	佐田C	54.9	98.1	235	0	0							

(注) 表中に示した結果は1時間値を基に算出した。降雨には降雪も含まれる。

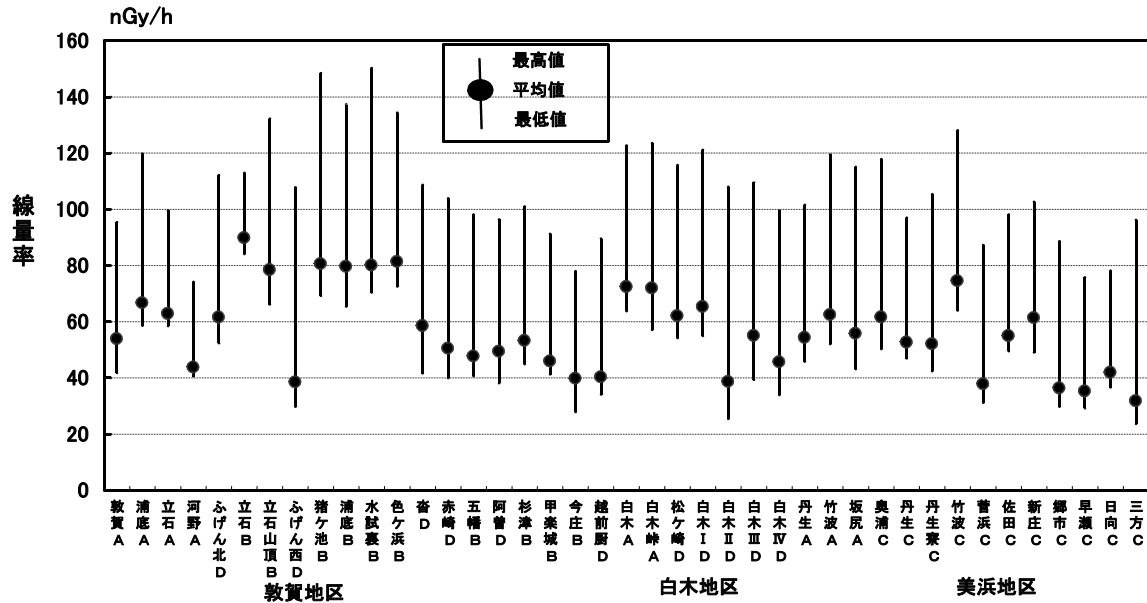
*1: 月毎に算出した数の和である。Mは月平均値、σは月間標準偏差である。

*2: 降雨以外の欄は、静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇など自然現象による。

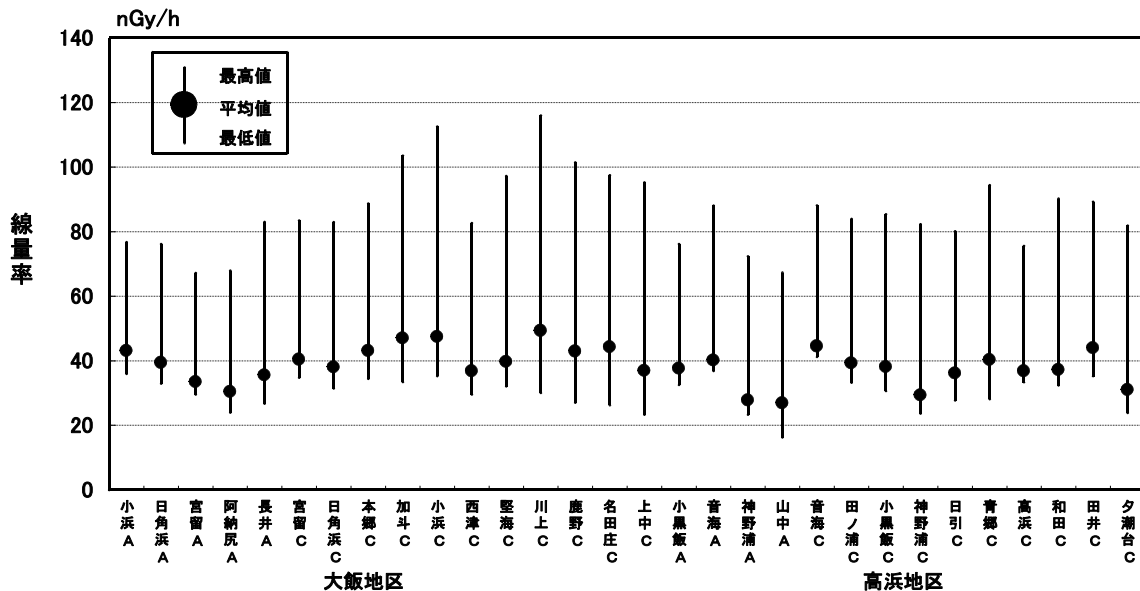
飯地区で、静穏時の大気中ラドン娘核種濃度の上昇など自然現象による影響が1～7時間認められた。

図1に、各測定地点の1時間値を基に算出した年間の平均値、最高値、最低値を示した。

第1図(1) 空間線量率連続測定結果 (敦賀、白木、美浜地区)



第1図(2) 空間線量率連続測定結果 (大飯、高浜地区)



(2) 積算線量

熱ルミネセンス線量計 (TLD)、電子線量計および蛍光ガラス線量計を用いた3ヶ月毎の積算線量については、すでに四半期毎に報告したとおり、県内の発電所に起因する有意な線量上昇は認められなかった。以下に年間積算線量について述べる。

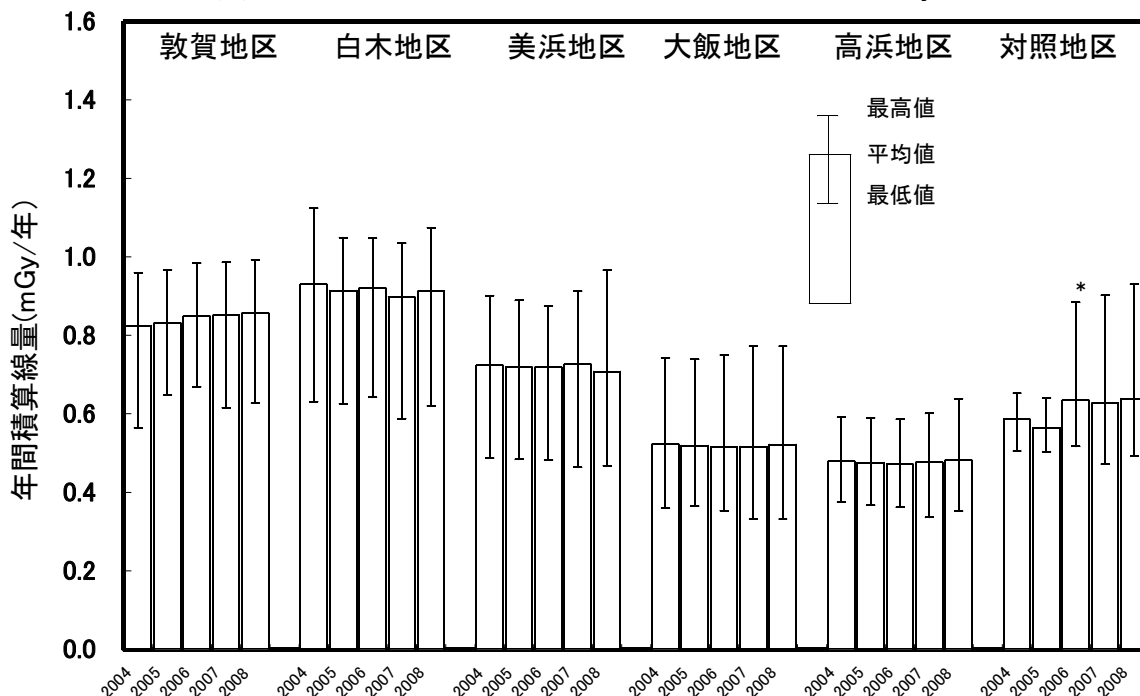
第2表に今年度の年間積算線量の各地区の平均値、最高値、最低値を、第2図に地区別の平均値、最高値、最低値の5年間の推移を、それぞれ示す。年間積算線量は3ヶ月値の和である。

第2表 今年度の各地区の年間積算線量

単位：mGy/年

	敦賀地区	白木地区	美浜地区	大飯地区	高浜地区	対照地区
平均値	0.85	0.92	0.72	0.52	0.48	0.64
最高値	1.09	1.03	0.88	0.78	0.60	0.88
最低値	0.65	0.63	0.48	0.35	0.37	0.52

第2図 年間積算線量の地区別平均値、最高値、最低値の推移(mGy/年)



*: 2006年度より、他の地点より比較的線量が高い越前市妙法寺町を新たに調査開始した。

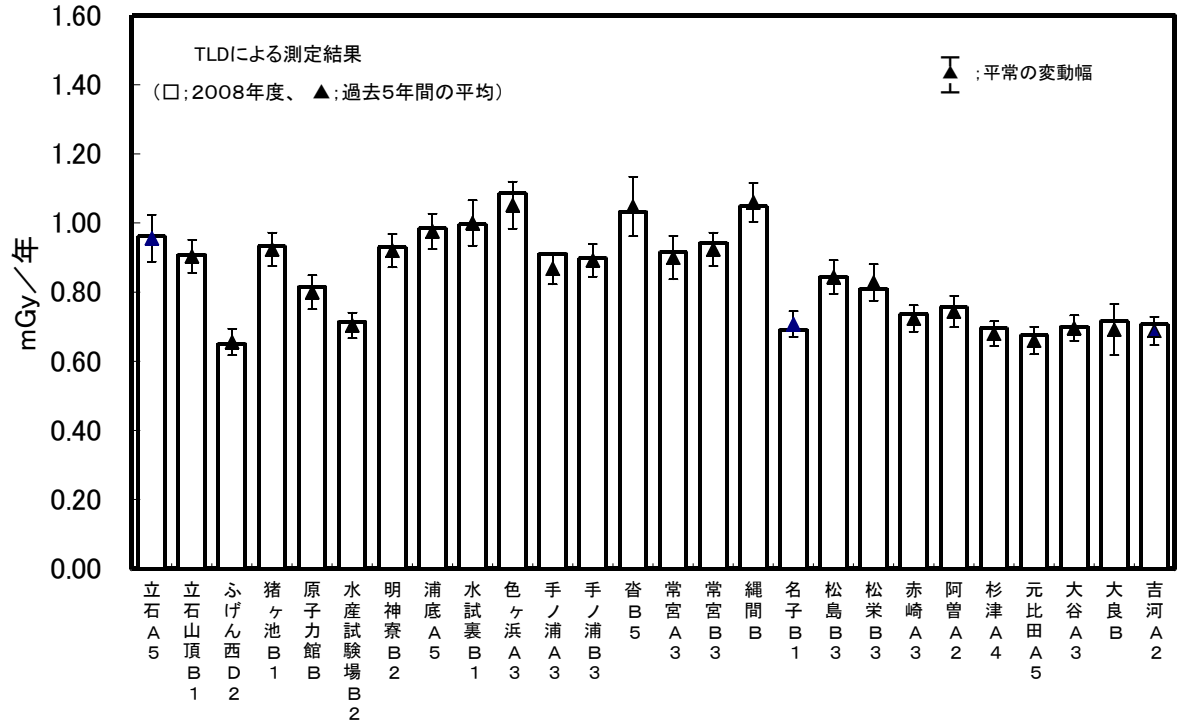
地区および地点により大きな差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島先端部の花崗岩地帯は、第9表の陸土の測定結果(p.17)に示すとおり、カリウム-40、トリウム系列核種、ウラン系列核種が高濃度であるため線量が高くなっている。

第3図(1~4)に地点毎の今年度の年間積算線量と過去(5ケ年)の平均値およびその平常の変動幅(注7)との比較を示す。今年度の測定値は、白木地区の1地点において測定値の統計上のばらつきにより平常の変動幅をわずかに上回った以外は、平常の変動幅を上回るものはなかった(注8)。

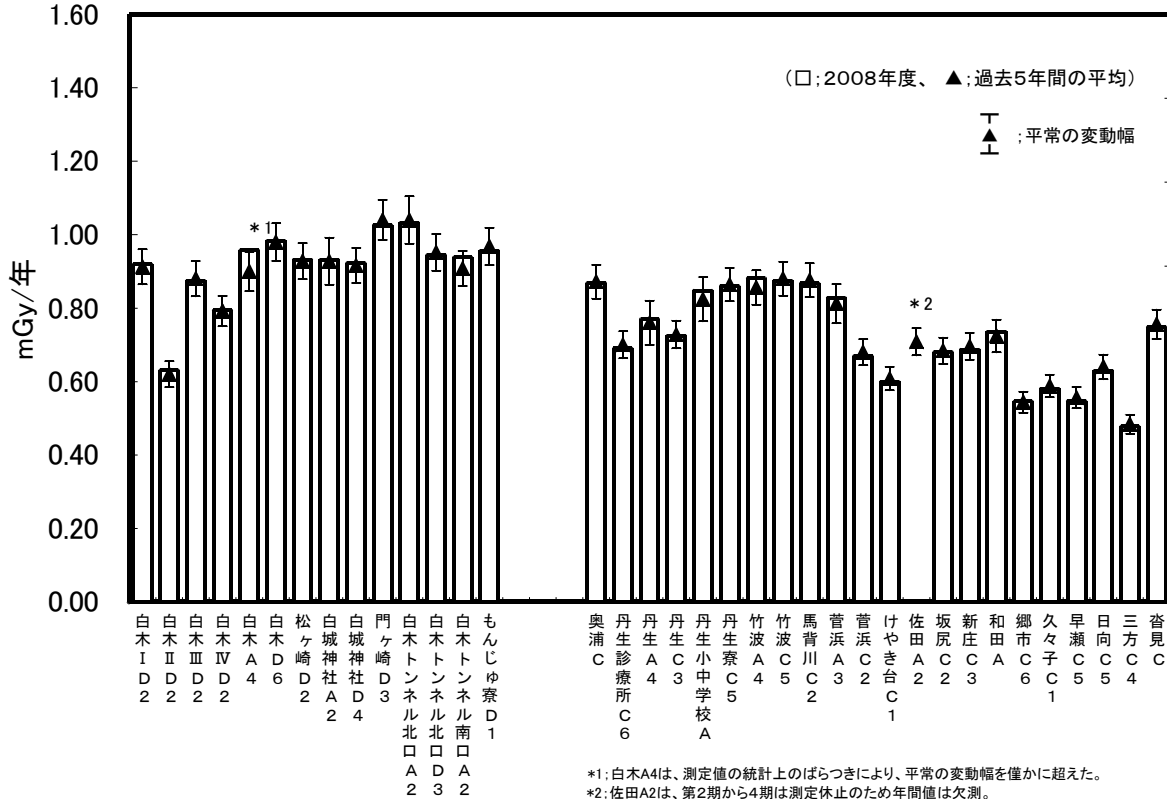
(注7) 積算線量の平常の変動幅については、基本的に〔標準偏差(σ)の3倍〕の考え方に従って、各地点の過去5ケ年の測定結果の変動から求めている。「測定値の取扱い(2)(p.26)」参照。

(注8) 第10表に関する注釈(19)(p.82)および付4.5(p.174)を参照。

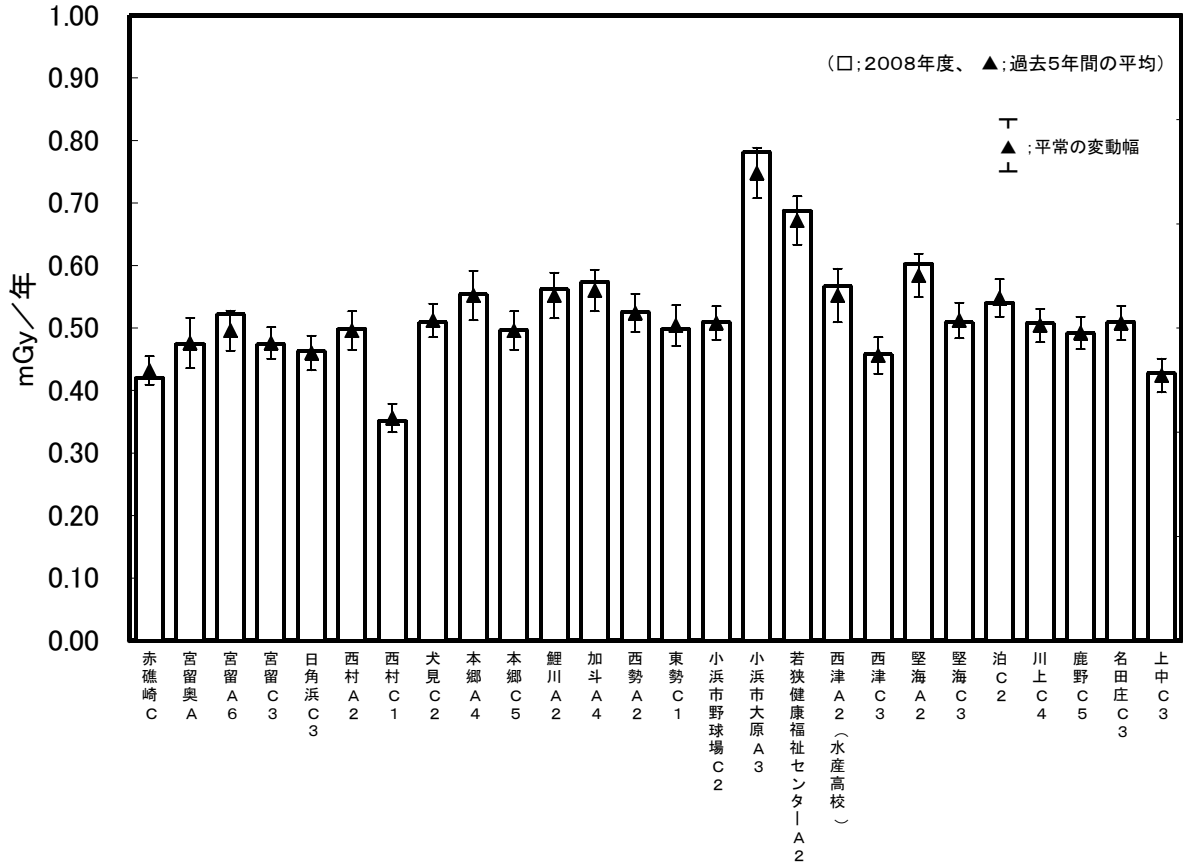
第3図(1) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (敦賀地区)



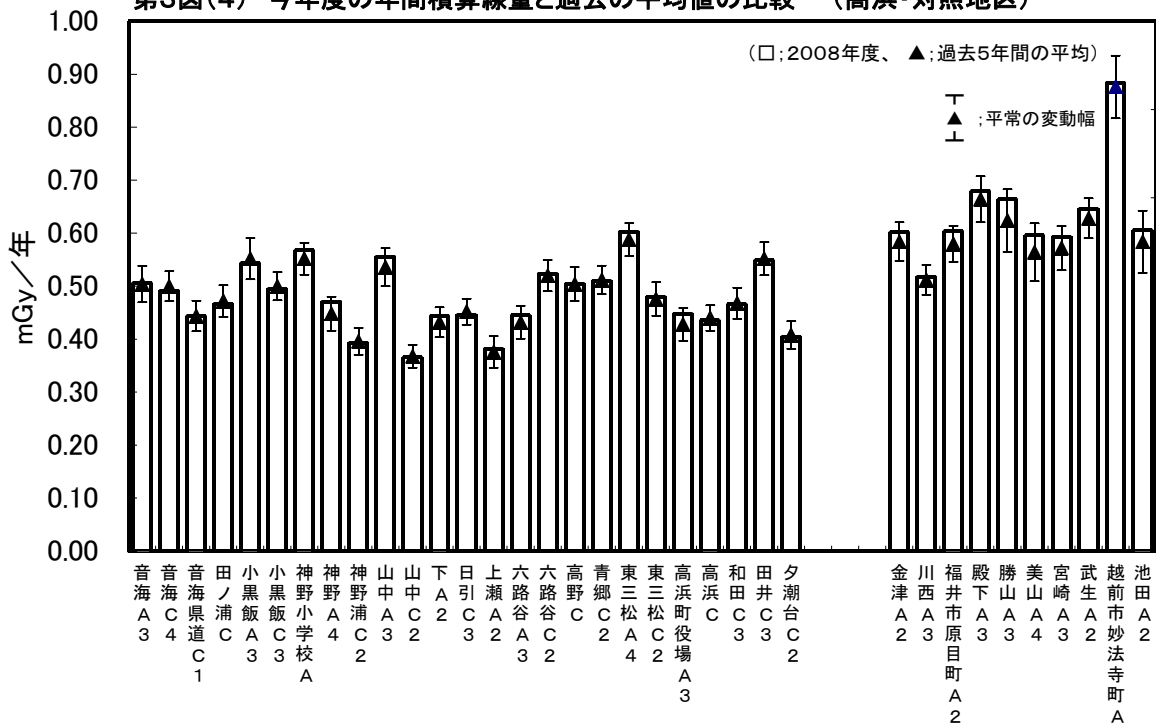
第3図(2) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (白木・美浜地区)



第3図(3) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (大飯地区)



第3図(4) 今年度の年間積算線量と過去の平均値の比較 (高浜・対照地区)



2.2.2 大気・浮遊じん、大気中水分

第3表に今年度の大気・浮遊じん、大気中水分の調査結果の概要を示す。大気・浮遊じんはゲルマニウム半導体検出器による核種分析を、大気中水分はトリチウム分析をそれぞれ行っている。大気・浮遊じんの調査結果では、天然放射性核種であるベリリウム-7を除けば、各地区とも放射性核種は全く検出されず、県内発電所の影響は認められなかった。対照地区を除く各地区の大気中水分に、発電所寄与のトリチウムが検出されたが、すでに述べたように(p.7)、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第3表 大気中核種の地区別濃度範囲

単位：Bq/m³

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	—	0.010～0.13
白木	—	—	—	—	—	—	0.010～0.034
美浜	—	—	—	—	—	—	0.020～0.051
大飯	—	—	—	—	—	—	0.032～0.11
高浜	—	—	—	—	—	—	0.043～0.27
対照	—	—	—	—	—	—	ND～0.010

(注) —は検出例が1例もないもの、NDは検出限界値未満を示す(以下各表同様)。

トリチウム濃度については、年間平均気温、年間平均相対湿度をもとに算出(付4.3参照)。実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する大気中トリチウム濃度は340 Bq/m³である。

2.2.3 陸水

第4表に今年度の陸水(飲料水)の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、各地区とも県内の発電所に起因する核種は検出されなかった。トリチウムは今年度、バックグラウンドと判定されるレベル(p.29参照)であり、環境安全上の問題はなかった。

第4表 飲料水の地区別核種濃度範囲

核種分析：m Bq/ℓ、³H：Bq/ℓ

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	³ H
敦賀	—	—	—	—	—	0.6～1.2
白木	—	—	—	—	—	ND～1.5
美浜	—	—	—	—	—	1.0～1.8
大飯	—	—	—	—	—	0.6～1.3
高浜	—	—	—	—	—	0.7～1.6
対照	—	—	—	—	—	ND～0.8

(注)実効線量が0.05ミリシーベルト/年に相当する飲料水のトリチウム濃度は2,900 Bq/ℓである。

2.2.4 農産物、指標植物

指標植物(ヨモギ)は通常食用とはしないが、農産物が入手困難な季節でも各発電所近傍で採取が可能なこと、および形状も比較的葉菜に近いので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第5表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析で検出されたものはセシウム-137のみであった。放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.7)、これらの核種は過去の核実験のフォールアウトによるものであり、県内の発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第5表 葉菜、指標植物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	—	—	—	—	ND～0.0	—	0.28	—
白木	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.20	ND～0.00036
美浜	—	—	—	—	ND～0.2	—	1.1	—
大飯	—	—	—	—	—	—	0.34	—
高浜	—	—	—	—	—	—	0.89	—
対照	—	—	—	—	—	—	0.28	—

(注) ⁹⁰Sr、²³⁹Pu は放射化学分析の結果。

2.2.5 海産食品、指標海産生物

指標海産生物(ホンダワラ)は通常食用とはしないが、食用魚貝藻類が入手困難な季節でも各発電所近傍の定点で採取が可能なこと、および生態が食品と似ていて濃縮係数も比較的高いと考えられるので、評価の基礎データに用いることができることから調査対象としている。

第6表に今年度の海産食品(近海魚、サザエ、アワビ、ワカメ、モズク等)、指標海産生物の測定結果の概要を示す。今年度の調査結果では、ゲルマニウム半導体検出器による核種分析で検出されたのはセシウム-137のみで、放射化学分析ではストロンチウム-90とプルトニウム-239が検出されているが、すでに述べたように(p.7)、これらの核種は過去の核実験のフォールアウトによるものであり、県内の発電所に起因する放射性核種は検出されなかった。

第6表 海産食品、指標海産生物の地区別核種濃度範囲

単位：Bq/kg生

地区	種類	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	⁹⁰ Sr	²³⁹ Pu
敦賀	魚	—	—	—	—	ND～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	—	—	0.050	0.0016～0.0089
白木	魚	—	—	—	—	0.1～0.2	/	/	—
	貝	—	—	—	—	ND～0.0	/	/	0.013～0.042
	藻	—	—	—	—	—	—	0.027	0.0023～0.0098
美浜	魚	—	—	—	—	0.0～0.1	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.1	—	0.045	0.0021～0.034
大飯	魚	—	—	—	—	0.1～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	ND～0.0	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.0	—	0.028	0.0018～0.014
高浜	魚	—	—	—	—	ND～0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	ND～0.3	—	0.039	0.0039～0.011
対照	魚	—	—	—	—	0.2	/	/	/
	貝	—	—	—	—	—	/	/	/
	藻	—	—	—	—	—	—	—	0.0025～0.010

(注)① Cs-137の0.0は0.05未満を示す(以下各表同様)。

② 指標海産生物のホンダワラは、藻類に含めた。

① ⁹⁰Srと²³⁹Puは放射化学分析により求めた。

2.2.6 海水

第7表に今年度の調査結果の概要を示す。今年度の調査結果では、検出されたのはセシウム-137とトリチウムであった。

セシウム-137の平均濃度は各地区ともいずれも2mBq/l程度で昨年度までと同様の値であり、対照地区の福井とも同レベルであることから過去の核実験影響とみなすことができる。

トリチウムについては、今年度、発電所寄与と考えられる値が検出されたのは敦賀地区、美浜地区および高浜地区で合わせて13例あったが(第28表(p.128～130)参照)、通常の放射性廃棄物管理に伴うものであり、環境安全上問題となるレベルと比べはるかに低い濃度であった。

第7表 海水の地区別核種濃度範囲 核種分析：m Bq/l、³H：Bq/l

地区	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	³ H (注)
敦賀	—	—	—	ND～2.4	ND～6.3
白木	—	—	—	ND～1.9	ND～0.9
美浜	—	—	—	ND～1.6	ND～2.6
大飯	—	—	—	ND～2.0	ND～1.8
高浜	—	—	—	ND～1.9	ND～10
対照	—	—	—	1.0～1.7	ND～1.0

(注；8ページの(注6)参照)

2.3 変動傾向および蓄積状況などの参考となる調査

2.3.1 浮遊じん放射能の連続測定

第8表に年間の測定結果の概要を示す。各地点の今年度の放射能濃度測定値はいずれも天然放射能(空気中のラドン娘核種濃度)のレベルであった。発電所由来の人工放射性核種を監視する指標としているベータ/アルファ放射能濃度比では、「平均値(M)+標準偏差(σ)の3倍」を超えるものが、各観測局で5例～16例観測されている。いずれも「平均値(M)+標準偏差(σ)の3倍」をわずかに超えたものであること、もしくは濃度が低い時に観測されていること、またゲルマニウム半導体検出器による核種分析結果でも原子力発電所に起因する核種は検出されなかったことから、すべて天然放射能の変動によるものと考えられる。詳細データは添付資料の第11表(p.83～p.88)に示した。

第8表 浮遊じんの連続測定結果の概要 単位：Bq/m³

地区	観測局	ベータ(β)		アルファ(α)		β/α放射能濃度比(%)		β/α比のM+3σを超えた数
		放射能濃度		放射能濃度		濃度比(%)		
		年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	年間平均	年間最大	
敦賀	浦底A	4.1	27.9	7.9	51.7	53	67	5
	立石A	3.5	18.4	6.7	34.5	52	63	6
白木	白木A	3.8	37.9	7.2	68.3	53	65	10
	白木峠A	2.6	13.7	5.0	26.5	53	66	14
美浜	丹生A	3.3	17.2	6.0	33.4	55	67	16
	竹波A	4.4	44.2	8.8	88.3	50	59	5
大飯	日角浜A	3.6	20.1	7.1	39.2	51	64	11
	宮留A	3.5	22.2	6.8	44.3	52	64	10
高浜	小黒飯A	2.6	10.3	5.2	21.6	50	63	14
	音海A	2.9	12.2	5.8	26.5	51	62	16
	神野浦A	2.7	10.1	5.3	19.8	51	63	12

2.3.2 陸 土

今年度の調査結果では、各地区ともいずれも県内の発電所に由来する核種は検出されなかった。第4図に各地区の陸土のセシウム-137濃度（年間平均値、以下のグラフでも同様）の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験の影響が蓄積したものである。地点により差があるのは、周辺環境や土質が異なるためであり、それぞれの地点ではいずれも従来の測定値と同程度であった。

なお、第9表に示すように、陸土にはかなり高い濃度の天然放射性核種が含まれていて、自然の放射線源となっており、空間線量の測定値の大部分はこれらの寄与によるものである。

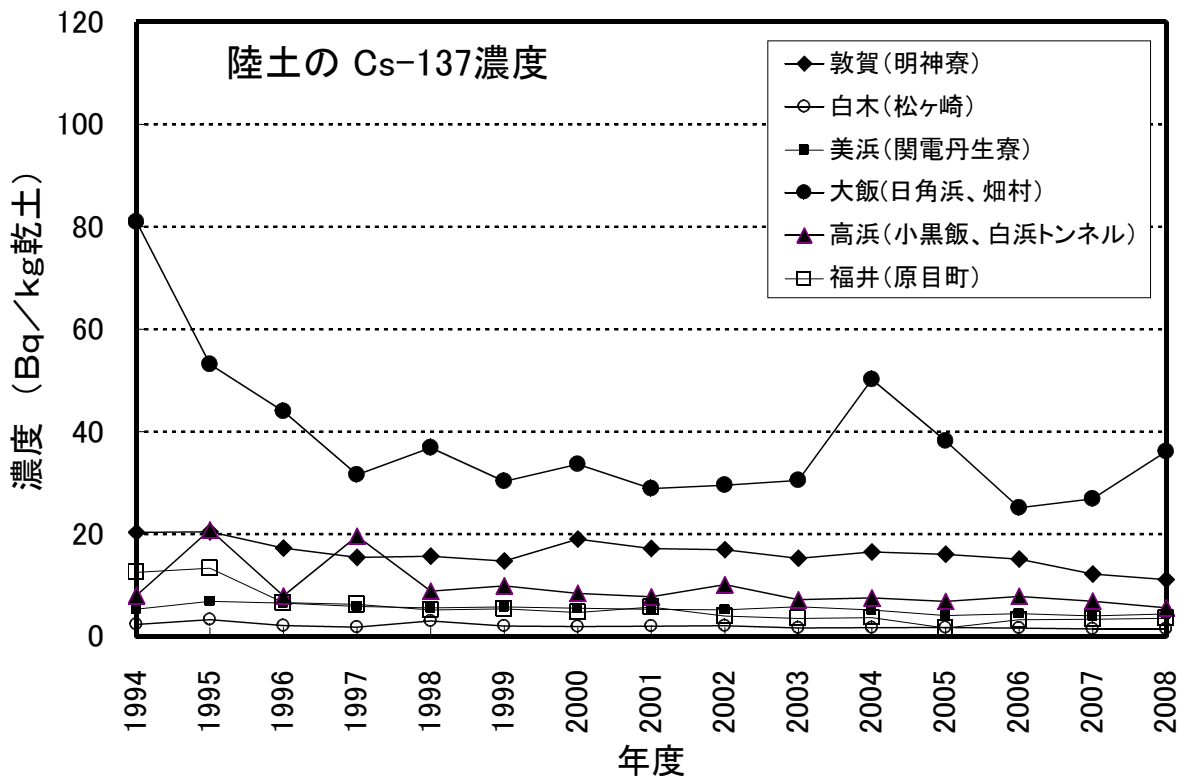
これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析によるプルトニウムの分析を白木地区の陸土について行っている（添付資料第29表その3(p.133)参照）。今年度の結果は昨年度までと同程度であった。

第9表 陸土中の天然放射性核種の平均濃度

単位：Bq/kg 乾土

地 区	地 点	カリウム-40	トリウム系列	ウラン系列
敦 賀	浦底・敦賀発電所北端	1 2 0 0	8 6	5 3
白 木	白木（松ヶ崎）	1 2 0 0	9 4	4 6
美 浜	丹生（関電丹生寮敷地内）	1 2 0 0	9 2	5 0
大 飯	日角浜・畑村	3 3 0	2 5	2 3
高 浜	小黒飯(旧道脇・白浜トンネル上)	6 1 0	4 2	3 0
対 照	福井市原目町	6 0 0	2 8	2 0

第4図 陸土のセシウム-137濃度の推移



2.3.3 指標植物、松葉

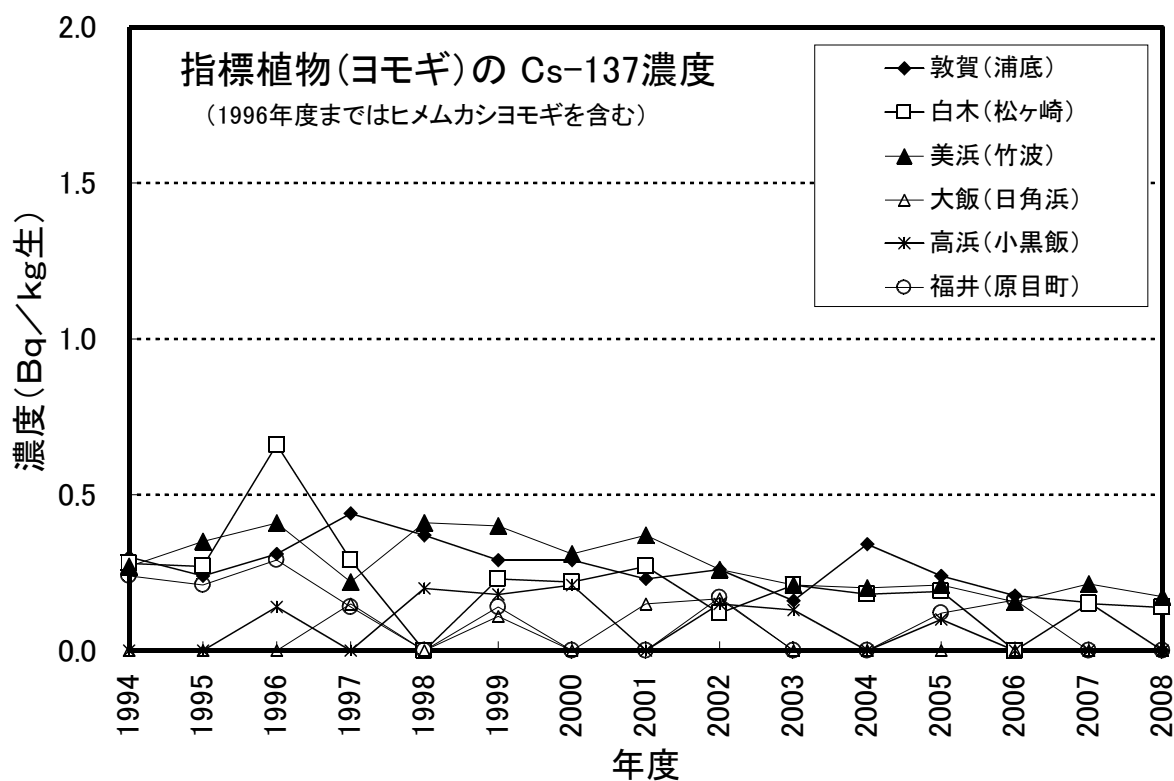
指標植物(ヨモギ)については、被ばく評価に関連した調査として既に農産物のところで述べたが、松葉も含め改めて変動傾向について述べる。

今年度の調査結果では各地区とも県内の発電所に起因する核種は検出されなかった。指標植物で検出されたのは、天然放射性核種のベリリウム-7を除けば、従来と同程度のセシウム-137のみであった。また、松葉から検出されたのは天然核種のみであった。

第5図に代表的な地点の指標植物のセシウム-137濃度の推移を示す。

なお、松葉のセシウム-137は今年度も含めて、1990年度以降検出されていない。

第5図 指標植物のセシウム-137濃度の推移



(注) 上記の図は、検出値があるものだけの平均値。
測定値がND(検出限界値未満)の場合、図では0のところに表示されている。
(第7図においても同様である)

2. 3. 4 降下物

今年度の毎月の調査結果では、コバルト-60等の発電所に起因する核種は、いずれの地区からも検出されなかった。

地点毎に月間試料を合わせ年間集合試料として改めて測定しているが、いずれの地点の年間集合試料からも発電所に起因する核種は検出されなかった。

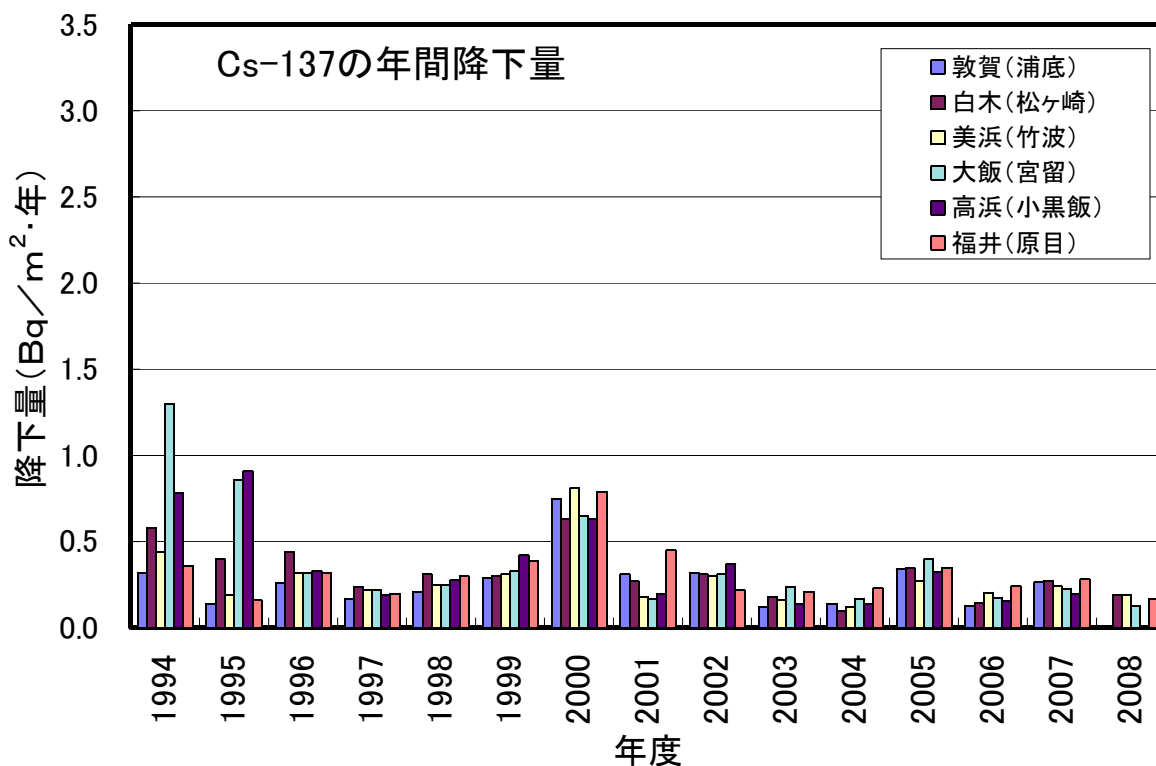
今年度の各地区のセシウム-137の年間降下量は、 $0.13 \sim 0.21 \text{Bq/m}^2 \cdot \text{年}$ (添付資料第30表 (p. 135) 参照) であり、2005～2007年度とほぼ同程度であった。第6図に、県が採取した年間集合試料から得られたセシウム-137の15年間の降下量の推移を示す。

なお、天然放射性核種のベリリウム-7は、例年の傾向どおり秋から冬にかけて降下量が増加しており、最大で、 $790 \text{Bq/m}^2 \cdot \text{月}$ (添付資料第19表 (p.103～p.106) 参照) の降下量が観測されている。ナトリウム-22は宇宙線によるもので、 $0.23 \sim 0.51$ (平均 0.38) $\text{Bq/m}^2 \cdot \text{年}$ (添付資料第30表 (p. 135) 参照) 観測されており、ベリリウム-7の約 $1/10,000$ 程度の降下が見られる。(今年度のベリリウム-7の年間降下量の全地区の平均値は、約 $3,400 \text{Bq/m}^2 \cdot \text{年}$ である。)

これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、雨水のトリチウム濃度、及び年間集合試料を用いた放射化学分析による各地区のストロンチウム-90とプルトニウム-239の年間降下量を求めている (添付資料第30表 (p. 135) 参照)。

雨水のトリチウム濃度は、過去の実績とほぼ同程度の値が検出されたが、発電所の通常の放射性廃棄物管理に伴うものであった。また、放射化学分析によるストロンチウム-90とプルトニウム-239の結果はここ数年のレベルと同程度であり、過去の核実験由来のフォールアウトによるものと判断される。

第6図 セシウム-137の年間降下量の推移



(注) 1994年度と1995年度の地域差は、再浮遊の違いによる。

備考) 2006年度の測定結果については、各地区で試料の一部に欠損があったことから、参考値とする。

2.3.5 海底土

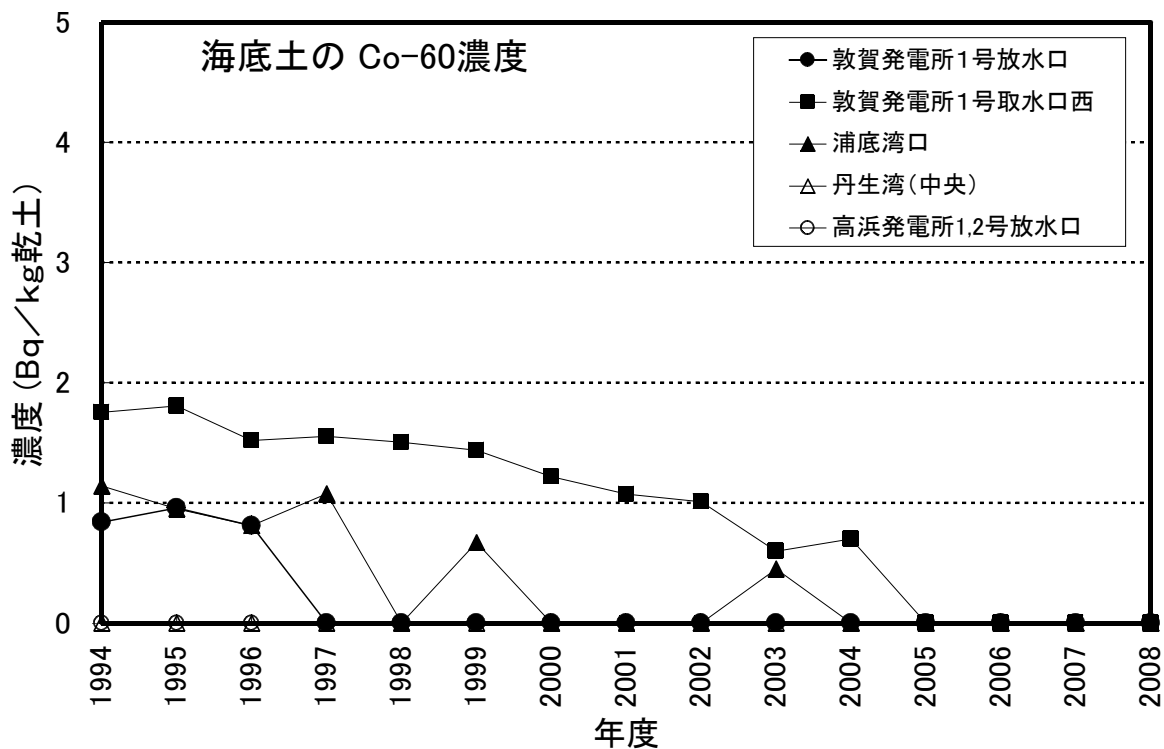
今年度の定期調査の結果では、敦賀地区浦底湾内の海底土からコバルト-60は、検出されなかった。また、浦底湾内の25地点で濃度分布調査*を行ったが、コバルト-60はまったく検出されなかった。

なお、参考までに、1994～2008年度までの浦底湾（敦賀発電所1号放水口、敦賀発電所1号取水口西、浦底湾口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のコバルト-60濃度の推移を第7図に示す。

第8図に浦底湾（敦賀発電所1号放水口）、丹生湾、内浦湾（高浜発電所1,2号放水口）における海底土のセシウム-137濃度の推移を示す。セシウム-137は過去の核実験由来であり、各地点とも今年度の測定結果は従来と同程度であった。この図に示した地点以外の各地区の海底土からもセシウム-137が検出されているが、底質が有機質に富んだ腐敗泥のところの濃度が高く、砂質のところは低くなっており、いずれも発電所稼働前の調査と同様の傾向を示している。

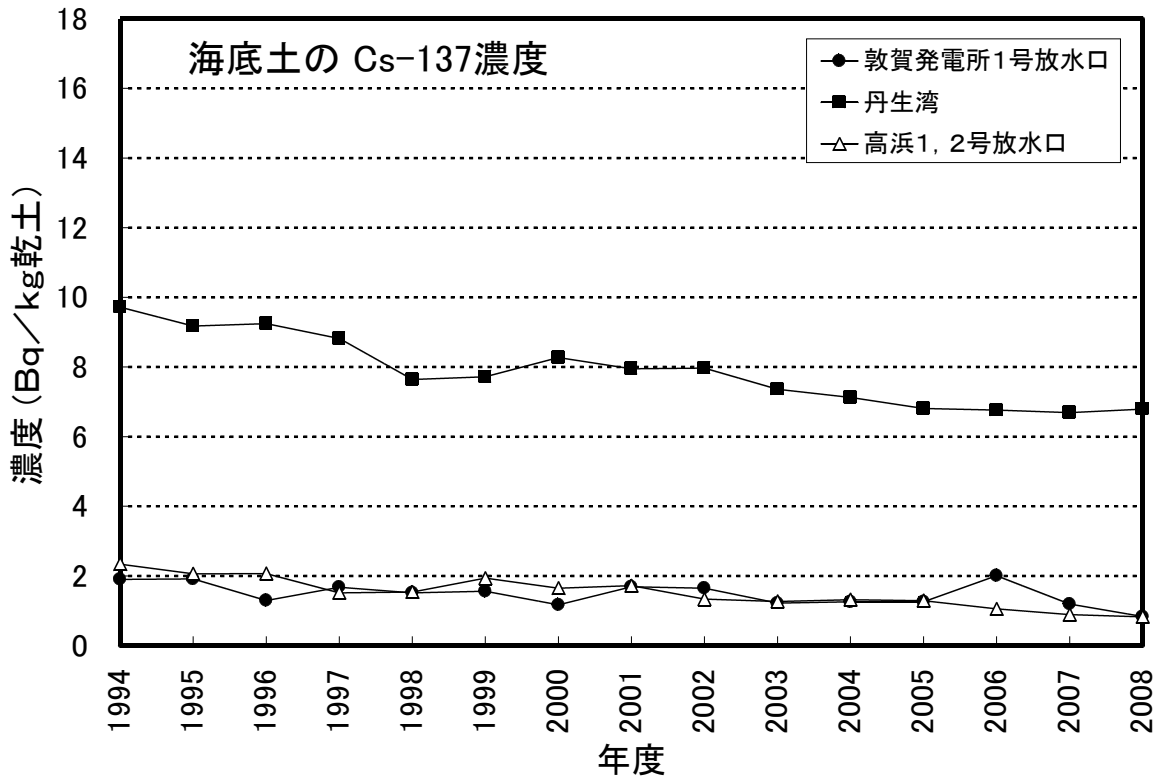
これらゲルマニウム半導体検出器による核種分析のほか、放射化学分析により海底土についてプルトニウム-238、プルトニウム-239の濃度を求めている（添付資料第29表その4(p.134)参照）。今年度の結果は、プルトニウム-238、プルトニウム-239とも昨年度までと同程度であった。

第7図 海底土のコバルト-60濃度の推移



* : 2005年度以降、浦底湾内でコバルト-60が検出されなかった状況を踏まえ、今後の浦底湾における放射能調査の見直しに資するため、従来より詳細な調査（一部深度別調査を実施）を行った。

第8図 海底土のセシウム-137濃度の推移



2.3.6 指標海産生物

指標海産生物の調査結果は、海産物についての預託実効線量の評価の際にも役立てているため、既に2.2.5海産食品、指標海産生物で取扱ったが、発電所に起因する核種の変動傾向を把握するため、改めて今年度の指標海産生物の調査結果について述べる。

今年度のホンダワラの定期調査の結果では、いずれの地区からもコバルト-60は検出されなかった。1993年度以降、コバルト-60はいずれの地区からも検出されていない。

ホンダワラのセシウム-137については、いずれの地区でも従来と同程度の0.3Bq/kg生以下の極めて低い濃度となっており、過去の核実験影響のレベルであった。

(参考) 今年度のセシウム-137 分析結果

環境モニタリングの目的のひとつに「環境における放射性物質の蓄積状況の把握」を掲げていることでもあり、以下に環境で最も多く検出されているセシウム-137 について、各試料区分毎の今年度の結果と過去3ヶ年の検出実績の比較のまとめたものを示す。

今年度の検出実績は、いずれも過去と同程度で、増加傾向は認められない。また、対照地区も含め各地区でほぼ同一水準であるという結果は、「今年度の値はいずれも過去に行なわれた核実験によるフォールアウト」というこれまでの評価を裏づけるものであり、原子力発電所に起因するものは認められなかった。

(参考) 今期のセシウム-137分析結果

単位:浮遊じん(mBq/m³)、降下物(Bq/m²)、陸水・海水(mBq/l)、その他(Bq/kg)

試料	敦賀		白木		美浜	
	今期	05~07年度	今期	05~07年度	今期	05~07年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	8.5~28	9.4~29	0.8~2.2	1.2~2.2	3.2~6.2	3.1~6.5
指標植物	—	ND~0.4	ND~0.1	ND~0.2	ND~0.2	ND~0.3
松葉	—	—	—	—	—	—
農産物	0.0	ND~0.0	—	ND~0.0	—	—
降下物	—	ND~0.2	—	ND~0.1	—	ND~0.2
海水	ND~2.4	1.3~2.4	ND~1.9	ND~2.3	ND~1.6	ND~2.2
海底土	ND~3.5	ND~4.0	—	—	ND~8.8	ND~9.5
海産食品(魚類)	ND~0.2	ND~0.2	0.1~0.2	ND~0.2	0.0~0.1	ND~0.1
海産食品(貝類)	—	ND~0.0	ND~0.0	ND~0.0	—	ND~0.0
海産食品(藻類)	—	—	—	ND~0.0	—	—
指標海産生物	—	ND~0.1	—	—	ND~0.1	ND~0.2
試料	大飯		高浜		対照	
	今期	05~07年度	今期	05~07年度	今期	05~07年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	2.0~89	1.5~90	4.2~9.0	2.8~13	2.6~150	1.6~150
指標植物	—	—	—	ND~0.1	—	ND~0.2
松葉	—	—	—	—	—	—
農産物	—	ND~0.0	—	—	—	—
降下物	—	—	—	ND~0.1	—	ND~0.2
海水	ND~2.0	ND~2.0	ND~1.9	ND~2.5	1.0~1.7	ND~1.8
海底土	ND~4.3	ND~5.5	ND~2.0	ND~4.1	/	/
海産食品(魚類)	0.1~0.2	ND~0.2	0.0~0.2	0.0~0.2	0.2	0.1~0.2
海産食品(貝類)	ND~0.0	ND~0.0	—	ND~0.0	—	—
海産食品(藻類)	—	—	—	—	—	—
指標海産生物	ND~0.0	ND~0.1	ND~0.3	ND~0.1	—	ND~0.1

(注) —またはNDは検出されずを、0.01は0.05未満で検出限界値以上の測定値を示す。
 05~07年度の欄で、—と記したものは検出実績が1例もないものである。
 /は調査対象外を示す。

3. 添 付 資 料

3. 1 調査方法

3. 2 調査地点図表

第1図～第8図 調査地点図

第1表 調査地点の詳細

3. 3 測定法

第2表～第7表 測定法、測定器

3. 4 測定結果

第8表～第10表 空間線量測定結果

第11表 浮遊じん放射能の連続測定結果

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

第13表～第24表 核種分析結果

第25表～第28表 トリチウム分析結果

第29表 放射化学分析等による ^{90}Sr , ^{137}Cs ,
 ^{239}Pu 分析結果

第30表 年間降下物の ^{90}Sr , ^{22}Na , ^{60}Co , ^{137}Cs , ^{239}Pu
分析結果 [参考：定期外調査]

第31表 各地の積雪量 (2008年11月～2009年3月)
[参考データ]

3.1 調査方法

3.1.1 調査地点（概要）

調査地点はおおむね以下のとおりである。

①調査対象地区：（調査地区）敦賀、白木、美浜、大飯、高浜
（対照地区）福井市等嶺北地方

②陸上試料採取地点：ほぼ主風向下の各発電所から約1～2 kmの集落近傍の定点

③海洋試料採取地点：各放水口および放水口沖約1 kmの定点

これらの定期調査以外に、発電所由来核種の分布状態など環境をよりよく把握するために一部の地区で広域分布調査を行った。

調査の分担実績を3.1.3 (p. 25)に示す。また、調査地点図を第1図～第8図 (p. 31～p. 39)に、調査地点の詳細を第1表 (p. 40～p. 43)に、それぞれ示す。

3.1.2 調査方法（概要）

空間線量測定法、浮遊じん放射能の連続測定法、ゲルマニウム検出器による核種分析測定法および各種試料の対象核種と検出目標値、各機関で用いている測定器を第2表～第7表 (p. 44～p. 48)に示す。

核種濃度の測定は大部分がゲルマニウム検出器による核種分析である。ゲルマニウム検出器による核種分析の目的核種はマンガンー $54(^{54}\text{Mn})$ 、コバルトー $58(^{58}\text{Co})$ 、コバルトー $60(^{60}\text{Co})$ 、セシウムー $137(^{137}\text{Cs})$ およびヨウ素ー $131(^{131}\text{I})$ である。その他に、ナトリウムー $22(^{22}\text{Na})$ も平成7年度より対象核種としている。

ヨウ素ー 131 を対象とする試料については、試料の前処理および測定までに要する日数に特に留意した。また、セシウムー 137 は、一部の試料についてゲルマニウム検出器を用いたアンチコインシデンス測定も行っている。

ゲルマニウム検出器による核種分析では、ガンマ線を放出する核種が同時に分析できるので、起源の判断や自然放射線の寄与などの参考とするため、ルテニウムー $106(^{106}\text{Ru})$ 、セリウムー $144(^{144}\text{Ce})$ 、カリウムー $40(^{40}\text{K})$ 、ベリリウムー $7(^{7}\text{Be})$ 、トリウム系列、ウラン系列等の核種の濃度も測定結果に併記した。

以上のほかに、ストロンチウムー $90(^{90}\text{Sr})$ 、プルトニウムー $238(^{238}\text{Pu})$ 、プルトニウムー $239(^{239}\text{Pu})$ の放射化学分析およびトリチウム(^3H)分析を行っている。

前処理法および分析測定法は、以下に列挙する方法に準拠した。

なお、測定結果の評価等に関する取扱いは「3.1.4 測定値の取扱い (p. 26～p. 30)」に一括して記載した。

<前処理法>

(1)降下物

- ・月間降下物（水盤法）の前処理法
（昭和58年3月：福井県環境放射能測定技術会議 資料）

<分析測定法>

(1)線量率連続測定

- ・連続モニタによる環境 γ 線測定法
（平成8年3月1訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ）

(2) 積算線量

- ・ TLD測定マニュアル^{*1}
(昭和55年1月：福井県環境放射能測定技術会議)
(平成6年3月：一部改訂^{*2})
(平成8年3月：一部改訂^{*2})
- ・ 熱ルミネセンス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成2年2月1訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計を用いた環境 γ 線量測定法
(平成14年7月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ 蛍光ガラス線量計測定マニュアル
(平成19年2月：福井県環境放射能測定技術会議)

(3) ゲルマニウム検出器による核種分析測定法

- ・ Ge(Li)検出器による環境試料の核種分析法
(昭和50年8月：福井県衛生研究所 調査研究報告)
- ・ ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリ
(平成4年8月3訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(4) トリチウム

- ・ トリチウム分析法
(平成14年7月2訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)
- ・ トリチウム迅速分析法^{*3}
(平成9年12月：福井県環境放射能測定技術会議)

(5) ストロンチウム-90

- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和55年1月：福井県環境放射能測定技術会議)
(昭和60年3月：一部改訂)
- ・ 放射性ストロンチウム分析法
(昭和58年12月3訂：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(6) プルトニウム

- ・ プルトニウム・アメリシウム逐次分析法
(平成2年11月：文部科学省 放射能測定法シリーズ)

(*1) 昭和60年度から TLD 測定マニュアルの p.9 第1表(棄却限界表)として ASTM:E178-80 を用いている。

(*2) 平成6年度より3ヵ月平均値の標準偏差の算出を、従来の一次回帰から求める方法から個々の測定地点より求める方法に改訂した。さらに、平成8年度より基本的に全地点の平均的な相対標準偏差3.5%を用いる方法に改訂した。

(*3) 試料調整から3時間以内で 74 Bq/l (当時の公衆の年実効線量当量限度1ミリシーベルトの1000分の1に相当する濃度)を確認できる方法である。

3. 1. 3 調査の分担実績（平成20年度）

区分	定期調査（分布調査等を含む）												放射化学分析等 県, 原子力機構	
	県						原電	原子力機構			関電			
調査機関	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区	
調査項目	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	敦賀	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	各地区	
線量率(年間連続)	4	2	3	5	4		10	6	5	11	11	10		
積算線量	11(44)	4(16)	6(21)	11(44)	10(40)	10(40)	14(56)	1(4)	10(40)	16(64)	15(60)	15(60)		
浮遊じん(年間連続)	2	2	2	2	3									
<核種分析>														
大気中ヨウ素-131	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)									
浮遊じん	2(16)	2(16)	2(16)	2(16)	3(20)	1(12)	3(36)		1(12)	1(12)	1(12)	2(24)		
陸水	飲料水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
	河川水									1(2)				
陸土	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	2(3)	1(2)	1(4)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	(5)	
指標植物	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)	1(7)							(18)	
松葉						1(1)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)		
農産物	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)							(1)	
降下物	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	(11)	
海水	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	1(2)	2(4)	2(8)	1(4)	2(8)		
海底土	18(37)	5(11)	7(8)	3(3)	7(9)		15(22)	2(8)	2(8)	4(16)	2(8)	3(12)	(20)	
海産食品	魚類	(8)	(4)	(5)	(4)	(4)	(3)	(1)	(1)	(2)	(4)	(2)	(2)	(6)
	貝類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(4)
	藻類	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)		(1)	(2)	(1)	(1)	(9)
指標海産生物	ホタテ	4(12)	1(4)	2(8)	1(4)	2(8)	1(4)	5(16)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(12)	(16)
核種分析合計	(121)	(81)	(85)	(73)	(89)	(52)	(101)	(21)	(52)	(72)	(50)	(80)		
<トリチウム>														
陸水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(2)	1(2)	2(4)		
大気中水分	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)	1(13)	1(12)	2(24)	2(24)	1(12)	1(12)	1(12)	1(12)		
月間雨水	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		1(4)	1(4)	1(4)	1(4)		
海水	3(6)	2(4)	4(8)	2(4)	3(6)	1(2)	1(4)	1(4)	1(4)	2(8)	1(4)	3(24)		
トリチウム合計	(26)	(24)	(28)	(24)	(27)	(22)	(36)	(28)	(24)	(26)	(22)	(44)		
放射能調査 合計	(147)	(105)	(113)	(97)	(116)	(74)	(137)	(49)	(76)	(98)	(72)	(124)	(90)	

(注) 調査地点数を示す。()内は年間試料数である。

3. 1. 4 測定値の取り扱いについて

(1) テレメータシステムによる線量率連続測定結果

- ① 空間線量率は空気吸収線量率とし、テレメータシステムにより収集された10分値等をもとに計算された1時間値を、nGy/hで報告する。
- ② 測定値は小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ 報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値(M)および標準偏差(σ)を記載するとともに、各月の $M+3\sigma$ を超えたデータについては、降雨等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を調査し、変動原因を報告する。
 なお、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ④ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等考慮して総合的に判断する。
 - (a) 雨量計(0.5mm以上)の指示値があった場合、指示開始1時間前から指示終了後2時間までを「降雨あり」とする。
 - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から指示終了後1時間までを「降雨あり」とする。
 - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の降雨信号で「降雨あり/なし」を判断する。

参考：テレメータシステムによる空間線量率測定では、10分等の短い周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。これらのリアルタイム情報は、福井県原子力環境監視センターのホームページ (<http://www.houshasen.tsuruga.fukui.jp/>) で公開している。

(2) 積算線量測定結果

- ① 積算線量は空気吸収線量を、mGy/92日 単位で報告する。
- ② 測定値は、小数点以下第3位まで表示し、第4位を四捨五入する。
- ③ 地点毎の過去5ケ年の平均値(M)を求め、平常の変動幅($M-3 \times C.V. \times M$) ~ ($M+3 \times C.V. \times M$)の範囲を超えた場合は、周辺環境等の変化等の原因の調査を行う。なお、相対標準偏差(C.V.)は、過去の平均的な値である3.5%を用いる。ただし、自然放射線の変動等でこの平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点については、地点毎に求めた過去5ケ年の標準偏差(σ)を用いる。周辺環境等の変化により過去の蓄積データが2年に満たない地点の相対標準偏差(C.V.)は、3.5%とする。表-1に今年度の3ヶ月値の平常の変動幅を示す。

表-1 積算線量における平常の変動幅(平成20年度用)

<敦賀地区>

※2年未満の期間では、評価用 $\sigma = 3.5\%$ 固定

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	$M-3\sigma$	$M+3\sigma$	データ 個数
A	立石A5(八坂神社)	0.239	0.01133	4.75	4.7	0.205	0.273	8
D	ふげん西D2(西敷地境界)	0.164	0.00636	3.88	3.9	0.145	0.183	19
A	浦底A5(剣神社)	0.244	0.00757	3.10	3.5	0.218	0.270	20
A	色ヶ浜A3(本隆寺)	0.263	0.01135	4.32	4.3	0.229	0.297	20
A	手ノ浦A3(舟幸寺)	0.217	0.00760	3.50	3.5	0.194	0.240	20
A	常宮A3(常宮小学校)	0.225	0.01043	4.64	4.6	0.194	0.256	20
A	赤崎A3(赤崎小グラウンド)	0.181	0.00608	3.36	3.5	0.162	0.200	20
A	阿曽A2(ふれあい会館)	0.186	0.00753	4.04	4.0	0.164	0.209	20
A	杉津A4(東浦小中学校)	0.170	0.00551	3.25	3.5	0.152	0.187	20
A	元比田A5(集落掲示板横)	0.165	0.00662	4.01	4.0	0.145	0.185	20
A	大谷A3(八幡神社)	0.174	0.00551	3.17	3.5	0.156	0.192	20
A	吉河A2(原子力センター)	0.172	0.00679	3.95	4.0	0.151	0.192	20
B	立石山頂B1(山頂付近)	0.226	0.00797	3.53	3.5	0.202	0.250	16
B	猪ヶ池B1(敦賀原子力館下)	0.231	0.00602	2.61	3.5	0.207	0.255	16
B	原子力館B(原子力館敷地)	0.200	0.00819	4.10	4.1	0.175	0.225	16
B	水産試験場B2(水試)	0.176	0.00417	2.36	3.5	0.158	0.195	16
B	明神寮B2(明神寮)	0.230	0.00797	3.47	3.5	0.206	0.254	16
B	水試裏B1(水産試験場裏)	0.250	0.01087	4.34	4.3	0.218	0.283	16
B	手ノ浦B3(舟幸寺)	0.223	0.00764	3.43	3.5	0.199	0.246	16
B	沓B5(常福寺)	0.262	0.01436	5.48	5.5	0.219	0.305	16
B	常宮B3(常宮神社敷地)	0.231	0.00762	3.30	3.5	0.207	0.256	16
B	縄間B(宗清寺)	0.265	0.00938	3.54	3.5	0.237	0.293	16
B	名子B1(名子バス停)	0.177	0.00501	2.82	3.5	0.159	0.196	8
B	松島B3(原電松島寮)	0.211	0.00806	3.81	3.8	0.187	0.235	16
B	松栄B3(敦賀合同庁舎)	0.207	0.00878	4.23	4.2	0.181	0.234	16
B	大良B(大良集会所)	0.173	0.01224	7.08	7.1	0.136	0.210	16

< 白木地区 >

機関 コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ 個数
D	白木ⅠD 2 (北東敷地境界)	0.228	0.00560	2.46	3.5	0.204	0.252	19
D	白木ⅡD 2 (東南東敷地境)	0.155	0.00590	3.81	3.8	0.137	0.172	19
D	白木ⅢD 2 (南南東敷地境)	0.220	0.00801	3.65	3.6	0.195	0.244	19
D	白木ⅣD 2 (南西敷地境界)	0.198	0.00641	3.23	3.5	0.177	0.219	19
A	白木A 4 (白木観測局)	0.225	0.00889	3.95	3.9	0.199	0.252	20
D	白木D 6	0.245	0.00490	2.00	3.5	0.219	0.270	19
D	松ヶ崎D 2 (機構MS)	0.232	0.00513	2.21	3.5	0.208	0.256	19
A	白城神社A 2 (神社鳥居横)	0.232	0.01072	4.62	4.6	0.200	0.264	20
D	白城神社D 4 (鳥居横)	0.229	0.00596	2.68	3.5	0.205	0.253	19
D	門ヶ崎D 3	0.260	0.00618	2.43	3.5	0.233	0.288	19
A	白木ト初北口A 2 (池横)	0.260	0.01067	4.10	4.1	0.228	0.292	20
D	白木トンネル北口D 3	0.238	0.00711	3.24	3.5	0.213	0.262	19
A	白木トンネル南口A 2	0.227	0.00729	3.21	3.5	0.204	0.251	20
D	もんじゅ寮D 1 (もんじゅ寮)	0.242	0.00775	3.15	3.5	0.216	0.267	15

< 美浜地区 >

機関 コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ 個数
C	奥浦C (奥浦公園奥)	0.218	0.00527	2.42	3.5	0.195	0.241	20
C	丹生診療所C 6	0.175	0.00614	3.52	3.5	0.156	0.193	20
A	丹生A 4 (中村旅館)	0.190	0.01003	5.28	5.3	0.160	0.220	20
C	丹生C 3 (丹生漁港)	0.182	0.00592	3.26	3.5	0.163	0.201	20
A	丹生小中学校A	0.206	0.01006	4.88	4.9	0.176	0.236	16
C	丹生寮C 5 (関電丹生寮)	0.216	0.00533	2.46	3.5	0.194	0.239	20
A	竹波A 4 (竹波集落センター)	0.214	0.00774	3.61	3.6	0.191	0.237	20
C	竹波C 5 (高那弥神社)	0.220	0.00618	2.80	3.5	0.197	0.244	20
C	馬背川C 2 (ポンプ場)	0.219	0.00672	3.07	3.5	0.196	0.242	20
A	菅浜A 3 (旧菅浜保育所)	0.203	0.00894	4.41	4.4	0.176	0.229	20
C	菅浜C 2 (民宿藤田横)	0.170	0.00471	2.77	3.5	0.152	0.188	20
C	けやき台C 1	0.152	0.00503	3.31	3.5	0.136	0.168	20
A	佐田A 2 (旧山東保育所)	0.177	0.00599	3.38	3.5	0.158	0.196	20
C	坂尻C 2 (三谷商店前)	0.171	0.00461	2.69	3.5	0.153	0.189	20
C	新庄C 3 (日吉神社)	0.174	0.00490	2.81	3.5	0.156	0.192	20
A	和田A (ふる里交流センター)	0.181	0.00749	4.15	4.1	0.158	0.203	16
C	郷市C 6 (美浜町役場)	0.136	0.00479	3.54	3.5	0.121	0.150	20
C	久々子C 1 (県園芸試験所)	0.147	0.00397	2.71	3.5	0.131	0.162	20
C	早瀬C 5 (水無月神社)	0.139	0.00421	3.03	3.5	0.124	0.154	19
C	日向C 5 (日向漁業センター)	0.160	0.00484	3.03	3.5	0.143	0.176	20
C	三方C 4 (町役場三方庁舎)	0.121	0.00431	3.58	3.6	0.108	0.133	20
C	沓見C (訓練センター)	0.189	0.00545	2.89	3.5	0.169	0.209	16

<大飯地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ 個数
C	赤礁崎C (あかぐり崎ケア)	0.108	0.00351	3.25	3.5	0.097	0.119	16
A	宮留奥A (海釣公園)	0.119	0.00670	5.65	5.7	0.098	0.139	16
A	宮留A 6 (学園前バス停)	0.124	0.00535	4.31	4.3	0.108	0.140	20
C	宮留C 3 (エルパーク大飯下)	0.119	0.00419	3.53	3.5	0.106	0.131	20
C	日角浜C 3 (大島公民館)	0.115	0.00463	4.03	4.0	0.101	0.129	20
A	西村A 2 (常禅寺)	0.124	0.00512	4.14	4.1	0.108	0.139	20
C	西村C 1 (トシ南口県道脇)	0.089	0.00381	4.27	4.3	0.078	0.101	20
C	犬見C 2 (集落手前道端)	0.128	0.00439	3.45	3.5	0.114	0.141	20
A	本郷A 4 (町営住宅)	0.138	0.00660	4.78	4.8	0.118	0.158	20
C	本郷C 5 (おおい町役場)	0.124	0.00514	4.15	4.1	0.108	0.139	15
A	鯉川A 2 (牛尾神社)	0.138	0.00611	4.43	4.4	0.119	0.156	20
A	加斗A 4 (加斗小学校)	0.140	0.00554	3.97	4.0	0.123	0.156	20
A	西勢A 2 (民宿つどい前)	0.131	0.00508	3.87	3.9	0.116	0.147	20
C	東勢C 1 (旧道脇)	0.126	0.00546	4.34	4.3	0.109	0.142	20
C	小浜市野球場C 2	0.127	0.00428	3.36	3.5	0.114	0.141	20
A	小浜市大原A 3 (栖雲寺)	0.187	0.00673	3.59	3.6	0.167	0.208	19
A	若狭健康福祉センターA 2	0.168	0.00642	3.82	3.8	0.149	0.187	20
A	西津A 2 (水産高校)	0.138	0.00716	5.19	5.2	0.117	0.160	20
C	西津C 3 (西津支所)	0.114	0.00487	4.26	4.3	0.100	0.129	20
A	堅海A 2 (堅海小学校跡)	0.146	0.00576	3.94	3.9	0.129	0.163	20
C	堅海C 3 (県栽培漁業センター)	0.128	0.00476	3.72	3.7	0.114	0.142	20
C	泊C 2 (大谷旅館前)	0.137	0.00502	3.67	3.7	0.122	0.152	20
C	川上C 4 (川上公民館)	0.126	0.00428	3.39	3.5	0.113	0.140	20
C	鹿野C 5 (佐分利小学校)	0.123	0.00421	3.43	3.5	0.110	0.136	20
C	名田庄C 3 (名田庄観光館)	0.127	0.00455	3.58	3.6	0.113	0.141	20
C	上中C 3 (上中体育館)	0.106	0.00451	4.25	4.3	0.092	0.120	20

<高浜地区>

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ 個数
A	音海A 3 (児玉旅館)	0.126	0.00614	4.85	4.9	0.108	0.145	20
C	音海C 4 (音海漁港奥)	0.125	0.00470	3.77	3.8	0.111	0.139	20
C	音海県道C 1 (セエ高浜前)	0.111	0.00482	4.34	4.3	0.097	0.126	20
C	田ノ浦C (関電MS)	0.118	0.00500	4.25	4.2	0.103	0.133	20
A	小黒飯A 3 (寿奎寺旧道脇)	0.138	0.00654	4.72	4.7	0.119	0.158	20
C	小黒飯C 3 (白浜トシ北口)	0.125	0.00448	3.58	3.6	0.112	0.139	20
A	神野小学校A	0.138	0.00504	3.66	3.7	0.123	0.153	16
A	神野A 4 (桃源寺)	0.112	0.00535	4.78	4.8	0.096	0.128	20
C	神野浦C 2 (集落道路脇)	0.099	0.00423	4.26	4.3	0.087	0.112	20
A	山中A 3 (内浦小中学校)	0.134	0.00601	4.49	4.5	0.116	0.152	20
C	山中C 2 (内浦農協)	0.092	0.00362	3.96	4.0	0.081	0.102	20
A	下A 2 (産霊神社)	0.108	0.00471	4.36	4.4	0.094	0.122	20
C	目引C 3 (目引小学校)	0.113	0.00412	3.65	3.7	0.101	0.125	20
A	上瀬A 2 (山神神社)	0.094	0.00498	5.29	5.3	0.079	0.109	20
A	六路谷A 3 (ふれあい会館)	0.108	0.00516	4.78	4.8	0.092	0.123	20
C	六路谷C 2 (杉森神社横)	0.130	0.00492	3.78	3.8	0.116	0.145	20
C	高野C (青郷小高野分校)	0.126	0.00533	4.22	4.2	0.110	0.142	16
C	青郷C 2 (青郷小学校)	0.128	0.00454	3.54	3.5	0.115	0.142	20
A	東三松A 4 (東三松グラウンド)	0.147	0.00459	3.12	3.5	0.132	0.163	20
C	東三松C 2 (民宿萩の家)	0.119	0.00528	4.43	4.4	0.103	0.135	20
A	高浜町役場A 3 (前庭)	0.107	0.00515	4.81	4.8	0.092	0.122	20
C	高浜C (高浜小学校)	0.110	0.00396	3.60	3.6	0.098	0.122	20
C	和田C 3 (和田小学校)	0.117	0.00487	4.16	4.2	0.102	0.132	20
C	田井C 3 (コミュニテイセンタ)	0.138	0.00519	3.76	3.8	0.122	0.154	20
C	夕潮台C 2 (夕潮台公園)	0.102	0.00432	4.26	4.3	0.089	0.114	20

< 対照地区 >

機関コード	地点名	平均値	標本標準偏差	σ (%)	評価用 σ (%)	M-3 σ	M+3 σ	データ 個数
A	金津A 2 (健康福祉センタ)	0.146	0.00606	4.14	4.1	0.128	0.165	20
A	川西A 3 (川西中学校)	0.128	0.00471	3.69	3.7	0.113	0.142	20
A	福井市原目町A 2 (福井分析管理室)	0.145	0.00565	3.90	3.9	0.128	0.162	20
A	殿下A 3 (殿下小学校)	0.166	0.00727	4.39	4.4	0.144	0.188	20
A	勝山A 2 (健康福祉センタ)	0.156	0.00984	6.30	6.3	0.127	0.186	20
A	美山A 4 (美山児童館)	0.141	0.00910	6.47	6.5	0.113	0.168	20
A	宮崎A 3 (宮崎中学校)	0.143	0.00695	4.85	4.8	0.122	0.164	20
A	武生A 2 (武生土木事務所)	0.157	0.00626	3.98	4.0	0.138	0.176	20
A	越前市妙法寺町A	0.219	0.00987	4.51	4.5	0.189	0.248	8
A	池田A 2 (池田町役場)	0.146	0.00977	6.70	6.7	0.116	0.175	20

この表では、基本的には2003年度から2007年度までの5年間で計算している。

データ数が20であるところは、5年分の全データで統計計算している。

それ以外の地点は、現在と同じ状況となった後の最新データで計算している。

- ④年間積算値の平常の変動幅については、経験的にも3ヶ月値から求めた平常の変動幅の2倍であることが知られており、平成2年度以降これを適用している。

(3) テレメータシステムによる浮遊じん放射能の連続測定

- ①浮遊じん放射能濃度はラドン娘核種に等価で各娘核種 (RaA~RaC') の比を1と仮定した放射能濃度で、測定のコイルである3時間値を測定値 (報告値) とする。

単位は、ベータ (β) 放射能濃度およびアルファ (α) 放射能濃度は、 Bq/m^3 とし、 β/α 放射能濃度比は%とする。

- ②測定値は小数点以下第1位まで、放射能濃度比は整数とし、いずれもその次の位を四捨五入する。

- ③報告書では、地点毎に各月の最高値、最低値、平均値 (M) および標準偏差 (σ) を記載するとともに、濃度比が各月のM+3 σ を超え β 放射能濃度が高いデータについては、近接局の結果、空間線量率等を調査し、変動原因を報告する。なお、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

参考：浮遊じん放射能が天然放射性核種のみの場合、放射能濃度は通常0.1~数10 Bq/m^3 程度変化するが、 β/α 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に β 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 β/α 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。テレメータシステムによる浮遊じん放射能測定は、環境の空気を吸引しながら同時に測定を行い、10分周期でリアルタイムデータが収集され、システムによる自動チェックが行われている。さらに職員によって、異常の有無を日常業務で詳細に確認している。

(4) ゲルマニウム検出器による核種分析結果

- ①各試料区分毎の報告単位は、核種分析結果の各表に示されている。

- ②測定値は原則として、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

- ③放射能濃度をN、その誤差を ΔN とした時に $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとし、通常は過去3年間の最低値~最高値と比べ、これを超えた場合はそれ以前の値を参考に、過去の核実験影響および発電所寄与について検討する。

- ④各種環境試料中の放射性核種濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種 (例えばセシウム-137の場合はセシウム-134) の有無等も考慮し、起源を判断する。

(5) トリチウム分析結果

- ①各試料区分毎の報告単位は、 Bq/l で報告する。

- ②測定値は、有効数字2桁または各表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

- ③トリチウム濃度をN、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。

- ④発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、2.0 Bq/l 以上のデータを除いた過去3年間の調査結果 (およそのバックグラウンドレベル) を基に平均値 (M) + 3 × 標準偏差 (σ) を算出し、(M+3 σ) が2.0 Bq/l 未満の時は、(M+3 σ) を検討基準とする。また、(M+3 σ) が2.0 Bq/l 以上の時は、2.0 Bq/l を検討基準とする。

2005~2007年度の212試料の統計計算結果では、海水のトリチウム濃度の平均値は0.73 Bq/l 、標準偏差 (σ) は0.49となっており、(M+3 σ) は、2.2 Bq/l であるため、今年度の検討基準

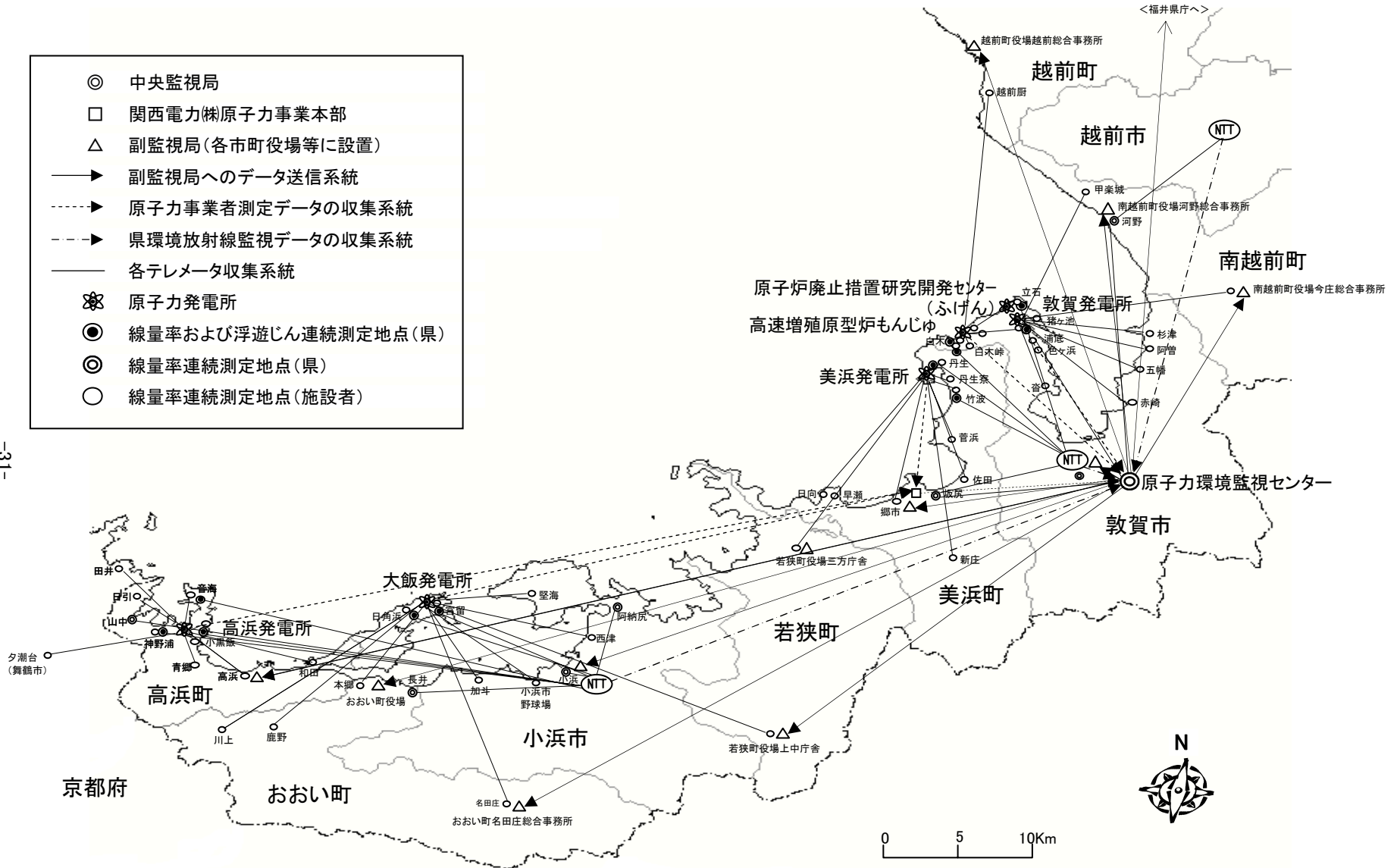
は2.0Bq/lとなる。

(6) 放射化学分析による ^{90}Sr 、 $^{239(+240)}\text{Pu}$ 、 ^{238}Pu 分析結果

放射能濃度を N 、その誤差を ΔN とした時に、 $N \geq (3 \times \Delta N)$ の場合を検出されたものとする。各試料区分毎の報告単位は、第30表～第31表 (p. 132～p136) の各表に示されている。測定値は原則として、有効数字2桁とする。

第1図 各放射線監視テレメータシステムの主なデータ収集・送信系統図

- ◎ 中央監視局
- 関西電力㈱原子力事業本部
- △ 副監視局(各市町役場等に設置)
- 副監視局へのデータ送信系統
- - - 原子力事業者測定データの収集系統
- - - 県環境放射線監視データの収集系統
- 各テレメータ収集系統
- ☼ 原子力発電所
- 線量率および浮遊じん連続測定地点(県)
- ◎ 線量率連続測定地点(県)
- 線量率連続測定地点(施設者)



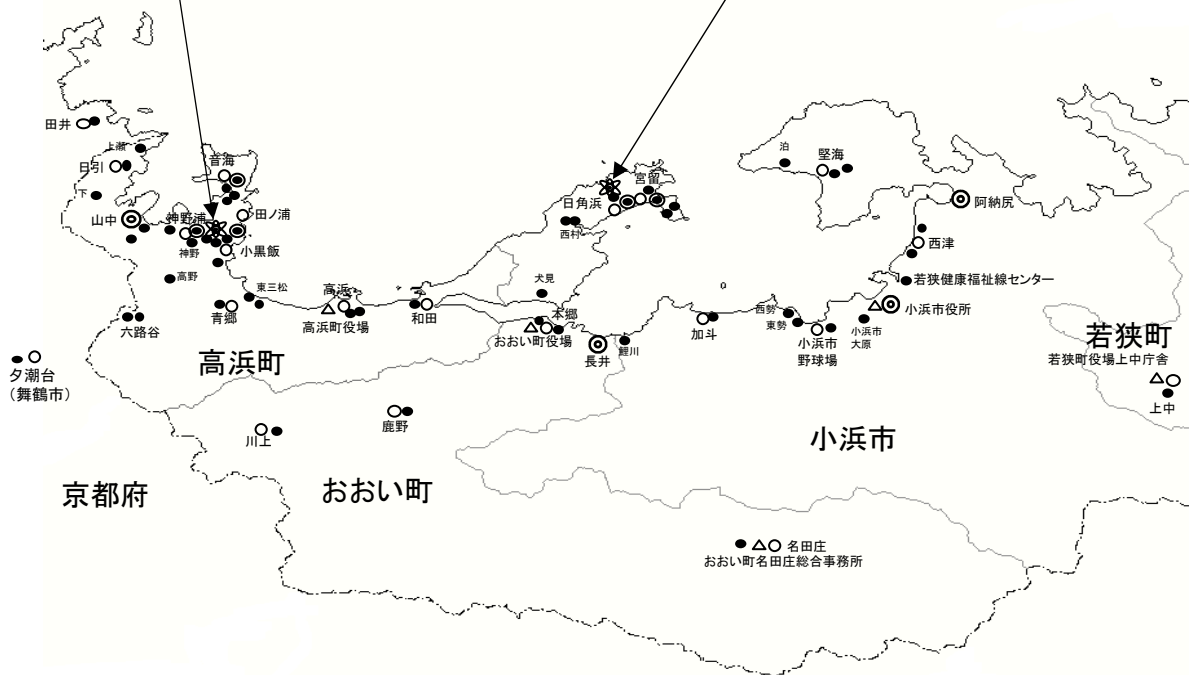
第2図 空間線量率連続測定・積算線量測定地点(全域)

☼	原子力発電所	◎	線量率連続測定地点(県)
●	線量率および浮遊じん連続測定地点(県)	○	線量率連続測定地点(施設者)
○	線量率連続測定地点(施設者)	☆	県テレメータ中央監視局
●	積算線量測定地点(県・施設者)	△	副監視局

線量率(県、施設者)および浮遊じん(県)連続測定の結果は、「環境放射線監視テレメータシステム」により、原子力環境監視センターに一括収集・表示するとともに、12箇所の副監視局(県庁および市町役場等に設置)にも表示している。

関西電力(株)高浜発電所			
1号機	PWR	1974. 11	826MW
2号機	PWR	1975. 11	826MW
3号機	PWR	1985. 1	870MW
4号機	PWR	1985. 6	870MW

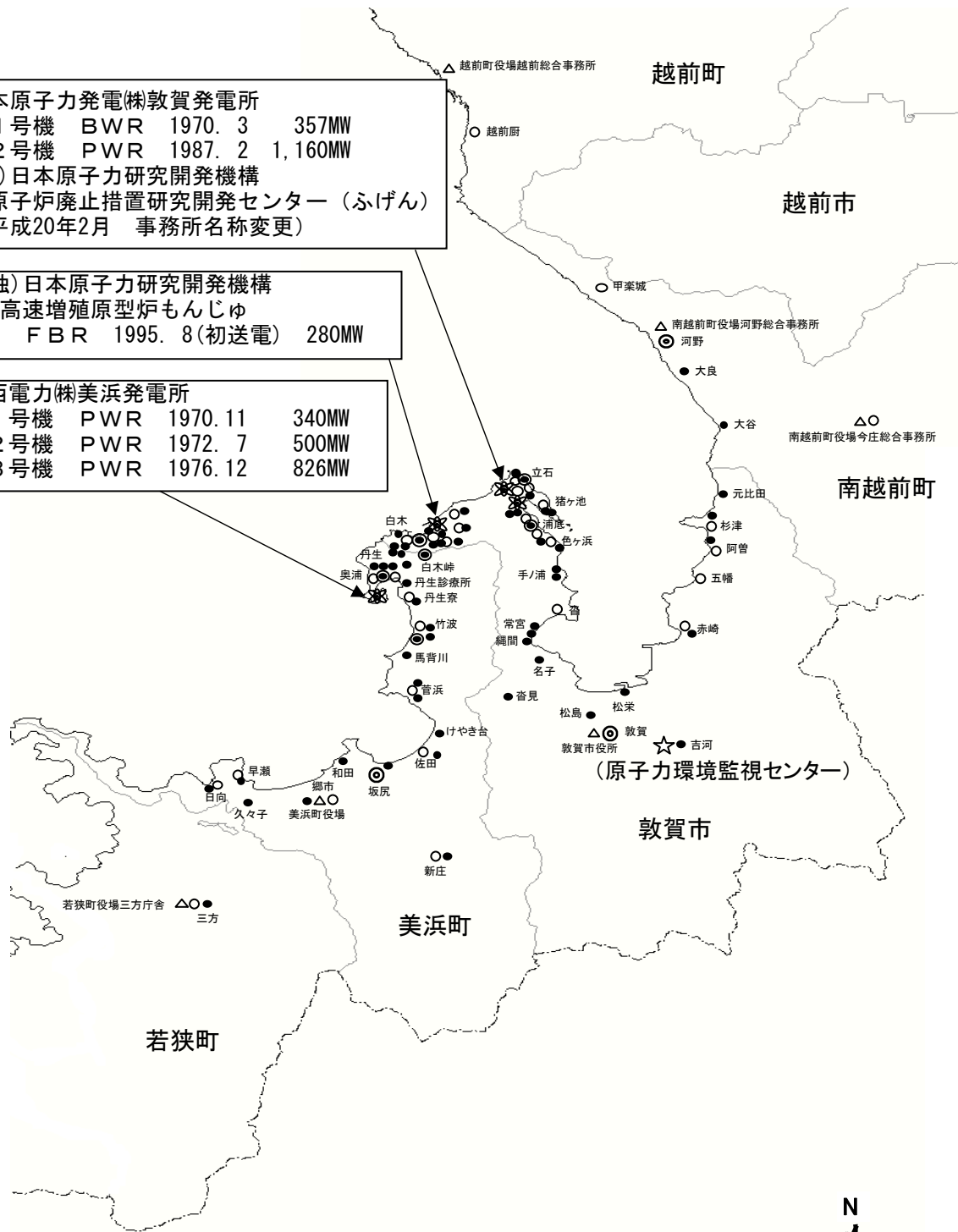
関西電力(株)大飯発電所			
1号機	PWR	1979. 3	1,175MW
2号機	PWR	1979. 12	1,175MW
3号機	PWR	1991. 12	1,180MW
4号機	PWR	1993. 2	1,180MW



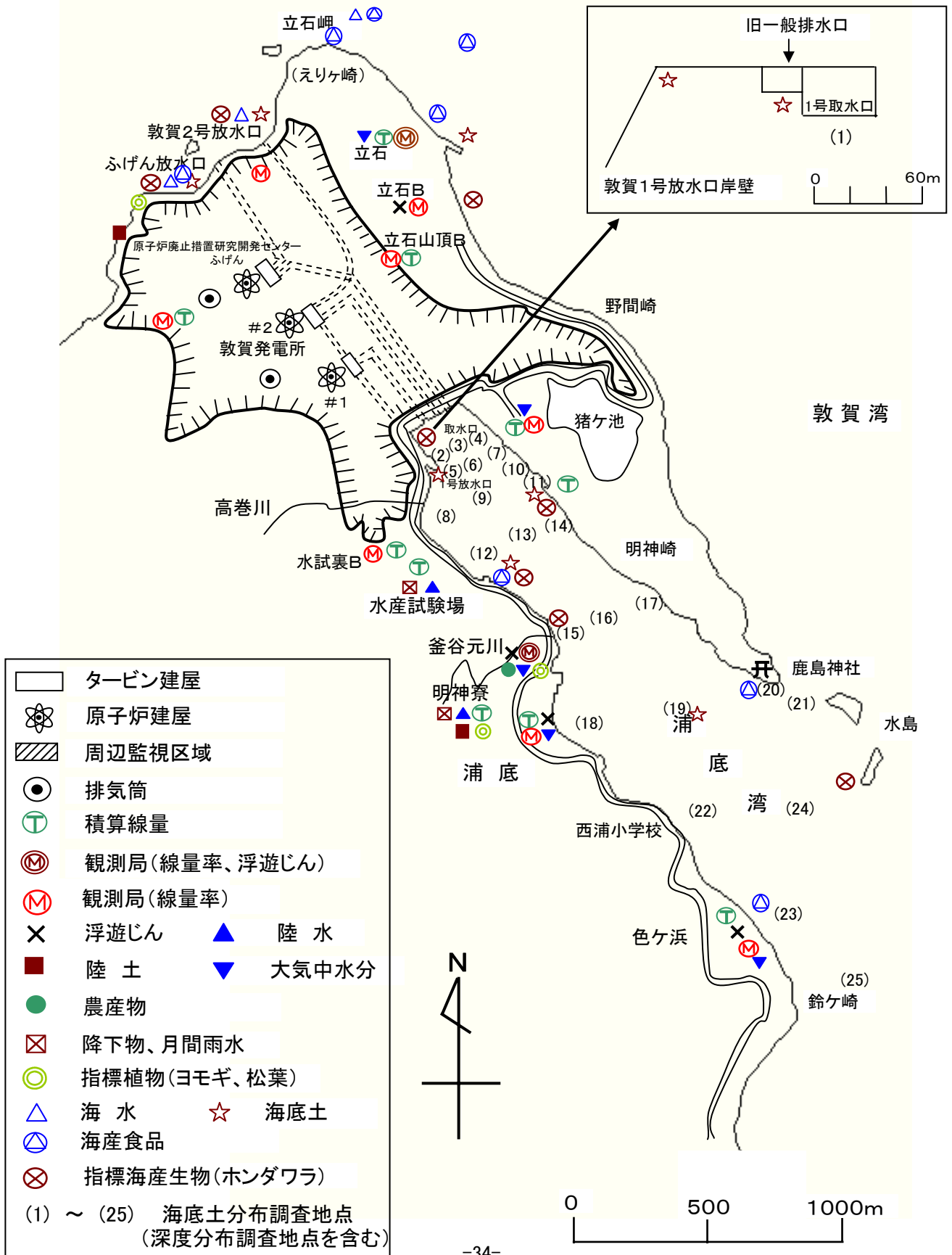
日本原子力発電(株)敦賀発電所
 1号機 BWR 1970. 3 357MW
 2号機 PWR 1987. 2 1,160MW
 (独)日本原子力研究開発機構
 原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん)
 (平成20年2月 事務所名称変更)

(独)日本原子力研究開発機構
 高速増殖原型炉もんじゅ
 FBR 1995. 8(初送電) 280MW

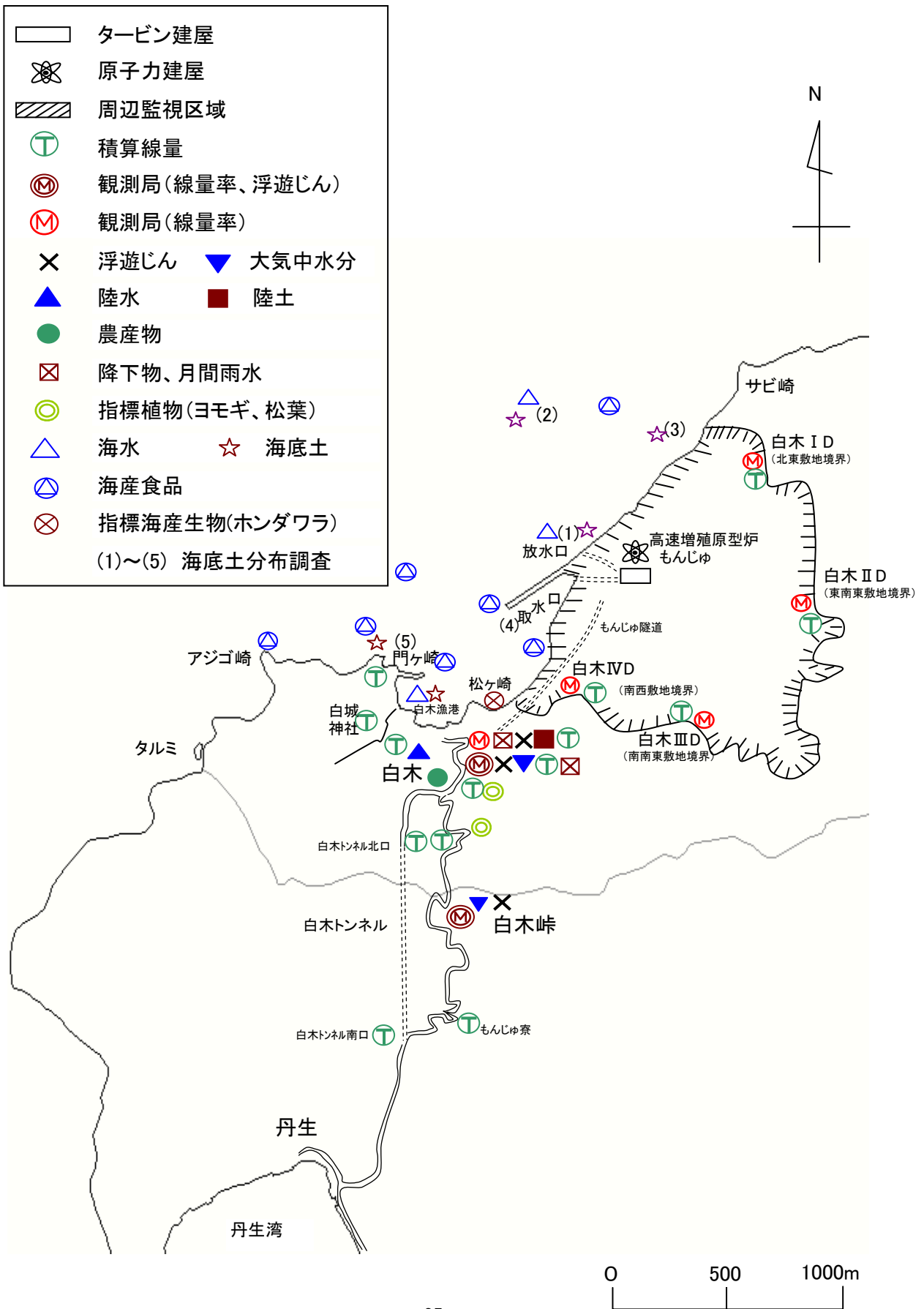
関西電力(株)美浜発電所
 1号機 PWR 1970. 11 340MW
 2号機 PWR 1972. 7 500MW
 3号機 PWR 1976. 12 826MW



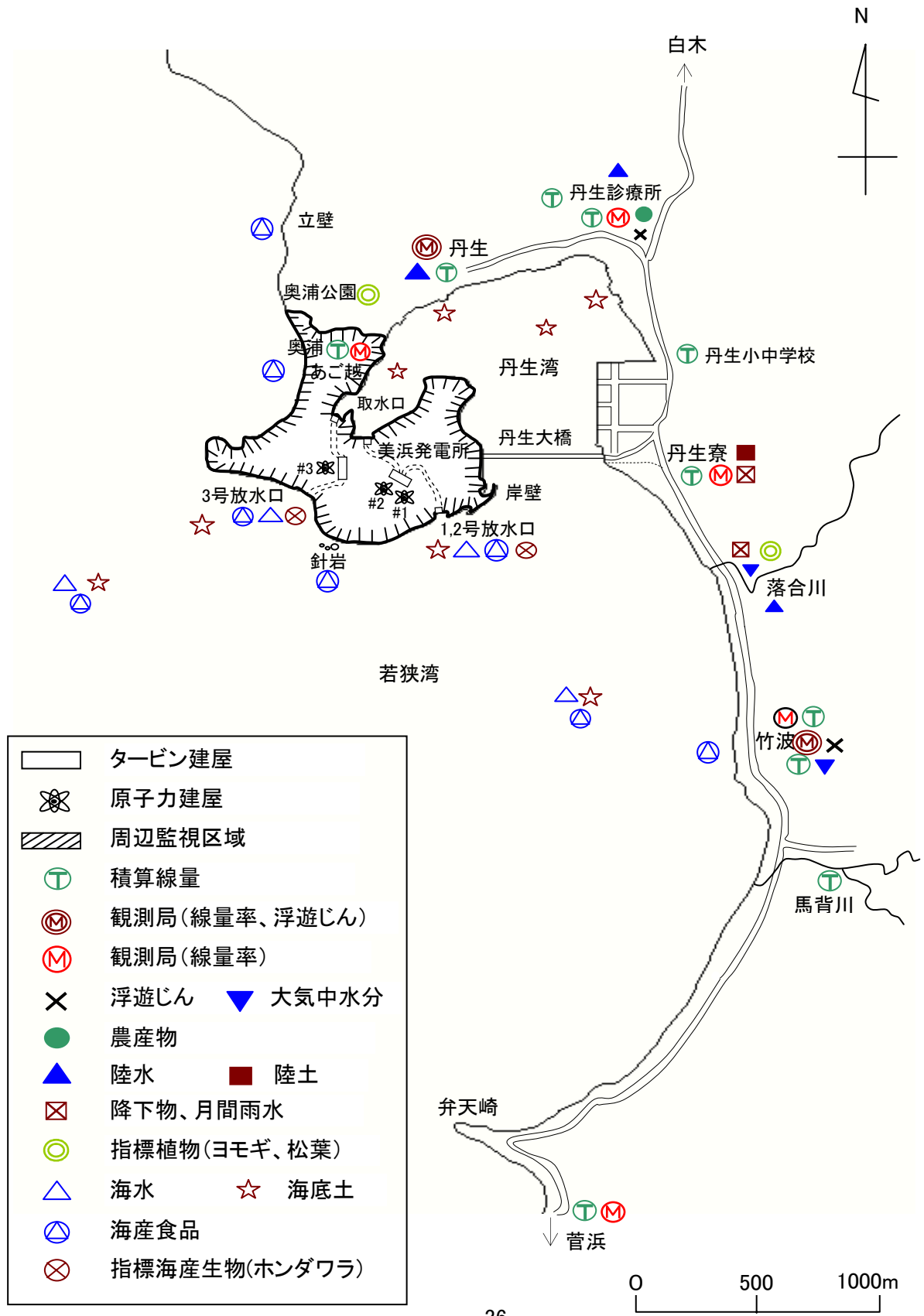
第3図 敦賀発電所および原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん) 周辺の試料採取地点



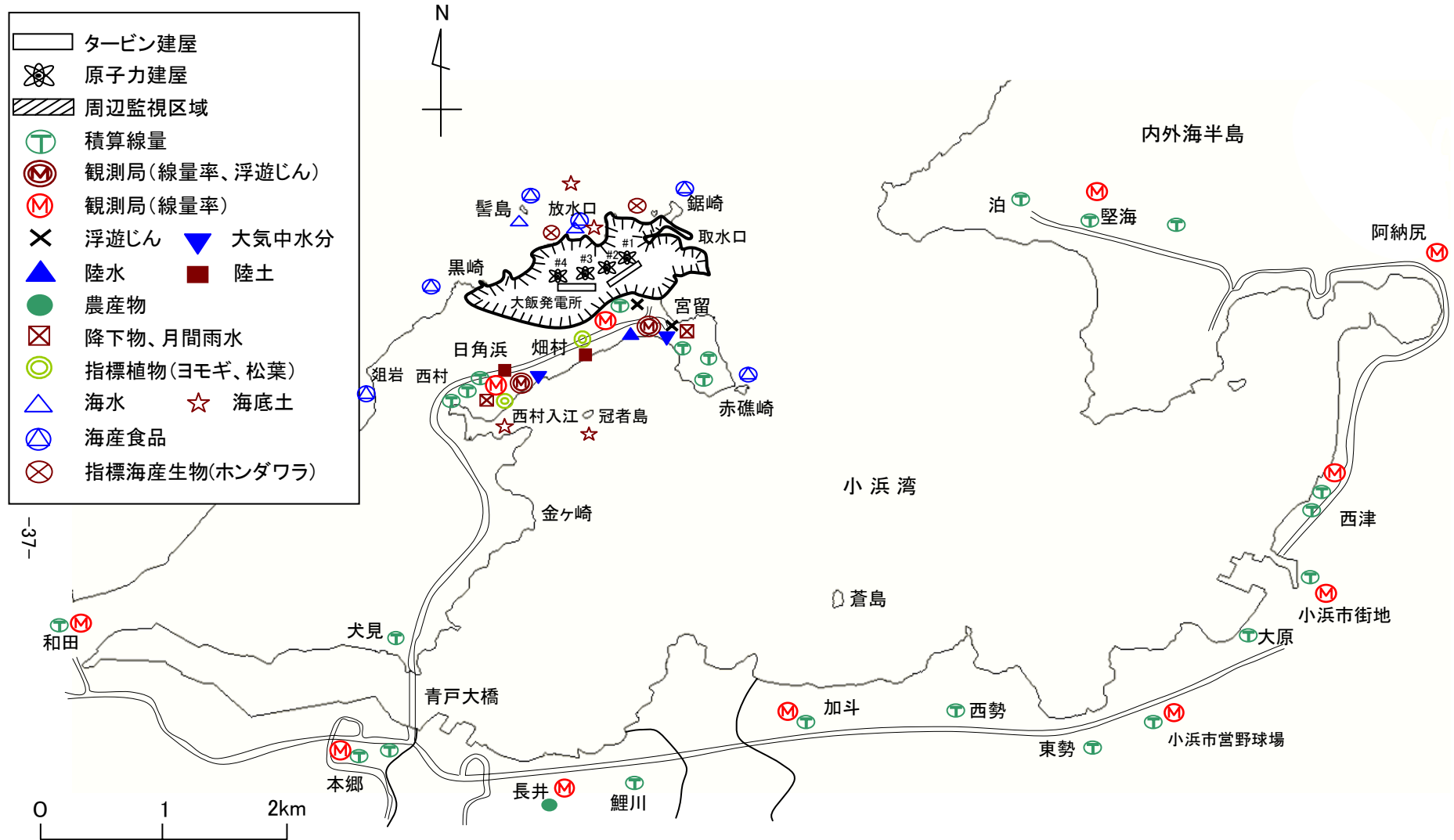
第4図 高速増殖原型炉もんじゅ周辺の試料採取地点



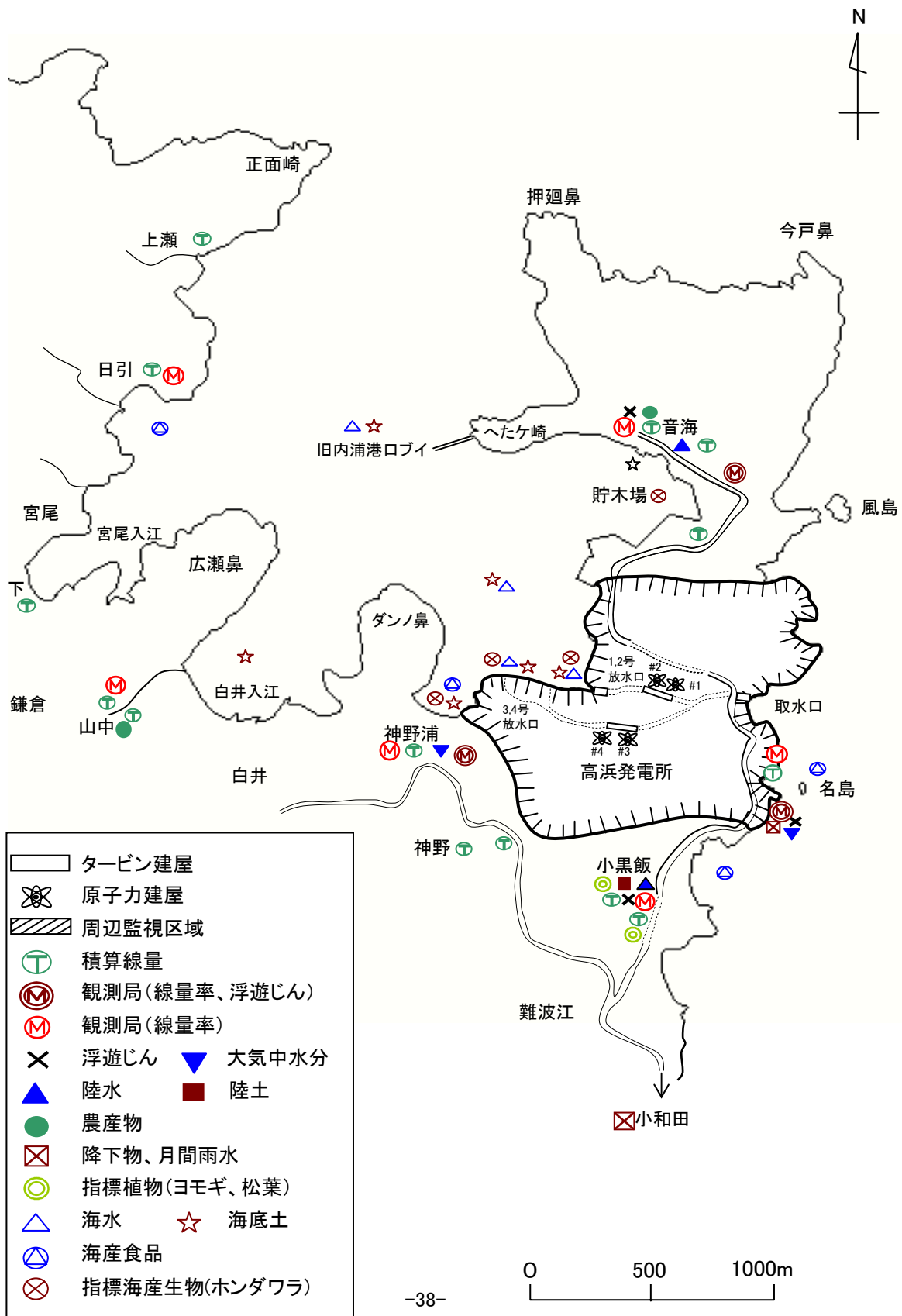
第5図 美浜発電所周辺の試料採取地点



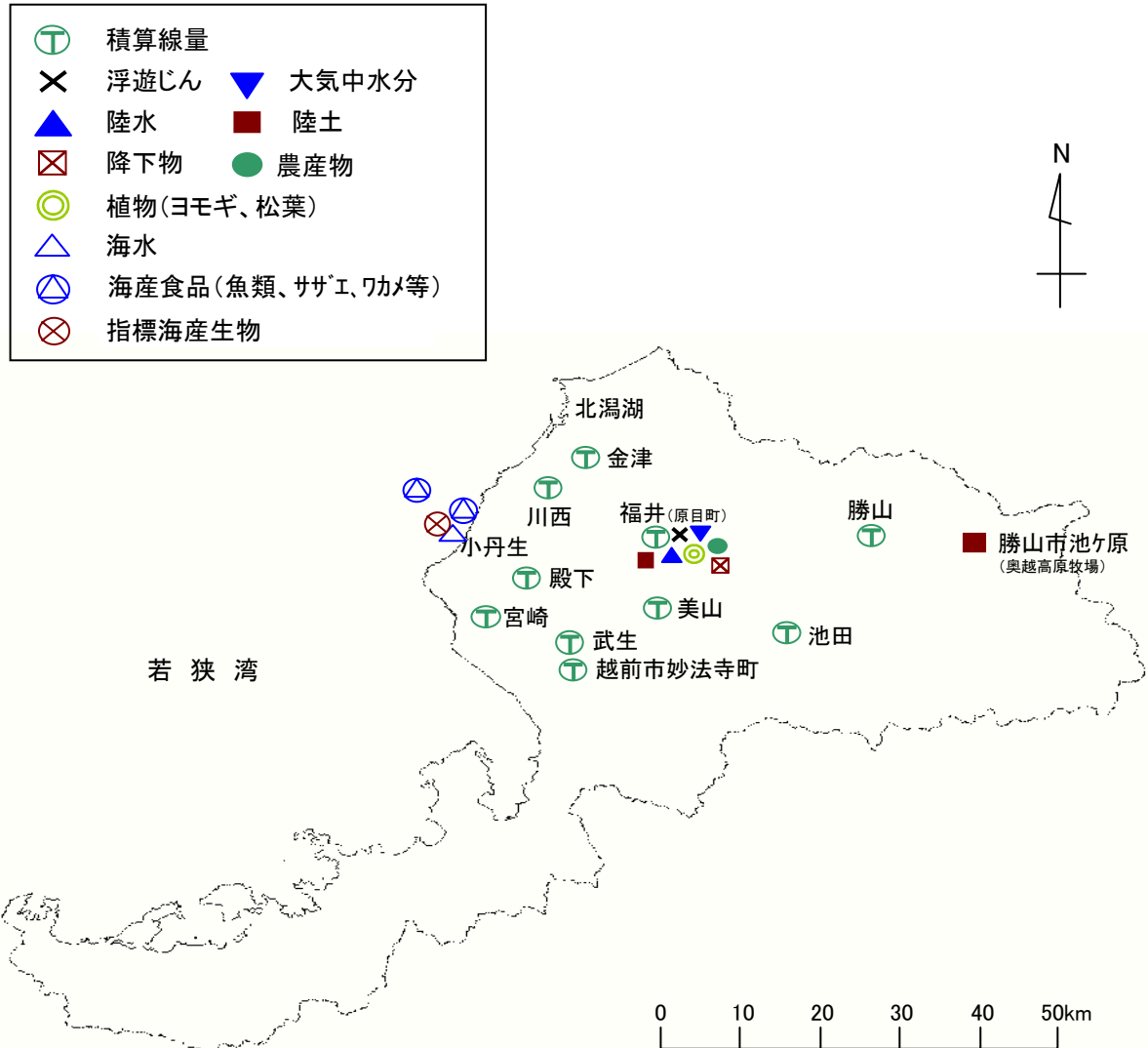
第6図 大飯発電所周辺の試料採取地点



第7図 高浜発電所周辺の試料採取地点



第8図 対照地区（嶺北地方）の試料採取地点



第1表 調査地点の詳細 その1 線量率連続測定

敦賀地区	敦賀 A (福井県敦賀合同庁舎) (1)	大飯地区	小浜 A (小浜市役所) (1)
	浦底 A ☆ (明神寮下県道脇) (2)		日角浜 A ☆ (大島小学校) (2)
	立石 A ☆ (八坂神社) (3)		宮留 A ☆ (大島学園前バス停) (3)
	河野 A (南越前町河野総合事務所) (4)		阿納尻 A (内外海小学校) (4)
	ふげん北 D (北敷地境界付近) (5)		長井 A (地区ゲートボール場横) (5)
	立石 B (集落入口県道脇) (6)		宮留 C (エルパーク大飯下三叉路) (6)
	立石山頂 B (山頂付近) (7)		日角浜 C (大島公民館) (7)
	賀ふげん西 D (西敷地境界付近) (8)		本郷 C (おおい町役場) (8)
	猪ヶ池 B (敦賀原子力館下) (9)		加斗 C (加斗小学校) (9)
	浦底 B (警備派出所跡北) (10)		小浜 C (小浜市営野球場) (10)
	水試裏 B (水産試験場裏) (11)		西津 C (小浜漁協西津支所) (11)
	色ヶ浜 B (白山神社) (12)		堅海 C (県栽培漁業センター) (12)
	杳 D (旧市営駐車場) (13)		川上 C (川上公民館) (13)
	赤崎 D (赤崎区民センター) (14)		鹿野 C (佐分利小学校) (14)
	五幡 B (東浦公民館) (15)		名田庄 C (名田庄観光館) (15)
	阿曾 D (東浦体育館) (16)		上中 C (若狭町上中体育館) (16)
	杉津 B (東浦小中学校下国道脇) (17)		
	甲楽城 B (河野小学校前) (18)		
	今庄 B (南越前町今庄総合事務所) (19)		
	越前厨 D (城崎小学校脇) (20)		
白木地区	白木 A ☆ (松原小学校白木分校跡) (1)	高浜地区	小黒飯 A ☆ (集落北県道脇) (1)
	白木峠 A ☆ (旧道市町境) (2)		音海 A ☆ (音海小中学校プール横) (2)
	松ヶ崎 D (もんじゅ隧道南口付近) (3)		神野浦 A ☆ (気比神社) (3)
	白木Ⅰ D (北東敷地境界) (4)		山中 A (内浦小中学校) (4)
	白木Ⅱ D (東南東敷地境界) (5)		音海 C (音海漁港奥) (5)
	白木Ⅲ D (南南東敷地境界) (6)		田ノ浦 C (南東敷地境界) (6)
	白木Ⅳ D (南西敷地境界) (7)		小黒飯 C (白浜トンネル北口) (7)
美浜地区	丹生 A ☆ (丹生バス停) (1)		神野浦 C (道路脇) (8)
	竹波 A ☆ (竹波集落センター) (2)		日引 C (日引小学校) (9)
	坂尻 A (坂尻トンネル東側出口南) (3)		青郷 C (青郷小学校) (10)
	奥浦 C (奥浦公園奥) (4)		高浜 C (高浜小学校) (11)
	丹生 C (丹生診療所) (5)		和田 C (和田小学校) (12)
	丹生寮 C (関電丹生寮敷地内) (6)		田井 C (田井コミュニティーセンター) (13)
	竹波 C (高那弥神社) (7)		夕潮台 C (夕潮台公園) (14)
	菅浜 C (農業構造改善センター) (8)		
	佐田 C (美浜東小学校) (9)		
	新庄 C (日吉神社) (10)		
	郷市 C (美浜町役場) (11)		
	早瀬 C (水無月神社) (12)		
	日向 C (日向漁業センター) (13)		
	三方 C (若狭町役場三方庁舎) (14)		

☆印の地点では、浮遊じん放射能の連続測定を行っている。

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点

敦賀地区	立石 A 5 (八坂神社)	(1)	美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥)	(1)	
	立石山頂 B 1 (山頂付近)	(2)		丹生診療所 C 6 (丹生診療所)	(2)	
	ふげん西 D 2 (西敷地境界付近)	(3)		丹生 A 4 (中村旅館)	(3)	
	猪ヶ池 B 1 (敦賀原子力館下)	(4)		丹生 C 3 (丹生漁港)	(4)	
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地)	(5)		丹生小中学校A	(5)	
	水産試験場 B 2 (水産試験場)	(6)		丹生寮 C 5 (関電丹生寮)	(6)	
	明神寮 B 2 (明神寮)	(7)		竹波 A 4 (竹波集落センター)	(7)	
	浦底 A 5 (剣神社)	(8)		竹波 C 5 (高那弥神社)	(8)	
	水試裏 B 1 (水産試験場裏)	(9)		馬背川 C 2 (ポンプ場)	(9)	
	色ヶ浜 A 3 (本隆寺)	(10)		菅浜 A 3 (旧菅浜保育所)	(10)	
	手ノ浦 A 3 (舟幸寺)	(11)		菅浜 C 2 (民宿藤田横)	(11)	
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺)	(12)		けやき台 C 1 (けやき台ハイツ)	(12)	
	沓 B 5 (常福寺)	(13)		佐田 A 2 (旧山東保育所)	(13)	
	常宮 A 3 (常宮小学校)	(14)		坂尻 C 2 (三谷商店前)	(14)	
	常宮 B 3 (常宮神社敷地)	(15)		新庄 C 3 (日吉神社)	(15)	
	縄間 B (宗清寺)	(16)		和田 A (ふる里交流センター)	(16)	
	名子 B 1 (名子バス停)	(17)		郷市 C 6 (美浜町役場)	(17)	
	松島 B 3 (原電松島寮)	(18)		久々子 C 1 (県園芸試験場)	(18)	
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎)	(19)		早瀬 C 5 (水無月神社)	(19)	
	赤崎 A 3 (赤崎小学校グラウンド)	(20)		日向 C 5 (日向漁業センター)	(20)	
	阿曾 A 2 (ふれあい会館)	(21)		三方 C 4 (若狭町役場三方庁舎)	(21)	
	杉津 A 4 (東浦小中学校)	(22)		沓見 C (原子力発電訓練センター)	(22)	
	元比田 A 5 (集落掲示板横)	(23)		大飯地区	赤礁崎 C (関電あかぐり崎クラブ)	(1)
	大谷 A 3 (八幡神社)	(24)			宮留奥 A (あかぐり海釣公園)	(2)
	大良 B (大良集会所)	(25)			宮留 A 6 (大島学園前バス停)	(3)
	吉河 A 2 (原子力センター)	(26)			宮留 C 3 (エルパーク大飯下三叉路)	(4)
白木 I D 2 (北東敷地境界)	(1)	日角浜 C 3 (大島公民館)	(5)			
白木 II D 2 (東南東敷地境界)	(2)	西村 A 2 (常禅寺)	(6)			
白木 III D 2 (南南東敷地境界)	(3)	西村 C 1 (西村トンネル南口県道脇)	(7)			
白木 IV D 2 (南西敷地境界)	(4)	犬見 C 2 (集落手前道端)	(8)			
白木 A 4 (白木観測局)	(5)	本郷 A 4 (町営住宅)	(9)			
白木 D 6 (松原小学校白木分校跡)	(6)	本郷 C 5 (おおい町役場)	(10)			
松ヶ崎 D 2 (機構モータステーション)	(7)	鯉川 A 2 (牛尾神社)	(11)			
白城神社 A 2 (神社鳥居横)	(8)	加斗 A 4 (加斗小学校)	(12)			
白城神社 D 4 (//)	(9)	西勢 A 2 (民宿つどい前分校跡)	(13)			
門ヶ崎 D 3	(10)	東勢 C 1 (旧道脇)	(14)			
白木トンネル北口 A 2	(11)	小浜市野球場 C 2 (小浜市営野球場)	(15)			
白木トンネル北口 D 3	(12)	小浜市大原 A 3 (栖雲寺)	(16)			
白木トンネル南口 A 2 (渓流水貯水池横)	(13)	若狭健康福祉センター A 2	(17)			
もんじゅ寮 D 1 (もんじゅ寮前)	(14)	西津 A 2 (水産高校)	(18)			
		西津 C 3 (小浜漁協西津支所)	(19)			
		堅海 A 2 (堅海小学校跡)	(20)			
		堅海 C 3 (県栽培漁業センター)	(21)			
		泊 C 2 (大谷旅館前)	(22)			
		川上 C 4 (川上公民館)	(23)			
		鹿野 C 5 (佐分利小学校)	(24)			
		名田庄 C 3 (名田庄観光館)	(25)			
		上中 C 3 (若狭町上中体育館)	(26)			

第1表 調査地点の詳細 その2 積算線量測定地点(つづき)

高 浜 地 区	音 海	A 3	(児玉旅館)	(1)	対 照 地 区	金 津	A 2	(坂井健康福祉センター)	(1)
	音 海	C 4	(音海漁港奥)	(2)		川 西	A 3	(川西中学校)	(2)
	音海県道	C 1	(サンエイ高浜工場前)	(3)		福井市原目町	A 2	(福井分析管理室)	(3)
	田ノ浦	C	(関電モーターステーション)	(4)		殿 下	A 3	(殿下小学校)	(4)
	小黒飯	A 3	(寿奎寺裏旧道脇)	(5)		勝 山	A 3	(奥越土木(勝山))	(5)
	小黒飯	C 3	(白浜トンネル北口)	(6)		美 山	A 4	(美山児童館)	(6)
	神野小学校	A		(7)		宮 崎	A 3	(宮崎中学校)	(7)
	神 野	A 4	(桃源寺)	(8)		武 生	A 2	(丹南土木事務所)	(8)
	神 野 浦	C 2	(集落南西道路脇)	(9)		越前市妙法寺町	A	(白山神社)	(9)
	山 中	A 3	(内浦小中学校)	(10)		池 田	A 2	(池田町役場)	(10)
	山 中	C 2	(内浦農協)	(11)					
	下	A 2	(産霊神社)	(12)					
	日 引	C 3	(日引小学校)	(13)					
	上 瀬	A 2	(山神神社)	(14)					
	六 路 谷	A 3	(ふれあい会館)	(15)					
	六 路 谷	C 2	(杉森神社横)	(16)					
	高 野	C	(青郷小学校高野分校)	(17)					
	青 郷	C 2	(青郷小学校)	(18)					
	東 三 松	A 4	(東三松グラウンド)	(19)					
	東 三 松	C 2	(民宿萩の家)	(20)					
	高浜町役場	A 3	(高浜町役場前庭)	(21)					
	高 浜	C	(高浜小学校)	(22)					
	和 田	C 3	(和田小学校)	(23)					
	田 井	C 3	(田井コミュニティーセンター)	(24)					
	夕 潮 台	C 2	(夕潮台公園)	(25)					

第1表 調査地点の詳細 その3 陸上試料採取地点(定点)

項目	地区	採取地点
大 ヨ 気 ウ 中 素 131	敦賀	浦底A (県テレメ観測局)
	白木	白木A //
	美浜	竹波A //
	大飯	宮留A //
	高浜	小黑飯A //
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) *
		立石B (原電モニタステーション)
		浦底A (県テレメ観測局)
		浦底B (原電モニタステーション)
	白木	色ヶ浜B //
		白木A (県テレメ観測局)
		白木峠A (県テレメ観測局) *
		松ヶ崎D (機構モニタステーション)
	美浜	丹生A (県テレメ観測局) *
		丹生C (関電モニタポスト)
		竹波A (県テレメ観測局)
		宮留A (県テレメ観測局)
	大飯	宮留C (関電モニタポスト)
		日角浜A (県テレメ観測局) *
		音海A (県テレメ観測局) *
		音海C (関電モニタポスト)
	高浜	小黑飯A (県テレメ観測局)
		小黑飯C (関電モニタポスト)
		神野浦A (県テレメ観測局) *
		対照 福井市原目町 (福井分析管理室)
陸 水	敦賀	浦底 (水試蛇口)
		" (明神寮蛇口)
	白木	白木 (民家蛇口)
	美浜	丹生 (民家蛇口)
	大飯	宮留 (民家蛇口)
	高浜	音海 (民家蛇口)
対照	福井市原目町 (福井分析管理室蛇口)	
大 気 中 水 分	敦賀	立石A (八坂神社)
		猪ヶ池B (敦賀原子力館下)
		浦底A (明神寮下県道脇)
		浦底B (原電モニタステーション)
	白木	色ヶ浜B (原電モニタステーション)
		白木A (松原小白木分校跡)
		白木峠A (旧道市町境)
		竹波A (竹波集落センター)
	美浜	竹波C (落合川取水場)
		宮留A (大島学園前バス停)
	大飯	日角浜C (大島公民館)
		高浜
	対照	神野浦C (道路脇)
		福井市原目町 (福井分析管理室)

項目	地区	採取地点
陸 土	敦賀	浦底 (明神寮) 敦賀発電所北端周辺
	白木	松ヶ崎 (機構モニタステーション)
	美浜	丹生 (関電丹生寮敷地内)
	大飯	日角浜 (島山神社)
	高浜	小黑飯 (旧道脇)
対照	福井市原目町 (衛環センター車庫裏)	
	勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)	
指 標 植 物	敦賀	浦底 (明神寮下県道脇)
	白木	白木 (松ヶ崎付近)
	美浜	竹波 (落合川取水場付近)
	大飯	日角浜 (島山神社付近)
	高浜	小黑飯 (旧道脇)
対照	福井市原目町 (福井分析管理室付近)	
松 葉	敦賀	浦底 (明神寮)
	美浜	丹生 (奥浦公園入口付近)
	大飯	畑村 (道路脇)
	高浜	小黑飯 (白浜トンネル上)
降 下 物	敦賀	浦底 (水試屋上)
		浦底 (明神寮)
	白木	松ヶ崎 (機構モニタステーション)
	美浜	竹波 (落合川取水場)
		丹生 (関電丹生寮敷地内)
	大飯	宮留A (県テレメ観測局)
		日角浜 (ヴィラ大島)
	高浜	小黑飯A (県テレメ観測局)
対照	小和田 (小和田ポンプ所) 福井市原目町 (福井分析管理室)	

(注1) 浮遊じん採取地点のうち、*の地点は3ヶ月間の集合試料を分析。

(注2) 大気中水分採取地点のうち、竹波Cおよび福井市原目町を除いては、線量率観測局舎内に設置した除湿器で採取している。

(注3) 海洋試料の詳細な採取地点は図3～図8の採取地点図と各測定結果の採取地点欄に示されている。

第2表 空間線量測定法

積算線量	県 関電	各地点に3本(6素子)の熱ルミネッセンス線量計(TLD)を配備し3ヶ月毎の積算線量を測定	測定器の校正は ¹³⁷ Csで約0.2~0.3mGy照射したTLDを使用
	原電	各地点に1台の電子線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	電子式線量計の校正は ¹³⁷ Csで約0.2~0.3mGy照射して実施
	原子力 機構	各地点に4個の蛍光ガラス線量計を配備し、3ヶ月毎の積算線量を測定	蛍光ガラス線量計の校正は ¹³⁷ Csで約0.2~0.3mGy照射して実施
線量率 (連続測定)	県	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約2.8mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②約14ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ²²⁶ Raの3.7MBq等の線源を用い垂直方向1mで照射して実施。 電離箱については ²²⁶ Ra 3.7MBqを用い、感度確認を実施。
	原電	軽量気泡コンクリート(屋根は鉄筋コンクリート)製固定観測局屋上の地上高約4.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ²²⁶ Raの3.7MBq等の密封線源を用い垂直方向1mで実施。
	関電 美浜	鉄筋コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.2mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	関電 大飯 高浜	軽量気泡コンクリート製固定観測局屋上の地上高約3.4m(高浜は約3.5m)に設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ(高浜は14ℓ)球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	
	原子力 機構	鉄筋コンクリート製固定観測局で地上高約3.5mに設置した①エネルギー補償方式の2"φ×2"(ふげん西D、ふげん北Dは3"球形)NaI(Tl)シンチレーション式線量率計(3MeV以上はカット)および②14.5ℓ球形加圧型の電離箱式線量率計を用いて、テレメータシステムにより集中監視。	NaI(Tl)測定器の校正は ²²⁶ Ra3.7MBqの線源を用い垂直方向1mで実施。
線量率 (モータリク ^レ カー)	県	車:ワンボックス 検出器:2"φ×2"NaI(Tl)	検出器位置:屋根(地上高2.7m)
	原電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2"NaI(Tl)	検出器位置:窓際(地上高1.5m)
	関電	車:ワゴン 検出器:2"φ×2"NaI(Tl)	検出器位置:屋根(地上高3.5m)
	原子力 機構	車:マイクロバス 検出器:2"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)	車:マイクロバス 検出器:3"球形NaI(Tl) 検出器位置:屋根(地上高2.9m)

第3表 浮遊じん放射能の連続測定法

浮遊じん (連続測定)	県	HE-40T長尺ろ紙(90m)を用い毎分約100ℓで3時間吸引し、ろ紙をステップ送りする。吸引中、ろ紙に吸着した放射能のアルファ(α)線およびベータ(β)線をZnS塗布プラスチックシンチレーション検出器(有効径50mmφ、0.5mm厚)を用いて波形弁別方式により同時測定し、それぞれの計数值より平衡仮定した3時間平均濃度を求め、β/α放射能濃度比を求める。(平成9年度機器更新、平成10年度より新装置)	校正は測定装置集塵面と同一形状の標準線源(U ₃ O ₈ 、 ²⁴¹ Am、 ³⁶ Cl)により実施。
----------------	---	---	---

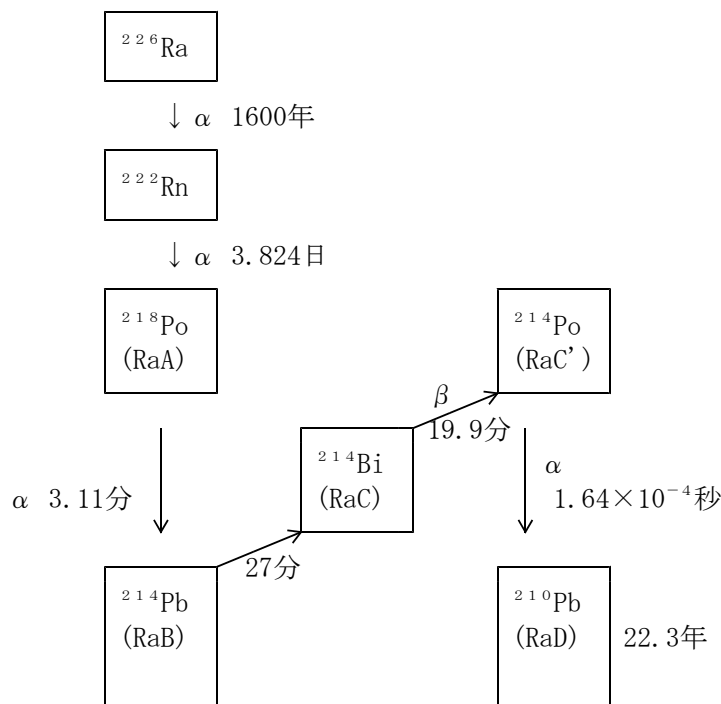


図1 ラドン(Rn)娘核種崩壊系列

浮遊じん放射能の連続測定において算出している放射能濃度は、ラドンの娘核種RaA、RaB、RaC、RaC'、それぞれの比が1:1:1:1と仮定して計算されるラドン娘核種あたりの平衡仮定濃度である。

$$Q = \frac{\lambda \cdot C \times 10^3}{\varepsilon \cdot \zeta \cdot \eta \cdot q \cdot F(S, T) \cdot \kappa} \quad \text{---- (1)}$$

Q : ラドン娘核種濃度 (Bq/m³)、λ : RaA の崩壊定数(sec⁻¹)

C : 測定時間中の正味の計数值、ε : 計数効率、ζ : 発現効率

η : 捕集効率、q : 捕集流量 (ℓ・sec⁻¹) κ : 補正係数

F(S, T) : Batemannの式の解(sec)

S : 捕集開始から現在までの時間(sec)、T : 計数開始から現在までの時間(sec)

平衡仮定濃度Qは、α計数值、β計数值からそれぞれ求められ(Q_A、Q_Bとする)、Q_Aに対するQ_Bの比率(Q_B/Q_A=R_{B/A})をモニタリングの指標としている。通常では、ほとんどがラドン娘核種による計数值であるため、R_{B/A}はほぼ一定であるが、発電所の寄与があった場合、放出される核種はほとんどがβ線放出核種であり、β計数值が増えるため、R_{B/A}が上昇する。

空気中のガス状ヨウ素-131に対しては、ろ紙を通過した空気を50℃に加温し、毎分20ℓでCHC-50(TEDA添着活性炭)に通して捕集し、ゲルマニウム測定器でバッチ測定している。

第4表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析測定法

区分	試料	測定試料形態	測定用試料量	目的核種	参考核種	天然核種	
陸上モニタリング	大気	県：活性炭カートリッジ CHC-50 (TEDA添着炭)	県：約 400m ³ (連続採取)	¹³¹ I (ガス状)			
	浮遊じん	県ろ紙：HE-40T " "：GB-100R 原電 "：HE-40T 関電・機構："	県：約4000m ³ (連続採取) "：約2000m ³ (1日採取) 原電：約2000m ³ (連続採取) 関電・機構：約2000m ³ (")	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	
	陸水	県：直接(マリネリビーカー) その他：樹脂吸着	県：2ℓ その他：5ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs			
	陸土	乾燥ふるい、2mm以下 (0~5cmで採取)	乾土 300g以上	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K Th-, U-系列	
	農産物 植物	乾燥物 (粉砕)	生 500g以上 生 400g以上(籾)	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be, ⁴⁰ K	
	降下物	樹脂吸着	県・原電・関電：約 0.2m ² 以上 原子力機構：約 0.5m ²	⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁴⁰ Ba	⁷ Be	
海洋モニタリング	海水	MnO ₂ 法、AMP法	20ℓ	⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe, ¹³⁴ Cs		
	海底土	乾燥ふるい、2mm以下 (主にエクマンバースで採取)	乾土 300g以上	¹³⁷ Cs		⁷ Be, ⁴⁰ K Th-, U-系列	
	海産 食品	魚類	灰化物	生 1Kg以上	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce	⁷ Be, ⁴⁰ K
		貝類	灰化物	生(除殻) 200g以上			
	藻類	乾燥物 (粉砕)	生 500g以上	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs			
指標海産生物	乾燥物(粉砕)	ホンダワラ：生、1Kg以上	²² Na, ⁵⁴ Mn, ⁵⁸ Co, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I, ¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru, ¹⁴⁴ Ce ¹⁴⁰ Ba			

(注) 計測時間は500分以上。試料採取から測定までの期間は、浮遊じんは3日以後、陸水・農産物・植物・降下物・藻類・ホンダワラは10日以内、陸土・海底土・魚貝類は30日以内を目標とする。測定容器は各機関ともプラスチック製カップウェア V-1 (直径60mm、高さ30mm)、V-2 (同80mm、40mm)、V-3 (同95mm、50mm)、マリネリ容器(2ℓ)を使用する。

第4-2表 ゲルマニウム半導体検出器による核種分析の検出目標値

試料	²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	表示単位
陸上モニタリング	大気	△	△	△	△	△	0.2
	浮遊じん	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.2
		△	200	200	200	200	400
	陸土	△	2	2	1.5	1.5	△
	農産物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8
	指標植物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8
	松葉	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2
海洋モニタリング	降下物	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	2
	海水	△	8	8	8	8	△
	海底土	△	2	2	2	2	△
	魚類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	△
	貝類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	△
	食用藻類	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8
	指標海産生物	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8

(注) △ は対象外。

第5表 液体シンチレーション検出器によるトリチウム測定法

分析試料	採取方法	測定試料	測定
蛇口水	蛇口より直接採取	採取時試料	蒸留後、試料水40mℓ「50mℓ」に乳化シンチレータ60mℓ「50mℓ」を加え冷暗所に放置。500分(50分×10回)測定。検出限界値 0.5~1 Bq/ℓ。 (注)「」内は、原子力機構が採用
河川水	河川より直接採取	採取時試料	
大気中水分	除湿機による	月間試料	
雨水	トリチウム用雨水採取器	3ヶ月間の月別等量混合試料	
海水	船から直接採取	採取時試料	

(注) トリチウム分析結果はBq/ℓで表示する。

第6表 ストロンチウム-90・プルトニウム測定法

区分	種類	分析試料量	
		ストロンチウム-90 (県)	プルトニウム (県、機構)*
海底土	——	——	県: 20g乾土、機構: 20g乾土
陸土	——	——	県: 20g乾土、機構: 50g乾土
降下物	——	樹脂灰化物全量	県: 樹脂灰化物全量
指標植物	ヨモギ	生500~1,000g(灰10~20g)	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
農産物	大根葉	——	県: 生、約1,000g(灰、約10g)
海産食品	魚類(ミンナ、ハマチ等)	——	県: 生500~1,000g(灰10~20g)
	貝類(サエ、アヒ)		機構: 生500~1,500g(灰20g)
	藻類(ワカメ等)		
指標海産生物	ホンダワラ	生200~300g(灰10~20g)	県: 生200~400g(灰10~20g)
測定条件等	——	[目的核種]Sr-90 [分離法]エタノール・エーテル法 [測定時間]80,000秒以上	[目的核種]Pu-239(+240)、238 [分離法]県、機構: 陰イオン交換法 [測定時間]県: 80,000秒以上 (通常200,000秒) 機構: 80,000秒

* 県: 福井県原子力環境監視センター 機構: (独)日本原子力研究開発機構

第7表 測定器

	県	原電	関電	原子力機構
積算線量	パナソニックUD-5160P UD-200S	富士電機 NSD3	パナソニック UD-512P UD-5120PGL UD-200S	旭テクノガラス FGD-202 FGD-202S SC-1
線量率 (連続測定)	東芝 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 東芝 約14ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【美浜地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 約780kPa 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕	【敦賀、白木地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 (ふげん西D、ふげん 北Dは3"型) 富士; 14.5ℓ球形 電離箱Arガス 8気圧 〔両検出器とも Aℓ 1mmカバー付、検 出部へ定温送風〕
			【大飯地区】 富士 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 富士 14.5ℓ球形電離箱 Arガス 8気圧 〔両検出器とも A1mmカバー付き、検 出部へ定温送風〕	【高浜地区】 アロカ 2"φ×2"NaI(Tl) エネルギー, 温度補償型 アロカ 14ℓ球形電離箱 N ₂ +Arガス 4気圧 〔両検出器とも A1mmカバー付き、検 出部へ定温送風〕
浮遊じんの 放射能 (連続測定)	富士電機 検出器2"φ プラスチックシンチレータ、 ZnS(Ag)シンチレータ塗布			
トリチウム	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5	アロカ LSC-LB5, LSC-LB3
ガンマ線 スペクトロ メトリー	オルテック GEM50 HPGe54% オルテック GEM45-S HPGe55% キャンベラ GC5019 HPGe57% キャンベラ GX-4519 γ-XHPGe59% オルテック GEM-30185 HPGe37% キャンベラ製 波高分析器 4台 セイコーEG&G製 波高分析器 1台	オルテック GEM-30195 HPGe 35% オルテック GEM-30195 HPGe 31% オルテック GEM-30195 HPGe 35% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 COMPAC WINDOWS2000サーバ	オルテック GEM-35190 HPGe38% オルテック GEM-30185 HPGe31% アプテック CS25-A31C-N HPGe27% プリンスガンマーテック IGC30185SD HPGe34% オルテック GEM-35190 HPGe38% オルテック GEM-35190 HPGe38% 東芝製 波高分析器 6台 東芝製 FA3100 3台	オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe34% オルテック GEM-30185 HPGe32% オルテック GEM-45190 HPGe51% セイコーEG&G 7700シリーズ 波高分析器 2台 富士通 FMV611G 2台
ストロンチウム	富士電機ビコバータ1インチ			
アルファ 放射能 (プルトニウム 239+240)	オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BUO20-045-AS セイコーEG&G MCA7700			オルテック表面障壁型シリコン半導体 検出器 BR-SNA-450-100 セイコーEG&G MCA7600

4. 付

- 4. 1 空間放射線の構成成分
- 4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果
- 4. 3 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について
- 4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果
- 4. 5 新・旧リーダ間の測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の検定について

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	敦賀A	4月	66.3	50.7	53.3	2.5	20	20	0	56.2
		5月	61.5	50.3	53.1	2.2	14	11	3	
		6月	95.4	50.0	53.4	3.9	14	14	0	
		7月	66.0	50.2	53.2	2.2	6	3	3	
		8月	68.1	50.4	53.6	2.5	8	7	1	
		9月	71.7	50.4	53.7	3.1	14	14	0	
		10月	73.5	50.3	53.6	2.6	18	18	0	
		11月	83.4	41.8	54.3	4.7	15	15	0	
		12月	84.1	50.7	55.0	5.4	27	27	0	
		1月	87.7	43.3	54.6	6.2	12	12	0	
		2月	73.4	50.5	54.2	3.6	18	18	0	
		3月	76.6	50.1	53.4	3.9	20	20	0	
		年間	95.4	41.8	53.8	3.8	186	179	7	
浦底A	浦底A	4月	86.2	62.8	65.7	3.1	24	24	0	66.3
		5月	81.4	62.8	65.7	2.4	20	20	0	
		6月	89.7	62.4	66.0	3.3	18	18	0	
		7月	75.0	62.7	65.5	1.6	9	9	0	
		8月	88.1	63.5	66.5	2.1	14	14	0	
		9月	86.8	62.5	66.6	2.8	24	24	0	
		10月	86.2	63.8	66.5	2.4	20	20	0	
		11月	107.6	63.8	67.6	5.0	14	14	0	
		12月	108.6	63.5	67.6	6.1	23	23	0	
		1月	105.7	58.6	67.9	6.6	11	11	0	
		2月	93.7	63.7	66.9	3.7	18	18	0	
		3月	119.7	63.9	66.5	4.8	14	14	0	
		年間	119.7	58.6	66.6	4.0	209	209	0	
立石A	立石A	4月	74.2	59.6	61.7	2.0	22	22	0	62.7
		5月	68.5	59.9	61.9	1.2	12	12	0	
		6月	74.8	59.6	62.3	1.8	17	17	0	
		7月	67.5	59.9	62.3	1.1	6	6	0	
		8月	82.8	61.0	63.3	1.5	11	11	0	
		9月	75.7	60.7	63.3	1.9	20	20	0	
		10月	74.1	61.2	63.2	1.4	16	16	0	
		11月	81.4	60.5	63.5	2.5	17	17	0	
		12月	88.9	60.3	63.2	4.0	25	25	0	
		1月	93.8	58.5	63.9	4.6	14	14	0	
		2月	81.2	60.0	62.8	2.6	17	17	0	
		3月	99.5	60.1	62.2	3.6	13	13	0	
		年間	99.5	58.5	62.8	2.7	190	190	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率	
								降雨	その他		
敦賀	河野A	4月	57.0	41.4	43.3	2.2	25	25	0	43.8	
		5月	53.3	41.1	43.0	1.6	25	25	0		
		6月	60.6	40.7	43.2	2.5	22	22	0		
		7月	51.8	41.1	42.8	1.2	17	15	2		
		8月	65.5	41.0	43.1	1.9	16	16	0		
		9月	56.5	41.1	43.1	1.8	22	22	0		
		10月	57.3	41.5	43.1	1.8	19	19	0		
		11月	70.8	41.5	44.4	3.5	12	12	0		
		12月	66.3	41.7	44.8	4.0	25	25	0		
		1月	74.1	40.9	45.8	4.8	17	17	0		
		2月	62.7	42.0	44.4	2.6	23	23	0		
		3月	70.8	41.6	43.8	3.2	18	18	0		
		年間	74.1	40.7	43.7	2.9	241	239	2		
		白木	白木A	4月	92.5	68.9	72.0	3.4	27		27
5月	83.9			69.0	71.9	2.3	21	21	0		
6月	96.6			68.5	72.1	3.7	21	21	0		
7月	84.0			68.9	71.7	1.8	9	9	0		
8月	94.6			69.4	73.0	2.4	14	14	0		
9月	99.2			69.1	72.6	3.7	19	19	0		
10月	93.5			69.6	72.1	2.7	18	18	0		
11月	106.6			69.4	72.9	4.5	15	15	0		
12月	122.1			69.0	73.3	6.2	22	22	0		
1月	122.6			63.8	73.8	7.0	12	12	0		
2月	100.2			68.8	72.3	3.9	19	19	0		
3月	119.6			68.7	71.5	4.9	14	14	0		
年間	122.6			63.8	72.4	4.2	211	211	0		
白木峠A	白木峠A			4月	97.8	68.4	71.4	3.8	25	25	0
			5月	85.8	67.9	71.4	2.5	20	20	0	
			6月	96.6	67.7	71.5	3.9	22	22	0	
			7月	86.3	67.8	71.4	1.9	9	9	0	
			8月	98.0	70.3	73.8	2.5	15	15	0	
			9月	99.4	68.8	72.7	4.0	21	21	0	
			10月	96.5	69.5	72.3	2.9	16	16	0	
			11月	99.2	67.3	72.8	4.3	19	19	0	
			12月	119.2	67.9	72.3	5.8	25	25	0	
			1月	112.1	57.1	70.5	7.0	10	10	0	
2月	103.1		67.8	71.6	4.3	18	18	0			
3月	123.5	68.3	71.2	5.2	13	13	0				
年間	123.5	57.1	71.9	4.3	213	213	0				

過去平均線量率：2005～2007年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
美浜	丹生A	4月	72.0	50.1	53.3	3.3	26	26	0	54.6
		5月	69.2	51.2	53.4	2.3	16	16	0	
		6月	79.9	51.1	54.1	3.6	21	21	0	
		7月	63.8	51.2	53.6	1.3	13	13	0	
		8月	73.9	51.8	54.3	1.9	15	15	0	
		9月	79.1	51.7	54.4	3.1	24	24	0	
		10月	77.5	52.0	54.2	2.5	17	17	0	
		11月	84.6	51.9	55.2	4.5	18	18	0	
		12月	101.5	52.1	55.6	6.1	21	21	0	
		1月	88.6	45.9	55.8	6.5	23	23	0	
		2月	78.1	51.3	54.4	3.8	19	19	0	
		3月	98.6	51.3	53.8	4.7	16	16	0	
		年間	101.5	45.9	54.3	4.0	229	229	0	
美浜	竹波A	4月	80.0	58.6	62.0	3.1	25	25	0	62.7
		5月	77.3	58.7	61.7	2.2	14	14	0	
		6月	90.0	58.4	61.8	3.8	21	21	0	
		7月	74.9	58.6	61.5	1.6	9	9	0	
		8月	81.7	60.1	62.8	1.9	18	18	0	
		9月	88.6	58.9	62.3	3.3	24	24	0	
		10月	88.0	59.4	61.9	2.6	15	15	0	
		11月	90.8	59.4	63.3	4.3	22	22	0	
		12月	104.6	59.3	63.6	6.1	20	20	0	
		1月	105.2	52.1	63.8	6.9	18	18	0	
		2月	86.8	57.9	62.7	3.7	16	16	0	
		3月	119.4	59.0	61.9	5.0	14	14	0	
		年間	119.4	52.1	62.4	4.1	216	216	0	
美浜	坂尻A	4月	85.4	52.1	55.2	3.7	19	19	0	55.6
		5月	67.0	52.0	55.0	2.4	18	18	0	
		6月	107.9	51.8	55.5	4.8	17	17	0	
		7月	76.2	52.5	55.3	1.8	11	11	0	
		8月	79.5	53.0	56.3	2.5	17	17	0	
		9月	86.3	52.5	55.8	4.5	21	21	0	
		10月	77.7	52.5	55.1	2.5	23	23	0	
		11月	108.8	53.0	56.2	5.0	17	17	0	
		12月	96.2	50.4	56.8	6.4	24	24	0	
		1月	102.1	43.2	55.6	7.8	14	14	0	
		2月	86.9	52.6	56.2	4.0	17	17	0	
		3月	115.0	52.7	55.7	5.5	14	14	0	
		年間	115.0	43.2	55.7	4.6	212	212	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜A	4月	53.9	40.1	42.2	2.0	21	21	0	43.0
		5月	52.1	39.9	42.3	1.9	12	12	0	
		6月	68.1	39.8	42.7	3.0	18	18	0	
		7月	54.0	40.2	42.4	1.4	8	5	3	
		8月	55.3	39.9	42.7	1.9	16	16	0	
		9月	67.3	40.2	43.0	2.9	18	18	0	
		10月	58.0	40.2	42.7	2.1	20	20	0	
		11月	64.8	40.6	43.5	3.1	22	22	0	
		12月	70.4	39.2	44.1	4.3	28	28	0	
		1月	76.7	36.0	44.8	5.7	21	21	0	
		2月	62.5	40.4	43.8	3.4	20	20	0	
		3月	73.8	40.3	42.8	3.0	15	15	0	
		年間	76.7	36.0	43.1	3.2	219	216	3	
		大飯	日角浜A	4月	57.2	36.3	38.7	2.8	21	
5月	47.8			36.5	38.5	1.8	20	20	0	
6月	57.8			36.4	38.9	3.0	22	22	0	
7月	49.0			36.7	38.7	1.3	6	4	2	
8月	56.4			36.6	38.9	2.1	19	19	0	
9月	62.2			36.8	39.3	2.9	19	19	0	
10月	53.6			37.0	39.1	2.0	22	22	0	
11月	63.2			37.1	40.0	3.5	19	19	0	
12月	76.1			36.7	40.5	5.1	26	26	0	
1月	70.3			33.0	41.2	6.0	23	23	0	
2月	63.7			36.9	40.0	3.8	17	17	0	
3月	65.7			36.8	38.8	2.9	17	17	0	
年間	76.1			33.0	39.4	3.5	231	229	2	
大飯	宮留A			4月	50.9	29.8	32.2	2.9	20	20
		5月	40.7	30.0	32.1	1.8	20	20	0	
		6月	53.4	29.6	32.4	3.0	19	19	0	
		7月	44.2	29.9	32.4	1.5	10	4	6	
		8月	52.0	30.8	33.6	2.2	18	18	0	
		9月	55.7	30.7	33.8	2.8	17	17	0	
		10月	46.6	30.1	33.0	2.0	19	19	0	
		11月	59.0	31.1	34.2	3.4	18	18	0	
		12月	67.1	31.1	34.3	4.6	25	25	0	
		1月	61.1	29.6	35.8	6.1	26	26	0	
		2月	57.4	31.2	34.2	3.6	17	17	0	
		3月	59.6	31.0	33.2	3.0	18	18	0	
		年間	67.1	29.6	33.4	3.5	227	221	6	

過去平均線量率：2005～2007年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
大飯	阿納尻A	4月	47.5	27.5	29.9	2.4	18	18	0	30.4
		5月	38.7	27.4	29.5	1.8	12	12	0	
		6月	53.4	27.3	29.9	3.0	18	18	0	
		7月	42.8	27.6	29.6	1.4	7	6	1	
		8月	47.5	27.5	29.9	2.0	15	15	0	
		9月	52.6	27.7	30.2	2.8	15	15	0	
		10月	41.4	27.7	29.9	1.9	20	20	0	
		11月	66.7	27.9	30.9	3.6	16	16	0	
		12月	67.9	27.9	31.6	5.5	22	22	0	
		1月	61.7	24.0	32.1	6.4	27	27	0	
		2月	49.9	27.8	31.1	3.6	18	18	0	
		3月	63.4	27.5	30.1	3.3	16	16	0	
		年間	67.9	24.0	30.4	3.5	204	203	1	
		長井A	4月	53.7	32.0	34.6	2.9	23	23	
	5月		44.0	32.3	34.7	2.0	24	24	0	
	6月		58.6	31.8	35.0	3.4	24	24	0	
	7月		45.8	32.2	34.9	1.4	8	8	0	
	8月		49.2	32.8	35.4	2.0	17	17	0	
	9月		66.6	32.7	35.7	3.5	18	18	0	
	10月		52.8	32.5	34.7	2.4	21	21	0	
	11月		75.0	32.3	35.8	4.9	19	19	0	
	12月		79.2	31.7	36.6	6.8	26	26	0	
	1月		83.0	26.8	37.3	8.6	24	24	0	
	高浜	小黒飯A	2月	61.2	30.9	36.5	4.9	20	20	0
3月			61.9	32.3	35.3	3.7	18	18	0	
年間			83.0	26.8	35.5	4.4	242	242	0	
4月			52.0	34.5	36.6	2.4	28	28	0	
5月			46.0	34.8	36.6	1.8	24	24	0	
6月			56.3	34.6	37.0	3.0	21	21	0	
7月			45.9	34.8	36.7	1.1	14	14	0	
8月			58.9	34.9	37.2	2.5	22	22	0	
9月			58.8	35.0	37.3	2.4	20	20	0	
10月			51.7	35.3	37.1	1.9	20	20	0	
11月			70.5	35.2	38.4	4.0	22	22	0	
12月			76.1	35.5	38.6	5.0	21	21	0	
1月			69.6	32.6	39.6	6.5	21	21	0	
2月			60.0	34.5	38.5	4.2	18	18	0	
3月	63.3	35.0	37.3	3.0	15	15	0			
年間	76.1	32.6	37.6	3.6	246	246	0			

過去平均線量率：2005～2007年度

第8表 空間線量率連続測定結果 その1 県テレメータシステム

機関：A（県）、線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	4月	55.1	37.0	39.1	2.8	26	26	0	40.0
		5月	48.4	37.3	39.1	1.9	28	28	0	
		6月	56.8	36.9	39.2	3.0	23	23	0	
		7月	48.5	37.0	39.0	1.2	16	16	0	
		8月	60.2	37.4	39.6	2.7	22	22	0	
		9月	73.8	37.5	39.9	3.2	18	18	0	
		10月	57.1	37.7	39.6	2.1	19	19	0	
		11月	78.1	37.9	41.1	4.8	19	19	0	
		12月	70.5	37.9	41.4	5.7	27	27	0	
		1月	88.0	37.1	42.8	7.6	14	14	0	
		2月	67.8	36.9	41.0	4.7	17	17	0	
		3月	68.5	37.3	39.7	3.5	17	17	0	
		年間	88.0	36.9	40.1	4.1	246	246	0	
		神野浦	A	4月	42.7	24.8	26.9	2.7	25	
5月	35.7			25.0	26.9	1.9	28	28	0	
6月	44.1			25.0	27.0	2.8	24	24	0	
7月	40.3			24.9	26.9	1.3	16	16	0	
8月	48.5			25.4	27.5	2.6	19	19	0	
9月	57.3			25.4	27.5	2.7	21	21	0	
10月	46.6			25.3	27.2	2.0	19	19	0	
11月	60.2			25.6	28.4	4.0	20	20	0	
12月	72.3			25.6	29.0	5.8	22	22	0	
1月	64.2			23.4	30.0	7.4	16	16	0	
2月	61.6			24.9	28.9	4.9	19	19	0	
3月	54.4			25.2	27.5	3.4	14	14	0	
年間	72.3			23.4	27.8	4.0	243	243	0	
山中	A			4月	38.7	24.1	26.3	2.3	25	25
		5月	36.2	24.2	26.1	2.0	23	23	0	
		6月	50.4	24.0	26.3	3.3	20	20	0	
		7月	37.9	24.3	26.1	1.3	13	13	0	
		8月	41.6	24.2	26.6	2.7	25	25	0	
		9月	44.3	24.3	26.6	2.5	23	23	0	
		10月	50.2	24.3	26.4	2.4	18	18	0	
		11月	47.8	24.7	27.7	3.6	17	17	0	
		12月	54.7	21.4	28.2	5.0	27	27	0	
		1月	67.3	16.3	27.6	8.4	16	16	0	
		2月	61.9	24.4	28.3	4.6	10	10	0	
		3月	49.7	24.2	26.8	3.4	16	16	0	
		年間	67.3	16.3	26.9	4.0	233	233	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん北D	4月	78.2	56.8	59.6	2.9	21	21	0	61.1
		5月	74.0	56.7	60.5	2.3	14	14	0	
		6月	87.7	56.9	61.5	3.7	19	19	0	
		7月	69.4	57.3	61.4	1.8	5	5	0	
		8月	98.6	59.0	63.5	2.9	14	14	0	
		9月	91.5	59.0	63.4	3.9	21	21	0	
		10月	83.0	59.1	62.3	2.7	20	20	0	
		11月	100.0	58.1	63.0	5.0	18	18	0	
		12月	100.7	57.9	62.0	6.1	23	23	0	
		1月	112.1	52.4	62.2	6.5	11	11	0	
		2月	92.8	57.4	61.0	3.8	16	16	0	
		3月	104.2	54.5	58.1	5.0	20	20	0	
		年間	112.1	52.4	61.5	4.4	202	202	0	
立石B	立石B	4月	98.0	85.1	88.5	2.0	9	9	0	89.2
		5月	96.2	85.9	90.5	2.0	0	0	0	
		6月	102.1	86.6	91.6	2.1	8	8	0	
		7月	95.3	86.2	90.5	1.5	2	0	2	
		8月	105.7	88.2	92.0	1.6	8	6	2	
		9月	104.1	88.5	92.1	1.7	11	11	0	
		10月	101.6	87.3	91.8	2.1	3	3	0	
		11月	106.1	85.9	89.8	2.1	13	13	0	
		12月	105.7	85.1	88.3	2.6	24	24	0	
		1月	110.2	84.1	87.6	3.2	13	13	0	
		2月	100.0	84.4	87.4	2.0	11	11	0	
		3月	112.9	84.2	87.0	2.4	17	17	0	
		年間	112.9	84.1	89.8	2.8	119	115	4	
立石山頂B	立石山頂B	4月	99.4	73.4	77.5	3.7	22	22	0	79.8
		5月	90.9	71.9	76.9	3.4	11	11	0	
		6月	108.1	73.0	79.1	4.3	18	18	0	
		7月	89.6	73.8	77.7	2.1	8	8	0	
		8月	112.8	76.9	82.2	2.9	12	12	0	
		9月	111.5	73.5	80.5	4.8	21	21	0	
		10月	105.1	76.7	81.0	3.2	19	19	0	
		11月	109.9	73.9	79.9	4.5	19	19	0	
		12月	116.3	73.0	77.7	5.8	24	24	0	
		1月	128.9	66.2	76.4	6.5	8	8	0	
		2月	109.0	71.8	76.0	4.3	19	19	0	
		3月	132.2	71.8	75.3	5.3	15	15	0	
		年間	132.2	66.2	78.4	4.9	196	196	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3σ をこえた 時間	M+3σをこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	ふげん西D	4月	62.3	33.9	37.2	4.2	24	24	0	38.8
		5月	57.5	34.6	37.7	3.1	22	22	0	
		6月	72.1	34.4	38.4	4.6	21	21	0	
		7月	55.1	34.9	38.0	2.0	15	15	0	
		8月	82.0	36.9	39.7	3.2	17	17	0	
		9月	79.6	36.4	40.2	5.6	24	24	0	
		10月	66.0	36.0	39.0	3.5	23	23	0	
		11月	74.8	34.5	39.0	5.5	21	21	0	
		12月	85.4	33.5	38.2	6.7	23	23	0	
		1月	99.7	29.8	37.9	7.2	6	6	0	
		2月	80.7	33.6	37.5	5.1	14	14	0	
		3月	107.8	34.3	37.7	6.7	16	16	0	
		年間	107.8	29.8	38.4	5.1	226	226	0	
		猪ヶ池B	猪ヶ池B	4月	101.1	74.7	78.9	4.0	25	
5月	96.6			74.6	79.6	3.2	18	18	0	
6月	113.9			74.4	80.4	4.9	18	18	0	
7月	91.6			75.3	80.1	2.4	8	8	0	
8月	115.3			77.6	82.7	3.3	15	15	0	
9月	114.4			76.3	81.9	4.6	23	23	0	
10月	105.4			76.8	81.2	3.7	23	23	0	
11月	132.8			74.8	81.6	6.5	15	15	0	
12月	130.3			75.3	80.8	7.8	26	26	0	
1月	134.4			69.3	80.4	8.3	9	9	0	
2月	115.0			74.6	79.5	4.9	18	18	0	
3月	148.4			74.1	78.7	6.7	14	14	0	
年間	148.4			69.3	80.5	5.5	212	212	0	
浦底B	浦底B			4月	100.2	74.6	78.4	3.7	23	23
		5月	96.5	75.8	79.4	2.9	18	18	0	
		6月	111.7	75.6	80.3	4.4	20	20	0	
		7月	91.3	75.9	80.1	2.1	9	8	1	
		8月	105.0	77.0	81.7	2.8	13	13	0	
		9月	109.2	77.3	81.7	3.9	24	24	0	
		10月	99.6	75.3	79.7	3.2	16	16	0	
		11月	131.4	74.8	80.6	6.5	14	14	0	
		12月	132.7	73.7	80.1	7.6	24	24	0	
		1月	122.3	65.4	79.0	8.6	11	11	0	
		2月	107.0	71.1	77.0	4.6	15	15	0	
		3月	137.3	70.8	76.5	6.0	13	13	0	
		年間	137.3	65.4	79.6	5.3	200	199	1	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	水試裏B	4月	101.6	73.1	77.0	3.9	27	27	0	79.5
		5月	96.4	74.1	78.6	3.2	14	14	0	
		6月	110.5	74.2	79.8	4.6	20	20	0	
		7月	93.1	74.7	79.7	2.5	8	8	0	
		8月	112.9	77.2	82.4	3.2	13	13	0	
		9月	112.1	75.5	81.9	4.4	23	23	0	
		10月	103.8	76.6	81.4	3.4	19	19	0	
		11月	126.4	75.6	82.0	6.1	13	13	0	
		12月	132.8	74.8	80.3	7.8	23	23	0	
		1月	134.8	70.5	80.0	8.1	10	10	0	
		2月	116.0	74.1	78.8	4.9	16	16	0	
		3月	150.2	73.6	78.0	6.7	13	13	0	
		年間	150.2	70.5	80.0	5.5	199	199	0	
色ヶ浜B	色ヶ浜B	4月	96.7	75.5	78.7	2.9	22	22	0	79.9
		5月	93.4	76.6	79.2	2.4	19	19	0	
		6月	105.4	75.7	79.6	3.5	20	20	0	
		7月	88.3	76.2	79.2	1.4	12	11	1	
		8月	98.6	76.9	80.2	2.2	15	15	0	
		9月	103.2	76.3	80.0	3.2	20	20	0	
		10月	100.4	77.6	82.4	2.7	22	22	0	
		11月	134.3	79.8	84.1	5.7	15	15	0	
		12月	127.7	79.2	84.1	6.4	24	24	0	
		1月	126.9	72.6	83.7	7.4	19	19	0	
		2月	106.0	79.2	82.6	3.5	17	17	0	
		3月	124.6	79.0	82.2	4.5	17	17	0	
		年間	134.3	72.6	81.3	4.7	222	221	1	
沓D	沓D	4月	75.9	54.1	57.9	3.2	20	20	0	58.9
		5月	78.0	54.5	58.5	2.9	18	18	0	
		6月	108.6	54.3	59.3	5.1	18	18	0	
		7月	78.1	54.9	59.2	2.3	9	9	0	
		8月	82.2	57.0	60.7	2.6	16	16	0	
		9月	91.9	55.3	60.9	4.2	17	17	0	
		10月	87.4	54.8	58.7	3.5	21	21	0	
		11月	107.4	46.8	58.8	6.5	16	16	0	
		12月	104.1	52.6	58.9	8.2	27	27	0	
		1月	97.2	41.7	56.5	8.6	13	13	0	
		2月	83.4	52.6	56.6	4.4	12	12	0	
		3月	94.6	51.7	56.2	5.4	19	19	0	
		年間	108.6	41.7	58.5	5.3	206	206	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	赤崎D	4月	67.3	47.0	49.5	3.0	22	22	0	51.2
		5月	63.7	47.4	49.7	2.2	21	21	0	
		6月	103.8	47.3	50.3	4.7	16	16	0	
		7月	64.8	47.8	49.6	1.3	12	12	0	
		8月	66.0	48.1	50.2	2.0	16	16	0	
		9月	75.5	47.7	50.6	3.3	20	20	0	
		10月	71.9	48.2	50.6	2.8	22	22	0	
		11月	81.2	42.2	51.1	4.7	23	23	0	
		12月	94.8	47.6	51.7	6.2	21	21	0	
		1月	89.0	40.0	50.9	6.8	17	17	0	
		2月	71.7	47.2	50.4	3.4	17	17	0	
		3月	81.7	47.3	50.0	4.2	20	20	0	
		年間	103.8	40.0	50.4	4.1	227	227	0	
		五幡B	五幡B	4月	67.7	44.2	47.1	3.5	23	
5月	64.6			43.6	46.5	2.6	21	21	0	
6月	92.7			44.0	47.1	4.7	22	22	0	
7月	60.7			44.0	46.4	1.6	15	14	1	
8月	62.5			43.4	46.6	2.2	20	20	0	
9月	75.2			44.2	47.4	3.6	22	22	0	
10月	67.6			44.4	47.0	2.9	25	25	0	
11月	79.3			44.1	48.3	5.1	23	23	0	
12月	98.1			44.4	48.8	7.0	23	23	0	
1月	97.1			40.7	49.9	7.9	17	17	0	
2月	73.5			44.6	48.1	4.2	17	17	0	
3月	77.4			44.7	47.6	4.7	22	22	0	
年間	98.1			40.7	47.6	4.7	250	249	1	
阿曾D	阿曾D			4月	73.8	45.4	48.4	3.9	25	25
		5月	68.4	46.2	48.7	2.7	17	17	0	
		6月	92.3	46.0	49.3	4.8	20	20	0	
		7月	68.4	46.2	48.3	1.8	14	14	0	
		8月	69.9	46.8	49.3	2.5	16	16	0	
		9月	78.3	46.4	49.7	4.1	20	20	0	
		10月	70.3	46.8	49.3	3.1	24	24	0	
		11月	84.2	46.1	50.0	5.1	26	26	0	
		12月	96.3	46.2	50.2	6.4	23	23	0	
		1月	94.3	38.2	50.3	8.1	15	15	0	
		2月	79.2	46.1	49.4	4.1	16	16	0	
		3月	83.8	46.3	49.1	4.8	21	21	0	
		年間	96.3	38.2	49.3	4.6	237	237	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	杉津B	4月	81.4	48.9	52.3	4.2	27	27	0	51.2
		5月	72.6	49.3	52.4	2.8	19	19	0	
		6月	93.9	49.1	52.9	5.1	21	21	0	
		7月	68.1	49.7	52.3	1.8	11	11	0	
		8月	75.7	49.8	53.2	2.7	16	16	0	
		9月	84.9	49.6	53.7	4.1	23	23	0	
		10月	80.5	50.2	53.1	3.4	20	20	0	
		11月	84.1	49.0	53.8	5.2	24	24	0	
		12月	90.6	49.4	54.2	6.3	24	24	0	
		1月	100.9	44.9	54.9	8.2	15	15	0	
		2月	83.6	49.1	53.1	4.5	21	21	0	
		3月	92.8	49.1	52.6	5.4	24	24	0	
		年間	100.9	44.9	53.2	4.8	245	245	0	
		甲楽城B	甲楽城B	4月	67.9	43.0	45.7	3.5	25	
5月	63.1			42.8	45.4	2.5	19	19	0	
6月	76.9			42.5	45.4	3.9	19	19	0	
7月	59.1			42.7	44.6	1.5	13	13	0	
8月	77.2			43.1	45.3	2.8	18	18	0	
9月	67.1			42.9	45.7	2.9	25	25	0	
10月	68.2			43.0	45.5	2.7	17	17	0	
11月	73.6			42.9	46.4	4.2	18	18	0	
12月	81.3			43.0	46.7	5.6	26	26	0	
1月	75.4			41.3	47.5	5.9	16	16	0	
2月	74.8			42.7	46.2	4.0	22	22	0	
3月	91.2			42.8	45.6	4.7	18	18	0	
年間	91.2			41.3	45.9	4.0	236	236	0	
今庄B	今庄B			4月	53.6	35.5	38.4	2.8	17	17
		5月	49.2	36.1	38.8	2.3	16	16	0	
		6月	71.7	35.9	39.8	4.5	23	23	0	
		7月	65.1	36.1	40.2	2.7	5	5	0	
		8月	59.0	37.0	40.7	2.8	13	13	0	
		9月	64.6	36.7	40.7	3.2	13	13	0	
		10月	58.0	37.0	40.1	2.8	19	19	0	
		11月	77.9	34.6	40.9	5.2	14	14	0	
		12月	64.5	33.5	40.2	5.0	23	23	0	
		1月	69.7	27.9	38.4	7.0	11	11	0	
		2月	64.0	34.9	39.5	3.8	16	16	0	
		3月	60.7	35.9	39.2	3.8	18	18	0	
		年間	77.9	27.9	39.7	4.1	188	188	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3 σ をこえた時間	M+3 σ をこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
敦賀	越前厨D	4月	60.6	37.0	40.5	3.2	23	23	0	40.5
		5月	52.9	37.9	41.0	2.3	24	24	0	
		6月	77.0	37.6	41.3	3.9	15	15	0	
		7月	55.7	38.1	40.8	1.8	12	12	0	
		8月	68.2	38.0	41.4	3.0	20	20	0	
		9月	64.1	37.5	41.4	2.9	19	19	0	
		10月	66.4	36.2	39.0	2.8	14	14	0	
		11月	61.4	36.0	39.8	4.3	24	24	0	
		12月	70.4	35.8	39.7	5.5	29	29	0	
		1月	64.2	34.1	39.9	5.5	18	18	0	
		2月	65.6	35.6	38.8	3.8	23	23	0	
		3月	89.5	35.6	38.6	5.4	17	17	0	
		年間	89.5	34.1	40.2	4.0	238	238	0	
白木	松ヶ崎D	4月	85.6	59.8	63.1	3.7	25	25	0	63.8
		5月	77.0	60.3	63.4	2.4	18	18	0	
		6月	89.3	60.3	63.9	4.0	20	20	0	
		7月	78.0	60.4	63.7	1.9	7	7	0	
		8月	90.2	60.8	64.6	2.6	13	13	0	
		9月	91.1	57.6	62.4	4.0	18	18	0	
		10月	83.6	57.0	60.1	2.8	18	18	0	
		11月	98.2	56.7	60.7	4.8	14	14	0	
		12月	115.7	56.4	60.8	6.2	22	22	0	
		1月	112.3	54.2	61.6	7.0	17	17	0	
		2月	90.7	56.8	60.3	4.2	16	16	0	
		3月	106.2	56.8	59.7	4.9	17	17	0	
		年間	115.7	54.2	62.0	4.6	205	205	0	
白木	I D	4月	83.0	58.9	63.3	3.4	21	21	0	67.6
		5月	76.3	59.3	63.4	2.5	16	16	0	
		6月	93.6	58.8	63.8	4.0	21	21	0	
		7月	77.5	59.0	63.1	2.2	9	9	0	
		8月	100.1	62.8	67.2	2.9	14	14	0	
		9月	97.5	61.5	66.8	4.7	23	23	0	
		10月	92.0	62.3	66.3	2.9	20	20	0	
		11月	100.7	62.8	68.6	5.0	19	19	0	
		12月	117.3	61.5	66.1	5.9	21	21	0	
		1月	121.1	55.0	64.5	6.4	12	12	0	
		2月	101.2	60.0	65.3	4.4	13	13	0	
		3月	119.3	59.7	64.7	5.2	11	11	0	
		年間	121.1	55.0	65.3	4.7	200	200	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

<⑦ 第9表 空間線量率連続測定結果 その2(55ページから59ページ)>

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のアラメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた時間と原因		過去平均線量率
								降雨	その他	
白木	白木IID	4月	65.8	33.9	37.0	4.5	26	26	0	40.0
		5月	56.0	34.2	37.3	3.2	21	21	0	
		6月	74.7	33.9	37.8	4.8	21	21	0	
		7月	56.3	34.0	37.2	2.2	13	13	0	
		8月	75.2	36.2	39.8	3.2	15	15	0	
		9月	79.9	35.6	40.2	5.9	24	24	0	
		10月	70.2	36.0	39.3	3.6	21	21	0	
		11月	79.6	36.2	40.9	6.1	24	24	0	
		12月	101.8	34.7	40.0	7.3	23	23	0	
		1月	99.7	25.5	37.9	7.9	6	6	0	
		2月	80.5	34.2	38.2	5.1	16	16	0	
		3月	107.9	34.6	37.7	6.7	12	12	0	
		年間	107.9	25.5	38.6	5.5	222	222	0	
白木	白木IIID	4月	77.7	50.0	53.5	3.4	24	24	0	56.2
		5月	67.9	50.0	53.5	2.4	22	22	0	
		6月	81.6	49.4	53.8	3.9	22	22	0	
		7月	71.5	50.2	53.4	2.0	10	10	0	
		8月	83.8	53.0	56.3	2.9	16	16	0	
		9月	85.9	51.7	55.7	4.5	20	20	0	
		10月	76.5	51.6	54.9	2.8	22	22	0	
		11月	90.6	52.5	57.1	5.1	17	17	0	
		12月	104.4	52.1	56.9	5.5	20	20	0	
		1月	104.8	39.4	54.4	7.1	5	5	0	
		2月	88.6	51.4	55.7	4.2	15	15	0	
		3月	109.4	51.6	55.1	5.2	11	11	0	
		年間	109.4	39.4	55.0	4.5	204	204	0	
白木	白木IIVD	4月	65.0	40.7	44.1	3.6	25	25	0	47.3
		5月	59.2	41.6	44.8	2.6	21	21	0	
		6月	72.5	41.1	45.3	4.1	23	23	0	
		7月	59.7	41.3	44.7	1.9	10	10	0	
		8月	75.3	43.7	47.0	2.7	14	14	0	
		9月	76.4	42.7	46.9	4.4	22	22	0	
		10月	70.2	43.0	46.4	2.9	18	18	0	
		11月	80.6	42.3	47.2	4.7	19	19	0	
		12月	99.4	42.4	46.3	5.6	23	23	0	
		1月	97.4	33.9	44.9	6.8	9	9	0	
		2月	77.9	41.2	45.1	4.2	14	14	0	
		3月	98.2	41.4	44.5	5.3	15	15	0	
		年間	99.4	33.9	45.6	4.4	213	213	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	奥浦C	4月	85.1	62.5	65.9	3.3	26	26	0	63.1
		5月	81.4	63.9	68.0	2.5	15	15	0	
		6月	87.1	54.7	62.6	5.3	12	12	0	
		7月	76.7	55.5	58.8	2.0	10	10	0	
		8月	88.1	57.1	60.6	2.4	15	15	0	
		9月	94.6	56.2	60.4	4.1	24	24	0	
		10月	101.3	56.8	60.1	3.3	17	17	0	
		11月	95.1	56.8	60.9	5.5	23	23	0	
		12月	117.8	56.3	60.9	7.6	19	19	0	
		1月	99.2	50.3	61.0	7.6	20	20	0	
		2月	91.3	55.8	59.9	4.5	15	15	0	
		3月	116.2	56.3	59.5	5.7	14	14	0	
		年間	117.8	50.3	61.6	4.9	210	210	0	
丹生C	丹生C	4月	72.1	49.1	52.5	3.3	24	24	0	52.9
		5月	64.3	48.2	51.2	2.3	14	14	0	
		6月	76.6	48.2	51.9	3.6	21	21	0	
		7月	62.5	49.1	51.9	1.4	12	12	0	
		8月	71.2	48.3	51.9	2.0	15	15	0	
		9月	78.5	48.8	52.5	3.3	23	23	0	
		10月	76.4	49.5	52.3	2.5	17	17	0	
		11月	79.6	49.2	53.2	4.3	18	18	0	
		12月	95.6	49.3	53.9	6.0	20	20	0	
		1月	84.6	47.0	54.5	6.1	19	19	0	
		2月	77.6	49.2	53.0	3.5	18	18	0	
		3月	96.9	49.5	52.8	4.6	14	14	0	
		年間	96.9	47.0	52.6	4.3	215	215	0	
丹生寮C	丹生寮C	4月	73.3	50.8	54.1	3.3	25	25	0	57.9
		5月	67.7	50.4	53.5	2.2	13	13	0	
		6月	77.3	49.3	53.1	3.5	22	22	0	
		7月	65.3	49.2	52.0	1.5	9	9	0	
		8月	71.2	49.6	52.8	2.0	17	17	0	
		9月	78.5	49.9	53.9	3.5	19	19	0	
		10月	84.1	50.3	54.3	2.9	19	19	0	
		11月	82.1	45.8	52.2	5.0	21	21	0	
		12月	102.2	46.4	50.8	7.2	19	19	0	
		1月	87.7	42.4	50.4	7.4	20	20	0	
		2月	76.1	45.1	48.8	4.0	17	17	0	
		3月	105.3	45.2	48.3	5.4	13	13	0	
		年間	105.3	42.4	52.0	5.1	214	214	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	竹波C	4月	90.2	70.8	73.9	2.9	25	25	0	75.0
		5月	87.1	70.2	73.4	2.1	13	13	0	
		6月	97.8	69.9	73.8	3.4	22	22	0	
		7月	87.3	70.3	73.7	1.8	6	6	0	
		8月	94.0	71.9	75.3	2.0	17	17	0	
		9月	96.9	70.9	74.8	3.2	20	20	0	
		10月	103.8	71.5	74.5	2.8	17	17	0	
		11月	103.5	70.6	75.1	4.3	21	21	0	
		12月	117.3	71.2	75.3	6.4	19	19	0	
		1月	113.4	64.0	74.9	6.9	16	16	0	
		2月	99.6	70.3	74.5	3.7	18	18	0	
		3月	128.0	71.1	74.2	4.6	13	13	0	
		年間	128.0	64.0	74.5	2.9	207	207	0	
菅浜	菅浜C	4月	51.9	34.2	36.9	2.8	24	24	0	37.5
		5月	48.3	34.1	36.6	2.1	19	19	0	
		6月	67.7	34.0	37.0	3.6	21	21	0	
		7月	53.6	34.6	36.8	1.5	15	15	0	
		8月	55.5	34.3	37.0	1.8	15	15	0	
		9月	58.4	35.2	37.8	3.1	23	23	0	
		10月	55.1	35.1	37.6	2.1	20	20	0	
		11月	71.2	31.2	38.5	4.7	19	19	0	
		12月	76.9	34.6	38.8	5.7	22	22	0	
		1月	80.9	33.7	39.5	6.1	18	18	0	
		2月	61.1	34.2	38.2	3.5	20	20	0	
		3月	87.2	34.7	37.8	4.5	15	15	0	
		年間	87.2	31.2	37.7	3.9	231	229	2	
佐田	佐田C	4月	69.3	52.2	54.4	2.6	25	25	0	55.1
		5月	64.0	52.2	54.3	1.8	20	20	0	
		6月	94.3	52.2	54.7	3.6	17	17	0	
		7月	70.4	52.0	54.0	1.3	12	12	0	
		8月	72.3	52.1	54.2	1.8	17	17	0	
		9月	75.2	52.3	54.6	2.9	22	22	0	
		10月	70.0	51.7	54.3	2.0	19	19	0	
		11月	90.0	52.5	55.3	4.3	20	20	0	
		12月	89.0	52.4	55.9	5.2	29	29	0	
		1月	90.9	49.6	56.3	5.6	18	18	0	
		2月	78.0	52.6	55.4	3.3	18	18	0	
		3月	98.1	52.4	54.9	4.1	18	18	0	
		年間	98.1	49.6	54.9	2.7	235	235	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	新庄C	4月	83.0	55.9	60.7	2.7	20	20	0	60.9
		5月	69.3	58.2	60.8	1.8	17	17	0	
		6月	89.2	57.9	61.6	3.1	17	17	0	
		7月	79.8	58.1	61.3	1.8	4	4	0	
		8月	73.1	58.3	61.4	2.0	14	14	0	
		9月	81.3	58.3	61.3	2.7	18	18	0	
		10月	73.1	57.5	60.9	2.0	18	18	0	
		11月	94.4	57.6	61.8	4.3	21	21	0	
		12月	102.6	56.6	62.3	5.3	27	27	0	
		1月	95.9	49.1	60.0	7.4	14	14	0	
		2月	95.5	58.1	62.0	4.3	15	15	0	
		3月	95.8	57.8	61.4	4.1	19	19	0	
		年間	102.6	49.1	61.3	3.6	204	204	0	
郷市C	郷市C	4月	66.0	32.0	35.6	3.6	17	17	0	36.6
		5月	47.8	32.8	35.4	2.6	18	18	0	
		6月	88.6	33.0	36.4	4.9	18	18	0	
		7月	60.8	33.0	35.6	2.1	8	8	0	
		8月	55.5	33.0	35.6	2.4	22	22	0	
		9月	71.3	32.7	36.1	4.5	21	21	0	
		10月	53.5	32.6	35.6	2.5	26	26	0	
		11月	79.3	32.9	36.9	5.3	22	22	0	
		12月	85.1	32.8	37.7	7.0	21	21	0	
		1月	81.4	29.8	38.2	8.0	17	17	0	
		2月	66.0	32.8	36.7	4.5	19	19	0	
		3月	80.7	32.9	36.1	5.0	18	18	0	
		年間	88.6	29.8	36.3	4.9	227	227	0	
早瀬C	早瀬C	4月	46.5	30.9	34.0	2.3	21	21	0	35.6
		5月	42.5	31.6	34.3	1.7	17	17	0	
		6月	58.4	32.1	35.0	2.8	21	21	0	
		7月	53.8	31.9	34.8	1.5	8	8	0	
		8月	48.6	32.3	34.6	1.7	15	15	0	
		9月	59.1	31.7	35.0	3.1	23	23	0	
		10月	46.6	32.1	34.8	1.7	23	23	0	
		11月	71.4	32.2	35.8	3.9	15	15	0	
		12月	75.3	32.2	36.0	4.6	20	20	0	
		1月	75.7	29.2	36.8	5.7	21	21	0	
		2月	61.0	33.0	35.7	3.0	17	17	0	
		3月	68.0	32.6	35.1	3.5	15	15	0	
		年間	75.7	29.2	35.2	2.7	216	216	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	日向C	4月	56.3	39.4	41.7	2.7	23	23	0	42.1
		5月	52.6	39.5	41.6	2.0	25	25	0	
		6月	68.0	39.3	42.0	3.3	23	23	0	
		7月	63.4	39.7	41.7	1.5	9	9	0	
		8月	57.8	39.3	41.5	1.9	17	17	0	
		9月	70.7	39.0	41.8	3.7	22	22	0	
		10月	53.8	38.5	40.6	2.0	24	24	0	
		11月	78.1	39.5	42.2	4.2	18	18	0	
		12月	73.6	39.2	42.6	5.0	24	24	0	
		1月	76.5	36.7	43.5	6.3	21	21	0	
		2月	68.4	39.1	41.9	3.3	16	16	0	
		3月	76.3	38.8	41.4	3.8	15	15	0	
		年間	78.1	36.7	41.9	3.3	237	237	0	
	三方C	4月	50.3	27.7	31.3	3.4	28	28	0	32.3
		5月	42.9	27.4	31.2	2.2	20	20	0	
		6月	66.7	28.1	32.1	4.1	19	19	0	
		7月	55.1	29.0	31.4	1.9	10	10	0	
		8月	47.3	28.3	31.2	2.4	20	20	0	
		9月	60.6	28.6	31.6	3.7	22	22	0	
		10月	48.3	27.4	31.1	2.6	22	22	0	
		11月	56.8	28.4	31.8	4.1	23	23	0	
		12月	73.7	27.1	32.8	6.7	26	26	0	
		1月	96.1	23.7	32.9	8.4	26	26	0	
2月		69.0	28.1	32.3	4.7	15	15	0		
3月		71.4	27.9	31.3	4.7	18	18	0		
年間		96.1	23.7	31.7	4.7	249	249	0		
大飯	宮留C	4月	64.9	37.1	39.6	3.9	21	21	0	39.0
		5月	52.4	37.5	39.4	2.4	22	22	0	
		6月	74.5	36.7	40.0	4.5	21	21	0	
		7月	55.9	36.5	39.4	1.6	7	7	0	
		8月	69.3	37.7	40.0	3.0	21	21	0	
		9月	75.8	37.5	40.4	4.1	19	19	0	
		10月	59.4	37.8	40.0	2.8	19	19	0	
		11月	74.4	37.8	41.2	4.7	20	20	0	
		12月	83.4	38.0	41.6	6.0	24	24	0	
		1月	73.6	34.8	42.6	7.1	20	20	0	
		2月	73.8	37.8	41.3	4.7	17	17	0	
		3月	78.5	37.3	39.6	4.0	17	17	0	
		年間	83.4	34.8	40.4	4.5	228	228	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	日角浜C	4月	60.6	34.4	37.1	3.6	22	22	0	37.2
		5月	48.9	34.8	36.9	2.3	21	21	0	
		6月	62.8	34.5	37.6	4.0	20	20	0	
		7月	51.4	34.5	37.1	1.6	6	5	1	
		8月	64.1	35.0	37.6	2.9	18	18	0	
		9月	70.4	35.0	38.1	3.8	21	21	0	
		10月	57.1	35.2	37.7	2.7	19	19	0	
		11月	68.2	35.1	38.6	4.6	22	22	0	
		12月	82.9	35.3	39.0	6.4	27	27	0	
		1月	79.5	31.5	40.1	7.7	24	24	0	
		2月	70.7	34.9	38.7	4.9	17	17	0	
		3月	73.0	34.8	37.7	3.9	19	19	0	
		年間	82.9	31.5	38.0	4.5	236	235	1	
		本郷C	本郷C	4月	60.9	40.0	42.6	3.1	21	
5月	53.4			40.3	42.5	2.2	20	20	0	
6月	69.2			40.2	43.1	3.5	24	24	0	
7月	50.4			40.4	42.8	1.4	6	6	0	
8月	56.0			40.6	43.1	2.1	18	18	0	
9月	72.2			40.0	43.0	3.4	18	18	0	
10月	61.5			40.1	42.3	2.4	21	21	0	
11月	78.9			40.1	43.5	4.8	22	22	0	
12月	79.8			40.1	44.0	6.1	26	26	0	
1月	88.7			34.5	44.1	7.8	22	22	0	
2月	69.4			39.1	43.8	4.9	19	19	0	
3月	68.8			39.5	42.4	3.5	18	18	0	
年間	88.7			34.5	43.1	4.1	235	235	0	
加斗C	加斗C			4月	67.4	42.9	46.2	3.5	25	25
		5月	60.0	42.4	46.3	2.5	22	22	0	
		6月	78.9	43.0	47.1	4.6	22	22	0	
		7月	70.9	43.9	46.7	1.7	11	11	0	
		8月	64.9	44.0	47.4	2.5	20	20	0	
		9月	81.6	43.2	47.1	4.4	16	16	0	
		10月	70.9	43.6	46.4	2.8	23	23	0	
		11月	86.5	43.6	47.5	5.0	19	19	0	
		12月	95.5	38.5	47.8	6.9	26	26	0	
		1月	103.5	33.5	47.2	8.5	14	14	0	
		2月	81.5	42.7	47.8	5.4	18	18	0	
		3月	85.5	43.2	46.4	4.3	17	17	0	
		年間	103.5	33.5	47.0	4.5	233	233	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	小浜C	4月	66.0	43.5	46.3	3.5	21	21	0	47.1
		5月	62.9	41.3	46.4	2.6	15	15	0	
		6月	83.8	42.6	46.9	4.7	22	22	0	
		7月	69.3	43.5	46.7	2.0	6	6	0	
		8月	65.7	43.3	47.5	2.5	17	17	0	
		9月	88.3	44.3	47.8	4.7	20	20	0	
		10月	75.2	43.6	47.0	3.1	21	21	0	
		11月	82.3	44.0	48.0	5.1	20	20	0	
		12月	98.3	40.3	48.6	7.4	27	27	0	
		1月	112.5	35.3	48.2	8.9	15	15	0	
		2月	85.1	42.8	48.2	5.6	17	17	0	
		3月	89.8	43.6	46.7	4.8	15	15	0	
		年間	112.5	35.3	47.4	4.5	216	216	0	
	西津C	4月	54.4	33.4	36.0	2.9	22	22	0	35.8
		5月	48.8	33.8	36.0	2.5	18	18	0	
		6月	75.6	33.4	36.7	4.2	18	18	0	
		7月	49.7	33.6	36.3	1.8	8	8	0	
		8月	58.7	34.0	36.7	2.7	15	15	0	
		9月	69.4	33.1	36.4	3.8	17	17	0	
		10月	58.5	33.3	35.8	2.8	21	21	0	
		11月	77.9	33.3	36.9	4.6	20	20	0	
		12月	80.6	33.6	38.1	7.1	26	26	0	
		1月	82.6	29.6	39.4	8.1	21	21	0	
		2月	62.1	33.7	37.5	4.8	18	18	0	
		3月	80.1	33.4	36.3	4.3	15	15	0	
		年間	82.6	29.6	36.8	4.9	219	219	0	
	堅海C	4月	64.7	34.5	37.7	3.5	17	17	0	39.7
		5月	49.3	35.0	37.5	2.2	20	20	0	
		6月	74.0	35.3	39.2	4.3	21	21	0	
		7月	58.5	36.6	38.9	1.6	8	8	0	
		8月	71.8	36.7	39.6	2.9	14	14	0	
		9月	69.7	36.2	40.3	3.7	21	21	0	
		10月	58.2	37.4	39.9	2.7	25	25	0	
11月		97.2	36.8	40.6	4.9	15	15	0		
12月		82.0	36.8	41.3	7.2	25	25	0		
1月		81.0	32.1	41.8	7.7	22	22	0		
2月		66.2	36.5	40.4	4.5	18	18	0		
3月		83.8	36.5	39.3	4.4	17	17	0		
年間		97.2	32.1	39.7	4.6	223	223	0		

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	川上C	4月	67.0	45.6	48.3	2.9	22	22	0	48.6
		5月	59.6	45.3	48.3	2.3	21	21	0	
		6月	74.9	45.9	49.1	4.1	27	27	0	
		7月	59.2	46.2	49.1	1.6	9	9	0	
		8月	74.4	46.3	49.6	3.1	20	20	0	
		9月	76.3	46.3	49.5	3.4	19	19	0	
		10月	85.2	46.5	48.8	3.2	20	20	0	
		11月	69.6	46.6	49.7	3.7	17	17	0	
		12月	115.9	42.8	50.6	6.4	20	20	0	
		1月	111.3	30.1	48.7	12.1	13	13	0	
		2月	80.2	41.9	50.7	5.8	17	17	0	
		3月	76.8	46.3	49.1	3.9	15	15	0	
		年間	115.9	30.1	49.3	4.9	220	220	0	
		鹿野C	鹿野C	4月	63.7	39.0	42.0	3.8	24	
5月	54.0			38.8	41.7	2.5	23	23	0	
6月	85.6			39.1	42.6	4.6	22	22	0	
7月	57.7			39.0	42.7	2.2	9	9	0	
8月	67.6			39.6	43.2	3.4	20	20	0	
9月	78.5			39.4	43.1	4.2	16	16	0	
10月	67.4			39.5	42.3	3.2	21	21	0	
11月	80.2			39.6	43.4	5.3	21	21	0	
12月	101.4			33.6	44.0	7.7	27	27	0	
1月	95.2			27.1	43.2	10.6	17	17	0	
2月	90.2			33.8	44.1	7.0	18	18	0	
3月	75.4			39.2	42.5	4.5	20	20	0	
年間	101.4			27.1	42.9	5.3	238	238	0	
名田庄C	名田庄C			4月	59.7	40.3	43.3	3.0	17	17
		5月	54.4	40.4	43.2	2.6	11	11	0	
		6月	70.4	40.2	44.0	4.3	21	21	0	
		7月	57.9	40.4	44.1	2.9	8	8	0	
		8月	62.1	40.4	44.3	3.1	9	9	0	
		9月	83.8	40.6	44.8	4.1	12	12	0	
		10月	67.1	40.4	44.3	3.2	23	23	0	
		11月	73.0	40.7	45.1	4.6	17	17	0	
		12月	85.3	32.8	45.3	6.7	24	24	0	
		1月	97.4	26.3	42.6	11.0	18	18	0	
		2月	91.0	36.2	45.5	6.4	17	17	0	
		3月	72.4	40.3	44.0	4.0	17	17	0	
		年間	97.4	26.3	44.2	5.2	194	194	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
大飯	上中C	4月	53.1	33.7	36.3	3.1	22	22	0	36.0
		5月	49.9	33.6	36.2	2.6	23	23	0	
		6月	64.5	34.0	36.7	3.8	21	21	0	
		7月	81.1	34.1	36.4	2.9	9	9	0	
		8月	56.7	33.9	36.9	2.9	17	17	0	
		9月	68.8	34.0	36.9	4.0	19	19	0	
		10月	54.7	34.0	36.8	2.9	26	26	0	
		11月	68.6	33.7	38.0	4.9	24	24	0	
		12月	95.2	26.6	38.4	8.2	22	22	0	
		1月	84.2	23.4	35.8	10.0	22	22	0	
		2月	68.8	32.6	37.7	4.8	16	16	0	
		3月	79.5	33.7	36.9	4.9	16	16	0	
		年間	95.2	23.4	36.9	5.1	237	237	0	
		高浜	音海C	4月	57.9	41.4	43.5	2.6	26	
5月	53.0			41.8	43.6	1.9	27	27	0	
6月	63.2			41.6	43.8	2.9	20	20	0	
7月	52.0			41.7	43.6	1.1	14	14	0	
8月	64.9			42.0	44.4	2.9	23	23	0	
9月	79.6			42.0	44.4	3.1	20	20	0	
10月	62.8			42.1	44.1	2.2	19	19	0	
11月	79.4			42.3	45.5	4.5	20	20	0	
12月	72.5			41.3	45.4	4.7	24	24	0	
1月	88.1			41.6	46.6	6.8	16	16	0	
2月	71.3			41.8	45.2	4.2	16	16	0	
3月	69.6			41.6	44.0	3.1	18	18	0	
年間	88.1			41.3	44.5	3.8	243	243	0	
田ノ浦C	田ノ浦C			4月	57.9	36.0	38.2	2.9	27	27
		5月	48.9	36.2	38.2	2.2	25	25	0	
		6月	60.1	35.8	38.3	3.5	19	19	0	
		7月	50.1	35.9	38.3	1.3	14	14	0	
		8月	64.7	36.8	39.2	3.0	21	21	0	
		9月	68.9	36.7	39.1	3.0	16	16	0	
		10月	56.7	36.9	38.9	2.4	19	19	0	
		11月	76.6	36.9	40.4	4.9	21	21	0	
		12月	83.9	36.5	40.2	5.8	22	22	0	
		1月	78.7	33.3	41.2	7.7	22	22	0	
		2月	65.2	35.7	40.0	5.1	19	19	0	
		3月	72.5	36.2	38.6	3.6	18	18	0	
		年間	83.9	33.3	39.2	4.3	243	243	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	小黒飯C	4月	56.0	35.1	37.3	2.9	27	27	0	38.0
		5月	49.0	35.2	37.3	2.1	22	22	0	
		6月	60.3	34.9	37.6	3.6	22	22	0	
		7月	48.2	35.1	37.3	1.2	12	12	0	
		8月	61.3	35.7	38.0	2.8	21	21	0	
		9月	61.9	33.6	37.9	2.9	23	23	0	
		10月	54.0	34.8	37.5	2.2	20	20	0	
		11月	73.6	35.6	38.8	4.4	23	23	0	
		12月	85.3	34.1	39.2	6.1	25	25	0	
		1月	76.7	30.7	40.0	7.9	21	21	0	
		2月	70.2	34.4	39.2	5.1	17	17	0	
		3月	70.7	34.3	37.5	3.7	15	15	0	
		年間	85.3	30.7	38.1	4.4	248	248	0	
	神野浦C	4月	46.9	25.9	28.3	3.2	25	25	0	29.3
		5月	40.1	26.0	28.2	2.4	27	27	0	
		6月	51.5	25.8	28.3	3.7	24	24	0	
		7月	46.4	26.0	28.1	1.8	15	15	0	
		8月	56.0	26.4	28.9	3.5	20	20	0	
		9月	67.9	26.5	28.9	3.5	17	17	0	
		10月	50.4	26.7	28.5	2.6	20	20	0	
		11月	68.9	26.4	30.1	5.3	21	21	0	
		12月	82.3	26.0	30.7	7.2	25	25	0	
		1月	81.3	23.7	31.9	9.1	13	13	0	
		2月	72.9	25.4	30.6	6.2	16	16	0	
		3月	63.0	26.1	28.9	4.3	14	14	0	
		年間	82.3	23.7	29.3	4.8	237	237	0	
	日引C	4月	49.0	33.2	35.2	2.6	27	27	0	36.0
		5月	45.5	33.5	35.3	2.0	30	30	0	
		6月	56.1	33.2	35.4	3.3	21	21	0	
		7月	46.2	33.1	35.1	1.2	14	14	0	
		8月	57.0	33.5	35.8	3.1	17	17	0	
		9月	58.9	33.6	35.8	3.0	19	19	0	
		10月	60.7	33.8	35.5	2.3	17	17	0	
11月		65.2	33.8	36.9	4.4	17	17	0		
12月		80.1	31.9	37.3	5.9	25	25	0		
1月		75.5	27.8	37.8	8.3	17	17	0		
2月		74.5	33.0	37.2	5.0	16	16	0		
3月		63.2	33.3	35.8	3.6	14	14	0		
年間		80.1	27.8	36.1	4.1	234	234	0		

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	青郷C	4月	61.9	34.9	39.4	3.4	18	18	0	40.0
		5月	51.2	36.8	39.1	2.2	25	25	0	
		6月	63.8	36.7	39.5	3.8	23	23	0	
		7月	60.6	36.6	39.5	1.6	11	11	0	
		8月	62.0	37.1	39.9	3.1	21	21	0	
		9月	69.5	37.2	40.1	3.5	20	20	0	
		10月	61.4	37.3	39.7	2.7	21	21	0	
		11月	76.2	37.5	40.9	4.5	13	13	0	
		12月	78.9	33.4	41.7	6.5	24	24	0	
		1月	94.4	28.2	42.1	10.7	20	20	0	
		2月	92.0	37.5	41.9	6.3	13	13	0	
		3月	68.7	37.1	40.0	4.2	16	16	0	
		年間	94.4	28.2	40.3	5.1	225	225	0	
高浜C	高浜C	4月	54.1	33.8	36.1	2.6	24	24	0	36.5
		5月	46.7	34.4	36.0	1.9	22	22	0	
		6月	57.3	33.6	36.3	3.4	23	23	0	
		7月	45.1	34.1	35.9	1.2	9	9	0	
		8月	54.7	34.4	36.4	2.5	18	18	0	
		9月	67.4	34.1	36.6	3.2	15	15	0	
		10月	47.9	33.9	36.1	1.8	25	25	0	
		11月	66.9	33.9	37.2	4.0	19	19	0	
		12月	70.5	34.4	37.7	5.2	25	25	0	
		1月	75.5	33.6	39.2	7.1	20	20	0	
		2月	68.9	33.4	38.0	5.0	17	17	0	
		3月	62.8	34.1	36.5	3.4	15	15	0	
		年間	75.5	33.4	36.8	4.1	232	232	0	
和田C	和田C	4月	54.1	34.4	36.5	2.8	25	25	0	37.1
		5月	45.9	34.5	36.3	1.9	23	23	0	
		6月	62.5	34.4	36.8	3.4	23	23	0	
		7月	44.1	34.3	36.2	1.2	9	9	0	
		8月	76.2	34.2	36.4	2.8	17	17	0	
		9月	65.0	34.2	36.9	3.3	18	18	0	
		10月	54.2	34.5	36.5	2.0	21	21	0	
		11月	74.2	34.9	37.8	4.5	21	21	0	
		12月	69.0	35.0	38.3	5.7	21	21	0	
		1月	90.2	32.4	39.6	7.7	21	21	0	
		2月	61.4	34.6	38.4	4.7	19	19	0	
		3月	64.8	34.6	37.0	3.4	18	18	0	
		年間	90.2	32.4	37.2	4.2	236	236	0	

過去平均線量率：2005～2007年度

第9表 空間線量率連続測定結果 その2 施設者のテレメータシステム

(測定地点の添字は担当機関を示す。B：原電、C：関電、D：原子力機構)

線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 (σ)	M+3 σ をこえた 時間	M+3 σ をこえた 時間と原因		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	田井C	4月	62.2	40.8	43.1	2.8	27	27	0	43.8
		5月	52.9	40.8	42.9	2.1	25	25	0	
		6月	66.0	40.2	43.2	3.7	27	27	0	
		7月	54.0	40.7	42.9	1.2	14	14	0	
		8月	63.5	41.3	43.5	3.0	27	27	0	
		9月	75.2	41.0	43.7	3.4	22	22	0	
		10月	64.4	41.5	43.3	2.3	21	21	0	
		11月	80.0	41.3	44.7	5.1	20	20	0	
		12月	80.8	40.8	45.0	6.1	24	24	0	
		1月	89.2	35.3	46.0	8.6	15	15	0	
		2月	74.8	40.0	44.7	4.9	15	15	0	
		3月	74.7	40.0	43.5	3.9	18	18	0	
		年間	89.2	35.3	43.9	4.1	255	255	0	
	夕潮台C	4月	39.5	27.0	29.8	2.1	19	19	0	30.9
		5月	39.0	28.1	30.0	1.8	20	20	0	
		6月	49.6	27.7	30.4	2.8	21	21	0	
		7月	36.4	28.4	30.4	1.3	6	6	0	
		8月	48.7	28.5	30.7	2.1	15	15	0	
		9月	51.2	28.6	30.9	2.1	18	18	0	
		10月	41.7	28.5	30.7	1.7	16	16	0	
		11月	49.6	28.4	31.4	2.7	15	15	0	
		12月	66.3	28.7	32.0	4.2	24	24	0	
1月		81.8	23.9	33.1	8.6	22	22	0		
2月		50.7	28.4	32.0	3.9	17	17	0		
3月		55.1	28.2	30.7	2.9	12	12	0		
年間		81.8	23.9	31.0	3.7	205	205	0		

過去平均線量率：2005～2007年度

<第8、9表に関する注釈>

1. 第8、9表に示した結果は、1時間値を基に算出したものである。「M+3 σ 」を超えた時間数の年間値は、月間の時間数の和である。降雨には、降雪も含まれる。
参考として、過去平均線量率の欄に2005～2007年度の平均値（ただし積雪期の第4期を除く）を示した。

2. 以下の地点では2005年度以降に観測局周辺の状況変化や測定装置更新等があり、測定値が若干変化した。

(1) 県 (A)

①敦賀Aは、これまでの設置地点（敦賀市役所敷地内）に敦賀市防災センターが建設されたため、2006年5月9日に測定機器を撤去し、同地点の地上に設置した仮設モニタ（可搬型モニタリングポスト）による監視・測定を実施した。その後、移転先の福井県嶺南振興局敦賀合同庁舎敷地内の新局舎への測定機器の移設が完了したため、2006年5月16日より新局舎での測定を開始した。

参考として、地点移動前後の線量率の比較、および移設期間中の仮設モニタの測定結果を表1に示す。

表1 敦賀A局舎移転に伴う空間線量率測定結果

線量率単位：nGy/h

測定地点・種別	計算処理対象期間:平成18年5月	最高値	最低値	平均線量率(M)	標準偏差(σ)	M+3 σ を超えた時間	M+3 σ を超えた原因とその時間	
							降雨	その他
旧局舎	1日1時～9日9時	75.4	59.2	61.4	2.6	5	5	0
新局舎	16日17時～31日24時	61.7	49.8	52.1	1.8	6	6	0
仮設MP	9日10時～16日16時	85.0	72.5	76.2	2.7	3	3	0

(2) 原電 (B)

①五幡Bは東浦公民館の建替えのため、2004年9月30日に一旦撤去し、同地区にて仮設モニタ（可搬型モニタリングポスト）による監視・測定を実施していたが、同公民館敷地内の五幡MS新局舎工事が完了したので、2005年9月1日より新局舎の運用を開始した。

(3) 関西電力 (C)

①大飯地区の空間線量率連続測定装置は、全観測局とも局舎の健全性維持のため、局舎屋根取替が実施され、測定環境が変化した。取替に伴う線量率の変化状況を表2に示す。

(工事期間：2005年6月22日～2005年8月26日)

表2 局舎屋根取替に伴う線量率の変化 単位：nGy/h

地点名	詳細名称	取替前	取替後
宮留C	エルパーク大飯下三叉路	31.3	38.4
日角浜C	大島公民館	29.1	37.0
本郷C	おおい町役場	34.7	41.2
加斗C	加斗小学校	40.0	46.0
小浜C	勤労者体育センター(野球場)	39.1	45.6
西津C	小浜漁協西津支所	28.8	34.4
堅海C	県栽培漁業センター	31.8	39.6
川上C	川上公民館	41.0	48.7
鹿野C	佐分利小学校	36.6	41.5
名田庄C	名田庄観光館	37.6	43.9
上中C	若狭町上中体育館	27.6	35.1

局舎屋根取替前・後の値は、工事实施前(5月分)・後(9月分)の降雨時を除く平均値である。

②奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から2008年6月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。

③丹生寮Cは、関電丹生寮の建て替えのため2008年1月から11月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化した。

(4) 原子力機構 (D)

①赤崎Dでは、2006年4月から9月にかけて、隣接する赤崎区民センターの改築により周辺環境が変化した。

3. 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置（雨量計、感雨計）が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表3のとおりである。

表3 気象観測装置実装局

地区	気 象 観 測 局 名 称					備 考
敦賀	敦 賀A	浦 底A	立 石A	河 野A	沓 D	*：線量率連続 測定地点か ら幾分離れ て気象観測 装置が設置 されている もの。
	赤 崎D	杉 津B	甲楽城B	今 庄B	越前厨D	
白木	白 木A	白木峠A	松ヶ崎D	—	—	
美浜	丹 生A	竹 波A	坂 尻A	竹 波C*	新 庄C*	
	郷 市C	三 方C*	—	—	—	
大飯	小 浜A	日角浜A	宮 留A	阿納尻A	長 井A	
	日角浜C	本 郷C	小 浜C	名田庄C*	上 中C*	
高浜	小黒飯A	音 海A	神野浦A	山 中A	神野浦C	
	高 浜C*	夕潮台C*	—	—	—	

気象観測装置（雨量計、感雨計）が設置されていない局については、近くの他の地点で観測したデータで代用している。表4に示す。

表4 気象観測装置代用局一覧

測 定 地 点	代 用 局	測 定 地 点	代 用 局
ふげん北D	敦賀発電所気象露場	佐 田C	郷市C
立 石B		早 瀬C	
立石山頂B		日 向C	
ふげん西D		宮 留C	日角浜C
猪ヶ池B		川 上C	本郷C
浦 底B		鹿 野C	
水試裏B		加 斗C	小浜C
色ヶ浜B	西 津C		
五 幡B	杉津B	堅 海C	
阿 曾D	赤崎D		
白 木ID	もんじゅ気象露場	田ノ浦C	神野浦C
白 木IID		音 海C	
白 木IIID		小黒飯C	
白 木IIVD		日 引C	
奥 浦C	落合川ポンプ場	田 井C	高浜（関電高浜営業所）
丹 生C		青 郷C	
丹生寮C		高 浜C	
竹 波C		和 田C	
菅 浜C		夕潮台C	舞鶴（関電舞鶴営業所）

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
敦賀	立石A5	0.224	0.236	0.247	0.256	0.962	0.239	0.956	06.04
	立石山頂B1	0.232	0.236	0.227	0.214	0.909	0.226	0.904	04.04
	ふげん西D2	0.162	0.164	0.159	0.166	0.651	0.164	0.656	03.04
	猪ヶ池B1	0.234	0.241	0.233	0.225	0.933	0.231	0.924	04.04
	原子力館B	0.203	0.213	0.202	0.198	0.816	0.200	0.800	04.04
	水産試験場B2	0.178	0.182	0.178	0.177	0.715	0.176	0.704	04.04
	明神寮B2	0.234	0.241	0.234	0.221	0.930	0.230	0.920	04.04
	浦底A5	0.234	0.239	0.257	0.255	0.985	0.244	0.976	02.04
	水試裏B1	0.248	0.258	0.250	0.240	0.996	0.250	1.000	04.04
	色ヶ浜A3	0.258	0.259	0.284	0.285	1.086	0.263	1.052	02.04
	手ノ浦A3	0.208	0.222	0.232	0.251	0.912	0.217	0.868	02.04
	手ノ浦B3	0.225	0.230	0.225	0.219	0.899	0.223	0.892	04.04
	沓B5	0.259	0.267	0.258	0.249	1.033	0.262	1.048	04.04
	常宮A3	0.206	0.224	0.241	0.245	0.916	0.225	0.900	02.04
	常宮B3	0.236	0.244	0.235	0.228	0.943	0.231	0.924	04.04
	縄間B	0.264	0.270	0.261	0.254	1.049	0.265	1.060	04.04
	名子B1	0.174	0.174	0.172	0.172	0.692	0.177	0.708	06.04
	松島B3	0.212	0.219	0.212	0.202	0.845	0.211	0.844	04.04
	松栄B3	0.201	0.209	0.199	0.201	0.810	0.207	0.828	04.04
	赤崎A3	0.169	0.179	0.190	0.199	0.737	0.181	0.724	02.04
	阿曾A2	0.178	0.187	0.195	0.197	0.757	0.186	0.744	02.04
	杉津A4	0.165	0.171	0.177	0.184	0.696	0.170	0.680	02.04
	元比田A5	0.157	0.163	0.176	0.180	0.676	0.165	0.660	02.04
大谷A3	0.170	0.169	0.186	0.176	0.701	0.174	0.696	02.04	
大良B	0.180	0.184	0.178	0.175	0.717	0.173	0.692	04.04	
吉河A2	0.165	0.171	0.187	0.184	0.707	0.172	0.688	02.04	

過去の平均値：2003～2007年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
白木	白木ⅠD2	0.228	0.230	0.228	0.233	0.919	0.228	0.912	03.04
	白木ⅡD2	0.156	0.159	0.155	0.161	0.631	0.155	0.620	03.04
	白木ⅢD2	0.222	0.217	0.212	0.223	0.874	0.220	0.880	03.04
	白木ⅣD2	0.198	0.200	0.193	0.203	0.794	0.198	0.792	03.04
	白木A4	0.227	0.228	0.251	0.253	0.958	0.225	0.900	02.04
	白木D6	0.248	0.245	0.238	0.252	0.983	0.245	0.980	03.04
	松ヶ崎D2	0.237	0.232	0.225	0.238	0.932	0.232	0.928	03.04
	白城神社A2	0.221	0.229	0.235	0.247	0.932	0.232	0.928	02.04
	白城神社D4	0.229	0.230	0.224	0.240	0.923	0.229	0.916	03.04
	門ヶ崎D3	0.260	0.258	0.246	0.262	1.026	0.260	1.040	03.04
	白木トンネル北口A2	0.245	0.253	0.265	0.269	1.032	0.260	1.040	02.04
	白木トンネル北口D3	0.234	0.241	0.226	0.244	0.945	0.238	0.952	03.04
	白木トンネル南口A2	0.227	0.228	0.249	0.234	0.938	0.227	0.908	02.04
	もんじゅ寮D1	0.241	0.241	0.232	0.242	0.956	0.242	0.968	04.04
美浜	奥浦C	0.215	0.217	0.218	0.218	0.868	0.218	0.872	96.04
	丹生診療所C6	0.168	0.166	0.182	0.174	0.690	0.175	0.700	97.01
	丹生A4	0.177	0.182	0.212	0.198	0.770	0.190	0.760	02.04
	丹生C3	0.176	0.179	0.187	0.183	0.725	0.182	0.728	96.04
	丹生小中学校A	0.204	0.206	0.219	0.219	0.848	0.206	0.824	04.04
	丹生寮C5	0.212	0.213	0.220	0.215	0.860	0.216	0.864	97.01
	竹波A4	0.208	0.212	0.220	0.242	0.882	0.214	0.856	02.04
	竹波C5	0.213	0.216	0.224	0.221	0.874	0.220	0.880	96.10
	馬背川C2	0.211	0.215	0.226	0.215	0.867	0.219	0.876	96.04
	菅浜A3	0.193	0.196	0.227	0.212	0.828	0.203	0.812	02.04
	菅浜C2	0.164	0.164	0.173	0.169	0.670	0.170	0.680	96.04
	けやき台C1	0.146	0.147	0.156	0.150	0.599	0.152	0.608	96.04
	佐田A2*1	0.179	/	/	/	/	0.177	0.708	02.04
	坂尻C2	0.165	0.170	0.174	0.172	0.681	0.171	0.684	96.04

過去の平均値：2003～2007年度

*1；佐田A2は、あおなみ保育所（旧山東保育所）の新築工事のため、工事期間中（2008年度第2期～4期）、測定を休止した。2008年度第2期～第4期および年間積算値の欄は「/」とした。

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
美浜	新庄C3	0.169	0.170	0.175	0.173	0.687	0.174	0.696	97.01
	和田A	0.179	0.171	0.194	0.192	0.736	0.181	0.724	04.04
	郷市C6	0.133	0.131	0.141	0.141	0.546	0.136	0.544	97.01
	久々子C1	0.141	0.144	0.149	0.147	0.581	0.147	0.588	96.04
	早瀬C5	0.132	0.136	0.140	0.139	0.547	0.139	0.556	97.07
	日向C5	0.153	0.156	0.159	0.161	0.629	0.160	0.640	97.01
	三方C4	0.117	0.117	0.124	0.120	0.478	0.121	0.484	96.10
	沓見C	0.184	0.187	0.192	0.185	0.748	0.189	0.756	04.04
大飯	赤礁崎C	0.101	0.103	0.110	0.107	0.421	0.108	0.432	04.04
	宮留奥A	0.107	0.116	0.123	0.127	0.475	0.119	0.476	04.04
	宮留A6	0.123	0.126	0.137	0.136	0.522	0.124	0.496	02.04
	宮留C3	0.115	0.116	0.124	0.119	0.474	0.119	0.476	02.10
	日角浜C3	0.112	0.112	0.121	0.118	0.463	0.115	0.460	02.10
	西村A2	0.119	0.118	0.130	0.131	0.499	0.124	0.496	02.04
	西村C1	0.085	0.086	0.092	0.089	0.352	0.089	0.356	96.04
	犬見C2	0.121	0.127	0.132	0.129	0.509	0.128	0.512	96.04
	本郷A4	0.126	0.135	0.148	0.146	0.554	0.138	0.552	02.04
	本郷C5	0.118	0.121	0.132	0.126	0.497	0.124	0.496	04.07
	鯉川A2	0.131	0.135	0.151	0.145	0.562	0.138	0.552	02.04
	加斗A4	0.135	0.137	0.153	0.150	0.574	0.140	0.560	02.04
	西勢A2	0.122	0.130	0.134	0.141	0.526	0.131	0.524	02.04
	東勢C1	0.121	0.120	0.134	0.124	0.499	0.126	0.504	96.04
	小浜市野球場C2	0.123	0.124	0.134	0.129	0.510	0.127	0.508	02.10
	小浜市大原A3	0.185	0.190	0.205	0.201	0.781	0.187	0.748	03.07
	若狭健康福祉センターA2	0.159	0.171	0.179	0.179	0.688	0.168	0.672	02.04
	西津A2（水産高校）	0.134	0.135	0.147	0.152	0.567	0.138	0.552	02.04
	西津C3	0.109	0.111	0.121	0.117	0.458	0.114	0.456	02.10

過去の平均値：2003～2007年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量(92日換算値)				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
大飯	堅海A2	0.143	0.146	0.157	0.158	0.603	0.146	0.584	02.04
	堅海C3	0.121	0.125	0.133	0.130	0.509	0.128	0.512	02.10
	泊C2	0.132	0.130	0.143	0.136	0.541	0.137	0.548	96.04
	川上C4	0.123	0.123	0.134	0.128	0.508	0.126	0.504	02.07
	鹿野C5	0.116	0.122	0.129	0.125	0.492	0.123	0.492	02.10
	名田庄C3	0.124	0.124	0.135	0.127	0.510	0.127	0.508	02.10
	上中C3	0.100	0.106	0.112	0.110	0.428	0.106	0.424	02.10
高浜	音海A3	0.125	0.118	0.137	0.126	0.506	0.126	0.504	02.04
	音海C4	0.118	0.120	0.130	0.124	0.492	0.125	0.500	99.01
	音海県道C1	0.107	0.107	0.117	0.113	0.444	0.111	0.444	96.04
	田ノ浦C	0.113	0.114	0.122	0.118	0.467	0.118	0.472	99.01
	小黑飯A3	0.127	0.134	0.142	0.142	0.544	0.138	0.552	02.04
	小黑飯C3	0.121	0.120	0.129	0.125	0.495	0.125	0.500	99.01
	神野小学校A	0.133	0.139	0.148	0.149	0.568	0.138	0.552	04.04
	神野A4	0.110	0.115	0.122	0.124	0.471	0.112	0.448	02.04
	神野浦C2	0.095	0.094	0.104	0.100	0.393	0.099	0.396	96.04
	山中A3	0.134	0.134	0.141	0.148	0.556	0.134	0.536	02.04
	山中C2	0.088	0.088	0.097	0.093	0.366	0.092	0.368	96.04
	下A2	0.102	0.112	0.114	0.116	0.444	0.108	0.432	02.04
	日引C3	0.109	0.108	0.116	0.113	0.446	0.113	0.452	96.04
	上瀬A2	0.093	0.088	0.102	0.098	0.382	0.094	0.376	02.04
	六路谷A3	0.104	0.106	0.114	0.120	0.445	0.108	0.432	02.04
	六路谷C2	0.128	0.129	0.138	0.129	0.524	0.130	0.520	96.04
	高野C	0.124	0.124	0.132	0.125	0.505	0.126	0.504	04.04
	青郷C2	0.125	0.124	0.133	0.128	0.510	0.128	0.512	96.04
	東三松A4	0.145	0.146	0.160	0.153	0.603	0.147	0.588	02.04
	東三松C2	0.116	0.116	0.126	0.122	0.480	0.119	0.476	96.04

過去の平均値：2003～2007年度

第10表 積算線量測定結果

3ヶ月積算線量 単位：mGy/92日

年間積算値 単位：mGy/年

地区	測定地点	積算線量（92日換算値）				年間積算値	過去の平均値		現在の設置状況となった年・月
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		92日換算値	年間積算値	
高浜	高浜町役場A3	0.105	0.106	0.114	0.122	0.448	0.107	0.428	02.04
	高浜C	0.104	0.107	0.113	0.112	0.436	0.110	0.440	99.01
	和田C3	0.116	0.110	0.122	0.118	0.466	0.117	0.468	96.04
	田井C3	0.132	0.136	0.141	0.140	0.549	0.138	0.552	99.01
	夕潮台C2	0.097	0.100	0.104	0.104	0.405	0.102	0.408	96.04
対照	金津A2	0.138	0.150	0.161	0.153	0.602	0.146	0.584	02.04
	川西A3	0.123	0.130	0.130	0.135	0.518	0.128	0.512	02.04
	福井市原目町A2	0.146	0.145	0.158	0.156	0.604	0.145	0.580	02.04
	殿下A3	0.170	0.158	0.179	0.173	0.680	0.166	0.664	02.04
	勝山A3*2	0.160	0.157	0.171	0.176	0.664	0.156	0.624	09.01
	美山A4	0.148	0.143	0.151	0.153	0.596	0.141	0.564	02.04
	宮崎A3	0.141	0.142	0.156	0.154	0.593	0.143	0.572	02.04
	武生A2	0.160	0.154	0.167	0.165	0.646	0.157	0.628	02.04
	越前市妙法寺町A	0.218	0.215	0.233	0.218	0.884	0.219	0.876	06.04
	池田A2	0.148	0.148	0.156	0.155	0.606	0.146	0.584	02.04

過去の平均値：2003～2007年度

*2；勝山A3は、2009年1月に従来 of 奥越健康福祉センターから奥越土木事務所に地点移動したため、2008年度第4期からこれまでの地点番号（A2）を一つ進めて（A3）とした。

<第10表に関する注釈>

- (1) 第10表に示した年間積算値は、四半期値の和である。過去の平均値は、2003年度第1期から2007年度第4期までのデータから算出した。2003年度第1期以降に設置状況や周辺環境に変化のあった場合は、その時点からの平均値を示した。
設置状況等の変化により過去のデータが2年未満の地点については、過去平均値を()で示した。
- (2) 小浜市大原A2は、隣接民家の工事及び周辺の整備工事のため2003年7月までに水平方向に約3m地点移動するとともに、掘削により垂直方向に約0.7m下がった。その後も2003年10月までに盛土が行われたので2003年度第2期より地点番号をひとつ進め、「小浜市大原A3」とした。
- (3) 本郷C4は、2004年7月から12月にかけて、隣接してi ネットびあプラザが設置され、周辺環境が変化しているが、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定(危険率5%)を行ったところ、有意差が認められたため、2004年度第2期から地点番号をひとつ進めて「本郷C5」とした。
- (4) 日本電機は、2005年度から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて電子式線量計を採用している。従って、2005年度第1期より地点番号を一つずつ進めた。
- (5) 県は、2006年度第1期から、新規に対照地区の越前市妙法寺Aで測定を開始した。
- (6) 立石A4は、2006年2月から3月にかけて、周辺で工事が行われ、周辺環境が変化したが、暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。2007年度第1期に、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定(危険率5%)を行ったところ、有意差が認められたため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「立石A5」とした。
- (7) 名子Bは、NTTによる携帯電話の無線基地局の設置(工事期間:2006年3月~4月)に伴い周辺環境が変化したが、暫定的に同じ地点番号として取り扱ってきた。しかし、2006年度の年間積算値において、平常の変動幅を下回ったため、2006年度第1期から地点番号をひとつ進めて「名子B1」とした。
- (8) (独)日本原子力研究開発機構は、2007年度第1期から積算線量測定に、これまでのTLDに替えて蛍光ガラス線量計(RPLD)を採用している。従って、2007年度第1期から地点番号を一つずつ進めた。
- (9) 東三松C2は、2007年7月より約2m移動するとともに、道路拡張工事のため2007年9月から10月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化しているが、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱ってきた。2008年度第3期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同じポイントとして取り扱う。
- (10) 奥浦Cは、道路改良工事のため2007年10月から2008年6月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化しているが、その後の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (11) 丹生寮C5は、関電丹生寮建て替えのため2008年1月から11月にかけて周辺で工事が行われ、周辺環境が変化しているが、その後の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (12) 佐田A2は、保育所建て替えのため2008年7月から2009年3月末まで全敷地内の工事が

行われた。2008年度第4期までは測定休止とし、2009年度4月から測定を開始した。

- (13) 菅浜 C2 は、2008年7月から10月にかけて周辺で新築工事が行われたと共に、11月に約2.6m移動するなど周辺環境が変化しているが、その後の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (14) 武生 A2 は、2008年11月から駐車場拡張工事が行われ、12月初めに県道側に約20m移動した。この11月から12月上旬に周辺環境が変化しているが、その後の測定結果が過去の平常の変動幅内であることから、データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同じポイントとして取り扱う。
- (15) 「勝山 A2」は、行政組織統合により2009年1月に旧奥越健康福祉センターから奥越土木事務所（勝山土木部）にポイントを約800m移設したため、2008年度第4期から地点番号をひとつ進めて、「勝山 A3」とした。
- (16) 音海 A3 は、2008年1月に駐車場整備のため、約1.5m移動して、周辺環境が変化している。2008年度第4期に、周辺環境変化の前後で測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差がなかったため従来と同じポイントとして取り扱う。
- (17) 山中 A3 は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約0.7m移動して、周辺環境が変化している。2008年度第4期に、周辺環境変化の前後で測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差がなかったため従来と同じポイントとして取り扱う。
- (18) 竹波 A4 は、2008年1月に衛星アンテナ設置のため、約2m移動して、周辺環境が変化している。2008年度第4期に、周辺環境変化の前後で測定結果の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、いずれも有意差がなかったため従来と同じポイントとして取り扱う。
- (19) 白木A4は、年間積算値が平常の変動幅をわずかに上回ったが、2008年度第4期にも平常の変動幅をわずかに上回っていた。その際に、TLDリーダー更新前後（2002年度第1期～2005年度第4期と2006年度第1期～2008年度第4期）で、測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行ったところ、統計的に有意差があった。これと併せて、県の全ての積算線量測定地点（51地点）についても有意差検定を行ったところ、21地点でいずれかに統計的に有意差があった（詳細は付4.5を参照）。白木A4で測定結果が平常変動幅を上回ったことは、新・旧リーダー間での測定値の統計上の差が反映されたものと考えられる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			敦賀	浦底A	4月	20.0	0.5	3.6	3.0	39.5	0.9	7.0	5.7	60	45
5月	22.4	0.6	3.9		3.8	42.1	1.1	7.6	7.2	62	45	52	3	1	
6月	24.3	0.5	4.8		4.5	48.0	1.0	9.2	8.6	67	45	52	3	1	
7月	25.4	0.7	6.8		5.4	51.7	1.4	13.5	10.5	56	46	51	2	0	
8月	27.9	0.5	5.1		4.5	50.7	1.0	9.8	8.6	59	44	52	3	0	
9月	18.8	0.9	4.4		3.5	38.1	1.7	8.6	6.9	60	45	52	3	0	
10月	13.6	0.6	4.3		2.5	24.1	1.0	7.9	4.8	64	47	54	3	0	
11月	13.7	0.3	3.8		2.2	22.9	0.6	6.8	3.9	65	46	56	3	0	
12月	11.3	0.8	3.3		1.8	20.4	1.4	6.1	3.2	65	46	54	3	1	
1月	12.1	0.6	3.2		1.9	21.1	1.1	5.8	3.3	64	46	55	3	0	
2月	10.6	0.9	3.6		1.9	22.3	1.9	7.3	4.0	61	43	50	3	1	
3月	11.6	0.8	2.6		1.6	19.8	1.4	4.9	2.9	60	44	52	3	0	
年間	27.9	0.3	4.1		3.4	51.7	0.6	7.9	6.6	67	43	53	4	5	
過去実績	51.5	0.1	3.9		3.6	107.2	0.2	7.9	7.0	65	40	50	3	10	
立石A	4月	7.6	0.5	2.8	1.4	13.8	1.0	5.6	2.9	61	45	51	3	2	
	5月	17.0	0.8	3.4	2.4	32.9	1.4	6.7	4.8	59	44	52	3	0	
	6月	15.3	0.5	3.7	2.8	30.1	0.9	7.2	5.4	61	45	51	3	1	
	7月	18.4	0.4	4.9	2.9	34.5	0.7	9.6	5.6	58	46	51	3	0	
	8月	15.0	0.5	4.0	2.6	25.2	1.1	7.7	4.9	61	45	53	3	0	
	9月	14.3	0.9	4.1	2.6	27.9	1.8	7.9	5.0	63	44	52	3	1	
	10月	12.5	0.7	4.1	2.1	23.8	1.1	7.8	4.0	62	47	53	3	1	
	11月	8.8	0.3	3.3	1.6	15.9	0.7	6.0	2.9	63	46	55	3	0	
	12月	7.3	0.6	2.9	1.2	13.8	1.2	5.4	2.3	61	47	53	3	0	
	1月	7.4	0.6	2.7	1.3	14.3	1.3	5.4	2.5	59	43	51	3	0	
	2月	8.5	1.0	3.3	1.5	17.8	1.8	6.9	3.2	57	42	49	3	0	
	3月	7.1	0.8	2.3	1.0	13.6	1.5	4.6	2.0	59	45	51	2	1	
	年間	18.4	0.3	3.5	2.2	34.5	0.7	6.7	4.2	63	42	52	3	6	
	過去実績	20.7	0.1	3.4	2.1	42.0	0.2	7.1	4.6	61	38	48	3	9	

過去実績：2005～2007年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			白木	白木A	4月	15.0	0.3	3.2	2.6	28.2	0.7	6.1	4.9	60	46
		5月	14.4	0.5	3.4	2.7	27.1	0.8	6.4	5.1	64	47	53	3	1
		6月	37.9	0.5	4.7	5.3	68.3	0.9	9.0	10.1	60	46	53	3	0
		7月	29.8	0.4	6.6	5.1	55.9	0.8	12.9	9.9	59	46	51	2	1
		8月	20.2	0.4	4.8	3.9	39.6	0.8	9.1	7.3	61	46	53	3	0
		9月	22.6	0.7	4.5	3.7	43.6	1.4	8.6	7.1	63	47	53	3	3
		10月	21.7	0.6	4.1	2.5	41.4	1.1	7.6	4.8	65	48	54	3	3
		11月	7.9	0.4	3.0	1.5	14.5	0.7	5.5	2.7	63	47	55	3	0
		12月	6.2	0.6	2.6	1.2	11.3	1.2	4.9	2.3	62	48	54	3	1
		1月	11.2	0.2	2.6	1.4	18.9	0.4	4.8	2.5	64	46	54	3	1
		2月	8.2	0.9	3.2	1.5	17.6	1.8	6.4	3.1	56	44	50	3	0
		3月	9.8	0.6	2.3	1.3	20.3	1.1	4.5	2.4	59	44	51	3	0
		年間	37.9	0.2	3.8	3.3	68.3	0.4	7.2	6.3	65	44	53	3	10
		過去実績	37.4	0.1	3.7	3.3	72.7	0.1	7.4	6.7	68	41	50	3	10
	白木峠A	4月	5.2	0.4	2.1	1.0	10.2	0.7	4.0	2.0	64	47	53	3	3
		5月	6.8	0.3	2.3	1.3	13.6	0.6	4.5	2.5	64	46	53	3	3
		6月	10.7	0.4	2.7	2.0	20.7	0.8	5.1	3.9	61	46	53	3	0
		7月	13.7	0.3	3.4	2.0	26.5	0.6	6.8	4.0	61	44	51	3	3
		8月	7.4	0.4	2.9	1.7	13.5	0.8	5.5	3.3	65	44	53	3	1
		9月	8.0	0.7	2.9	1.5	15.3	1.2	5.5	3.0	64	46	53	4	1
		10月	8.6	0.6	2.9	1.2	17.1	0.9	5.4	2.3	66	48	54	3	1
		11月	5.7	0.3	2.6	1.1	10.3	0.7	4.8	2.0	63	48	55	3	0
		12月	5.3	0.6	2.3	0.9	9.7	1.2	4.3	1.6	62	49	55	3	0
		1月	6.2	0.0	2.4	1.1	11.9	0.1	4.4	2.0	61	47	54	3	0
		2月	6.5	0.9	2.9	1.2	13.5	1.6	5.7	2.5	63	46	52	3	2
		3月	5.6	0.7	2.1	0.9	10.9	1.2	4.0	1.7	60	45	51	3	0
		年間	13.7	0.0	2.6	1.4	26.5	0.1	5.0	2.8	66	44	53	3	14
		過去実績	16.1	0.0	2.7	1.6	34.2	0.0	5.6	3.3	66	34	50	3	13

過去実績：2005～2007年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ)				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	放射能濃度比				
											最高	最低	月間平均濃度M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
美浜	丹生A	4月	11.8	0.5	3.2	2.3	22.1	0.9	5.8	4.3	63	49	54	3	3
		5月	11.9	0.5	3.1	2.3	24.6	0.9	5.8	4.4	67	48	55	3	3
		6月	17.2	0.4	3.7	3.1	33.4	0.8	6.7	5.8	63	48	55	3	0
		7月	15.7	0.4	4.6	3.1	30.1	0.7	8.6	5.8	61	47	53	3	1
		8月	10.7	0.5	3.6	2.4	20.8	0.9	6.6	4.4	66	49	55	3	1
		9月	11.3	0.7	3.6	2.4	20.7	1.2	6.5	4.4	67	48	55	3	3
		10月	11.2	0.6	3.7	2.0	21.0	1.0	6.6	3.7	67	50	56	3	2
		11月	8.4	0.3	3.1	1.6	13.6	0.6	5.4	2.7	64	50	58	3	0
		12月	7.5	0.7	2.8	1.4	13.0	1.2	4.9	2.5	66	49	56	3	1
		1月	6.6	0.3	2.6	1.3	11.0	0.5	4.5	2.2	64	50	57	3	0
		2月	11.1	0.9	3.3	1.7	22.4	1.7	6.0	3.2	66	49	55	3	2
		3月	9.3	0.7	2.3	1.2	16.6	1.2	4.3	2.2	61	47	53	3	0
		年間	17.2	0.3	3.3	2.2	33.4	0.5	6.0	4.1	67	47	55	3	16
		過去実績	30.9	0.1	3.4	2.4	68.4	0.2	6.8	4.9	64	42	51	3	11
竹波A	竹波A	4月	21.2	0.5	4.1	3.4	40.9	1.0	8.3	6.9	57	44	49	2	3
		5月	17.6	0.6	4.1	3.3	31.2	1.2	8.4	6.8	58	43	50	3	0
		6月	44.2	0.4	5.4	6.0	88.3	0.9	10.6	11.9	59	44	51	3	0
		7月	28.1	0.4	7.1	5.5	56.2	0.8	14.3	10.9	57	44	50	2	0
		8月	21.6	0.5	5.7	4.6	43.8	1.0	11.0	9.0	58	44	51	3	0
		9月	19.5	0.7	4.9	3.6	38.8	1.4	9.7	7.2	59	44	51	3	0
		10月	22.2	0.7	4.5	2.5	47.8	1.3	9.2	5.1	57	43	49	3	1
		11月	15.4	0.4	3.7	2.2	32.9	0.8	7.6	4.4	57	43	49	3	1
		12月	12.1	0.8	3.4	1.9	22.6	1.5	6.6	3.7	57	45	51	3	0
		1月	23.1	0.5	3.3	2.4	46.6	1.1	6.3	4.6	59	44	52	3	0
		2月	12.2	1.0	3.8	2.0	23.0	2.0	8.0	4.2	56	42	49	3	0
		3月	13.7	0.8	2.8	1.8	28.5	1.5	5.6	3.5	57	44	50	3	0
		年間	44.2	0.4	4.4	3.7	88.3	0.8	8.8	7.4	59	42	50	3	5
		過去実績	40.8	0.1	4.3	3.6	87.7	0.3	9.1	7.9	66	39	47	3	12

過去実績：2005～2007年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第11表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度M	月間標準偏差σ	M+3σを超えた数
			大飯	日角浜A	4月	12.0	0.3	3.0	2.4	25.2	0.6	6.0	4.8	59	43
5月	15.7	0.4	3.1		2.6	31.2	0.8	6.2	5.2	59	46	51	3	0	
6月	12.8	0.5	3.0		2.4	26.0	0.9	5.8	4.7	60	44	52	3	0	
7月	20.1	0.2	5.0		3.8	39.2	0.3	9.9	7.6	63	45	51	3	3	
8月	14.3	0.3	3.7		3.0	28.1	0.6	7.1	5.7	62	47	52	3	1	
9月	12.1	0.6	3.9		2.8	26.4	1.3	8.1	5.9	59	42	48	3	2	
10月	11.9	0.6	4.1		2.3	23.8	1.0	8.4	4.8	57	43	49	3	1	
11月	11.1	0.6	3.7		2.4	21.8	1.1	7.0	4.5	64	44	54	4	0	
12月	12.8	0.4	3.5		2.4	25.3	0.8	6.6	4.5	62	47	54	3	0	
1月	13.3	0.4	3.6		2.6	26.3	0.8	7.0	5.2	58	43	51	3	0	
2月	12.8	0.6	3.7		2.4	28.0	1.2	7.5	5.0	61	43	50	3	2	
3月	10.1	0.5	2.6		1.8	19.8	1.0	5.1	3.4	59	45	51	3	1	
年間	20.1	0.2	3.6		2.7	39.2	0.3	7.1	5.3	64	42	51	3	11	
過去実績	20.0	0.1	3.6		2.8	41.9	0.3	7.3	5.8	63	41	50	3	8	
宮留A	宮留A	4月	12.2	0.3	3.0	2.4	25.6	0.6	6.0	4.8	59	45	50	3	2
5月		17.4	0.5	3.1	2.7	35.7	1.0	6.1	5.5	62	44	51	3	1	
6月		13.4	0.5	3.0	2.5	28.2	0.9	5.8	4.8	61	46	52	3	1	
7月		22.2	0.3	4.8	3.9	44.3	0.6	9.7	8.0	60	45	50	3	2	
8月		14.0	0.3	3.5	3.0	27.7	0.6	6.8	5.9	61	45	52	3	1	
9月		12.4	0.6	3.8	2.8	25.2	1.2	7.4	5.6	61	43	52	3	1	
10月		11.3	0.6	4.0	2.4	23.8	1.0	7.8	4.7	60	45	52	3	0	
11月		11.2	0.6	3.7	2.4	20.5	1.1	6.8	4.5	61	46	54	3	0	
12月		12.2	0.4	3.5	2.3	23.9	0.7	6.5	4.3	63	49	54	3	1	
1月		12.7	0.4	3.6	2.6	24.3	0.7	6.6	4.8	64	47	55	3	0	
2月		12.4	0.5	3.5	2.4	26.2	1.0	7.2	4.9	58	43	49	3	1	
3月		10.2	0.4	2.5	1.8	21.0	0.8	5.0	3.6	58	44	51	3	0	
年間		22.2	0.3	3.5	2.7	44.3	0.6	6.8	5.3	64	43	52	3	10	
過去実績		18.4	0.1	3.6	2.8	40	0.2	7.4	6.0	63	40	48	3	13	

過去実績：2005～2007年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地 区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
			高浜	小黒飯 A	4 月	5.4	0.3	2.2	1.1	10.7	0.7	4.5	2.3	59	44
		5 月	7.3	0.5	2.3	1.2	15.9	0.9	4.7	2.6	61	44	51	3	2
		6 月	6.8	0.4	2.1	1.3	13.4	0.9	4.2	2.7	57	43	50	3	1
		7 月	10.3	0.3	3.2	1.8	21.6	0.7	6.5	3.8	58	44	49	2	3
		8 月	7.0	0.3	2.4	1.4	14.2	0.7	4.8	2.8	60	43	50	3	2
		9 月	7.5	0.6	2.8	1.4	15.6	1.3	5.7	2.9	57	44	50	3	0
		10 月	7.5	0.6	2.9	1.1	14.5	1.0	5.7	2.2	61	44	51	3	1
		11 月	6.6	0.6	2.7	1.2	14.2	1.2	5.2	2.4	63	45	53	3	1
		12 月	7.9	0.6	2.8	1.3	16.1	1.1	5.4	2.5	60	46	53	3	0
		1 月	8.3	0.5	2.7	1.4	15.9	1.0	5.2	2.7	63	45	53	3	1
		2 月	7.6	0.6	2.9	1.4	16.6	1.1	6.1	2.9	54	42	48	2	0
		3 月	7.4	0.4	2.0	1.0	14.9	0.8	4.1	2.0	56	40	49	3	0
		年間	10.3	0.3	2.6	1.4	21.6	0.7	5.2	2.8	63	40	50	3	14
		過去 実績	10.0	0.2	2.7	1.5	22.3	0.3	5.8	3.3	61	39	47	3	11
	音海 A	4 月	6.7	0.3	2.4	1.3	14.4	0.7	5.0	2.7	59	43	49	3	2
		5 月	7.1	0.5	2.6	1.3	15.3	1.0	5.2	2.8	59	43	50	3	3
		6 月	7.1	0.4	2.3	1.5	13.7	0.9	4.7	2.9	59	43	50	3	1
		7 月	12.2	0.4	3.6	2.1	26.5	0.8	7.4	4.4	60	41	49	3	6
		8 月	9.6	0.3	2.7	1.6	18.6	0.6	5.4	3.3	58	44	50	3	0
		9 月	8.7	0.6	3.1	1.6	18.5	1.3	6.4	3.4	60	45	50	3	1
		10 月	9.1	0.7	3.3	1.5	18.2	1.3	6.6	2.9	60	45	50	3	1
		11 月	8.8	0.6	3.1	1.6	17.2	1.0	6.0	3.1	60	44	52	3	0
		12 月	8.2	0.6	3.3	1.7	16.6	1.1	6.5	3.3	61	43	52	3	1
		1 月	9.7	0.4	3.1	1.7	18.9	0.8	6.0	3.2	62	45	52	3	1
		2 月	8.3	0.6	3.1	1.5	16.9	1.1	6.2	3.1	58	45	51	3	0
		3 月	7.2	0.4	2.2	1.2	15.0	0.8	4.3	2.3	59	42	51	3	0
		年間	12.2	0.3	2.9	1.6	26.5	0.6	5.8	3.3	62	41	51	3	16
		過去 実績	11.1	0.2	2.9	1.7	23.7	0.3	6.1	3.6	64	41	48	3	10

過去実績：2005～2007年度

(注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第 1 1 表 浮遊じんの放射能濃度の連続測定結果

機関：A、 単位＝放射能濃度：Bq/m³、放射能濃度比：%

地 区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比				
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M + 3σ を超えた数
			高浜	神野浦 A	4 月	5.4	0.4	2.2	1.1	10.7	0.7	4.5	2.3	61	46
		5 月	6.8	0.5	2.3	1.2	14.0	0.9	4.6	2.4	62	45	52	3	2
		6 月	7.2	0.4	2.2	1.4	13.2	0.8	4.2	2.7	63	45	52	3	1
		7 月	9.3	0.4	3.1	1.7	18.3	0.9	6.2	3.4	62	44	50	3	1
		8 月	8.6	0.3	2.6	1.5	16.6	0.6	5.1	3.0	60	45	51	3	1
		9 月	7.4	0.6	3.0	1.5	14.9	1.2	6.0	3.0	59	44	50	3	1
		10 月	9.5	0.6	3.2	1.4	18.5	1.2	6.4	2.8	59	45	51	2	1
		11 月	8.6	0.5	2.9	1.6	17.2	1.0	5.5	3.0	61	46	54	3	0
		12 月	8.3	0.5	3.0	1.5	16.6	0.9	5.6	2.9	63	47	53	3	1
		1 月	10.1	0.4	2.8	1.6	19.8	0.8	5.6	3.2	59	43	50	3	0
		2 月	8.3	0.6	3.0	1.5	17.0	1.1	6.1	3.0	57	43	49	3	2
		3 月	8.2	0.4	2.0	1.1	14.1	0.9	3.7	2.0	63	46	54	3	1
		年間	10.1	0.3	2.7	1.5	19.8	0.6	5.3	3.0	63	43	51	3	12
		過去実績	10.5	0.2	2.8	1.6	22.1	0.4	5.7	3.3	63	41	49	3	10

過去実績：2005～2007年度

(注 1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データはいずれも 3 時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注 2) 「M + 3σ を超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注 3) 「平均値 + 標準偏差の 3 倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかの超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム検出器による核種分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
敦賀	浦底A	08.04.10～08.05.08	—	—	—	—	A
		08.05.08～08.06.04	—	—			
		08.06.04～08.07.02	—	—			
		08.07.02～08.08.06	—	—			
		08.08.06～08.09.03	—	—			
		08.09.03～08.10.08	—	—			
		08.10.08～08.11.04	—	—			
		08.11.04～08.12.03	—	—			
		08.12.03～09.01.07	—	—			
		09.01.07～09.02.04	—	—			
		09.02.04～09.03.04	—	—			
		09.03.04～09.04.09	—	—			
白木	白木A	08.04.09～08.05.08	—	—	—	—	A
		08.05.08～08.06.04	—	—			
		08.06.04～08.07.02	—	—			
		08.07.02～08.08.06	—	—			
		08.08.06～08.09.03	—	—			
		08.09.03～08.10.08	—	—			
		08.10.08～08.11.04	—	—			
		08.11.04～08.12.03	—	—			
		08.12.03～09.01.07	—	—			
		09.01.07～09.02.04	—	—			
		09.02.04～09.03.04	—	—			
		09.03.04～09.04.08	—	—			
美浜	竹波A	08.04.09～08.05.08	—	—	—	—	A
		08.05.08～08.06.04	—	—			
		08.06.04～08.07.02	—	—			
		08.07.02～08.08.06	—	—			
		08.08.06～08.09.03	—	—			
		08.09.03～08.10.08	—	—			
		08.10.08～08.11.04	—	—			
		08.11.04～08.12.03	—	—			
		08.12.03～09.01.07	—	—			
		09.01.07～09.02.04	—	—			
		09.02.04～09.03.04	—	—			
		09.03.04～09.04.08	—	—			

過去実績：2005～2007年度

第12表 大気中のヨウ素-131分析結果

単位：mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	¹³¹ 粒子状 I 濃度	¹³¹ ガス状 I 濃度	過去実績		機関
					¹³¹ 粒子状 I	¹³¹ ガス状 I	
大飯	宮留A	08.04.09~08.05.07	—	—	—	—	A
		08.05.07~08.06.03	—	—			
		08.06.03~08.07.02	—	—			
		08.07.02~08.08.05	—	—			
		08.08.05~08.09.02	—	—			
		08.09.02~08.10.08	—	—			
		08.10.08~08.11.05	—	—			
		08.11.05~08.12.02	—	—			
		08.12.02~09.01.07	—	—			
		09.01.07~09.02.03	—	—			
		09.02.03~09.03.03	—	—			
		09.03.03~09.04.08	—	—			
		高浜	小黒飯A	08.04.08~08.05.07			
08.05.07~08.06.03	—			—			
08.06.03~08.07.01	—			—			
08.07.01~08.08.05	—			—			
08.08.05~08.09.02	—			—			
08.09.02~08.10.07	—			—			
08.10.07~08.11.05	—			—			
08.11.05~08.12.02	—			—			
08.12.02~09.01.06	—			—			
09.01.06~09.02.03	—			—			
09.02.03~09.03.03	—			—			
09.03.03~09.04.07	—			—			

過去実績：2005～2007年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	立石B	08.04.01~08.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	B
	〃	08.05.02~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.07.01~08.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.08.01~08.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	〃	08.09.01~08.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	〃	08.10.01~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	-	-	
	〃	08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
	〃	08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	〃	09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	
	〃	09.03.02~09.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	-	-	
浦底A	浦底A	08.04.10~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	A
	〃	08.05.08~08.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	
	〃	08.06.04~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.07.02~08.08.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	-	
	〃	08.08.06~08.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-	
	〃	08.09.03~08.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	08.10.08~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	08.11.04~08.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	08.12.03~09.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	-	
	〃	09.01.07~09.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	〃	09.02.04~09.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	09.03.04~09.04.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
浦底B	浦底B	08.04.01~08.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	B
	〃	08.05.02~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	〃	08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	-	-	
	〃	08.07.01~08.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.08.01~08.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	〃	08.09.01~08.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	08.10.01~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	-	-	
	〃	08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
	〃	08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
	〃	09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	
	〃	09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	09.03.02~09.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	-	-	
色ヶ浜B	色ヶ浜B	08.04.01~08.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	B
	〃	08.05.02~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	
	〃	08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.07.01~08.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	
	〃	08.08.01~08.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	〃	08.09.01~08.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	

過去実績：2005～2007年度

(注) ヨウ素-131は、ガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

以下の核種分析結果の表では/は調査対象外、-は検出限界値未満、0.0は0.05未満で検出限界値以上の測定値を意味する。

過去実績の欄で、-と記したものは、検出値が1例もないものである。濃度は採取時の値である。

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	色ヶ浜B	08.10.01~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	B
	〃	08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	〃	08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	〃	09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	
	〃	09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	
	〃	09.03.02~09.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
白木	白木A	08.04.09~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	A
	〃	08.05.08~08.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
	〃	08.06.04~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-	
	〃	08.07.02~08.08.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.08.06~08.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	〃	08.09.03~08.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	〃	08.10.08~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-	
	〃	08.11.04~08.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	
	〃	08.12.03~09.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	〃	09.01.07~09.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	09.02.04~09.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	09.03.04~09.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	
	松ヶ崎D	08.04.01~08.05.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	D
	〃	08.05.01~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	〃	08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	-	-	
	〃	08.07.01~08.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-	-	
	〃	08.08.01~08.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	
	〃	08.09.01~08.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	〃	08.10.01~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	〃	08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	
〃	08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-		
〃	09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-		
〃	09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-		
〃	09.03.02~09.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-		
美浜	竹波A	08.04.09~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	A
	〃	08.05.08~08.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	08.06.04~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
	〃	08.07.02~08.08.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	〃	08.08.06~08.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-	-	
	〃	08.09.03~08.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	
	〃	08.10.08~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	08.11.04~08.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	〃	08.12.03~09.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	〃	09.01.07~09.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	
	〃	09.02.04~09.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
〃	09.03.04~09.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-		

過去実績：2005～2007年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
美浜	丹生C	08.04.01~08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	C
	〃	08.05.07~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-	
	〃	08.07.01~08.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
	〃	08.08.01~08.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	〃	08.09.01~08.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	
	〃	08.10.01~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	-	-	
	〃	08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	
〃	09.03.02~09.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-		
大飯	宮留A	08.04.09~08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.1	-	-	A
	〃	08.05.07~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	
	〃	08.06.03~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.07.02~08.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	〃	08.08.05~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	〃	08.09.02~08.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	08.10.08~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	-	-	
	〃	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	〃	08.12.02~09.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-	-	
	〃	09.01.07~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.1	-	-	
	〃	09.03.03~09.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
	宮留C	08.04.02~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	C
	〃	08.05.08~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	〃	08.06.03~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.07.02~08.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.08.04~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.09.02~08.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	
	〃	08.10.02~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8	-	-	
	〃	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
	〃	08.12.02~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-	
〃	09.01.06~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-		
〃	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-		
〃	09.03.03~09.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	-	-		
高浜	音海C	08.04.02~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.6	-	-	C
	〃	08.05.08~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	
	〃	08.06.03~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
	〃	08.07.02~08.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	〃	08.08.04~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	
	〃	08.09.02~08.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	

過去実績：2005～2007年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
高浜	音海C	08.10.02~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-	C
	"	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	
	"	08.12.02~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	-	-	
	"	09.01.06~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	"	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	-	
	"	09.03.03~09.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-	A
	小黒飯A	08.04.08~08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	-	-	
	"	08.05.07~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	"	08.06.03~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
	"	08.07.01~08.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	
	"	08.08.05~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	
	"	08.09.02~08.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
	"	08.10.07~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.8	-	-	
	"	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6	-	-	
	"	08.12.02~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	"	09.01.06~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	
	"	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-	
	"	09.03.03~09.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	
	"	09.03.03~09.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.7	-	-	
	小黒飯C	08.04.02~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-	
"	08.05.08~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	-	-		
"	08.06.03~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-		
"	08.07.02~08.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	-	-		
"	08.08.04~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-		
"	08.09.02~08.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-		
"	08.10.02~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-		
"	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	-	-		
"	08.12.02~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-		
"	09.01.06~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	-	-		
"	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	-	-		
"	09.03.03~09.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.1	-	-		
対照	原目町(衛研)	08.04.02~08.04.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	A
	"	08.05.01~08.05.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
	"	08.06.02~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	"	08.07.01~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	
	"	08.08.01~08.08.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	
	"	08.09.01~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
	"	08.10.01~08.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	-	-	
	"	08.11.04~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.7	-	-	
	"	08.12.01~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7	-	-	
	"	09.01.05~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9	-	-	
	"	09.02.05~09.02.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	-	-	
"	09.03.02~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-		

過去実績：2005~2007年度

第13表 核種分析結果 その1 浮遊じん(参考データ：3ヶ月試料)

単位： mBq/m³

地区	採取地点	採取期間	目的核種						参考核種		天然核種	過去実績		機関	
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	立石A	08.04.10～08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2	—	—	A
	〃	08.07.02～08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—	—	
	〃	08.10.08～09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8	—	—	
	〃	09.01.07～09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	—	—	
白木	白木峠A	08.04.09～08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	—	—	A
	〃	08.07.02～08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	—	—	
	〃	08.10.08～09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.2	—	—	
	〃	09.01.07～09.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	—	—	
美浜	丹生A	08.04.09～08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	—	—	A
	〃	08.07.02～08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.2	—	—	
	〃	08.10.08～09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	—	—	
	〃	09.01.07～09.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	—	—	
大飯	日角浜A	08.04.09～08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	—	—	A
	〃	08.07.02～08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—	—	
	〃	08.10.08～09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	—	—	
	〃	09.01.07～09.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	—	—	
高浜	音海A	08.04.08～08.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	—	—	A
	〃	08.07.01～08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	—	—	
	〃	08.10.07～09.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	—	—	
	〃	09.01.06～09.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	—	—	
	神野浦A	08.04.08～08.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.9	—	—	A
	〃	08.07.01～08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	—	—	
	〃	08.10.07～09.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	—	—	
	〃	09.01.06～09.04.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	—	—	

過去実績：2005～2007年度

(注) 吸引量は約12,000立方メートル

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（水試）	水道水	08.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	08.09.03	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.12.03	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	09.03.04	—	—	—	—	—	—	—				
	浦底（明神寮）	〃	08.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	08.07.01	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.10.01	—	—	—	—	—	—	—				
白木	白木（民家）	〃	08.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
	〃	〃	08.09.03	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.12.03	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	09.03.04	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.05.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.11.11	—	—	—	—	—	—	—				
美浜	丹生（旧漁協）	〃	08.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C	
	〃	〃	09.01.05	—	—	—	—	—	—	—				
	丹生（民家）	〃	08.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	08.09.03	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	09.03.04	—	—	—	—	—	—	—				
大飯	宮留（民家）	〃	08.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
	〃	〃	08.09.02	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.12.02	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	09.03.03	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
〃	〃	09.01.06	—	—	—	—	—	—	—					
高浜	音海（民家）	〃	08.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	
	〃	〃	08.09.02	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.12.02	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	09.03.03	—	—	—	—	—	—	—				
	〃	〃	08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	〃	〃	09.01.06	—	—	—	—	—	—	—				
	小黒飯（民家）	〃	08.07.02	—	—	—	—	—	—	—				—
〃	〃	09.01.06	—	—	—	—	—	—	—					

過去実績：2005～2007年度

（注）機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第14表 核種分析結果 その2 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種					参考核種		天然核種	過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
対照	原目町(衛研)	水道水	08.06.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A
	〃	〃	08.09.22	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	08.12.19	—	—	—	—	—	—	—	—			
	〃	〃	09.03.12	—	—	—	—	—	—	—	—			
美浜	竹波(落合川)	河川水	08.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	〃	〃	09.01.05	—	—	—	—	—	—	—	—			

過去実績：2005～2007年度

(注) 機関Aはマリネリピーカーを用いて直接測定、その他の機関はパウデックス樹脂に吸着後測定。

第15表 核種分析結果 その3 陸土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	土床	08.05.08	—	—	—	8.5	—	—	9.2	860	55	34	—	9.4~19	A
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	12	—	—	5.0	900	63	38			B
	〃	〃	08.07.01	—	—	—	12	—	—	5.6	1200	75	38			
	〃	〃	09.01.06	—	—	—	12	—	—	7.0	1100	63	34			
	発電所北端周辺	山土	08.05.14	—	—	—	23	—	—	—	1200	84	56	—	21~29	D
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	20	—	—	—	1200	85	51			
	〃	〃	08.11.12	—	—	—	23	—	—	—	1200	84	52			
〃	〃	09.02.10	—	—	—	28	—	—	—	1200	89	54				
白木	松ヶ崎	土床	08.05.08	—	—	—	0.8	—	—	12	1100	62	37	—	1.2~2.2	A
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	1.4	—	—	12	1200	92	48			
	〃	〃	08.07.10	—	—	—	1.7	—	—	9.7	1200	100	47			D
	〃	〃	09.01.15	—	—	—	2.2	—	—	11	1200	120	52			
美浜	丹生	〃	08.05.08	—	—	—	4.2	—	—	9.9	1200	88	49	—	3.1~6.5	A
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	4.0	—	—	8.4	1200	87	49			
	〃	〃	08.07.01	—	—	—	3.2	—	—	—	1200	98	50			C
	〃	〃	09.01.05	—	—	—	6.2	—	—	9.2	1100	96	51			
大飯	日角浜	未耕土	08.05.07	—	—	—	50	—	—	10	330	30	28	—	44~90	A
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	89	—	—	6.8	320	29	25			
	畑村	〃	08.07.02	—	—	—	3.6	—	—	9.0	320	20	19	—	1.5~4.4	C
	〃	〃	09.01.06	—	—	—	2.0	—	—	16	350	19	21			
高浜	小黒飯	山土	08.05.07	—	—	—	5.0	—	—	26	540	45	27	—	4.8~13	A
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	4.3	—	—	13	550	47	28			
	〃	未耕土	08.07.02	—	—	—	9.0	—	—	11	660	35	33	—	2.8~11	C
	〃	〃	09.01.06	—	—	—	4.2	—	—	25	690	41	31			
対照	原目町（衛研）	〃	08.06.05	—	—	—	2.6	—	—	16	570	26	19	—	1.6~4.0	A
	〃	〃	08.11.26	—	—	—	4.5	—	—	9.9	630	30	20			
	奥越高原牧場	山土	08.06.11	—	—	—	150	—	—	15	180	18	12			—

過去実績：2005~2007年度

(注) 0~5cmで採取した試料の粒径2mm以下を分析した。Th系列（Th-Ser）はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列（U-Ser）はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2%（または36.0%）を用いて求めたものである。

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	ヨモギ	08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49	310	—	ND~0.4	A
	〃	〃	08.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62	250			
	〃	〃	08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90	270			
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53	280			
	〃	〃	08.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74	270			
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60	230			
	〃	〃	08.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140	220			
白木	松ヶ崎	〃	08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	230	—	ND~0.2	A
	〃	〃	08.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	220			
	〃	〃	08.07.02	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	66	240			
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	270			
	〃	〃	08.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74	210			
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100	220			
	〃	〃	08.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	220			
美浜	竹波	〃	08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	240	—	ND~0.3	A
	〃	〃	08.06.02	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	58	250			
	〃	〃	08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	93	260			
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46	250			
	〃	〃	08.09.01	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	66	230			
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	92	220			
	〃	〃	08.11.04	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	150	240			
大飯	日角浜	〃	08.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	290	—	—	A
	〃	〃	08.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	210			
	〃	〃	08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	250			
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	270			
	〃	〃	08.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53	230			
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	190			
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56	220			
高浜	小黒飯	〃	08.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	310	—	ND~0.1	A
	〃	〃	08.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	59	240			
	〃	〃	08.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100	240			
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	280			
	〃	〃	08.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	250			
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	170	260			
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140	240			

過去実績：2005~2007年度

第16表 核種分析結果 その4 指標植物

単位： Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
対照	原目町	ヨモギ	08.05.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	260	—	ND~0.2	A
	〃	〃	08.06.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	47	260			
	〃	〃	08.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46	250			
	〃	〃	08.08.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	260			
	〃	〃	08.09.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65	250			
	〃	〃	08.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	95	250			
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49	210			

過去実績：2005～2007年度

第17表 核種分析結果 その5 松葉（2年葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（明神寮）	松葉	08.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	77	—	—	B
	〃	〃	08.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50	92	—	—	B
	発電所北端周辺	〃	08.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	61	—	—	D
	〃	〃	09.02.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	74	—	—	D
白木	白木トンネル北口付近	〃	08.08.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.4	87	—	—	D
	〃	〃	09.02.12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28	71	—	—	D
美浜	丹生	〃	08.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	63	—	—	C
	〃	〃	08.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29	64	—	—	C
大飯	畑村	〃	08.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	53	—	—	C
	〃	〃	08.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	50	—	—	C
高浜	小黒飯	〃	08.04.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46	79	—	—	C
	〃	〃	08.10.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	58	56	—	—	C
対照	福井市寮町（県農試）	〃	08.11.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	70	—	—	A

過去実績：2005～2007年度

第18表 核種分析結果 その6 農産物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底	大根葉	08.11.05	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	7.2	100	—	ND~0.0	A
白木	白木	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8	120	—	ND~0.0	A
美浜	丹生	〃	08.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	140	—	—	A
大飯	長井	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	130	—	ND~0.0	A
高浜	山中	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.8	140	/	/	A
対照	あわら市	〃	08.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	170	—	—	A

過去実績：2005～2007年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be		⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	浦底（水試）	08.04.10～08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200	—	ND～0.2	A
	〃	08.05.08～08.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150			
	〃	08.06.04～08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	08.07.02～08.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	95			
	〃	08.08.06～08.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210			
	〃	08.09.03～08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190			
	〃	08.10.08～08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	270			
	〃	08.11.06～08.12.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	690			
	〃	08.12.03～09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	690			
	〃	09.01.07～09.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	570			
	〃	09.02.04～09.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	270			
	〃	09.03.04～09.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	450			
	浦底（明神寮）	08.04.01～08.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160	—	—	B
	〃	08.05.02～08.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	160			
	〃	08.06.02～08.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	08.07.01～08.08.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	98			
	〃	08.08.01～08.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	08.09.01～08.10.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	180			
	〃	08.10.01～08.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	290			
	〃	08.11.04～08.12.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	490			
〃	08.12.01～09.01.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	650				
〃	09.01.02～09.02.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	600				
〃	09.02.02～09.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	260				
〃	09.03.02～09.04.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	440				
白木	松ヶ崎	08.04.09～08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	190	—	ND～0.1	A
	〃	08.05.08～08.06.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110			
	〃	08.06.04～08.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	08.07.02～08.08.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	94			
	〃	08.08.06～08.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	220			
	〃	08.09.03～08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	130			
	〃	08.10.08～08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140			
	〃	08.11.06～08.12.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	220			
	〃	08.12.03～09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	450			
	〃	09.01.07～09.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	480			
	〃	09.02.04～09.03.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250			
	〃	09.03.04～09.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	360			

過去実績：2005～2007年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
白木	松ヶ崎	08.04.01~08.05.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	-	D
	"	08.05.01~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	"	08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	"	08.07.01~08.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76			
	"	08.08.01~08.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	"	08.09.01~08.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
	"	08.10.01~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
	"	08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230			
	"	08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	430			
	"	09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	420			
	"	09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210			
"	09.03.02~09.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	270				
美浜	竹波（落合川取水場）	08.04.09~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	-	ND~0.2	A
	"	08.05.08~08.06.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140			
	"	08.06.04~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
	"	08.07.02~08.08.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89			
	"	08.08.06~08.09.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190			
	"	08.09.03~08.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230			
	"	08.10.08~08.11.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310			
	"	08.11.06~08.12.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360			
	"	08.12.03~09.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	790			
	"	09.01.07~09.02.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	510			
	"	09.02.04~09.03.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210			
	"	09.03.04~09.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360			
	丹生	丹生	08.04.01~08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
"		08.05.07~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
"		08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
"		08.07.01~08.08.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
"		08.08.01~08.09.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
"		08.09.01~08.10.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260			
"		08.10.01~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310			
"		08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370			
"		08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	720			
"		09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	570			
"		09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310			
"	09.03.02~09.04.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360				

過去実績：2005~2007年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
大飯	宮留A	08.04.09~08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	-	-	A
	"	08.05.07~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110			
	"	08.06.03~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180			
	"	08.07.02~08.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80			
	"	08.08.05~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	08.09.02~08.10.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250			
	"	08.10.08~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160			
	"	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	300			
	"	08.12.02~09.01.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	550			
	"	09.01.07~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	340			
	"	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	390			
	"	09.03.03~09.04.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280			
	日角浜	08.04.02~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	-	C
	"	08.05.08~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130			
	"	08.06.03~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190			
	"	08.07.02~08.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69			
	"	08.08.04~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160			
	"	08.09.02~08.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	240			
	"	08.10.02~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210			
	"	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310			
"	08.12.02~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	560				
"	09.01.06~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360				
"	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	370				
"	09.03.03~09.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	290				
高浜	小黒飯A	08.04.08~08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	-	ND~0.1	A
	"	08.05.07~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150			
	"	08.06.03~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160			
	"	08.07.01~08.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86			
	"	08.08.05~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	360			
	"	08.09.02~08.10.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	280			
	"	08.10.07~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260			
	"	08.12.02~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	440			
	"	09.01.06~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	390			
	"	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	540			
"	09.03.03~09.04.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	400				

過去実績：2005~2007年度

第19表 核種分析結果 その7 降下物

単位： Bq/m²

地区	採取地点	採取期間	目的核種							参考核種			天然核種	過去実績		機関
			²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
高浜	小和田	08.04.02~08.05.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180	-	-	C
	"	08.05.08~08.06.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	08.06.03~08.07.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	08.07.02~08.08.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100			
	"	08.08.04~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310			
	"	08.09.02~08.10.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260			
	"	08.10.02~08.11.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210			
	"	08.11.05~08.12.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	340			
	"	08.12.02~09.01.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	650			
	"	09.01.06~09.02.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	480			
	"	09.02.03~09.03.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	520			
	"	09.03.03~09.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	520			
対照	原目町(衛研)	08.04.04~08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	-	ND~0.2	A
	"	08.05.07~08.06.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
	"	08.06.02~08.07.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170			
	"	08.07.01~08.08.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
	"	08.08.05~08.09.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120			
	"	08.09.02~08.10.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140			
	"	08.10.03~08.11.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230			
	"	08.11.04~08.12.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	440			
	"	08.12.01~09.01.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	620			
	"	09.01.05~09.02.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	630			
	"	09.02.02~09.03.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310			
	"	09.03.02~09.04.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	440			

過去実績：2005~2007年度

第20表 核種分析結果 その8 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石沖	海水	08.08.05	—	—	—	2.0	—	—	—	2.0~2.6	B
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	2.0	—	—	—	—	B
	2号放水口	〃	08.04.16	—	—	—	1.3	—	—	—	1.3~2.4	A
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	1.8	—	—			B
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	1.3	—	—			A
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	2.1	—	—			B
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	2.1	—	—			B
	ふげん放水口	〃	08.04.16	—	—	—	—	—	—	—	1.4~2.3	A
	〃	〃	08.09.18	—	—	—	2.4	—	—			D
〃	〃	08.10.15	—	—	—	1.7	—	—	A			
〃	〃	09.03.04	—	—	—	1.8	—	—	D			
白木	もんじゅ放水口	〃	08.04.16	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.3	A
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	1.2	—	—			D
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	—	—	—			A
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	1.6	—	—			D
	白木漁港	〃	08.08.05	—	—	—	1.2	—	—	—	1.7~2.3	D
〃	〃	09.02.04	—	—	—	1.9	—	—	D			
美浜	1, 2号放水口	〃	08.04.16	—	—	—	1.6	—	—	—	ND~2.2	A
	〃	〃	08.05.15	—	—	—	1.4	—	—			C
	〃	〃	08.08.07	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	1.5	—	—			A
	〃	〃	08.11.07	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	1.6	—	—			C
	3号放水口	〃	08.04.16	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~1.8	A
	〃	〃	08.05.15	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	08.08.07	—	—	—	1.4	—	—			C
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	1.4	—	—			A
	〃	〃	08.11.07	—	—	—	—	—	—			C
〃	〃	09.02.05	—	—	—	1.3	—	—	C			
大飯	放水口	〃	08.04.15	—	—	—	2.0	—	—	—	ND~2.0	A
	〃	〃	08.05.13	—	—	—	1.9	—	—			C
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	08.10.14	—	—	—	1.7	—	—			A
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	09.02.03	—	—	—	—	—	—			C
高浜	1, 2号放水口	〃	08.04.15	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.5	A
	〃	〃	08.05.14	—	—	—	1.9	—	—			C
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	08.10.14	—	—	—	1.6	—	—			A
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	—	—	—			C

過去実績：2005~2007年度

第20表 核種分析結果 その8 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	⁵⁹ Fe	¹³⁴ Cs	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
高浜	3, 4号放水口	海水	08.04.15	—	—	—	1.5	—	—	—	ND~2.1	A
	〃	〃	08.05.14	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	1.3	—	—			C
	〃	〃	08.10.14	—	—	—	1.7	—	—			A
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—			C
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	1.7	—	—			C
対照	福井市小丹生町	〃	08.04.09	—	—	—	1.0	—	—	—	ND~1.8	A
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	1.7	—	—			A

過去実績：2005～2007年度

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関		
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs			
敦賀	1号放水口	砂	08.04.16	—	—	—	—	—	—	—	6.7	1600	34	22	—	ND~2.0	A	
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	—	—	—	—	3.9	1300	42	25	—	—	A	
	〃	砂・泥	08.08.05	—	—	—	1.3	—	—	—	4.8	1500	63	35	—	—	B	
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	1.9	—	—	—	—	1400	69	35	—	—	B	
	1号取水口西	砂	08.06.02	—	—	—	0.5	—	—	—	9.8	1300	25	23	—	ND~2.2	A	
	〃	〃	08.09.01	—	—	—	—	—	—	—	5.8	1000	20	19	—	—	A	
	〃	〃	08.12.03	—	—	—	—	—	—	—	7.3	950	20	19	—	—	A	
	〃	〃	09.03.02	—	—	—	0.3	—	—	—	6.6	930	21	20	—	—	A	
	〃	砂・泥	08.05.08	—	—	—	1.2	—	—	—	—	1600	37	23	—	—	B	
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	1.3	—	—	—	5.3	1500	40	26	—	—	B	
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	1.1	—	—	—	—	1600	52	29	—	—	B	
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	1.4	—	—	—	5.8	1500	50	30	—	—	B	
	明神崎F	砂	08.06.02	—	—	—	—	—	—	—	6.2	1000	18	15	—	ND~0.4	A	
	〃	〃	08.09.01	—	—	—	—	—	—	—	4.9	1100	17	15	—	—	A	
	〃	〃	08.12.03	—	—	—	—	—	—	—	6.2	1100	18	15	—	—	A	
	〃	〃	09.03.02	—	—	—	—	—	—	—	10	1200	20	18	—	—	A	
	水試前	〃	08.10.15	—	—	—	1.3	—	—	—	—	970	51	29	—	ND~1.7	A	
	浦底湾口	泥	〃	—	—	—	3.5	—	—	—	3.8	720	59	31	—	3.7~4.0	A	
	立石	砂・泥	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	1200	28	18	—	—	A
	〃	砂	08.06.10	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	39	20	—	—	D	
	〃	〃	08.09.18	—	—	—	—	—	—	—	—	990	26	16	—	—	D	
	〃	〃	08.12.02	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	25	15	—	—	D	
	〃	〃	09.03.04	—	—	—	—	—	—	—	12	990	33	19	—	—	D	
	2号放水口	〃	08.04.08	—	—	—	—	—	—	—	5.5	790	15	9.2	—	—	B	
	〃	〃	08.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	780	19	15	—	—	B	
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	10	920	18	12	—	—	B	
	〃	〃	09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	4.3	970	19	14	—	—	B	
	ふげん放水口	泥	08.11.11	—	—	—	—	—	—	—	21	520	16	9.3	—	—	A	
	〃	砂	08.06.10	—	—	—	—	—	—	—	13	770	24	11	—	—	D	
	〃	〃	08.09.18	—	—	—	—	—	—	—	30	710	27	11	—	—	D	
〃	〃	08.12.02	—	—	—	—	—	—	—	4.0	670	20	13	—	—	D		
〃	〃	09.03.04	—	—	—	—	—	—	—	4.5	700	24	18	—	—	D		
白木	もんじゅ放水口	〃	08.04.16	—	—	—	—	—	—	2.9	1300	16	14	—	—	A		
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	—	—	—	—	1300	15	13	—	—	A		
	〃	〃	08.05.13	—	—	—	—	—	—	—	1400	16	12	—	—	D		
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1300	15	9.3	—	—	D		
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	1400	18	12	—	—	D		
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	—	—	—	—	1300	25	14	—	—	D		
	もんじゅ放水口沖	〃	08.04.16	—	—	—	—	—	—	—	7.9	1000	230	62	—	—	A	
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	—	—	—	—	—	1200	43	21	—	—	A	
	もんじゅ放水口東	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1400	18	14	—	—	A	
	白木漁港	〃	08.05.13	—	—	—	—	—	—	—	4.7	1400	18	15	—	—	D	
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	1300	18	11	—	—	D	
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	1400	17	14	—	—	D	
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	—	—	—	—	—	1400	19	13	—	—	D	
	門ヶ崎	〃	08.10.15	—	—	—	—	—	—	—	—	1100	21	16	—	—	A	

過去実績：2005~2007年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
美浜	1, 2号放水口	砂・泥	〃	—	—	—	0.3	—	—	12	800	45	20	—	ND~0.4	A
	〃	砂	08.05.15	—	—	—	—	—	—	8.6	760	61	27			C
	〃	〃	08.08.07	—	—	—	—	—	—	17	670	71	24			C
	〃	〃	08.11.07	—	—	—	—	—	—	13	600	63	21			C
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	—	—	—	25	670	30	16			C
	1, 2号放水口沖	〃	08.10.15	—	—	—	—	—	—	—	1000	65	27	—	—	A
	〃	〃	08.05.15	—	—	—	—	—	—	—	1200	120	64			C
	〃	〃	08.08.07	—	—	—	—	—	—	—	1200	160	99			C
	〃	〃	08.11.07	—	—	—	—	—	—	—	1100	54	30			C
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	—	—	—	12	1100	130	76			C
	3号放水口	〃	08.05.15	—	—	—	—	—	—	—	830	25	17	—	—	C
	〃	〃	08.08.07	—	—	—	—	—	—	—	850	59	25			C
	〃	〃	08.11.07	—	—	—	—	—	—	—	930	26	16			C
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	—	—	—	3.5	690	26	19			C
	3号放水口沖	〃	08.10.15	—	—	—	—	—	—	3.1	740	27	18	—	—	A
	丹生湾中央	泥	08.04.16	—	—	—	6.9	—	—	10	670	65	29	—	5.8~8.1	A
	〃	〃	08.10.15	—	—	—	6.9	—	—	6.2	670	62	28			A
	〃	〃	08.05.15	—	—	—	7.0	—	—	—	700	70	32			C
	〃	〃	08.08.07	—	—	—	6.7	—	—	—	660	67	28			C
	〃	〃	08.11.07	—	—	—	5.8	—	—	—	620	58	30			C
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	7.5	—	—	—	710	67	34			C
避難港	〃	08.10.15	—	—	—	8.8	—	—	11	730	79	37	—	7.8~9.5	A	
丹生湾奥	砂・泥	〃	—	—	—	3.0	—	—	6.5	1100	74	42	—	1.1~2.6	A	
美浜発電所取水口	砂	〃	—	—	—	—	—	—	4.9	1000	49	28	—	0.5~1.1	A	
大飯	放水口	〃	08.10.14	—	—	—	—	—	—	3.5	120	3.9	4.3	—	ND~0.2	A
	〃	〃	08.05.13	—	—	—	—	—	—	3.7	130	4.3	4.9			C
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	3.4	120	3.4	3.8			C
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	—	3.5	120	4.1	3.8			C
	〃	〃	09.02.03	—	—	—	—	—	—	2.6	120	4.2	4.3			C
	放水口沖	〃	08.05.13	—	—	—	—	—	—	3.0	140	5.0	5.1	—	—	C
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—	140	6.0	5.0			C
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	—	2.0	170	6.3	5.8			C
	〃	〃	09.02.03	—	—	—	—	—	—	2.9	200	6.9	6.7			C
	冠者島横	〃	08.10.14	—	—	—	0.3	—	—	2.9	56	1.2	0.7	—	0.7~1.0	A
西村入江	砂・泥	〃	—	—	—	4.3	—	—	5.7	530	24	17	—	4.5~5.5	A	
高浜	1, 2号放水口	〃	08.04.15	—	—	—	0.8	—	—	8.3	420	17	12	—	0.7~1.9	A
	〃	砂	08.10.14	—	—	—	1.0	—	—	4.8	460	21	15			A
	〃	〃	08.05.14	—	—	—	1.0	—	—	21	470	22	13			C
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	0.9	—	—	6.3	600	31	18			C
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	0.7	—	—	5.5	420	20	13			C
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	0.7	—	—	4.8	410	22	15			C

過去実績：2005~2007年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第21表 核種分析結果 その9 海底土

単位：Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
高浜	3, 4号放水口	泥	08.04.15	—	—	—	0.9	—	—	22	400	24	14	—	ND~1.1	A	
	〃	砂・泥	08.10.14	—	—	—	0.7	—	—	8.9	430	25	15			A	
	〃	砂	08.05.14	—	—	—	—	—	—	4.5	400	25	15			C	
	〃	〃	08.08.06	—	—	—	0.6	—	—	3.4	370	21	13			C	
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	0.6	—	—	7.4	380	20	12			C	
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	0.7	—	—	35	360	22	14			C	
	放水口沖	砂・泥	08.10.14	—	—	—	2.0	—	—	3.0	380	17	11	—	1.3~2.5	A	
	〃	砂	08.05.14	—	—	—	1.2	—	—	3.7	380	17	10			C	
	〃	泥	08.08.06	—	—	—	1.3	—	—	4.6	380	18	11			C	
	〃	砂	08.11.06	—	—	—	1.1	—	—	6.3	380	17	11			C	
	〃	〃	09.02.04	—	—	—	1.3	—	—	4.3	360	17	10			C	
	旧内浦港口ブイ	〃	〃	08.10.14	—	—	—	1.9	—	—	3.9	480	17	11	—	1.2~4.1	A
	神野浦	砂・泥	〃	〃	—	—	—	0.6	—	—	6.4	280	8.6	5.3	—	0.8~1.1	A
	白井入江	〃	〃	〃	—	—	—	1.2	—	—	9.4	310	12	9.1	—	0.6~0.7	A
	音海	〃	〃	〃	—	—	—	1.7	—	—	—	490	19	17	—	0.8~1.4	A

過去実績：2005～2007年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種						参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機 関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K			⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	立石岬	メジナ	肉	08.04.05	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	19	225	-	ND~0.2	A
	"	ナマコ	全身	"	-	-	-	-	/	-	-	-	1.2	19	25	286	-	ND~0.2	A
	色ヶ浜(養殖)	マダイ	肉	08.06.04	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	36	1038	-	ND~0.2	A
	"	"	"	08.09.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	36	1406	-	ND~0.2	A
	立石漁港	アジ	"	08.10.07	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	17	73	-	ND~0.2	A
	"	ブリ	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	30	599	-	ND~0.2	A
	立石沖	サワラ	"	08.11.10	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	140	38	451	-	ND~0.2	D
	"	"	"	08.11.11	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	180	40	500	-	ND~0.2	B
	手ノ浦	マダイ	"	08.12.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	140	38	1592	-	ND~0.2	A
	色ヶ浜(養殖)	"	"	09.03.03	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	40	1932	-	ND~0.2	A
	立石漁港	サザエ	除殻	08.06.11	-	-	-	-	/	-	-	-	5.8	76		77	-	ND~0.0	A
	ふげん放水口	"	"	"	-	-	-	-	/	-	-	-	6.1	79		60	-	ND~0.0	A
	立石岬	"	"	08.07.02	-	-	-	-	/	-	-	-	5.0	78		87	-	ND~0.0	A
	立石沖	"	"	08.07.08	-	-	-	-	/	-	-	-	6.6	93		100	-	ND~0.0	B
	立石岬	ワカメ	除根	08.04.05	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	330			-	-	A
	立石漁港	"	"	08.05.07	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	190			-	-	A
えりヶ崎	"	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	220			-	-	A	
立石沖	"	"	08.05.14	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	230			-	-	B	
白木	アジゴ崎	メジナ	肉	08.04.08	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	23	384	-	ND~0.2	A
	門ヶ崎沖	ブリ	"	08.05.26	-	-	-	-	/	0.2	-	-	-	140	39	795	-	ND~0.2	A
	白木沖	アジ	全身	08.07.28	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	98	7	6	-	ND~0.2	D
	もんじゅ放水口	ブリ	肉	08.10.02	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	130	34	678	-	ND~0.2	A
	"	サワラ	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	150	41	588	-	ND~0.2	A
	白木沖	アジ	全身	08.11.12	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	87	12	21	-	ND~0.2	D
	アジゴ崎	サザエ	除殻	08.06.07	-	-	-	-	/	-	-	-	3.2	68		55	-	ND~0.0	A
	"	アワビ	"	"	-	-	-	-	/	0.0	-	-	3.1	65		184	-	ND~0.0	A
	"	サザエ	"	08.07.02	-	-	-	-	/	-	-	-	3.7	56		60	-	ND~0.0	A
	白木沿岸	"	"	08.08.01	-	-	-	-	/	-	-	-	3.1	59		55	-	ND~0.0	D
	もんじゅ取水口	ワカメ	除根	08.04.02	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	230			-	ND~0.0	A
	白木沿岸	"	"	08.04.15	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	230			-	ND~0.0	D
	松ヶ崎	"	"	08.05.04	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	230			-	ND~0.0	A
門ヶ崎	"	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	260			-	ND~0.0	A	
美浜	3号放水口沖	クサフグ	全身	08.04.08	-	-	-	-	/	0.1	-	-	0.4	86	14	117	-	ND~0.1	A
	竹波	ボラ	肉	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	37	820	-	ND~0.1	A
	1, 2号放水口	アジ	全身	08.06.09	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	21	87	-	ND~0.1	C
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	16	40	-	ND~0.1	C
	針岩	サバ	"	08.07.01	-	-	-	-	/	0.0	-	-	1.3	120	10	10	-	ND~0.1	A
	1, 2号放水口	アジ	"	08.10.01	-	-	-	-	/	0.0	-	-	-	110	12	8	-	ND~0.1	C
	3号放水口	"	"	"	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	110	12	7	-	ND~0.1	C
	3号放水口沖	"	"	08.10.09	-	-	-	-	/	0.1	-	-	-	120	8	7	-	ND~0.1	A
	1, 2号放水口	カワハギ	"	08.10.15	-	-	-	-	/	0.1	-	-	6.1	96	19	58	-	ND~0.1	A

過去実績：2005~2007年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

第22表 核種分析結果 その10 海産食品

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	目的核種							参考核種		天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績		機関
					²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co			¹³⁷ Cs		
美浜	3号放水口	サザエ	除殻	08.06.12	—	—	—	—	/	—	—	—	5.6	86		48	—	ND~0.0	A	
	あご越	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	4.1	84		53	A			
	3号放水口付近	〃	〃	08.07.02	—	—	—	—	/	—	—	—	8.6	78		60	A			
	1, 2号放水口	〃	〃	08.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	8.7	65		78	C			
	3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	7.1	55		76	C			
	〃	ワカメ	除根	08.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6	190			—		—	A
	立壁	〃	〃	08.05.07	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	250			A			
	小浜	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	290			A			
	1, 2号放水口	〃	〃	09.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	260			C			
3号放水口	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	240			C				
大飯	鋸崎	キス	全身	08.04.08	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.3	95	16	33	—	ND~0.2	A	
	〃	ハタハタ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.5	74	14	31	A			
	放水口	アジ	肉	08.06.16	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	22	140	C			
	髻島	カマス	〃	08.10.06	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	130	22	74	A			
	〃	サワラ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	160	36	395	A			
	放水口	カワハギ	〃	08.10.14	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	130	29	333	C			
	黒崎	サザエ	除殻	08.06.05	—	—	—	—	/	—	—	—	5.6	82		84	—		ND~0.0	A
	〃	アワビ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.0	—	—	5.2	68		154	A			
	赤礁崎	サザエ	〃	08.07.01	—	—	—	—	/	—	—	—	3.7	55		66	A			
	放水口	〃	〃	08.07.08	—	—	—	—	/	—	—	—	6.6	65		78	C			
	赤礁崎	ワカメ	除根	08.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	1.4	400			—		—	A
	〃	〃	〃	08.05.01	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	370			A			
	肥前(添浜)	モズク	全体	08.05.04	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	32			A			
放水口	ワカメ	除根	09.03.10	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	310			C				
高浜	名島	コノシロ	肉	08.04.13	—	—	—	—	/	0.0	—	—	—	140	23	237	—	0.0~0.2	A	
	〃	スズキ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	120	32	414	A			
	内浦湾	アジ	〃	08.06.15	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	110	23	145	C			
	名島	〃	全身	08.10.05	—	—	—	—	/	0.1	—	—	0.3	120	11	19	A			
	〃	カワハギ	〃	08.10.07	—	—	—	—	/	0.0	—	—	1.0	110	13	52	A			
	内浦湾	ブリ	肉	08.10.16	—	—	—	—	/	0.1	—	—	—	84	60	2960	C			
	馬礁	サザエ	除殻	08.06.07	—	—	—	—	/	—	—	—	5.4	81		99	—		ND~0.0	A
	〃	アワビ	〃	〃	—	—	—	—	/	—	—	—	3.9	63		296	A			
	神野浦	サザエ	〃	08.07.01	—	—	—	—	/	—	—	—	4.2	70		115	A			
	内浦湾	〃	〃	08.07.07	—	—	—	—	/	—	—	—	3.5	60		90	C			
	名島	ワカメ	除根	08.04.13	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	230			—		—	A
	神野浦	〃	〃	08.05.02	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	250			A			
	小黒飯漁港	〃	〃	08.05.06	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	260			A			
	内浦湾	〃	〃	09.03.10	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	230			C			
対照	越廼(茶崎)	アジ	肉	08.05.12	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	130	25	148	—	0.1~0.2	A	
	〃	フクラギ	〃	〃	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	140	43	941	A			
	越廼沖	ハマチ	〃	08.10.30	—	—	—	—	/	0.2	—	—	—	140	43	857	A			
	〃	サザエ	除殻	08.06.04	—	—	—	—	/	—	—	—	2.1	58		106	—		—	A
	越廼(茶崎)	モズク	全体	08.05.18	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	110			—		—	A
	〃	ワカメ	除根	08.05.22	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	290			A			

過去実績：2005~2007年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、貝、藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
敦賀	明神崎F	ホンダワラ	08.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	320	—	ND~0.1	B
	〃	〃	08.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	270			A
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	200			B
	〃	〃	09.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	410			A
	水島	〃	08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	340	—	—	B
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	270			B
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.8	310			B
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	310			B
	釜谷元川河口	〃	08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.0	310	—	ND~0.1	B
	〃	〃	08.11.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	300			B
	浦底北(排水処理場)	〃	08.09.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	250	/	/	A
	〃	〃	08.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.8	310			A
	立石	〃	08.05.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.9	300	—	—	B
	〃	〃	08.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.2	280			B
	〃	〃	08.11.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.4	240			B
	〃	〃	09.02.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	250			B
	2号放水口	〃	08.04.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	230	—	—	B
	〃	〃	08.06.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	300			A
	〃	〃	08.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	35	220			B
	〃	〃	08.09.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.4	240			A
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	270			B
	〃	〃	08.11.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	330			A
	〃	〃	09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6	310			B
	〃	〃	09.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	260			A
	ふげん放水口	〃	08.04.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.2	240	—	ND~0.1	D
	〃	〃	08.06.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.4	200			A
	〃	〃	08.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29	190			D
	〃	〃	08.09.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.9	210			A
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.6	310			D
	〃	〃	08.11.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.9	290			A
	〃	〃	09.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	350			D
	〃	〃	09.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.3	270			A

過去実績：2005~2007年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	
白木	松ヶ崎	ホンダワラ	08.04.16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.6	320	—	—	D
	〃	〃	08.06.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.1	330			A
	〃	〃	08.07.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55	160			D
	〃	〃	08.09.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.2	270			A
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.2	220			D
	〃	〃	08.11.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.0	260			A
	〃	〃	09.01.06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.7	260			D
	〃	〃	09.03.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.2	210			A
美浜	1, 2号放水口	〃	08.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	230	—	ND~0.2	C
	〃	〃	08.06.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	270			A
	〃	〃	08.07.04	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	49	280			C
	〃	〃	08.09.17	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	22	250			A
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.1	250			C
	〃	〃	08.11.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.7	320			A
	〃	〃	09.01.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.6	370			C
	〃	〃	09.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.3	300			A
	3号放水口	〃	08.04.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.7	290	—	ND~0.1	C
	〃	〃	08.06.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	250			A
	〃	〃	08.07.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	270			C
	〃	〃	08.09.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27	210			A
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	240			C
	〃	〃	08.11.11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	290			A
	〃	〃	09.01.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	350			C
	〃	〃	09.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	290			A
大飯	放水口	〃	08.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.1	230	—	ND~0.1	C
	〃	〃	08.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	270			C
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	230			C
	〃	〃	09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.6	340			C
	台場浜	〃	08.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	320	—	ND~0.1	A
	〃	〃	08.09.02	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	15	230			A
	〃	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	230			A
	〃	〃	09.03.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	240			A

過去実績：2005～2007年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第23表 核種分析結果 その11 指標海産生物

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種						参考核種			天然核種		過去実績		機関	
				²² Na	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁰ Ba	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
高浜	1, 2号放水口	ホンダワラ	08.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	250	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	08.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.8	320			A	
	〃	〃	08.07.03	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	7.5	250			C	
	〃	〃	08.09.17	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	4.8	230			A	
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	280			C	
	〃	〃	08.11.11	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	2.8	260			A	
	〃	〃	09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.3	340			C	
	〃	〃	09.03.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.1	290			A	
	3, 4号放水口	〃	08.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.4	230	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	08.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9.2	220			C	
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.3	240			C	
	〃	〃	09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.0	290			C	
	神野浦	〃	〃	08.06.03	—	—	—	—	—	—	—	—	15	280	—	ND~0.1	A	
		〃	〃	08.09.02	—	—	—	—	—	0.3	—	—	—	45			210	A
		〃	〃	08.11.05	—	—	—	—	—	0.1	—	—	—	16			290	A
		〃	〃	09.03.03	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	14			280	A
音海	〃	〃	08.04.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9	230	—	ND~0.1	C	
	〃	〃	08.07.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	220			C	
	〃	〃	08.10.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.7	260			C	
	〃	〃	09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.2	310			C	
対照	福井市小丹生町	〃	08.04.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	210	—	ND~0.1	A	
	〃	〃	08.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26	270			A	
	〃	〃	08.10.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	230			A	
	〃	〃	09.01.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.6	300			A	

過去実績：2005～2007年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

第24表 核種分析結果 その12 海底土分布調査

単位： Bq/kg 乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	目的核種				参考核種		天然核種				過去実績		機関	
				⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	¹⁰⁶ Ru	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	Th-Ser	U-Ser	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs		
敦賀	1号取水口 (1)	砂	08.07.17	—	—	—	—	—	—	—	1400	45	32	—	ND~0.9	A	
	1号放水口岸壁 (2)	〃	08.07.08	—	—	—	—	—	—	—	1600	53	28	/	/	B	
	1号取水口沖 (3)	泥	〃	—	—	—	2.0	—	—	—	1200	84	44	/	/	B	
	ふげん取水口 (4)	砂・泥	〃	—	—	—	1.2	—	—	6.0	1500	47	26	—	0.9~1.0	B	
	1号放水口* ¹ (5)	砂	08.07.17	—	—	—	—	—	—	6.0	1400	50	30	—	ND~0.4	A	
	〃* ² (5)	〃	〃	—	—	—	0.5	—	—	—	1300	54	32	/	/	A	
	〃* ³ (5)	〃	〃	—	—	—	0.4	—	—	—	1200	52	33	/	/	A	
	〃* ⁴ (5)	〃	〃	—	—	—	0.4	—	—	—	1200	49	32	/	/	A	
	〃* ⁵ (5)	〃	〃	—	—	—	0.8	—	—	—	1400	72	39	/	/	A	
	〃* ⁶ (5)	〃	〃	—	—	—	0.5	—	—	—	1200	61	34	/	/	A	
	1号放水口・対岸中点 (6)	砂・泥	〃	〃	—	—	—	1.4	—	—	5.7	970	90	45	/	/	A
	1号放水口対岸 (7)	砂	〃	〃	—	—	—	0.4	—	—	4.3	1600	32	20	/	/	A
	水試・放水口中間点* ¹ (8)	〃	〃	〃	—	—	—	0.4	—	—	5.2	1400	37	25	/	/	A
	〃* ² (8)	〃	〃	〃	—	—	—	1.3	—	—	—	1400	64	30	/	/	A
	〃* ³ (8)	〃	〃	〃	—	—	—	1.2	—	—	4.0	1300	50	32	/	/	A
	〃* ⁴ (8)	〃	〃	〃	—	—	—	1.2	—	—	—	1300	59	30	/	/	A
	〃* ⁵ (8)	〃	〃	〃	—	—	—	0.8	—	—	3.5	1300	40	26	/	/	A
	〃* ⁶ (8)	〃	〃	〃	—	—	—	0.7	—	—	—	1400	53	27	/	/	A
	明神崎入口沖 (9)	砂・泥	〃	〃	—	—	—	2.0	—	—	—	940	73	44	/	/	A
	明神崎入口 (10)	砂	〃	〃	—	—	—	—	—	—	4.7	1500	23	16	/	/	A
	明神崎F (11)	〃	08.07.17	〃	—	—	—	—	—	—	7.6	1600	21	29	—	ND~0.4	A
	水試棧橋横 (12)	砂・泥	08.07.08	〃	—	—	—	1.4	—	—	11	1200	46	23	—	1.3~1.7	B
	水試前 (13)	砂・泥	〃	〃	—	—	—	0.7	—	—	—	1600	33	19	—	ND~1.7	B
	水試沖 (14)	砂	〃	〃	—	—	—	—	—	—	4.7	1600	28	16	—	—	B
	釜谷元川河口 (15)	〃	〃	〃	—	—	—	0.7	—	—	6.0	1500	47	25	—	0.5~0.6	B
釜谷元川河口沖 (16)	砂・泥	〃	〃	—	—	—	0.6	—	—	5.8	1500	35	21	/	/	B	
明神寮対岸 (17)	砂	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	1500	21	14	/	/	B	
浦底 (18)	泥	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	1500	31	18	—	ND~0.8	B	
浦底湾口 (19)	〃	〃	〃	—	—	—	3.1	—	—	7.2	810	66	29	—	3.7~4.0	B	
鹿島神社前 (20)	砂	〃	〃	—	—	—	2.3	—	—	—	1000	60	29	/	/	B	
明神崎先端 (21)	〃	08.07.17	〃	—	—	—	—	—	—	6.3	1100	30	19	—	—	A	
西浦小学校前 (22)	砂・泥	〃	〃	—	—	—	3.0	—	—	7.0	720	59	31	—	1.8~3.1	A	
色ヶ浜 (23)	砂	〃	〃	—	—	—	1.3	—	—	5.1	990	58	34	—	1.2~2.2	A	
色ヶ浜沖 (24)	砂・泥	〃	〃	—	—	—	3.3	—	—	4.2	770	57	31	—	0.9~2.8	A	
鈴ヶ崎 (25)	砂	〃	〃	—	—	—	0.4	—	—	—	1400	42	22	—	0.3~2.6	A	
白木	もんじゅ放水口 (1)	砂	08.07.16	—	—	—	—	—	—	—	1300	15	13	—	—	A	
	もんじゅ放水口沖 (2)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	9.0	1000	270	74	—	—	A	
	もんじゅ放水口東 (3)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	3.1	1400	18	14	—	—	A	
	もんじゅ取水口 (4)	〃	〃	—	—	—	—	—	—	3.3	1400	16	14	—	—	A	
	門ヶ崎 (5)	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	1200	29	19	—	—	A	

過去実績：2005~2007年度

(注) エクマンバージ等の採泥器で採取した試料の粒径2mm以下を分析した。天然核種の求め方は陸土と同様である。

敦賀地区の1号放水口および水試・放水口中間点では、深度別調査(*1:0~5cm、*2:5~10cm、*3:10~15cm、*4:15~20cm、*5:20~25cm、*6:25~30cm)を実施。

第25表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	水道水	08.06.04	0.8	ND~1.4	A
		〃	08.09.03	0.6		
		〃	08.12.03	0.8		
		〃	09.03.04	1.0		
	浦底（明神寮）	〃	08.04.02	1.0	0.9~1.4	B
		〃	08.07.01	1.2		
		〃	08.10.01	1.2		
		〃	09.01.06	1.0		
白木	白木（民家）	〃	08.05.13	0.9	ND~1.6	D
		〃	08.06.04	—		A
		〃	08.08.05	1.0		D
		〃	08.09.03	0.8		A
		〃	08.11.11	0.8		D
		〃	08.12.03	1.0		A
		〃	09.02.05	1.5		D
		〃	09.03.04	1.3		A
美浜	丹生（旧漁協）	〃	08.07.01	1.8	0.7~1.5	C
		〃	09.01.05	1.8		
	丹生（民家）	〃	08.06.04	1.1	ND~1.4	A
		〃	08.09.03	1.0		
		〃	08.12.03	1.4		
		〃	09.03.04	1.1		
大飯	宮留（民家）	〃	08.06.03	0.7	ND~1.0	A
		〃	08.07.02	1.2		C
		〃	08.09.02	0.6		A
		〃	08.12.02	0.9		
		〃	09.01.06	1.1		C
		〃	09.03.03	1.3		A
高浜	音海（民家）	〃	08.06.03	0.8	ND~1.1	A
		〃	08.07.02	1.2		C
		〃	08.09.02	0.7		A
		〃	08.12.02	1.0		

過去実績：2005~2007年度

(注) 計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（-、またはND）とした。

第25表 トリチウム分析結果 その1 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	音海（民家）	水道水	09.01.06	1.6	ND～1.1	C
		〃	09.03.03	0.7		A
	小黒飯（民家）	〃	08.07.02	1.1	0.7～0.9	C
		〃	09.01.06	1.5		
対照	福井市原目町（衛研）	〃	08.06.12	0.7	ND～0.6	A
		〃	08.09.22	—		
		〃	08.12.10	0.8		
		〃	09.03.05	0.7		

過去実績：2005～2007年度

（注）計数値が計数誤差の3倍未満の場合は、検出されず（—、またはND）とした。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石A	08.04.07~08.05.07	3.2	1.1~11	D
		08.05.07~08.06.02	3.6		
		08.06.02~08.06.30	3.2		
		08.06.30~08.08.04	2.1		
		08.08.04~08.09.01	1.7		
		08.09.01~08.10.06	2.3		
		08.10.06~08.11.04	2.0		
		08.11.04~08.12.01	2.2		
		08.12.01~09.01.05	1.7		
		09.01.05~09.02.02	1.0		
		09.02.02~09.03.02	1.6		
		09.03.02~09.04.06	1.6		
			猪ヶ池B		
08.05.02~08.06.02	13				
08.06.02~08.07.01	9.9				
08.07.01~08.08.01	6.9				
08.08.01~08.09.01	5.2				
08.09.01~08.10.01	3.3				
08.10.01~08.11.04	4.7				
08.11.04~08.12.01	5.5				
08.12.01~09.01.05	4.3				
09.01.05~09.02.02	2.4				
09.02.02~09.03.02	3.8				
09.03.02~09.04.01	4.4				
	浦底A			08.04.10~08.05.08	6.7
		08.05.08~08.06.04	4.9		
		08.06.04~08.07.02	5.1		
		08.07.02~08.08.06	2.3		
		08.08.06~08.09.03	2.1		
		08.09.03~08.10.08	2.5		
		08.10.08~08.11.06	2.3		
		08.11.06~08.12.03	2.7		

過去実績：2005~2007年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底A	08.12.03～09.01.07	3.1	2.1～9.7	A
		09.01.07～09.02.04	3.0		
		09.02.04～09.03.04	2.7		
		09.03.04～09.04.09	2.6		
	浦底B	08.04.01～08.05.02	5.7	1.9～9.7	B
		08.05.02～08.06.02	5.5		
		08.06.02～08.07.01	4.0		
		08.07.01～08.08.01	2.6		
		08.08.01～08.09.01	2.5		
		08.09.01～08.10.01	2.8		
		08.10.01～08.11.04	3.0		
		08.11.04～08.12.01	1.9		
		08.12.01～09.01.05	2.0		
		09.01.05～09.02.02	2.0		
		09.02.02～09.03.02	2.2		
		09.03.02～09.04.01	2.1		
色ヶ浜B	08.04.01～08.05.02	3.6	1.8～5.0	B	
	08.05.02～08.06.02	3.6			
	08.06.02～08.07.01	3.3			
	08.07.01～08.08.01	2.9			
	08.08.01～08.09.01	2.0			
	08.09.01～08.10.01	2.3			
	08.10.01～08.11.04	2.5			
	08.11.04～08.12.01	1.9			
	08.12.01～09.01.05	1.6			
	09.01.05～09.02.02	1.7			
	09.02.02～09.03.02	1.7			
	09.03.02～09.04.01	1.7			
白木	白木A	08.04.09～08.05.08	2.5	1.0～4.4	A
		08.05.08～08.06.04	2.3		
		08.06.04～08.07.02	2.0		
		08.07.02～08.08.06	1.5		

過去実績：2005～2007年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
白木	白木A	08.08.06～08.09.03	1.1	1.0～4.4	A
		08.09.03～08.10.08	2.0		
		08.10.08～08.11.06	1.0		
		08.11.06～08.12.03	1.7		
		08.12.03～09.01.07	1.9		
		09.01.07～09.02.04	1.6		
		09.02.04～09.03.04	1.6		
		09.03.04～09.04.08	1.6		
	白木峠A	08.04.07～08.05.07	2.7	1.4～4.8	D
		08.05.07～08.06.02	3.4		
		08.06.02～08.06.30	3.3		
		08.06.30～08.08.04	2.5		
		08.08.04～08.09.01	1.7		
		08.09.01～08.10.06	3.3		
		08.10.06～08.11.04	1.9		
		08.11.04～08.12.01	2.9		
		08.12.01～09.01.05	1.3		
		09.01.05～09.02.02	2.1		
		09.02.02～09.03.02	2.2		
09.03.02～09.04.06	2.5				
美浜	竹波A	08.04.09～08.05.08	3.4	1.7～5.5	A
		08.05.08～08.06.04	3.4		
		08.06.04～08.07.02	3.6		
		08.07.02～08.08.06	2.1		
		08.08.06～08.09.03	2.0		
		08.09.03～08.10.08	2.6		
		08.10.08～08.11.06	2.2		
		08.11.06～08.12.03	2.0		
		08.12.03～09.01.07	3.1		
		09.01.07～09.02.04	2.8		
		09.02.04～09.03.04	2.6		
		09.03.04～09.04.08	2.6		

過去実績：2005～2007年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
美浜	竹波（落合川ポンプ所）	08.04.01～08.05.07	5.1	1.7～8.6	C
		08.05.07～08.06.02	4.3		
		08.06.02～08.07.01	4.8		
		08.07.01～08.08.01	3.3		
		08.08.01～08.09.01	2.5		
		08.09.01～08.10.01	4.1		
		08.10.01～08.11.04	4.2		
		08.11.04～08.12.01	4.4		
		08.12.01～09.01.05	4.4		
		09.01.05～09.02.02	5.1		
		09.02.02～09.03.02	2.3		
		09.03.02～09.04.01	4.1		
大飯	宮留A	08.04.09～08.05.07	5.7	2.0～19	A
		08.05.07～08.06.03	6.8		
		08.06.03～08.07.02	11		
		08.07.02～08.08.05	6.0		
		08.08.05～08.09.02	4.1		
		08.09.02～08.10.08	5.3		
		08.10.08～08.11.05	6.3		
		08.11.05～08.12.02	4.5		
		08.12.02～09.01.07	5.4		
		09.01.07～09.02.03	4.6		
		09.02.03～09.03.03	8.5		
		09.03.03～09.04.08	8.8		
	日角浜C		08.04.02～08.05.08	3.3	1.8～7.8
08.05.08～08.06.03			4.9		
08.06.03～08.07.02			3.9		
08.07.02～08.08.04			4.8		
08.08.04～08.09.02			5.1		
08.09.02～08.10.02			4.6		
08.10.02～08.11.05			3.8		
08.11.05～08.12.02	3.8				

過去実績：2005～2007年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関				
大飯	日角浜C	08.12.02～09.01.06	3.2	1.8～7.8	C				
		09.01.06～09.02.03	3.8						
		09.02.03～09.03.03	3.5						
		09.03.03～09.04.02	3.8						
高浜	小黒飯A	08.04.08～08.05.07	23	7.9～52	A				
		08.05.07～08.06.03	26						
		08.06.03～08.07.01	19						
		08.07.01～08.08.05	12						
		08.08.05～08.09.02	13						
		08.09.02～08.10.07	22						
		08.10.07～08.11.05	27						
		08.11.05～08.12.02	24						
		08.12.02～09.01.06	25						
		09.01.06～09.02.03	21						
		09.02.03～09.03.03	17						
		09.03.03～09.04.07	19						
		高浜	神野浦C			08.04.02～08.05.08	10	2.1～12	C
						08.05.08～08.06.03	12		
08.06.03～08.07.02	8.9								
08.07.02～08.08.04	5.7								
08.08.04～08.09.02	6.7								
08.09.02～08.10.02	7.6								
08.10.02～08.11.05	8.1								
08.11.05～08.12.02	7.3								
08.12.02～09.01.06	5.0								
09.01.06～09.02.03	7.0								
09.02.03～09.03.03	4.3								
09.03.03～09.04.02	4.4								
対照	原目町（衛研）			08.04.07～08.05.07	1.0	ND～1.0	A		
		08.05.07～08.06.04	—						
		08.06.04～08.07.02	—						
		08.07.02～08.08.07	—						

過去実績：2005～2007年度

(注) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、
対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

第26表 トリチウム分析結果 その2 大気中水分

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
対照	原目町（衛研）	08.08.07～08.09.01	—	ND～1.0	A
		08.09.01～08.10.03	—		
		08.10.03～08.11.05	—		
		08.11.05～08.12.10	1.0		
		08.12.10～09.01.05	0.7		
		09.01.05～09.02.02	0.6		
		09.02.02～09.03.05	0.9		
		09.03.05～09.04.09	1.0		

過去実績：2005～2007年度

(注1) 県(A)、原電(B)、原子力機構(D)はテレメータ観測局内、関電(C)は気象観測局内、対照地区は福井分析管理室の除湿水を分析した。

(注2) 大気水分中のトリチウム分析については、2005年度第1期から1ヶ月試料を分析している。

(備考) 大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握する目的で行っている。内部被ばく線量把握のために必要な空气中濃度への換算方法等を、p.168～169の付4.3に示す。

第27表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（水試）	08.04.10～08.07.02	2.5	1.1～6.6	A
		08.07.02～08.10.08	2.0		
		08.10.08～09.01.07	1.9		
		09.01.07～09.04.09	1.5		
	浦底（明神寮）	08.04.01～08.07.01	1.8	1.6～3.5	B
		08.07.01～08.10.01	1.7		
		08.10.01～09.01.02	1.3		
		09.01.02～09.04.01	1.4		
白木	松ヶ崎（原子力機構Mステーション）	08.04.09～08.07.02	0.6	ND～1.6	A
		08.07.02～08.10.08	0.7		
		08.10.08～09.01.07	1.1		
		09.01.07～09.04.08	1.1		
		08.04.01～08.07.01	1.4	ND～1.5	D
		08.07.01～08.10.01	1.0		
		08.10.01～09.01.05	1.0		
		09.01.05～09.04.01	1.0		
美浜	竹波（落合川取水場）	08.04.09～08.07.02	1.7	1.2～4.7	A
		08.07.02～08.10.08	1.1		
		08.10.08～09.01.07	2.4		
		09.01.07～09.04.08	1.9		
	丹生（関電丹生寮敷地内）	08.04.01～08.07.01	2.8	1.2～4.0	C
		08.07.01～08.10.01	2.1		
		08.10.01～09.01.05	3.8		
		09.01.05～09.04.01	2.3		
大飯	宮留（県テレメ観測局）	08.04.09～08.07.02	2.4	2.4～8.0	A
		08.07.02～08.10.08	3.6		
		08.10.08～09.01.07	2.2		
		09.01.07～09.04.08	3.7		
	日角浜（ヴィラ大島）	08.04.02～08.07.02	1.2	1.2～4.2	C
		08.07.02～08.10.02	3.1		
		08.10.02～09.01.06	3.0		
		09.01.06～09.04.02	3.2		
高浜	小黒飯（県テレメ観測局）	08.04.08～08.07.01	9.1	5.1～9.5	A
		08.07.01～08.10.07	6.1		
		08.10.07～09.01.06	5.5		
		09.01.06～09.04.07	6.0		

過去実績：2005～2007年度

第27表 トリチウム分析結果 その3 雨水

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小和田（小和田ポンプ所）	08.04.02～08.07.02	1.5	0.8～2.8	C
		08.07.02～08.10.02	2.2		
		08.10.02～09.01.06	2.0		
		09.01.06～09.04.02	1.9		
対照	福井市原目町（衛研）	08.04.08～08.07.02	—	ND～0.8	A
		08.07.02～08.10.03	—		
		08.10.03～09.01.05	0.7		
		09.01.05～09.04.09	0.6		

過去実績：2005～2007年度

（注1）雨水のトリチウム分析については、2005年度第1期から3ヶ月の混合試料を分析している。

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関	
敦賀	立石岬	海水	08.04.16	0.8	ND~1.6	A	
		〃	08.10.15	—			
	敦賀発電所2号放水口	〃	08.04.16	1.8	ND~1.1	A	
		〃	08.05.08	1.8		B	
		〃	08.08.05	0.9			
		〃	08.10.15	—		A	
		〃	08.11.06	1.2		B	
		〃	09.02.05	0.6			
		〃	〃	〃			
	ふげん放水口	〃	08.04.16	1.2	ND~21	A	
		〃	08.06.10	1.9		D	
		〃	08.09.18	4.6			
		〃	08.10.15	6.3		A	
		〃	08.12.02	—		D	
〃		09.03.04	3.6				
白木	もんじゅ放水口	〃	08.04.16	0.7	ND~1.6	A	
		〃	08.05.13	—		D	
		〃	08.08.05	0.9			
		〃	08.10.15	—		A	
		〃	08.11.06	0.6		D	
		〃	09.02.04	—			
	もんじゅ放水口沖	〃	08.04.16	—	ND~1.0	A	
		〃	08.10.15	—			
	美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	08.04.16	0.6	ND~5.7	A
			〃	08.05.15	—		C
〃			08.08.07	1.6			
〃			08.10.15	1.7	A		
〃			08.11.07	—	C		
〃			09.02.05	2.3			
〃			〃	〃			
美浜発電所1, 2号放水口沖		〃	08.04.16	0.7	0.6~1.6	A	
		〃	08.10.15	0.7			
美浜発電所3号放水口		〃	08.04.16	0.8	ND~4.0	A	
	〃	08.05.15	—	C			

過去実績：2005~2007年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関		
美浜	美浜発電所3号放水口	海水	08.08.07	1.4	ND~4.0	C		
		〃	08.10.15	—		A		
		〃	08.11.07	0.6		C		
		〃	09.02.05	2.6				
	美浜発電所3号放水口沖	〃	08.04.16	0.9	ND~2.9	A		
		〃	08.10.15	0.6				
大飯	大飯発電所放水口	〃	08.04.15	0.9	ND~1.9	A		
		〃	08.05.13	—		C		
		〃	08.08.05	1.3				
		〃	08.10.14	—		A		
		〃	08.11.05	—		C		
		〃	09.02.03	1.8				
	髻島	〃	08.04.15	—	ND~1.0	A		
		〃	08.10.14	—				
	高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	08.04.03	1.5	ND~3.6	C	
			〃	08.04.15	10		A	
〃			08.05.14	—	C			
〃			08.07.03	1.1				
〃			08.08.06	2.0				
〃			08.10.07	1.4				
〃			08.10.14	—	A			
〃			08.11.06	—	C			
〃			09.01.07	1.9				
〃			09.02.04	5.5				
高浜発電所3, 4号放水口			〃	08.04.03	1.5		ND~3.5	C
			〃	08.04.15	1.7			A
		〃	08.05.14	0.8	C			
		〃	08.07.03	0.8				
		〃	08.08.06	2.0				
		〃	08.10.07	1.2				
〃		08.10.14	—	A				
〃		08.11.06	—	C				

過去実績：2005～2007年度

(注) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

第28表 トリチウム分析結果 その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	高浜発電所3, 4号放水口	海水	09.01.07	1.4	ND~3.5	C
		〃	09.02.04	3.2		
	高浜発電所放水口沖	〃	08.04.03	1.0	ND~2.5	C
		〃	08.05.14	0.7		
		〃	08.07.03	0.9		
		〃	08.08.06	2.2		
		〃	08.10.07	1.1		
		〃	08.11.06	—		
		〃	09.01.07	2.0		
		〃	09.02.04	2.7		
	旧内浦港口ブイ	〃	08.04.15	1.2	ND~6.3	A
〃		08.10.14	—			
対照	福井市小丹生町	〃	08.04.09	1.0	ND~0.9	A
		〃	08.10.08	—		

過去実績：2005～2007年度

(注1) 実績欄の値は、同一採取地点毎にまとめて求めたものである。

(注2) 高浜発電所1, 2号放水口において、過去実績 (ND~3.6Bq/l) を上回る値 (5.5Bq/lおよび10Bq/l) が検出されたが、過去最高値 (1997年度：26.2Bq/l) より低い値であった。

(注3) 高浜発電所放水口沖において、過去実績 (ND~2.5Bq/l) を上回る値 (2.7Bq/l) が検出されたが、過去最高値 (1983年度：3.7Bq/l) より低い値であった。

第29表 放射化学分析等による⁹⁰Sr・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(その1 ストロンチウム-90) 分析機関：A 単位：mBq/kg生

区分	地区	採取地点	種類	採取日	放射能濃度	2005～2007年度実績	
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	08.06.02	280	180	～ 450
	白木	白木		08.06.02	200	120	～ 280
	美浜	竹波		08.06.02	1100	570	～ 1200
	大飯	日角浜		08.06.03	340	160	～ 200
	高浜	小黒飯		08.06.03	890	520	～ 890
	対照	福井市原目町		08.06.09	280	210	～ 340
指標海産生物	敦賀	明神崎F	ホンダワラ	08.06.02	50	ND	～ 35
	白木	松ヶ崎		08.06.02	27	ND	～ 39
	美浜	美浜1,2号放水口		08.06.17	45	—	
	大飯	台場浜		08.06.03	28	ND	～ 39
	高浜	高浜1,2号放水口		08.06.03	39	ND	～ 49
	対照	小丹生		08.04.09	—	36	～ 83

(注) —およびNDは、検出限界値未満を示す(以下、同じ)。

(第29表続き その2 アンチコインシデンス測定によるセシウム-137)

分析機関：A

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	放射能濃度	2005～2007年度実績	
海底土	敦賀	ふげん放水口	海底土	08.11.11	93	ND	～ 93
	白木	もんじゅ放水口		08.04.16	—	—	—
	美浜	美浜1,2号放水口		08.10.15	350	280	～ 410
		美浜1,2号放水口沖		08.10.15	140	130	～ 180
		美浜3号放水口沖		08.10.15	—	—	—
	大飯	大飯放水口		08.10.14	120	92	～ 110
	高浜	高浜1,2号放水口		08.04.15	810	920	～ 1300
		高浜3,4号放水口		08.04.15	990	690	～ 870
海産食品	敦賀	立石岬	ワカメ	08.04.05	19	9.8	～ 28
	白木	もんじゅ取水口		08.04.02	19	16	～ 25
	美浜	美浜3号放水口		08.04.08	14	15	～ 28
	大飯	赤礁崎		08.04.08	24	14	～ 26
	高浜	名島		08.04.13	26	17	～ 35
	対照	越廼(菜崎)		08.05.22	25	20	～ 34
	敦賀	立石漁港	サザエ	08.06.11	23	18	～ 27
	白木	アジゴ崎		08.06.07	16	24	～ 35
	美浜	あご越		08.06.12	20	31	～ 34
	大飯	黒崎		08.06.05	21	22	～ 28
	高浜	馬礁(高島)		08.06.07	18	19	～ 38
	対照	越廼沖		08.06.04	12	20	～ 24
指標海産生物	敦賀	ふげん放水口	ホンダワラ	08.11.11	30	31	～ 35
		浦底北排水処理場		08.11.04	42	39	～ 140
	白木	松ヶ崎		08.11.04	24	30	～ 39
	美浜	美浜1,2号放水口		08.11.11	53	61	～ 85
	大飯	台場浜		08.11.05	34	34	～ 42
	高浜	高浜1,2号放水口		08.11.11	46	40	～ 59

(その3 プルトニウム-238、239(+240) 陸上試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	2005～2007年度実績		機関
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu	
陸土	白木	松ヶ崎	土床	08.05.08	—	50	—	39 ~ 75	A
				08.07.10	—	64			D
				08.11.06	—	52			A
				09.01.15	—	47			D
	対照	勝山市池ヶ原	山土	08.06.11	160	4700	95 ~ 140	4000 ~ 4300	A
指標植物	敦賀	浦底	ヨモギ	08.05.08	—	—	—	ND ~ 0.47	A
	白木	松ヶ崎		08.05.08	—	—	—	—	A
				08.06.02	—	0.36			A
				08.07.02	—	—			A
				08.08.06	—	—			A
				08.09.01	—	—			A
				08.10.08	—	—			A
				08.11.04	—	—			A
	美浜	竹波		08.05.08	—	—	—	ND ~ 0.34	A
	大飯	日角浜		08.05.07	—	0.31	—	ND ~ 0.39	A
	高浜	小黒飯		08.05.07	—	—	—	—	A
	対照	福井市原目町		08.05.09	—	—	—	—	A
	農産物	白木		白木	大根葉	08.11.06	—	—	—

注) プルトニウム分析結果において、核実験のフォールアウトに由来する²³⁸Pu/²³⁹Pu比は3%前後である。今年度の分析結果で検出された²³⁸Puは、全てその範囲内であった。

(その4 プルトニウム-238、239(+240) 海洋試料)

単位：生物試料 mBq/kg生、海底土 mBq/kg乾土

区分	地区	採取地点	種類	採取月日	²³⁸ Pu濃度	²³⁹ Pu濃度	2005～2007年度実績		機関		
							²³⁸ Pu	²³⁹ Pu			
海底土	敦賀	水試前	砂	08.10.15	—	620	ND	～ 20	430	～ 690	A
		浦底湾口	泥	08.10.15	25	1700	27	～ 37	1400	～ 1700	A
	白木	もんじゅ放水口	砂	08.04.16	—	70	—	—	51	～ 120	A
				08.05.13	—	65					D
				08.07.16	—	56					A
				08.10.15	—	60					A
				08.11.06	—	57					D
		もんじゅ取水口	砂	08.07.16	—	46	—	—	59	～ 120	A
		もんじゅ放水口東	砂	08.07.16	—	89	—	—	79	～ 130	A
				08.10.15	—	74	A				
		白木漁港	砂	08.05.13	—	76	—	—	52	～ 94	D
				08.11.06	—	55	D				
	もんじゅ放水口沖	砂	08.04.16	—	110	—	—	47	～ 120	A	
			08.07.16	—	140					A	
08.10.15			—	91	A						
門ヶ崎	砂	08.07.16	—	24	—	—	31	～ 71	A		
		08.10.15	—	22					A		
美浜	丹生湾中央	泥	08.10.15	43	1700	27	～ 60	1400	～ 1800	A	
大飯	西村入江	砂・泥	08.10.14	—	1400	ND	～ 47	1200	～ 1500	A	
高浜	放水口沖	砂・泥	08.10.14	—	880	ND	～ 37	660	～ 1200	A	
海産食品	白木	アジゴ崎	メジナ	08.04.08	—	—	—	—	—	—	A
		門ヶ崎沖	ブリ	08.05.26	—	—					A
		もんじゅ放水口沖	ハマチ	08.10.02	—	—					A
		もんじゅ放水口沖	サワラ	08.10.02	—	—					A
		白木沖	アジ	08.07.28	—	—					D
		白木沖	アジ	08.11.12	—	—					D
	白木	アジゴ崎	サザエ	08.06.07	0.73	33	ND	～ 1.6	11	～ 57	A
		アジゴ崎	アワビ	08.06.07	—	13					A
		アジゴ崎	サザエ	08.07.02	0.49	35					A
		白木沿岸	サザエ	08.08.01	—	42					D
	敦賀	立石岬	ワカメ	08.04.05	—	1.6	—	—	0.69	～ 1.9	A
	白木	もんじゅ取水口		08.04.02	—	4.5	—	—	1.3	～ 7.2	A
		松ヶ崎		08.05.04	—	3.9					A
		門ヶ崎		08.05.04	—	4.4					A
		白木沿岸		08.04.15	—	2.3					D
	美浜	美浜3号放水口		08.04.08	—	2.1	—	—	1.6	～ 2.2	A
	大飯	赤礁崎	08.04.08	—	1.8	—	—	1.2	～ 1.7	A	
	高浜	名島	08.04.13	—	3.9	—	—	1.8	～ 4.5	A	
	対照	越廼沖	08.05.22	—	2.5	—	—	2.3	～ 4.9	A	
指標海産生物	敦賀	明神崎F	ホンダワラ	08.06.02	—	8.9	—	—	9.3	～ 13	A
	白木	松ヶ崎		08.06.02	—	9.0	—	—	3.8	～ 18	A
				08.09.01	—	9.0					A
				08.11.04	—	7.3					A
				09.03.02	—	9.8					A
	美浜	1,2号放水口		08.06.17	—	34	ND	～ 1.8	41	～ 95	A
	美浜	3号放水口		08.06.17	—	7.6	—	—	8.1	～ 25	A
	大飯	台場浜		08.06.03	—	14	—	—	7.6	～ 15	A
	高浜	1,2号放水口		08.06.03	—	11	—	—	5.9	～ 15	A
	対照	福井小丹生		08.04.09	—	10	—	—	10	～ 13	A

第30表 年間降下物の⁹⁰Sr・²²Na・⁶⁰Co・¹³⁷Cs・²³⁹Pu分析結果

(参考：定期外調査)

単位：mBq/m²・年

採取地点	採取期間	放射能濃度					2005～2007年度実績				
		⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu	⁹⁰ Sr	²² Na	⁶⁰ Co	¹³⁷ Cs	²³⁹ Pu
浦底 水試 A	08.04.10 ～09.04.09	75	480	—	—	7.2	—	290～ 420	—	130～ 340	3.3～ 9.0
浦底 明神寮 B	08.04.01 ～09.04.01	/	290	—	—	/	/	270～ 350	—	220～ 290	/
松ヶ崎 A	08.04.09 ～09.04.08	520	460	—	190	4.5	ND～ 710	250～ 440	—	140～ 350	5.3～ 5.9
松ヶ崎 D	08.04.01 ～09.04.01	/	230	—	130	/	/	220～ 290	—	200～ 380	/
竹波 A	08.04.09 ～09.04.08	130	440	—	190	4.5	ND～ 230	330～ 530	—	210～ 270	3.4～ 7.4
丹生 C	08.04.01 ～09.04.01	/	410	—	210	/	/	280～ 400	—	270～ 340	/
宮留 A	08.04.09 ～09.04.08	74	330	—	130	5.2	—	250～ 430	—	180～ 400	4.1～ 7.5
日角浜 C	08.04.02 ～09.04.02	/	270	—	—	/	/	190～ 270	—	95～ 240	/
小黒飯 A	08.04.08 ～09.04.07	320	510	—	—	5.7	ND～ 320	210～ 520	—	160～ 320	3.3～ 7.4
小和田 C	08.04.02 ～09.04.02	/	360	—	200	/	/	200～ 340	—	150～ 260	/
原目町 A	08.04.04 ～09.04.06	92	400	—	170	9.6	ND～ 66	210～ 450	—	97～ 350	4.9～ 8.4

(注1) 各地点での月間降下物測定試料（パウデックス樹脂）の12ヶ月分を混ぜ合わせ、灰化物コンポジット試料とし、測定したもの。

(注2) ²²Na, ⁶⁰Co, ¹³⁷CsはGe半導体検出器によるγ線スペクトロメトリによる結果であり、⁹⁰Sr, ²³⁹Puは放射化学分析の結果である。

(注3) 採取地点のA, B, C, Dはそれぞれ県、原電、関電、原子力機構が分析した試料であることを示す。

(注4) 各地区の²²Naは宇宙線で生成されたものである。

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中	
11	1	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	-	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	9	-	6	-	-	-	-	-	1	-	6	-
	28	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	*	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	4	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)・積雪深計による定時(午前9時)の測定値を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(-)とした。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。
 ・*のデータは欠測または未測。

第31表 各地の積雪量 (2009年1月～2009年2月) [参考データ]

単位：c m

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局							
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中
1	1	12	7	18	—	5	5	2	—	—	—	6
	2	12	6	16	—	5	6	2	—	—	—	7
	3	9	—	11	—	—	—	—	—	—	—	2
	4	6	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	4	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	8	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	25	18	22	3	12	20	26	—	2	3	25
	12	41	5	13	—	—	—	13	—	—	—	14
	13	50	18	18	3	5	—	15	—	—	4	19
	14	45	8	17	—	—	—	7	—	—	—	20
	15	55	14	24	—	1	2	8	—	—	—	28
	16	55	16	23	1	*	8	17	—	—	1	32
	17	46	6	21	—	—	2	11	—	—	—	24
	18	37	3	19	—	—	—	8	—	—	—	18
	19	29	—	11	—	—	—	1	—	—	—	3
	20	24	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	22	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	20	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	29	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	25	27	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	26	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	31	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	3	3	4	—	—	2	—	—	—	1	1
	18	3	2	8	—	—	1	—	—	—	—	4
	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)・積雪深計による定時(午前9時)の測定値を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(—)とした。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。
 ・*のデータは欠測または未測。

第31表 各地の積雪量 (2009年3月) [参考データ]

単位: cm

月	日	今庄 (今庄)	敦賀 (松栄)	小浜 (遠敷)	県テレメータ観測局								
					浦底	白木峠	竹波	坂尻	宮留	長井	小黒飯	山中	
3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)・積雪深計による定時(午前9時)の測定値を示す。
 ・測定値の0は積雪なし(-)とした。
 ・今庄、敦賀、小浜の値は、気象庁ホームページの気象統計情報(過去の気象データ検索)から引用した。

4.1 空間放射線の構成成分

これまで県内各地点における空間放射線の構成成分を調べるため、ポータブルスペクトロメータを用いて γ 線スペクトル測定を行ってきた。今年度は、TLD設置地点15地点（各サイト3地点）について、空間放射線の構成成分調査を実施した。

今年度の測定地点名と測定結果を表1と図1に示す。

測定器は3" ϕ \times 3" NaI(Tl) スペクトロメータ (Aloka JSM-102) で、測定時間は各10分間である。解析法は脚注に示した。ここで測定した値は降雨等の自然条件や測定条件などにより個々の測定点でも測定毎に20~30%の変動がある。

測定結果の各成分のカリウム-40、ウラン系列、トリウム系列は天然の放射線源である。降雨時には雨により空気中のラドンの娘核種が降下し、地表面に溜まるため、ウラン系列の放射線が増加する。今回の測定時の天候は晴あるいは曇であり、降雨中の測定はない。

地域や地点により線量率に差があるのは、地質によって天然放射性核種の濃度が違うためである。敦賀半島はその大部分が花崗岩（酸性岩）からなり、天然放射性核種の濃度が高いので線量率も高い。嶺南地区の西部は粘板岩ないし安山岩等（堆積岩ないし塩基性岩）からなり線量率は低い。嶺北地区については、砂礫および粘土を主体とした沖積層の福井平野に位置しているため線量率は低い。

今年度の調査結果をまとめると、線量率の最も高かったのは、浦底A5の9.7 nGy/hで、最も低かったのは、宮留奥Aの2.7 nGy/hであった。

線量構成比を比較すると、浦底A5は、ウラン系列；19%、トリウム系列；46%、カリウム；35%であり、宮留奥Aは、ウラン系列；26%、トリウム系列；32%、カリウム；43%となっている。

(解析法) 測定エネルギー範囲を0~3.2 MeVとした。測定された波高分布から線量率を求めるには2つのステップが必要である。①波高分布を入射エネルギースペクトルに変換すること、②このエネルギースペクトルから線量率に換算することの2つである。

(1) 波高分布→入射エネルギースペクトル変換

入射 γ 線のスペクトル（求めるべきエネルギースペクトル）をN、シンチレーションスペクトロメータの出力波高分布をPとし、これらの関係をベクトルで表示すると

$$P = N \cdot R \quad \text{と書ける。}$$

Nを逐次近似的にレスポンス行列（R）を用いて求めるのがレスポンス行列法である。

(2) 入射エネルギースペクトル→線量率換算

(1)で得られた入射 γ 線エネルギースペクトルの各ビンに、そのビンのエネルギーに対応する質量エネルギー吸収係数をかけ、それらを積算して0~3.2 MeVの線量率を求める。

参考文献：①名古屋工業試験所報告、第31巻 第5号、p132-146（1982）

②福井県衛生研究所年報、第28集、p93~94（1989）

③福井県原子力環境監視センター所報、第8巻、p47~59（2001）

表1. 測定地点と核種別線量率

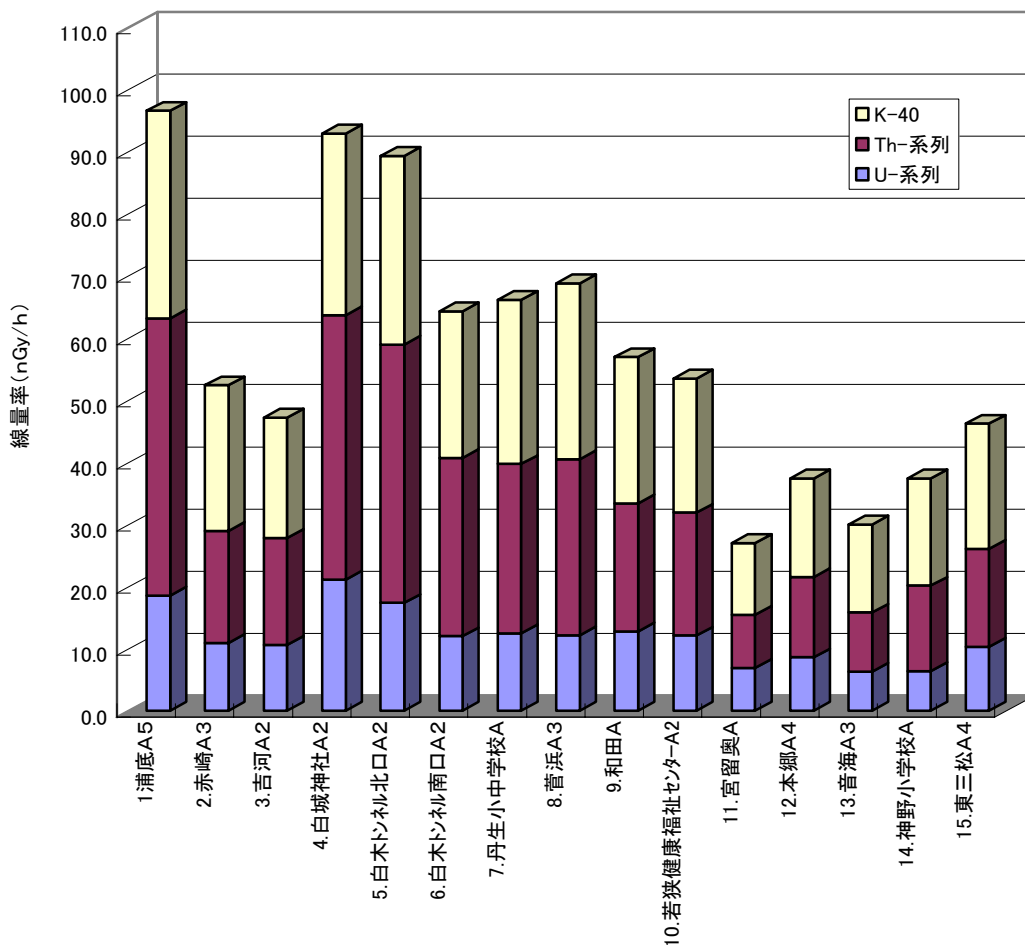
地区	測定地点	線量率(nGy/h)				線量構成比(%)		
		U-系列	Th-系列	K-40	TOTAL	U-系列	Th-系列	K-40
敦賀市	1 浦底A5	18.5	44.6	33.4	96.6	19.2	46.2	34.6
	2 赤崎A3	10.9	18.1	23.4	52.4	20.8	34.5	44.7
	3 吉河A2	10.6	17.2	19.4	47.2	22.4	36.5	41.1
	4 白城神社A2	21.1	42.5	29.3	92.9	22.7	45.8	31.5
	5 白木トンネル北口A2	17.3	41.6	30.4	89.3	19.4	46.5	34.1
	6 白木トンネル南口A2	12.0	28.7	23.5	64.2	18.7	44.7	36.6
美浜町	7 丹生小中学校A	12.5	27.2	26.4	66.1	18.9	41.2	39.9
	8 菅浜A3	12.2	28.3	28.3	68.8	17.7	41.2	41.2
	9 和田A	12.8	20.6	23.5	56.9	22.5	36.2	41.4
小浜市	10 若狭健康福祉センターA2	12.1	19.8	21.6	53.4	22.6	37.0	40.4
おおい町	11 宮留奥A	6.9	8.5	11.6	27.0	25.6	31.5	42.9
	12 本郷A4	8.6	13.0	15.9	37.4	23.0	34.6	42.4
高浜町	13 音海A3	6.3	9.5	14.2	30.0	20.9	31.8	47.3
	14 神野小学校A	6.4	13.7	17.3	37.4	17.0	36.7	46.2
	15 東三松A4	10.3	15.8	20.2	46.2	22.2	34.2	43.6

測定年月日

地点 1～9(2009.1.22)

地点 10～15(2009.1.23)

図1. 測定結果



4. 2 県環境放射線監視テレメータシステムによる空間線量率及び気象の調査結果

福井県環境放射線監視テレメータシステムでは、各原子力発電所周辺に18ヶ所の観測局を設け、波高弁別器バイアス変調(以下、DBM)方式のNaI(Tl)検出器により、空間線量率を連続測定し10分毎にデータ収集している。

観測局の位置は、添付資料第2図(p.32~p.33)に示した。測定器の仕様、測定項目などの詳細については、各年度の「福井県原子力環境監視センター所報」を参照されたい。

線量率の測定結果では、各観測局の月毎に求めた「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた線量率について、原因の究明を行っている。各観測局で月毎に処理するのは、観測地点の周辺環境の違いと降雨、降雪などの気象条件が季節によって異なるためである。また、検出器に入射する放射線のエネルギー成分を検討するため、DBM通過率(線量率と計数率の比)の解析を行っている。ほかに降雨量、風向、風速等の気象情報も収集しており、線量率が「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた場合には、これらの気象情報や近接局の状況を加味して、線量率上昇の原因を判断している。なお、ここで取り扱ったデータは、すべて1時間値をもとにしたものである。

添付資料第8表(p.49~p.54)は、線量率の最高値、最低値、平均値、標準偏差、「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間と原因を観測局別に示している。「平均値+標準偏差の3倍」の範囲を超えた時間数は各地点とも例年どおり200時間前後であり、原因のほとんどが降雨または降雪によるものであった。

その他に、静穏な気象状態になると、大気中のラドン娘核種の拡散・希釈が抑制されてラドン娘核種濃度が高くなるなどして、「平均値+標準偏差の3倍」を超えることがある。今年度は、敦賀局など6つの観測局で1~7時間観測された。

各観測局の線量率と降雨量の全測定結果を図4.2.1(p.155~p.163)に示す。

図より、降雨または降雪による線量率の上昇が、全局で顕著にみられている。夏季の少雨期には、土壌中の水分が蒸発して地中からの放射線に対する遮蔽効果が減少し、線量率が徐々に増加する現象が、白木、白木峠、竹波、坂尻観測局等でみられた。

平野部(注)に設置された敦賀、小浜観測局等では、降雨のない期間に数nGy/h程度の1日周期の線量率変化が現れている。これは、大気状態が安定になりやすい夏季に多く見られる現象で、夜半から明け方にかけて地表付近の大気中においてラドン等の天然放射性核種濃度が高くなるために起きる現象である。冬季(12月~2月)には、積雪の影響により顕著な線量率の低下が見られる。今年度は1月に各地で積雪量が多くなったため、敦賀、浦底、白木、白木峠、丹生、竹波、坂尻、小浜、日角浜、阿納尻、長井および山中の各観測局で線量率低下が観測された。特に白木峠、坂尻、山中の各観測局では顕著な線量率低下が観測された。

表4.2.1(p.143~p.154)、図4.2.2(p.164~p.167)にテレメータシステムで観測した気象関係の統計結果を示す。

以上のことより、今年度の調査結果では、県内の原子力発電所の運転による短時間間隔の線量率上昇は観測されなかった。

(注)海岸線の俯角、標高100m地点の仰角が共に小さい所を平坦な地としている。参考として下表に各観測局の周辺状況を示す。

(参考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
敦賀	6	1500	3100	0.2°	2.7°
浦底	12	35	350	18.9°	14.1°
立石	20	40	150	26.6°	28.1°
河野	2	3	230	33.7°	23.1°
白木	20	130	300	8.7°	14.9°
白木峠	180	800	350*	12.7°	3.3°*
丹生	3	15	228	11.3°	23.0°

*：白木峠観測局は標高200mまで

(参 考) 観測局周辺状況

単位：距離(m)、俯角・仰角(°)

観測局	標高	海までの距離	標高100m(200m)までの距離	海岸線までの俯角	標高100m(200m)までの仰角
竹波	10	225	238	2.5°	20.7°
坂尻	35	320	150	6.2°	23.4°
小浜	5	538	725	0.5°	7.5°
日角浜	15	100	338	8.5°	14.1°
宮留	4	50	350	4.6°	15.3°
阿納尻	14	100	290	8.0°	16.5°
長井	14	150	420	5.3°	11.5°
小黑飯	35	25	125	54.5°	27.5°
音海	2	163	213	0.7°	24.7°
神野浦	9	60	340	8.5°	15.0°
山中	144	1100	400*	7.5°	8.0°*

*：山中観測局は標高200mまで

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2008年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
敦賀	月間降雨時間(時間)	83	83	76	25	54	69	73	110	121	159	88	81	1022
	月間感雨時間(時間)	141	128	140	37	94	134	137	190	236	318	199	180	1934
	月間降雨量(mm)	144.0	152.5	153.0	116.5	110.5	177.5	115.0	217.0	202.5	242.5	124.0	160.0	1915.0
	月間平均風速(m/s)	1.9	1.9	1.7	1.7	1.8	1.5	1.5	1.6	2.0	1.8	2.1	2.3	1.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	52	51	72	57	44	72	56	65	36	70	30	34	639
	月間平均気温(℃)	14.6	18.2	21.2	27.7	27.5	23.5	18.5	12.9	9.2	5.5	6.8	8.5	16.3
浦底	月間降雨時間(時間)	92	83	78	25	47	64	67	107	138	195	89	84	1069
	月間感雨時間(時間)	135	117	144	46	96	132	140	172	247	340	203	148	1920
	月間降雨量(mm)	159.5	188.0	133.0	150.5	113.0	171.5	120.0	176.5	213.5	296.5	107.5	179.0	2008.5
	月間平均風速(m/s)	2.1	2.1	1.5	1.6	1.7	1.3	1.5	1.4	2.2	2.0	2.0	2.4	1.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	97	135	183	200	146	138	143	89	59	88	71	58	1407
	月間平均気温(℃)	13.5	17.9	20.8	26.9	27.0	23.3	18.4	12.2	8.4	4.9	6.6	8.7	15.8

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 敦賀地区

2008年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
立石	月間降雨時間 (時間)	84	77	75	27	45	51	60	86	120	182	78	74	959
	月間感雨時間 (時間)	137	118	143	41	87	118	128	184	241	339	190	150	1876
	月間降雨量 (mm)	134.0	146.6	113.0	157.0	149.5	111.0	115.0	141.5	173.5	252.0	88.0	143.5	1724.6
	月間平均風速 (m/s)	2.5	2.9	2.4	2.5	2.7	2.2	2.5	2.6	3.4	3.0	3.2	3.4	2.8
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	35	41	68	47	19	30	28	19	16	30	11	14	358
	月間平均気温 (°C)	14.9	19.1	22.0	28.2	28.5	24.8	20.3	14.3	10.6	6.9	8.3	10.2	17.4
河野	月間降雨時間 (時間)	86	78	80	31	40	54	63	128	130	200	75	71	1036
	月間感雨時間 (時間)	132	111	134	46	77	102	122	183	268	370	200	167	1912
	月間降雨量 (mm)	144.5	176.5	135.5	211.5	159.0	135.0	146.0	177.5	198.0	258.0	93.5	161.0	1996.0
	月間平均風速 (m/s)	2.6	2.6	2.3	2.4	3.0	2.6	3.1	4.2	4.4	3.8	2.8	3.0	3.1
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	57	40	48	29	15	32	23	7	5	16	34	29	335
	月間平均気温 (°C)	13.2	17.6	20.8	26.8	27.8	24.8	20.0	13.5	9.7	6.2	7.4	9.4	16.5

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 白木地区

2008年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
白木	月間降雨時間 (時間)	79	79	74	27	41	72	64	107	128	186	86	76	1019
	月間感雨時間 (時間)	136	119	176	43	98	144	134	174	240	353	227	156	2000
	月間降雨量 (mm)	154.0	154.0	121.5	150.0	114.5	241.5	125.0	160.5	189.0	272.0	106.5	151.0	1939.5
	月間平均風速 (m/s)	2.8	2.7	2.3	1.9	2.5	2.4	2.6	2.8	3.4	3.6	3.7	3.9	2.9
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	7	14	25	13	13	14	6	5	3	11	9	0	120
	月間平均気温 (°C)	12.6	17.0	19.8	25.8	26.3	22.5	17.7	11.6	8.2	5.0	6.5	8.2	15.2
白木峠	月間降雨時間 (時間)	84	82	81	28	43	75	67	101	116	171	81	75	1004
	月間感雨時間 (時間)	135	120	145	48	96	141	123	174	238	331	209	168	1928
	月間降雨量 (mm)	188.0	172.0	144.0	141.0	103.0	252.0	126.5	150.0	170.0	240.5	103.0	140.5	1930.5
	月間平均風速 (m/s)	4.0	4.0	3.2	2.8	3.7	3.4	3.7	3.8	4.6	4.8	5.2	5.6	4.1
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	18	26	28	41	14	32	17	11	12	19	18	12	248
	月間平均気温 (°C)	12.1	16.4	19.2	25.4	25.5	21.7	17.0	10.9	7.3	3.8	5.4	7.2	14.4

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 美浜地区

2008年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
丹生	月間降雨時間(時間)	78	82	81	27	43	72	58	105	128	184	90	77	1025
	月間感雨時間(時間)	136	119	139	43	88	123	112	170	231	325	199	162	1847
	月間降雨量(mm)	141.5	157.5	169.5	187.0	123.5	283.0	116.0	183.0	203.0	277.0	103.0	150.0	2094.0
	月間平均風速(m/s)	1.8	2.0	1.6	1.5	1.9	1.4	1.6	1.8	2.3	2.1	1.9	2.3	1.9
	無風(0.5m/s未満)出現回数	141	149	172	178	93	128	142	105	92	110	92	83	1485
	月間平均気温(℃)	13.1	17.7	20.4	27.0	28.2	25.4	20.7	14.4	10.7	7.0	8.4	10.3	17.0
竹波	月間降雨時間(時間)	87	85	87	25	44	84	66	110	134	192	101	82	1097
	月間感雨時間(時間)	140	118	141	37	90	146	123	176	226	329	198	162	1886
	月間降雨量(mm)	159.0	171.0	159.0	160.0	89.5	311.0	117.0	190.0	219.0	297.5	118.0	166.5	2157.5
	月間平均風速(m/s)	1.3	1.1	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.4	1.6	1.5	1.4	1.6	1.3
	無風(0.5m/s未満)出現回数	102	141	151	143	98	126	120	91	78	123	87	68	1328
	月間平均気温(℃)	12.9	17.2	20.1	26.4	26.4	22.4	17.5	11.6	8.0	4.6	6.1	8.0	15.1
坂尻	月間降雨時間(時間)	91	88	103	24	52	75	62	96	141	179	98	72	1081
	月間感雨時間(時間)	138	129	157	37	106	155	130	176	241	326	209	174	1978
	月間降雨量(mm)	161.0	161.0	203.5	134.5	134.0	310.5	78.5	150.5	225.5	275.0	106.0	140.5	2080.5
	月間平均風速(m/s)	1.6	1.4	1.1	1.1	1.3	1.3	1.3	1.4	1.6	1.7	1.9	2.0	1.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	106	127	168	146	99	98	117	125	116	136	88	98	1424
	月間平均気温(℃)	13.0	17.3	20.0	26.3	26.1	22.4	17.5	11.3	7.7	4.1	6.2	8.0	15.0

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2008年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
小浜	月間降雨時間(時間)	72	81	89	19	62	84	57	93	111	173	117	73	1031
	月間感雨時間(時間)	139	107	158	39	122	161	124	152	204	292	218	169	1885
	月間降雨量(mm)	118.0	140.5	160.5	49.5	160.5	206.0	75.5	140.0	196.0	286.5	139.0	110.5	1782.5
	月間平均風速(m/s)	1.4	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0	1.2	1.5	1.4	1.3	1.4	1.2
	無風(0.5m/s未満)出現回数	69	90	124	97	85	134	95	60	36	70	72	51	983
	月間平均気温(℃)	13.3	18.0	20.6	27.6	27.3	23.3	18.1	11.8	8.0	4.4	6.5	8.5	15.7
日角浜	月間降雨時間(時間)	77	71	85	22	64	75	52	92	105	158	100	61	962
	月間感雨時間(時間)	140	95	135	38	111	147	114	171	189	284	232	160	1816
	月間降雨量(mm)	124.5	130.5	157.5	93.5	180.0	180.5	68.5	150.5	181.0	237.0	118.5	80.0	1702.0
	月間平均風速(m/s)	1.7	1.6	1.3	1.2	1.2	1.3	1.2	1.4	1.8	1.7	1.7	1.8	1.5
	無風(0.5m/s未満)出現回数	87	95	142	128	123	105	120	71	47	81	73	70	1142
	月間平均気温(℃)	12.7	17.5	20.4	27.5	27.4	23.5	18.3	12.2	8.5	5.0	6.4	8.3	15.7
宮留	月間降雨時間(時間)	75	71	85	21	60	63	51	92	104	156	96	61	935
	月間感雨時間(時間)	137	103	143	31	101	144	110	176	188	282	241	165	1821
	月間降雨量(mm)	129.5	130.5	159.5	103.5	162.0	163.5	66.5	141.5	173.5	224.0	108.0	86.5	1648.5
	月間平均風速(m/s)	2.1	2.3	1.8	1.9	2.3	2.3	2.2	2.6	2.9	3.2	2.8	2.9	2.4
	無風(0.5m/s未満)出現回数	59	55	85	69	47	41	56	28	29	36	33	34	572
	月間平均気温(℃)	12.7	17.3	20.2	26.9	27.0	23.3	18.4	12.4	8.7	5.2	6.6	8.3	15.6

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 大飯地区

2008年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
阿納尻	月間降雨時間(時間)	80	75	80	20	57	79	58	89	116	152	105	69	980
	月間感雨時間(時間)	138	112	156	39	109	149	117	170	201	301	213	178	1883
	月間降雨量(mm)	130.0	133.5	139.5	59.0	182.0	175.5	77.0	161.5	204.5	255.5	116.0	103.0	1737.0
	月間平均風速(m/s)	1.8	1.8	1.4	1.3	1.5	1.4	1.3	1.8	2.0	2.1	2.1	2.1	1.7
	無風(0.5m/s未満)出現回数	112	97	112	107	84	105	154	121	95	100	74	78	1239
	月間平均気温(℃)	14.1	18.9	21.7	28.3	28.3	24.4	19.2	13.2	9.3	5.6	7.5	9.5	16.7
長井	月間降雨時間(時間)	79	82	88	22	65	80	54	96	107	152	119	83	1027
	月間感雨時間(時間)	131	121	143	39	131	155	107	166	194	285	218	174	1864
	月間降雨量(mm)	121.0	123.0	151.5	57.0	144.5	193.5	70.0	155.5	165.5	211.5	142.5	97.5	1633.0
	月間平均風速(m/s)	2.1	2.0	1.6	1.7	2.0	2.1	2.0	2.3	2.3	2.4	2.6	2.7	2.1
	無風(0.5m/s未満)出現回数	25	34	51	47	27	26	25	23	17	52	25	25	377
	月間平均気温(℃)	12.6	17.3	20.2	26.7	26.6	22.8	17.6	11.7	7.7	4.1	5.9	7.9	15.1

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2008年度

観測局	項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
小黒飯	月間降雨時間 (時間)	79	75	83	15	72	70	49	107	106	185	134	89	1064
	月間感雨時間 (時間)	137	113	135	37	134	151	112	199	200	313	234	181	1946
	月間降雨量 (mm)	138.0	138.0	171.5	91.0	249.0	176.0	69.5	169.0	174.0	270.5	175.5	108.0	1930.0
	月間平均風速 (m/s)	0.7	0.9	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.9	1.0	1.0	0.9	1.1	0.8
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	231	229	305	295	242	287	265	181	160	174	191	137	2697
	月間平均気温 (°C)	13.3	17.8	20.3	27.1	27.0	23.4	19.0	12.9	9.2	5.6	6.9	8.9	16.0
音海	月間降雨時間 (時間)	76	73	82	17	73	72	51	100	92	163	119	78	996
	月間感雨時間 (時間)	134	107	127	35	126	140	104	182	209	302	226	184	1876
	月間降雨量 (mm)	125.5	131.5	150.5	90.5	229.5	197.0	74.5	172.0	135.5	199.0	147.5	85.5	1738.5
	月間平均風速 (m/s)	2.2	1.6	1.4	1.6	1.6	1.5	2.0	3.0	3.5	3.6	2.8	2.7	2.3
	無風 (0.5 m/s 未満) 出現回数	128	147	188	158	155	186	137	99	65	62	90	98	1513
	月間平均気温 (°C)	12.6	17.2	19.9	26.6	26.7	23.0	18.5	12.5	8.8	5.5	6.7	8.5	15.6

表4. 2. 1 各地の気象 その1 降雨(降雪)、風速、気温 高浜地区

2008年度

観測局	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
神野浦	月間降雨時間(時間)	82	77	83	18	78	70	51	107	112	183	135	95	1091
	月間感雨時間(時間)	139	118	144	31	129	149	112	186	209	303	227	189	1936
	月間降雨量(mm)	135.0	131.5	168.0	120.5	245.5	193.0	75.5	171.5	177.5	256.0	174.0	112.0	1960.0
	月間平均風速(m/s)	0.7	0.6	0.4	0.6	0.7	0.7	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8
	無風(0.5m/s未満)出現回数	169	211	317	215	182	172	134	108	82	127	126	85	1928
	月間平均気温(℃)	11.9	16.6	19.3	25.7	25.7	22.0	17.0	11.1	7.3	4.0	5.7	7.7	14.5
山中	月間降雨時間(時間)	82	79	82	16	78	72	50	105	94	150	118	88	1014
	月間感雨時間(時間)	141	115	132	31	126	149	109	189	210	298	240	199	1939
	月間降雨量(mm)	133.0	142.5	166.0	116.0	264.5	163.5	82.0	157.0	140.0	203.0	143.5	105.0	1816.0
	月間平均風速(m/s)	2.1	1.8	1.5	1.8	1.7	1.6	2.2	2.7	3.2	2.9	2.5	2.5	2.2
	無風(0.5m/s未満)出現回数	27	46	84	52	43	44	23	20	8	18	18	12	395
	月間平均気温(℃)	12.0	16.6	19.1	25.7	25.5	21.7	16.9	10.7	6.8	3.3	5.0	7.1	14.3

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 敦賀地区

2008年度
単位：%

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
敦賀	4～6月	3.8	1.0	0.3	0.9	1.6	8.8	21.6	8.9	2.2	1.1	2.0	6.1	8.5	5.9	6.5	12.8	8.0
	7～9月	4.3	0.5	0.2	0.6	1.4	12.4	22.9	12.5	2.6	2.7	2.8	3.5	4.2	3.5	6.4	11.8	7.8
	10～12月	2.6	1.0	0.5	0.9	2.1	8.4	20.9	15.5	4.2	2.6	3.1	4.5	6.3	5.2	5.8	9.2	7.2
	1～3月	3.0	0.9	0.3	0.6	1.4	6.6	18.6	12.0	2.3	1.5	2.1	3.6	5.5	9.0	12.7	13.5	6.3
	年 間	3.5	0.9	0.3	0.7	1.6	9.1	21.0	12.2	2.9	2.0	2.5	4.4	6.1	5.9	7.8	11.8	7.3
浦底	4～6月	0.8	0.6	0.9	1.8	2.6	3.4	15.5	12.8	1.5	0.7	0.8	3.6	13.4	17.2	4.2	1.1	19.0
	7～9月	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	2.8	13.7	17.3	2.6	1.2	1.2	5.2	9.9	15.8	3.9	0.5	21.9
	10～12月	0.3	0.1	0.2	0.5	1.0	2.0	10.8	18.7	2.9	1.6	2.5	11.1	13.9	18.0	2.7	0.5	13.2
	1～3月	0.6	0.6	0.7	0.5	1.1	2.2	8.9	16.6	1.9	1.2	1.1	6.4	15.7	28.0	3.4	1.0	10.1
	年 間	0.5	0.4	0.7	0.9	1.4	2.6	12.3	16.4	2.2	1.2	1.4	6.6	13.2	19.7	3.6	0.8	16.1
立石	4～6月	2.8	1.2	0.8	1.0	8.5	17.5	2.4	2.5	3.0	8.0	4.3	4.7	3.9	4.2	13.8	14.7	6.6
	7～9月	2.0	1.2	0.5	0.9	10.8	16.4	2.9	4.2	5.8	8.0	3.8	4.5	3.8	4.4	12.3	14.0	4.3
	10～12月	3.6	2.5	1.5	2.0	14.2	13.4	2.8	4.2	6.4	7.1	3.0	3.0	4.1	3.0	9.8	16.6	2.9
	1～3月	3.8	2.0	1.3	1.9	13.1	10.1	2.3	3.6	4.4	4.9	2.6	2.1	2.3	2.6	17.3	23.0	2.5
	年 間	3.1	1.7	1.0	1.4	11.6	14.4	2.6	3.6	4.9	7.0	3.5	3.6	3.6	3.5	13.3	17.1	4.1
河野	4～6月	0.7	3.0	20.9	21.2	6.8	3.8	2.4	1.8	1.2	1.5	2.7	7.0	15.6	3.6	0.5	0.5	6.6
	7～9月	0.5	3.3	27.7	24.5	5.8	2.4	3.7	3.4	1.3	1.3	1.7	4.8	13.0	2.2	0.4	0.6	3.4
	10～12月	0.6	3.3	28.1	28.9	4.4	1.8	4.5	3.9	1.3	0.7	2.2	6.1	8.9	2.4	0.8	0.5	1.6
	1～3月	1.2	3.5	25.4	24.5	4.8	1.9	4.9	2.5	1.2	1.2	2.0	3.8	10.6	6.8	1.1	1.1	3.7
	年 間	0.8	3.3	25.5	24.8	5.4	2.5	3.9	2.9	1.2	1.2	2.1	5.4	12.0	3.7	0.7	0.7	3.8

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎風向出現率 白木、美浜地区

2008年度
単位： %

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
白木	4～6月	7.7	2.7	1.5	0.9	1.1	3.2	14.0	20.9	13.1	3.9	1.0	1.1	0.5	0.5	6.9	18.9	2.1
	7～9月	7.3	4.7	2.4	1.5	0.9	3.7	16.3	24.7	10.3	2.6	0.5	0.4	0.2	0.5	4.2	18.2	1.8
	10～12月	8.5	8.6	3.2	1.5	1.8	3.3	15.9	28.2	12.5	1.7	0.2	0.4	0.1	0.1	2.5	10.8	0.6
	1～3月	11.3	10.7	4.4	1.4	0.8	2.5	12.3	21.8	9.4	1.4	0.4	0.1	0.3	0.4	3.7	18.2	0.9
	年 間	8.7	6.6	2.9	1.3	1.2	3.2	14.6	23.9	11.3	2.4	0.5	0.5	0.3	0.4	4.3	16.5	1.4
白木峠	4～6月	5.7	1.4	0.6	0.8	0.8	3.9	33.2	9.6	1.1	0.1	0.2	0.0	0.2	0.6	6.3	32.0	3.3
	7～9月	4.6	1.2	0.6	0.3	1.5	4.9	30.6	10.8	1.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.5	5.0	34.4	3.9
	10～12月	6.4	1.1	0.8	0.7	1.9	7.9	33.1	8.2	1.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.4	3.5	32.7	1.8
	1～3月	5.8	1.4	0.6	0.5	0.8	7.1	27.1	6.1	0.8	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	2.4	44.5	2.3
	年 間	5.6	1.3	0.7	0.6	1.3	6.0	31.0	8.7	1.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	4.3	35.9	2.8
丹生	4～6月	2.6	4.6	5.4	8.8	14.3	7.7	3.6	3.1	3.0	5.6	8.7	2.9	1.4	1.1	2.2	3.7	21.2
	7～9月	6.1	6.3	7.1	9.8	14.2	6.5	2.6	1.7	1.9	4.3	6.3	2.4	1.4	1.7	3.5	6.2	18.1
	10～12月	7.6	7.5	9.1	7.7	12.3	6.1	1.8	2.0	2.2	5.8	6.9	0.6	1.0	1.4	3.7	9.1	15.4
	1～3月	5.7	7.2	12.6	7.8	11.8	7.0	3.1	2.3	2.7	5.1	5.6	2.4	1.2	1.5	2.5	8.2	13.2
	年 間	5.5	6.4	8.5	8.5	13.1	6.8	2.8	2.3	2.5	5.2	6.9	2.1	1.2	1.4	3.0	6.8	17.0
竹波	4～6月	1.5	2.1	6.7	23.8	2.9	0.7	0.6	0.6	0.7	1.7	12.7	15.7	5.3	3.7	1.7	1.3	18.1
	7～9月	0.9	2.0	8.4	37.0	4.4	0.8	1.0	0.6	0.9	1.3	8.9	10.1	3.8	1.5	1.0	0.8	16.6
	10～12月	0.8	1.6	9.4	38.9	6.1	1.5	0.8	0.8	1.3	1.5	6.3	11.9	3.0	1.4	0.7	0.9	13.2
	1～3月	0.7	1.9	11.4	29.1	4.9	1.4	0.7	0.8	1.1	2.1	9.0	17.4	3.5	1.6	0.8	0.7	13.0
	年 間	1.0	1.9	9.0	32.2	4.6	1.1	0.8	0.7	1.0	1.6	9.2	13.7	3.9	2.0	1.1	0.9	15.2
坂尻	4～6月	8.6	4.2	3.4	3.8	6.8	5.8	2.7	2.4	4.1	9.5	3.0	2.6	3.0	3.4	4.7	13.6	18.4
	7～9月	6.1	2.4	2.0	3.1	6.0	4.7	2.1	2.8	7.9	15.0	4.0	2.9	4.3	4.7	5.4	11.1	15.5
	10～12月	5.4	2.6	1.5	2.3	8.7	6.5	2.9	3.1	7.0	18.6	4.0	2.5	3.4	2.2	4.5	8.3	16.3
	1～3月	8.7	4.1	3.7	3.7	7.8	5.4	1.8	2.1	4.4	9.8	3.0	1.8	3.4	3.7	5.3	16.4	15.0
	年 間	7.2	3.3	2.7	3.2	7.3	5.6	2.4	2.6	5.9	13.3	3.5	2.5	3.5	3.5	5.0	12.3	16.3

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の風向出現率 大飯地区

2008年度
単位： %

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小浜	4～6月	1.1	0.9	1.6	33.6	5.2	1.3	1.3	1.8	1.0	1.2	1.8	13.9	10.7	6.0	3.5	2.0	13.0
	7～9月	1.8	1.4	2.9	39.4	5.9	2.1	2.2	2.1	1.0	1.2	1.3	6.5	5.1	4.5	4.8	3.4	14.3
	10～12月	2.3	1.7	2.5	38.8	7.4	2.0	2.3	2.9	3.0	2.9	4.4	6.5	3.9	3.4	4.2	3.3	8.7
	1～3月	3.5	0.9	2.6	31.0	4.2	1.8	2.7	3.5	1.8	3.0	3.5	6.5	6.1	7.8	6.8	5.3	9.0
	年 間	2.2	1.2	2.4	35.7	5.7	1.8	2.1	2.6	1.7	2.1	2.8	8.4	6.4	5.4	4.8	3.5	11.2
日角浜	4～6月	1.0	0.6	0.9	1.8	12.1	13.3	4.2	1.6	0.9	0.9	1.4	3.8	21.7	16.8	3.0	1.3	14.9
	7～9月	1.6	1.0	1.2	2.8	11.0	14.5	5.3	1.8	1.3	1.7	1.9	4.2	15.6	13.5	4.3	2.3	16.1
	10～12月	1.5	1.1	1.5	2.8	9.0	11.6	6.0	1.6	1.7	1.7	1.8	4.6	22.0	15.4	4.7	2.4	10.8
	1～3月	1.0	1.0	1.0	2.3	9.9	10.2	6.3	2.8	2.2	2.1	3.2	8.0	20.6	13.1	4.4	1.7	10.4
	年 間	1.3	0.9	1.1	2.4	10.5	12.4	5.4	1.9	1.5	1.6	2.0	5.1	20.0	14.7	4.1	1.9	13.0
宮留	4～6月	12.3	7.7	2.2	6.7	4.2	4.0	4.2	4.5	4.9	5.0	3.4	2.8	3.3	8.8	7.2	9.5	9.1
	7～9月	15.0	8.9	3.5	10.0	4.4	3.8	3.9	5.6	2.9	3.1	2.2	2.6	3.4	5.6	6.9	11.1	7.1
	10～12月	9.8	6.2	4.4	8.1	3.5	2.9	3.3	7.7	7.6	11.8	4.3	3.3	3.5	6.3	5.3	6.9	5.1
	1～3月	13.1	12.5	2.6	6.3	2.4	3.2	3.7	7.6	10.7	9.9	2.5	2.4	2.5	4.1	4.5	7.3	4.8
	年 間	12.6	8.8	3.2	7.8	3.6	3.5	3.8	6.4	6.5	7.5	3.1	2.8	3.2	6.2	6.0	8.7	6.5
阿納尻	4～6月	11.5	7.3	8.6	6.7	4.9	4.6	3.4	1.6	1.2	2.5	4.2	5.1	4.9	4.5	6.0	8.0	14.7
	7～9月	9.7	8.2	9.3	8.0	6.1	6.4	5.2	3.5	2.3	3.4	3.2	3.9	3.8	3.4	2.9	7.2	13.4
	10～12月	3.6	3.0	5.4	6.9	5.2	8.8	8.4	5.4	3.9	5.9	7.2	6.0	4.7	3.0	2.5	3.3	16.8
	1～3月	5.0	4.4	6.6	5.4	4.2	5.6	6.6	3.9	5.3	7.6	8.5	8.7	5.6	3.9	3.0	3.9	11.7
	年 間	7.5	5.7	7.5	6.8	5.1	6.4	5.9	5.9	3.6	3.2	4.8	5.8	5.9	4.8	3.7	3.6	5.6
長井	4～6月	10.1	16.5	4.9	1.5	1.3	1.5	3.6	13.6	18.9	6.5	1.7	1.9	1.7	2.7	3.7	4.9	5.0
	7～9月	12.6	16.2	2.8	1.3	1.2	1.5	3.4	16.8	22.2	7.1	2.2	0.7	0.4	1.0	1.5	4.6	4.5
	10～12月	6.9	7.5	2.6	0.8	0.8	1.3	2.8	16.4	28.4	15.3	3.2	2.4	2.0	1.3	1.3	4.0	2.9
	1～3月	12.0	8.0	1.7	0.8	0.6	0.6	2.2	10.9	23.7	15.0	3.8	1.9	2.0	1.8	3.2	6.9	4.7
	年 間	10.4	12.1	3.0	1.1	1.0	1.3	3.0	14.5	23.3	11.0	2.7	1.7	1.5	1.7	2.4	5.1	4.3

表4. 2. 1 各地の気象 その2 3ヶ月毎の 風向出現率 高浜地区

2008年度
単位： %

局	期 間	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	calm
小黒飯	4～6月	2.5	3.0	5.2	8.7	7.6	6.4	4.2	4.4	4.2	6.4	3.4	3.2	1.6	1.2	1.4	1.6	35.1
	7～9月	2.4	2.6	3.5	7.8	6.3	4.1	2.9	3.6	3.9	9.8	4.5	3.8	2.5	1.2	1.9	1.8	37.3
	10～12月	3.9	2.5	1.9	2.5	2.8	4.8	2.9	3.2	7.5	18.3	7.5	4.8	2.7	1.8	2.4	3.1	27.5
	1～3月	2.9	2.0	1.8	3.2	5.0	6.1	5.9	4.4	7.4	17.2	8.3	4.8	2.1	1.2	2.0	2.5	23.3
	年 間	2.9	2.5	3.1	5.6	5.4	5.3	4.0	3.9	5.7	12.9	5.9	4.1	2.2	1.4	1.9	2.2	30.8
音海	4～6月	0.6	1.7	2.5	5.0	18.9	2.7	1.6	0.6	0.7	0.6	1.1	5.8	19.9	12.6	3.3	1.0	21.2
	7～9月	0.9	1.2	1.9	4.7	17.2	3.2	2.0	1.0	1.3	1.1	1.9	4.8	16.9	14.2	4.1	1.0	22.6
	10～12月	0.8	1.3	1.3	2.2	5.9	3.4	1.2	0.9	1.0	1.3	2.2	9.2	33.5	17.1	4.3	0.9	13.7
	1～3月	0.7	1.2	1.6	2.9	8.1	2.6	1.6	1.0	0.9	1.1	2.7	10.8	36.9	12.6	3.6	0.4	11.6
	年 間	0.8	1.3	1.8	3.7	12.5	3.0	1.6	0.9	1.0	1.0	2.0	7.7	26.8	14.1	3.8	0.8	17.3
神野浦	4～6月	4.4	12.6	8.8	3.6	2.7	0.9	0.6	5.5	15.9	1.9	1.9	1.5	1.5	2.8	1.5	1.9	31.9
	7～9月	3.0	15.1	7.7	2.4	1.0	0.5	1.0	7.8	22.9	3.1	2.0	1.8	1.6	2.0	0.9	1.3	25.8
	10～12月	2.4	8.0	2.2	2.3	0.8	0.6	0.6	6.9	27.2	7.5	6.9	5.8	6.9	4.6	1.1	1.4	14.7
	1～3月	6.4	12.2	2.8	1.9	2.4	0.6	0.5	6.0	17.5	5.7	5.9	6.6	5.6	5.5	2.5	2.3	15.6
	年 間	4.1	12.0	5.4	2.6	1.7	0.7	0.7	6.6	20.9	4.5	4.2	3.9	3.9	3.7	1.5	1.7	22.0
山中	4～6月	1.7	5.1	11.1	7.1	8.3	6.5	1.3	1.1	1.7	7.5	21.7	10.4	3.7	3.0	1.3	1.3	7.2
	7～9月	2.3	5.3	11.0	7.6	6.8	4.7	1.0	0.5	1.5	8.0	28.2	10.3	2.9	1.4	1.2	1.0	6.3
	10～12月	0.9	3.4	7.5	2.3	2.0	2.4	1.1	0.8	0.8	10.6	34.9	23.1	4.5	1.4	1.0	1.1	2.3
	1～3月	1.9	5.5	10.0	3.9	2.3	1.7	0.8	0.6	1.4	7.4	28.4	21.3	5.5	2.9	2.0	2.1	2.2
	年 間	1.7	4.8	9.9	5.2	4.8	3.8	1.1	0.8	1.4	8.4	28.3	16.3	4.1	2.2	1.4	1.4	4.5

図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008年4月~2009年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

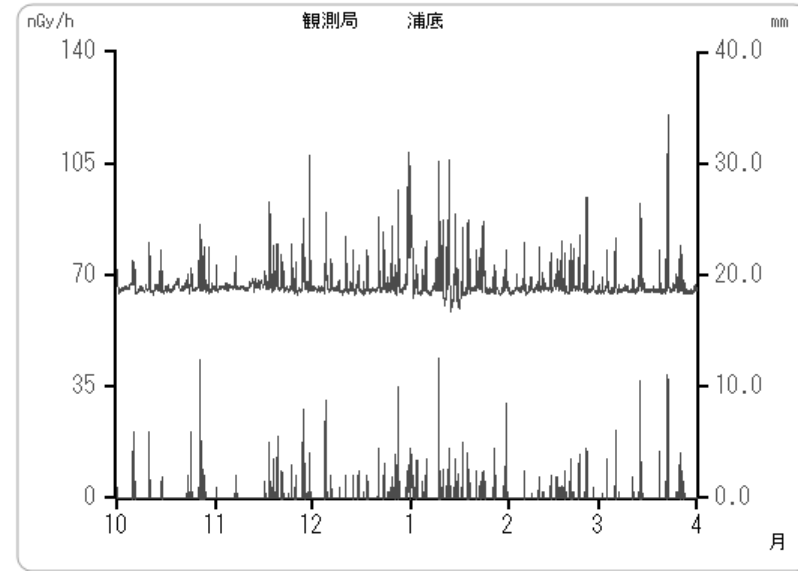
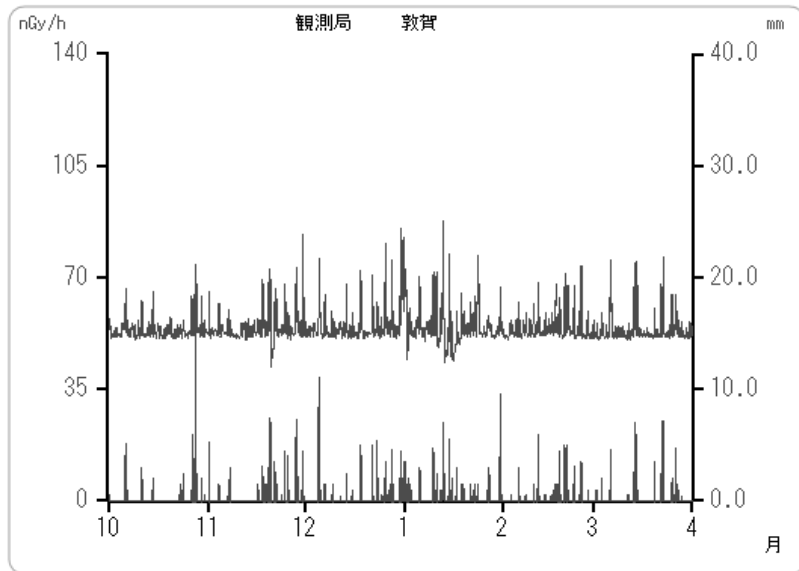
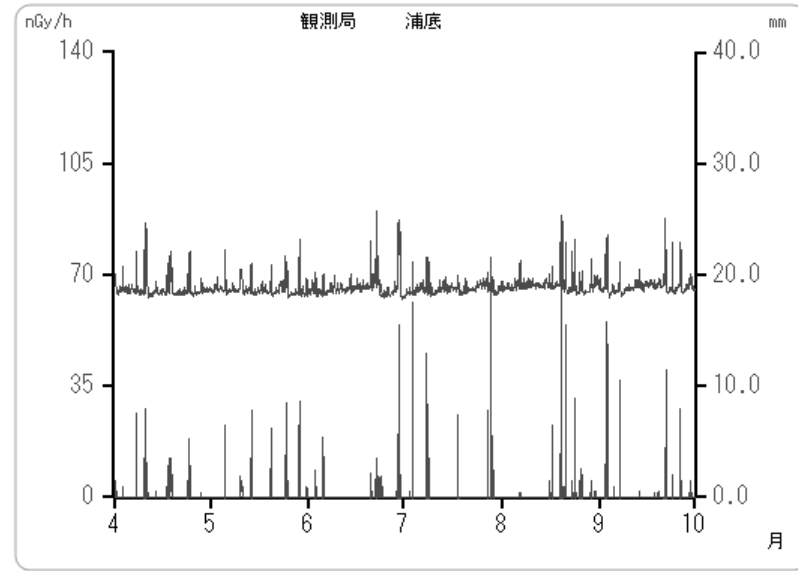
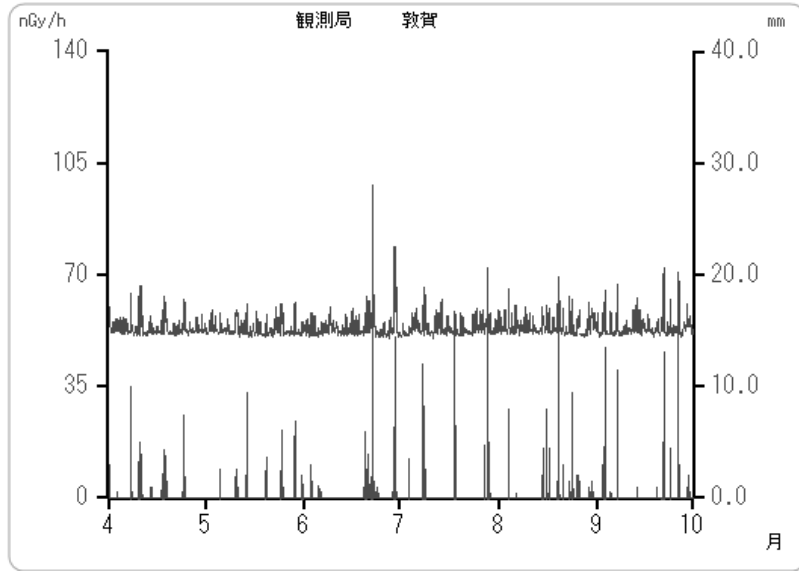


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008年4月~2009年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

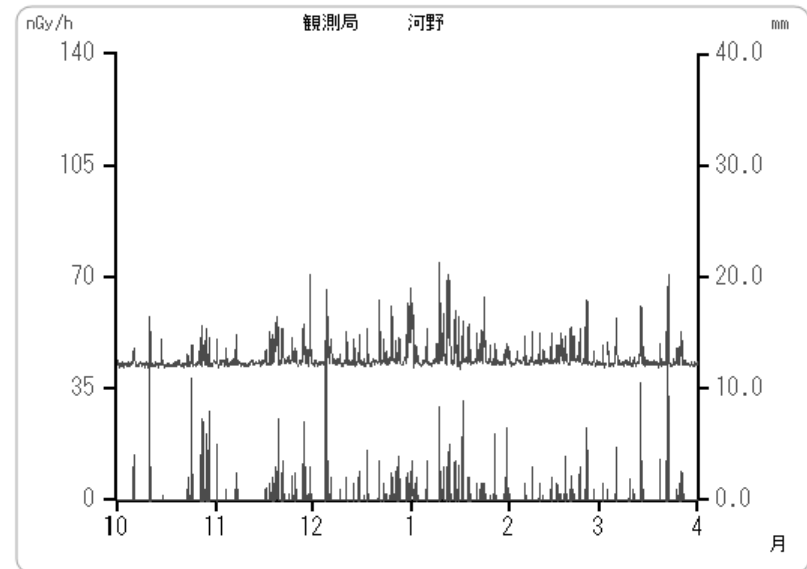
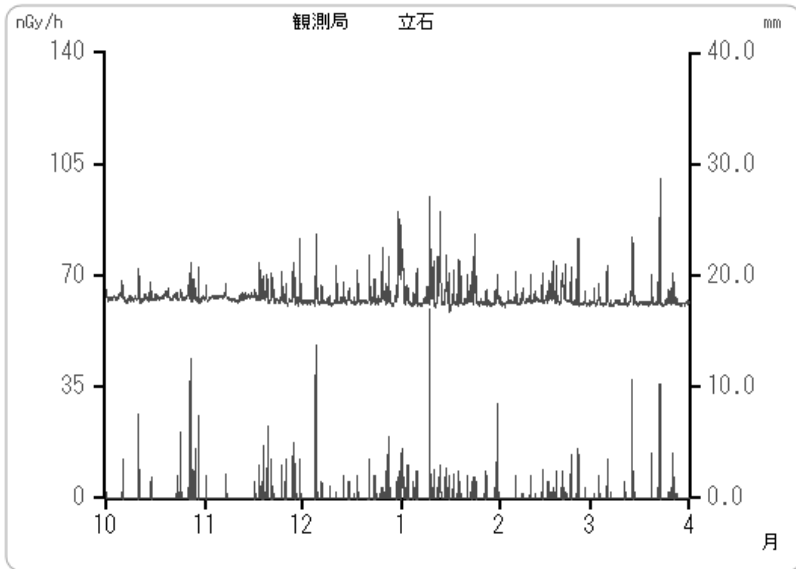
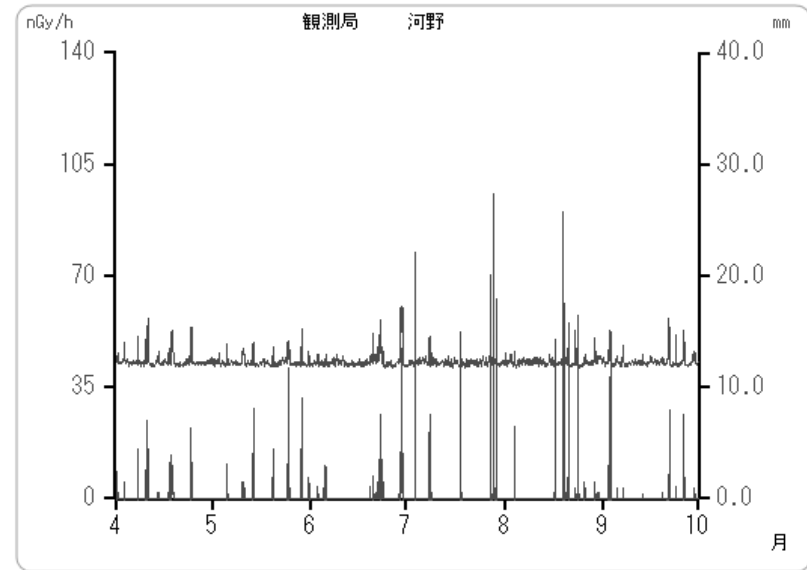
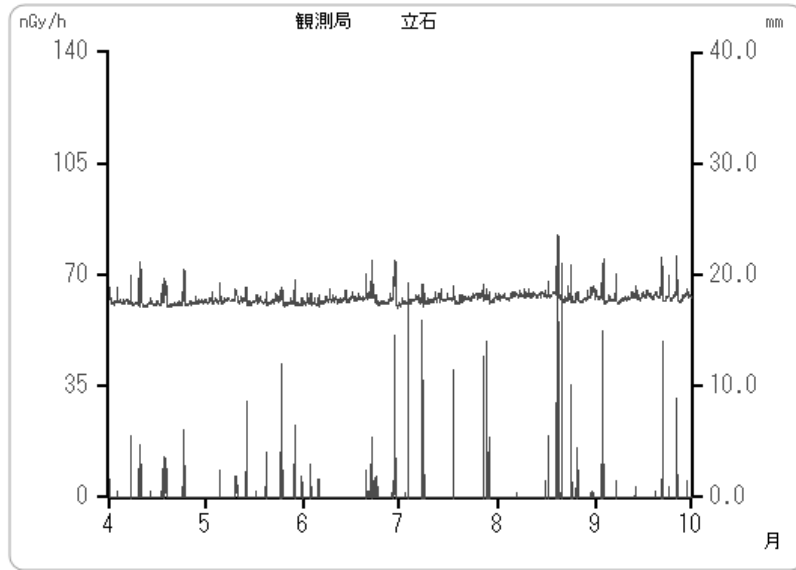


図 4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008 年 4 月～2009 年 3 月) 上段：線量率 下段：降雨量

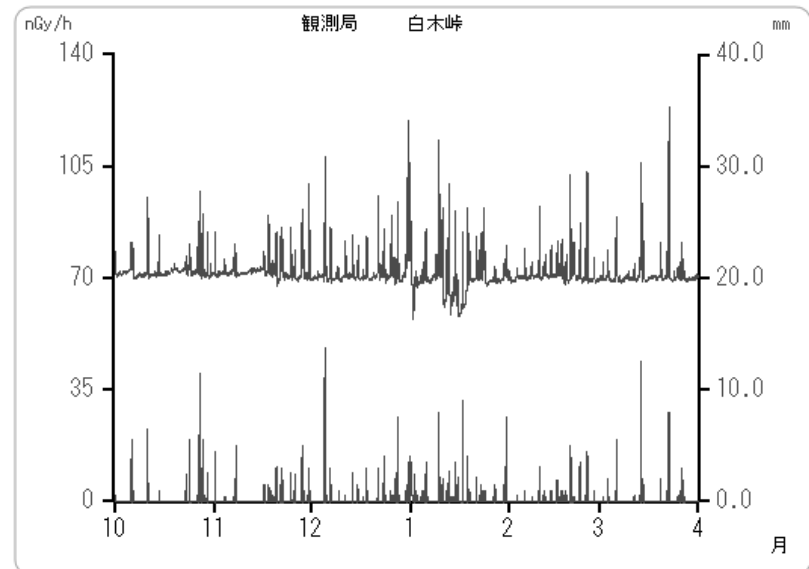
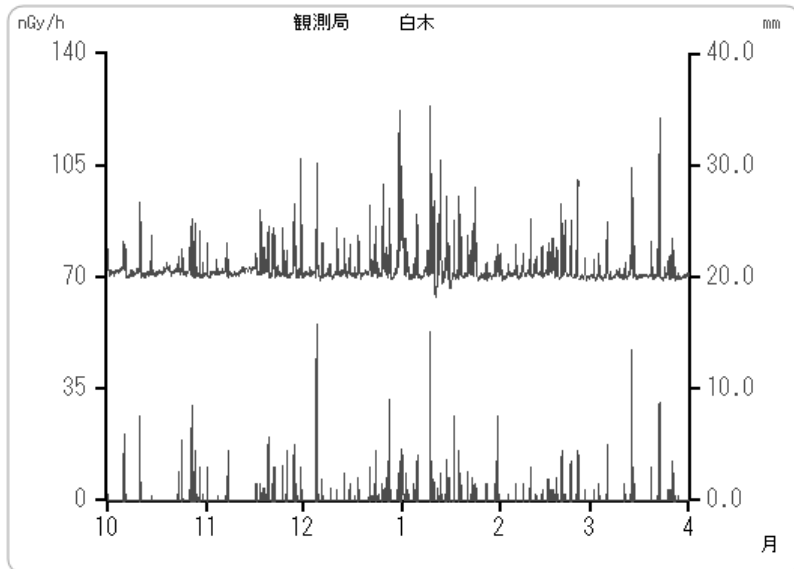
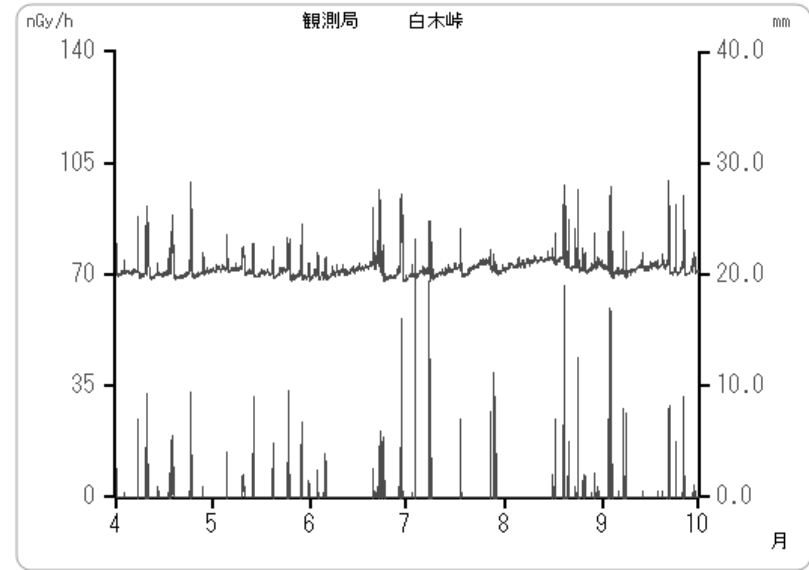
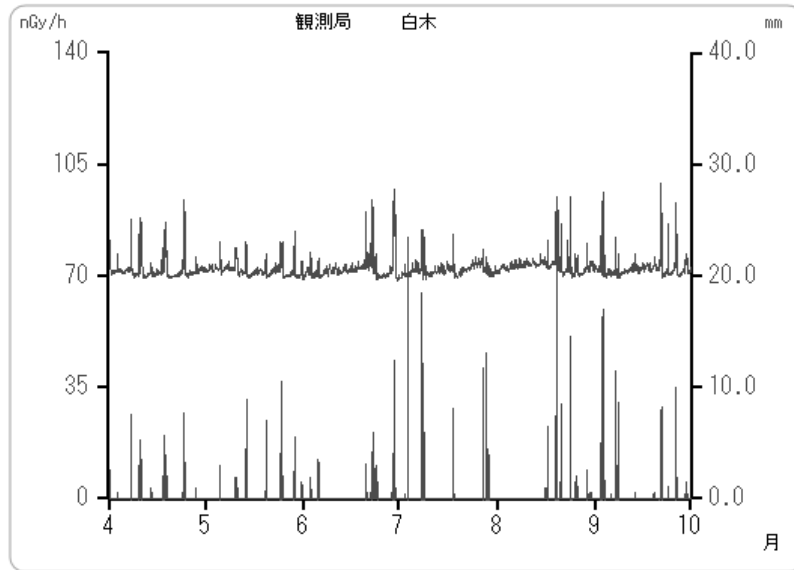


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008年4月~2009年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

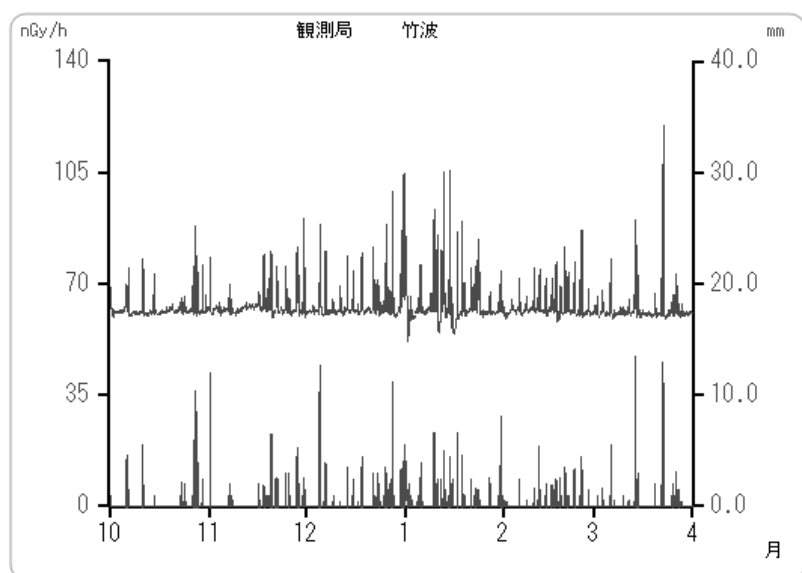
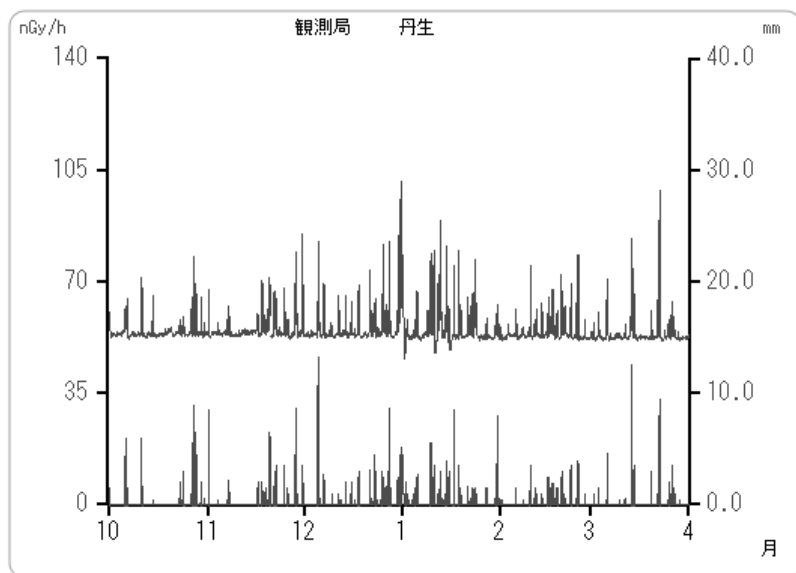
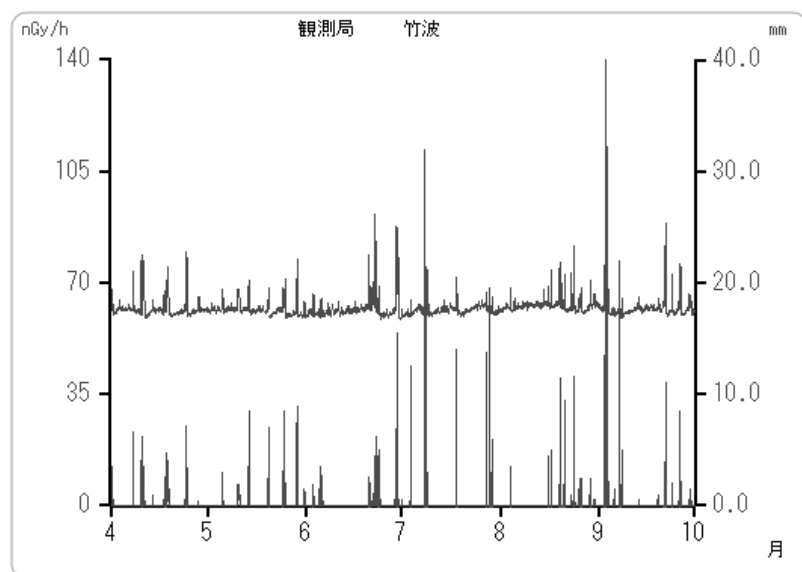
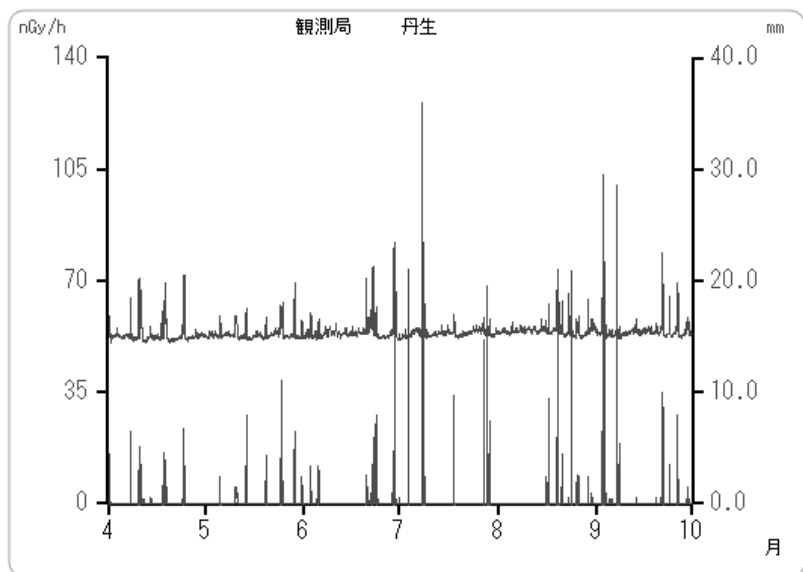


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008年4月~2009年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

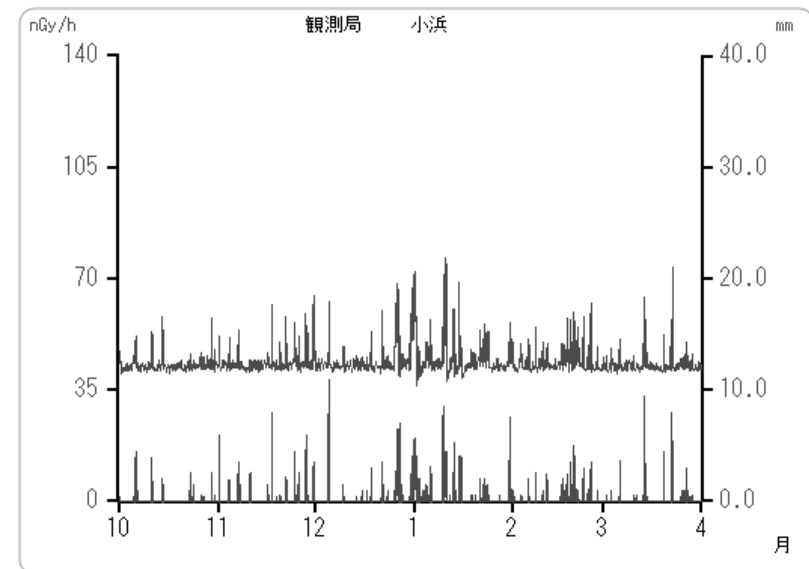
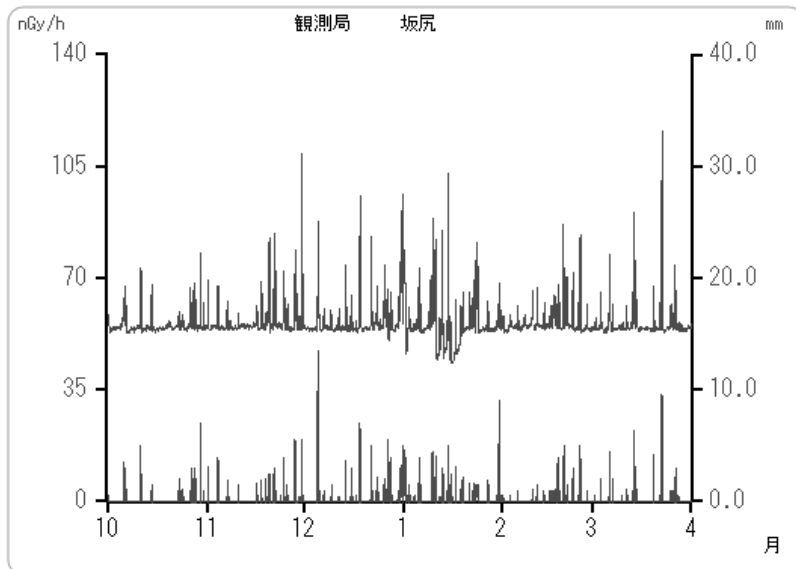
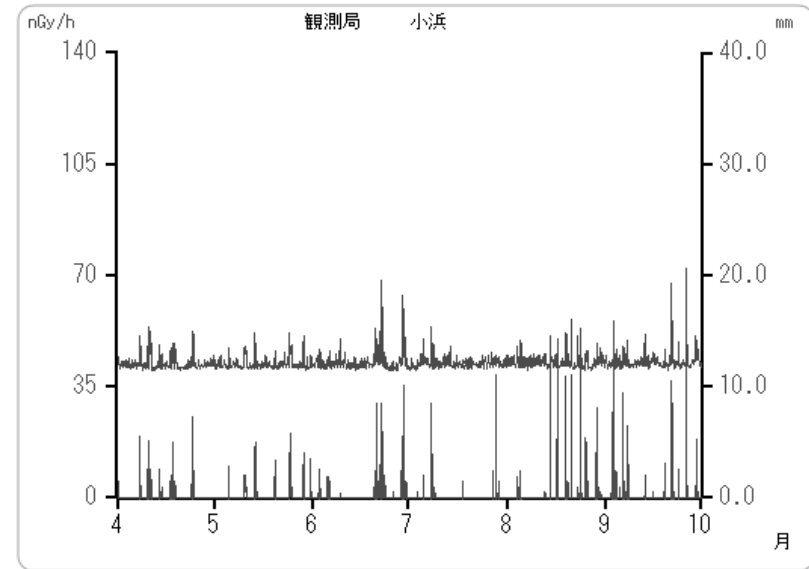
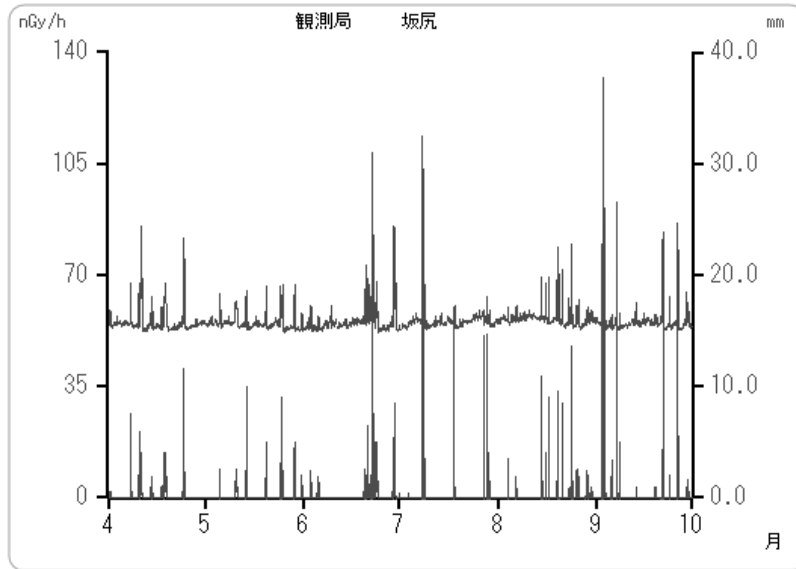


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008年4月~2009年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

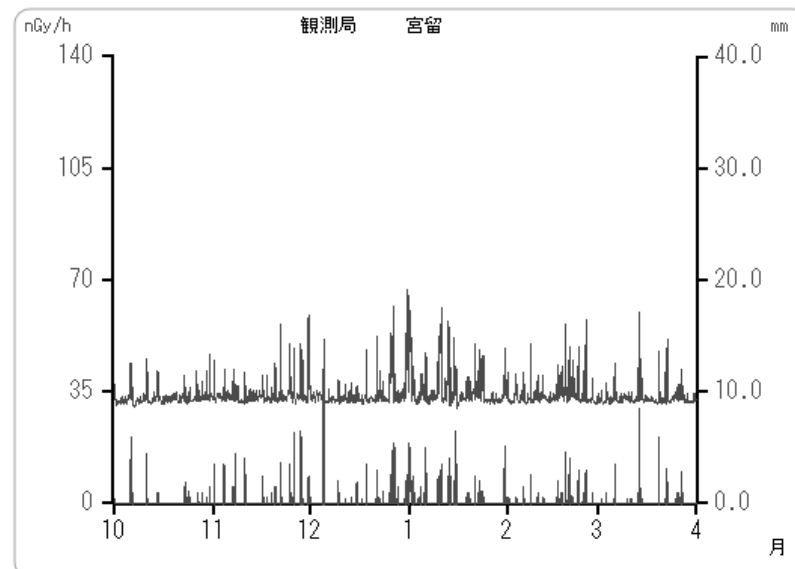
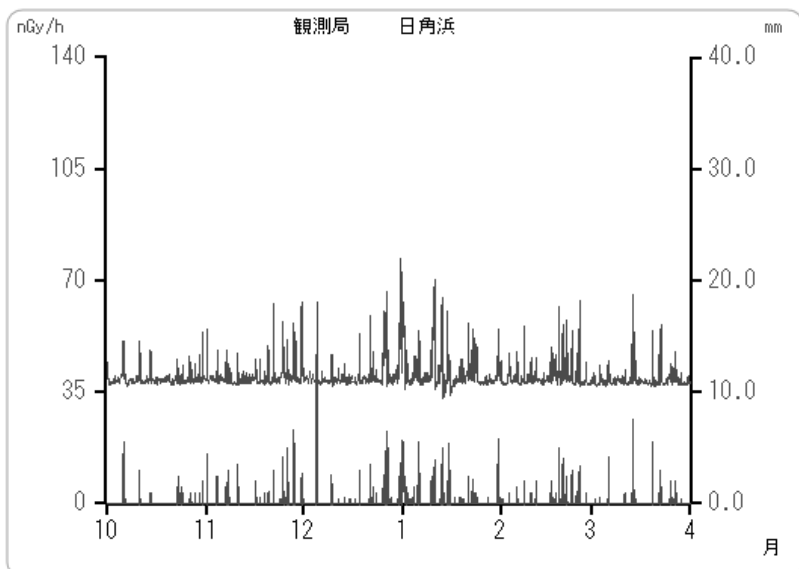
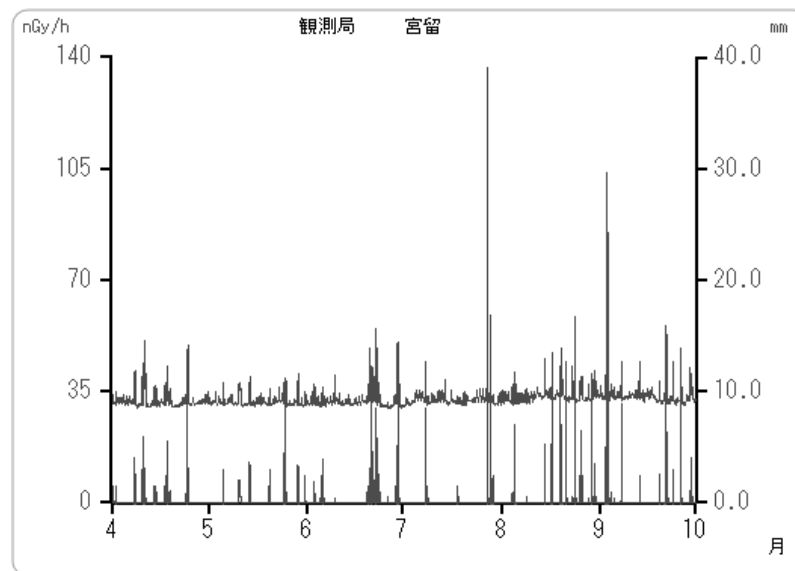
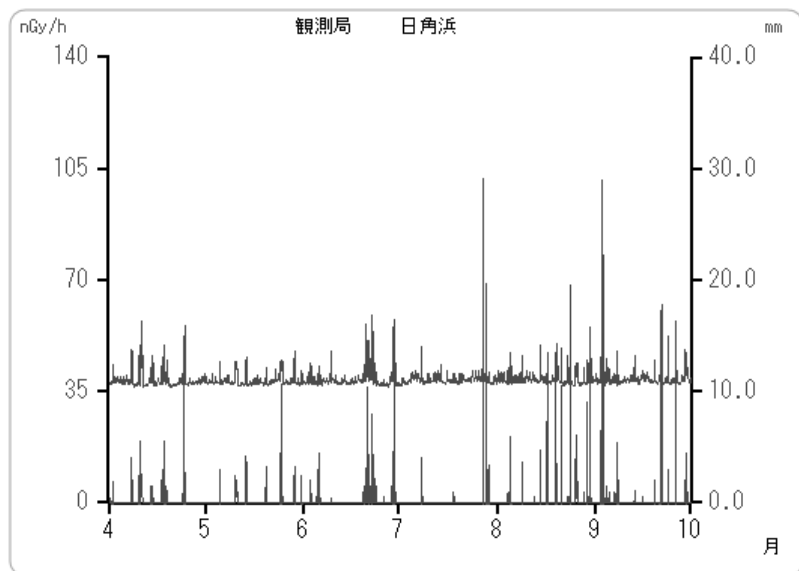


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008年4月~2009年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

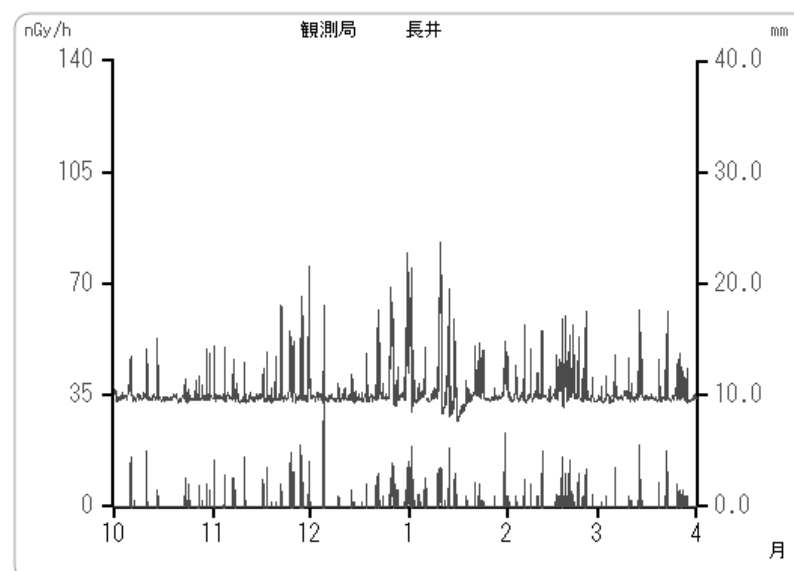
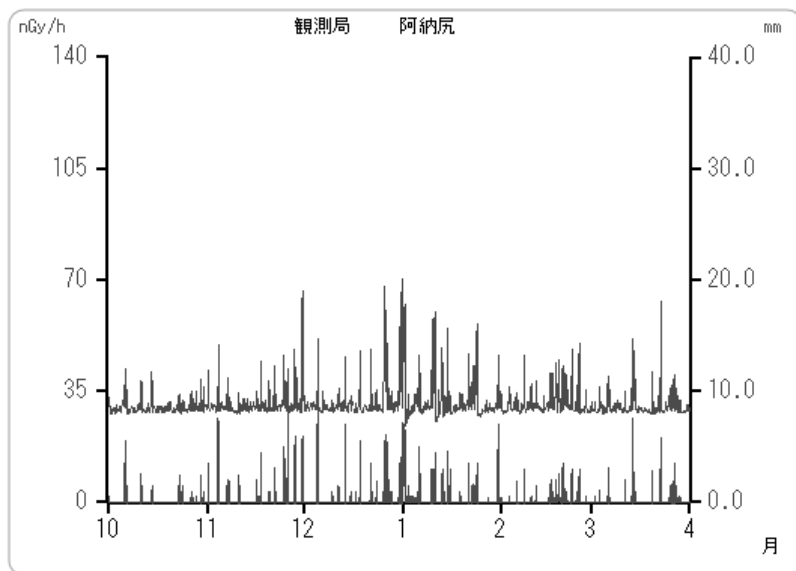
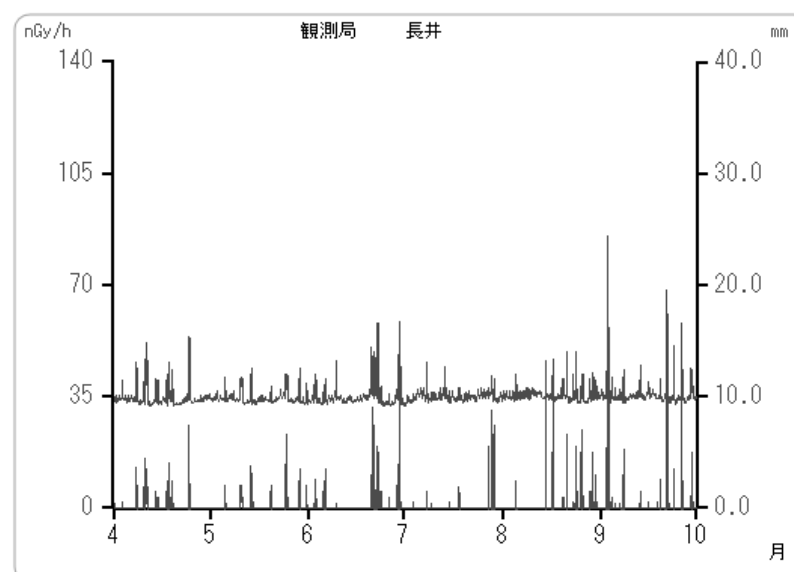
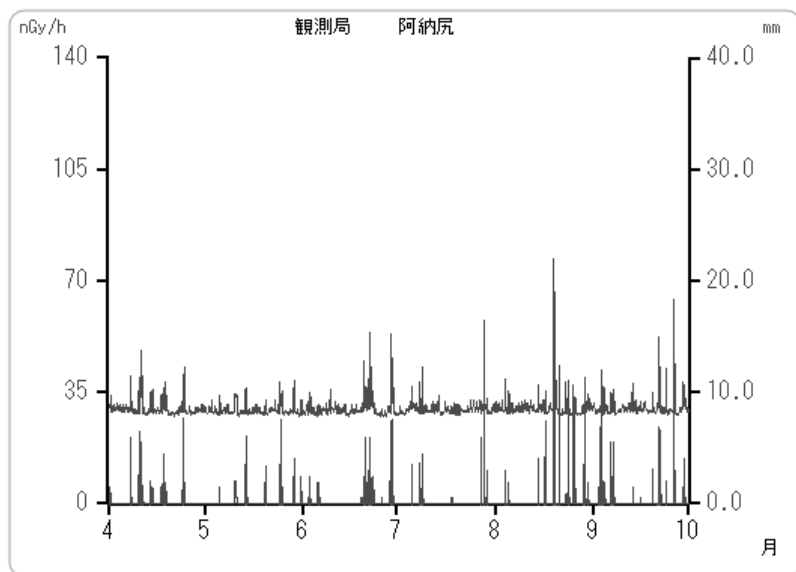


図 4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008 年 4 月～2009 年 3 月) 上段：線量率 下段：降雨量

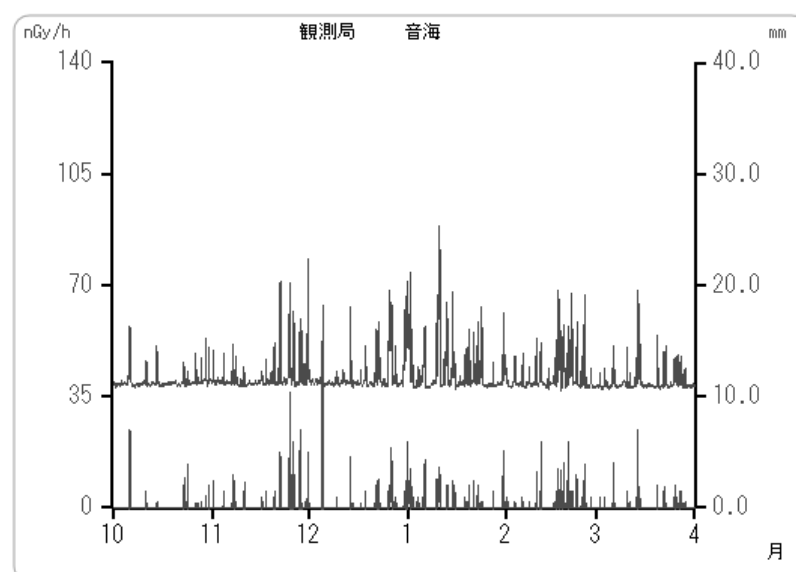
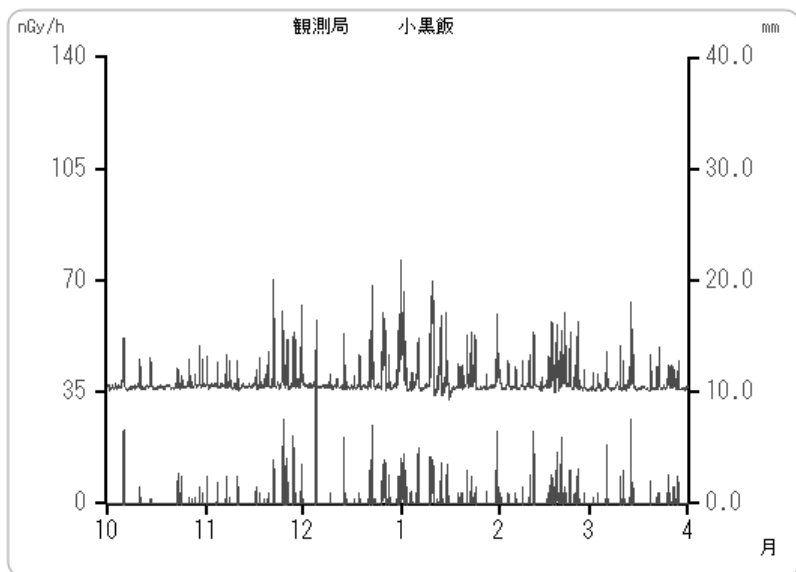
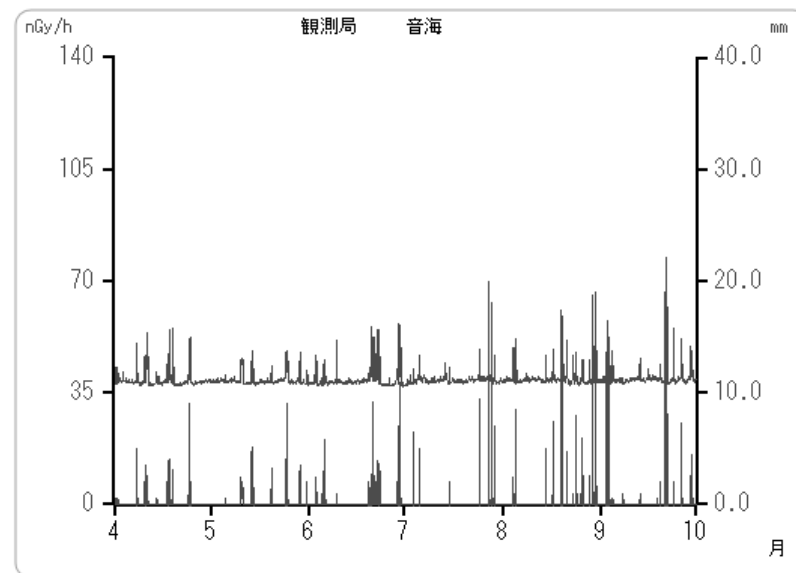
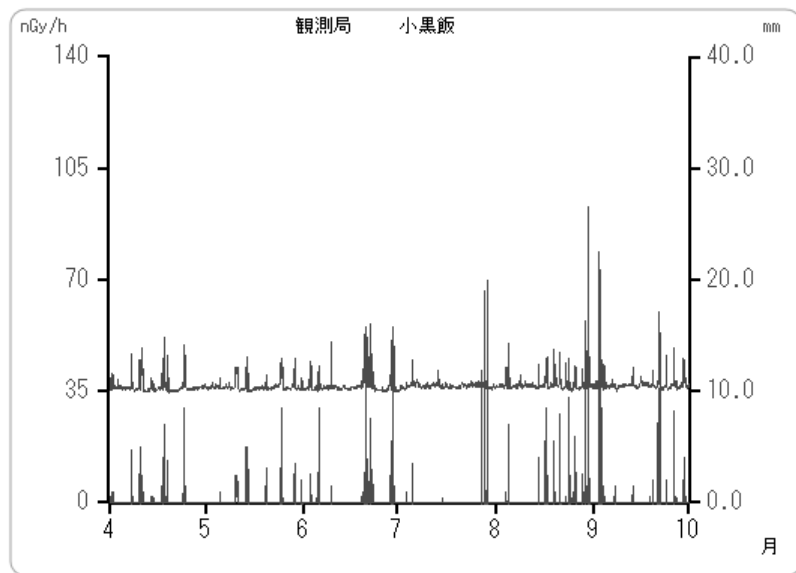


図4. 2. 1 空間線量率と降雨量の測定結果 (2008年4月~2009年3月) 上段: 線量率 下段: 降雨量

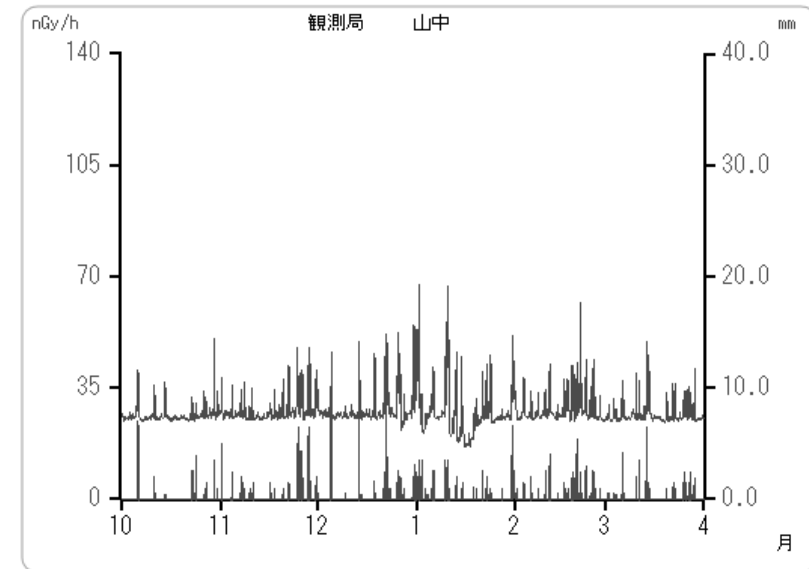
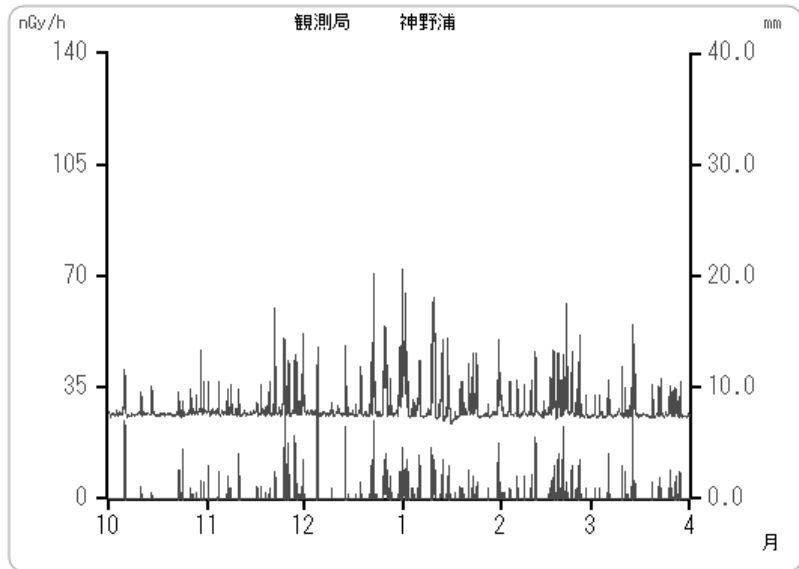
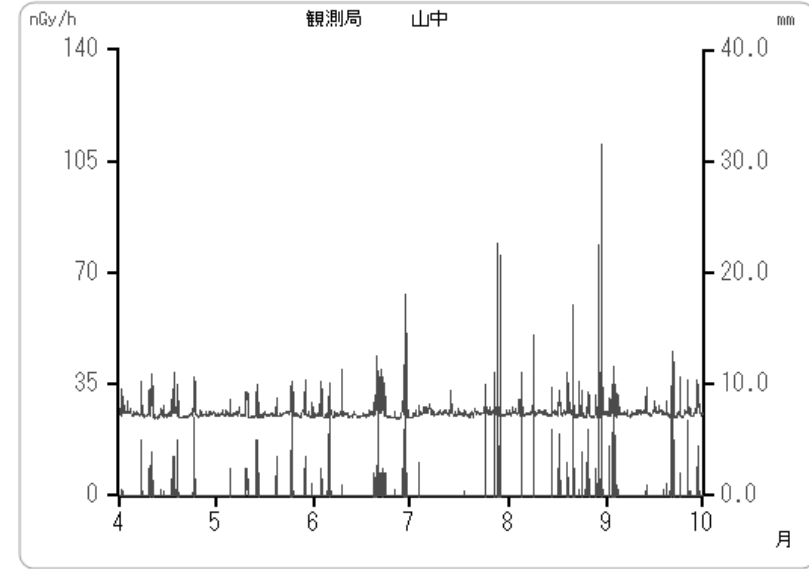
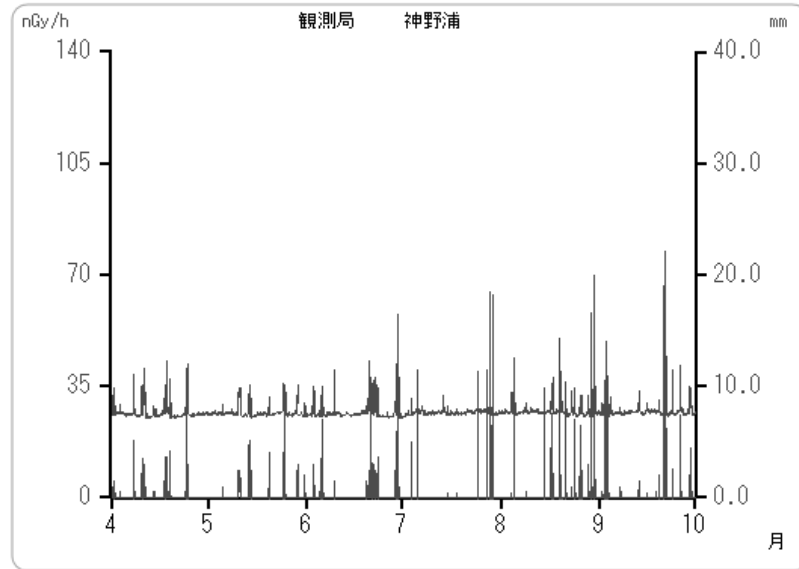


図4. 2. 2 各地の風配図 敦賀地区

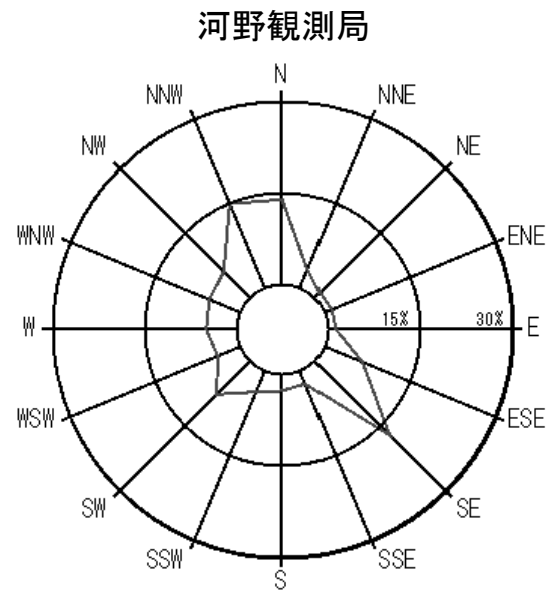
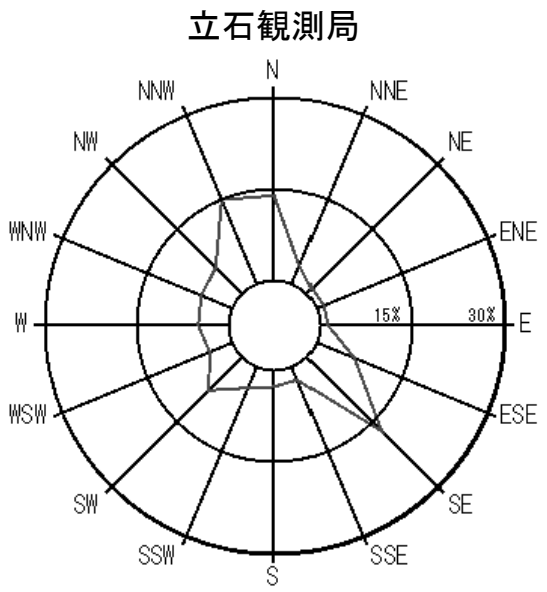
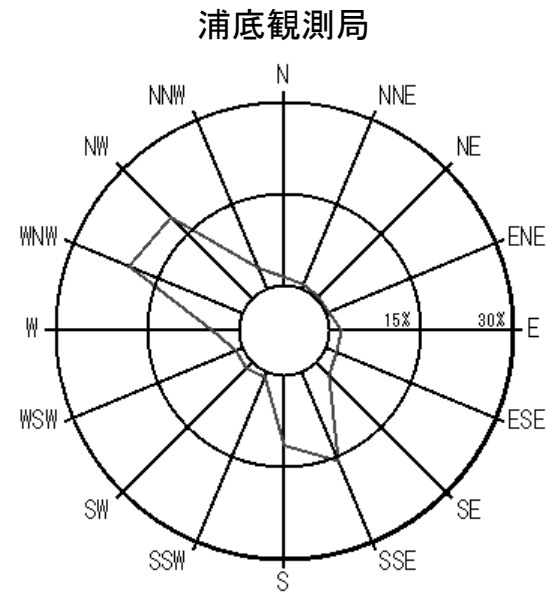
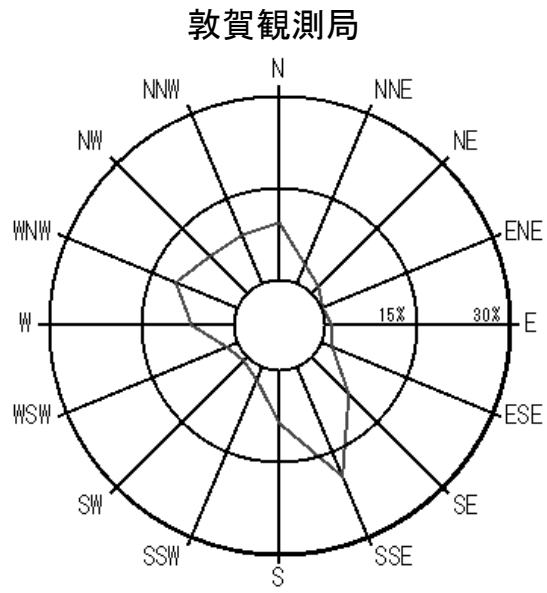


図4. 2. 2 各地の風配図 白木地区

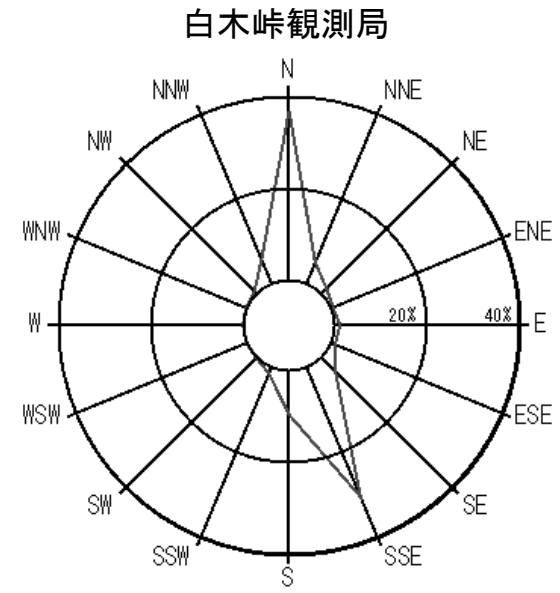
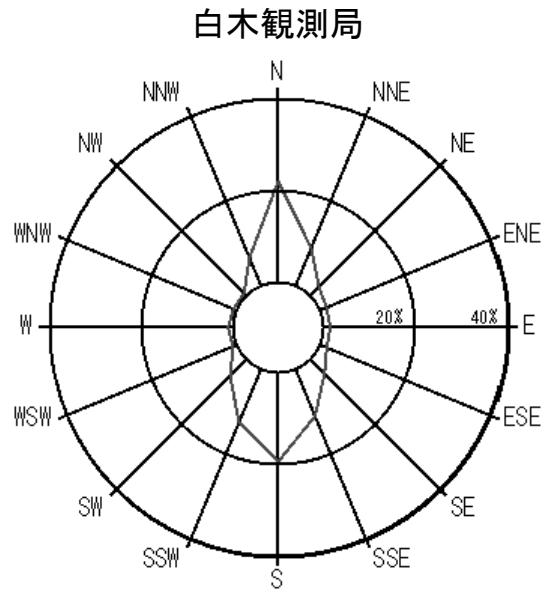


図4. 2. 2 各地の風配図 美浜地区

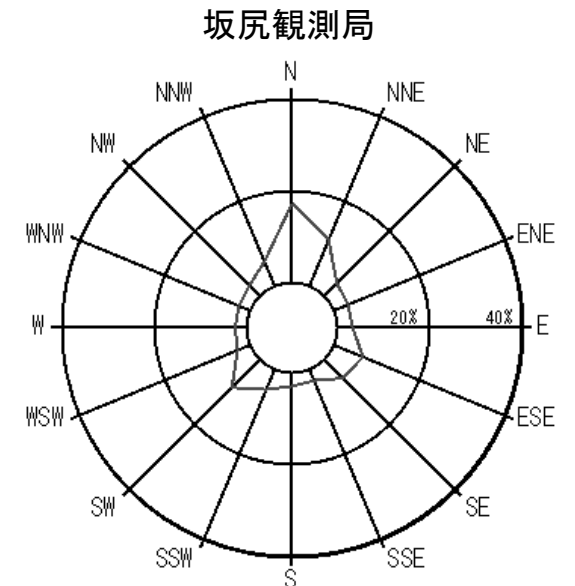
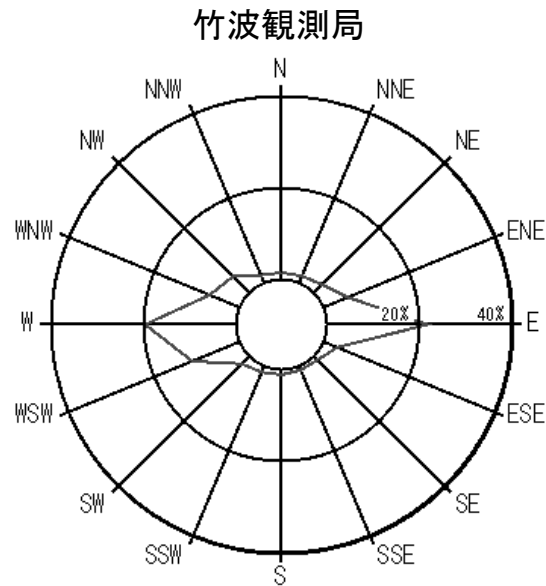
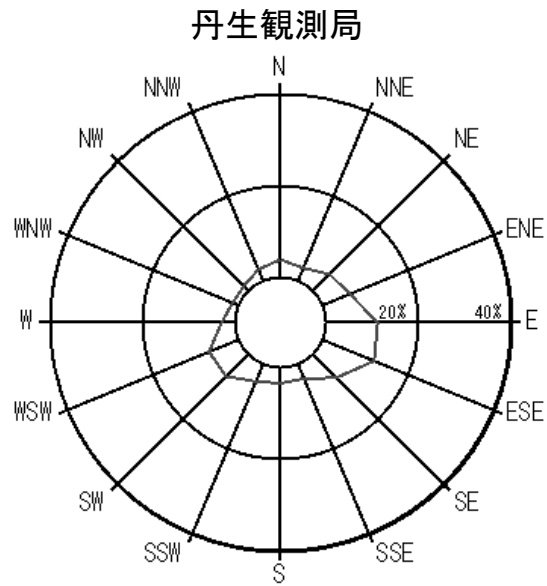


図4. 2. 2 各地の風配図 大飯地区

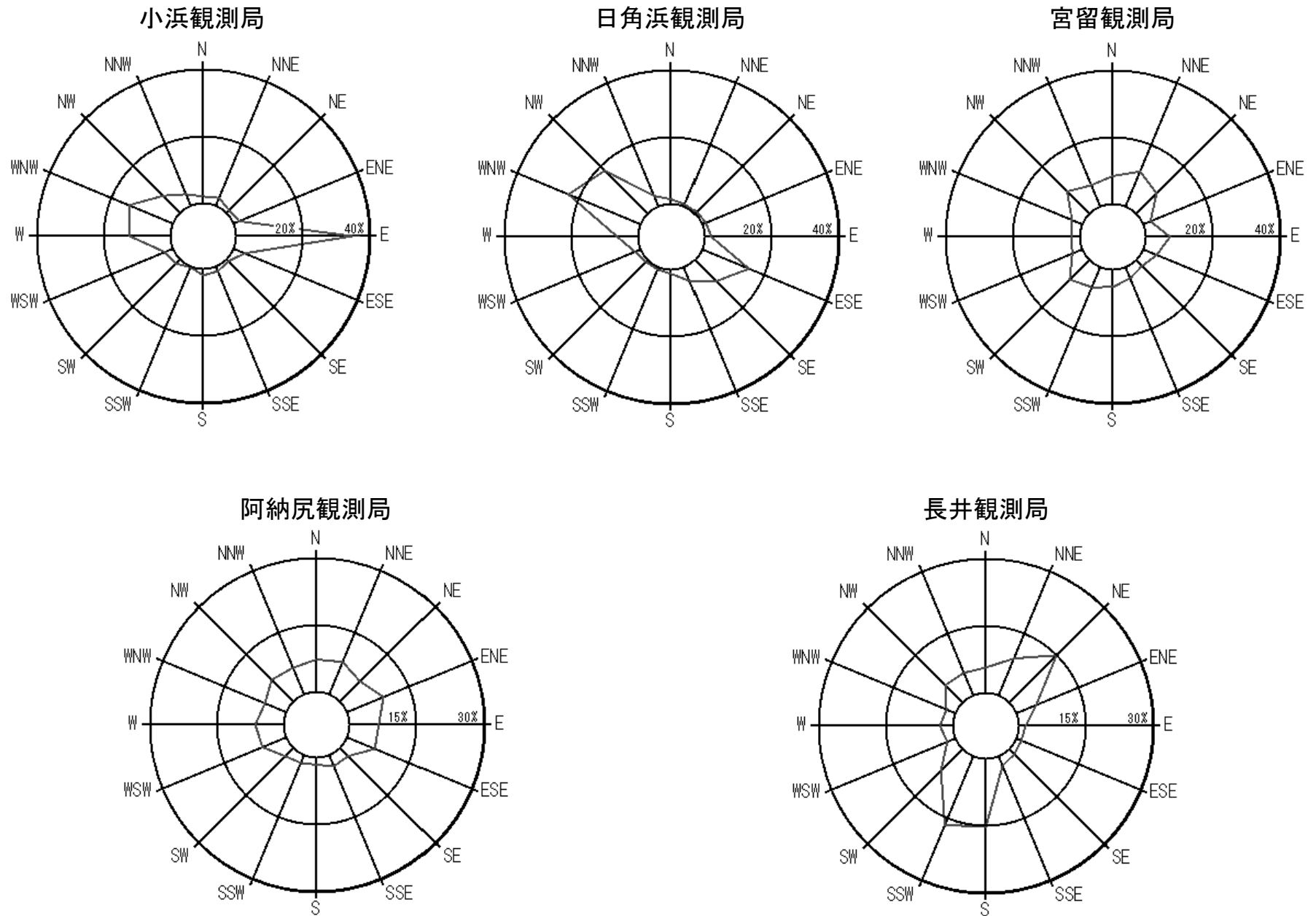
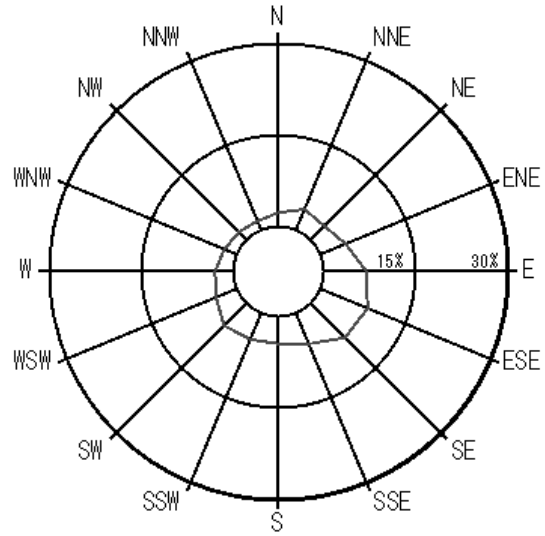
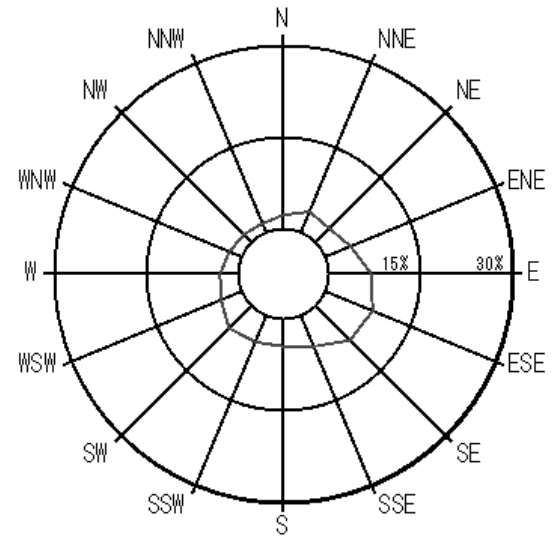


図4. 2. 2 各地の風配図 高浜地区

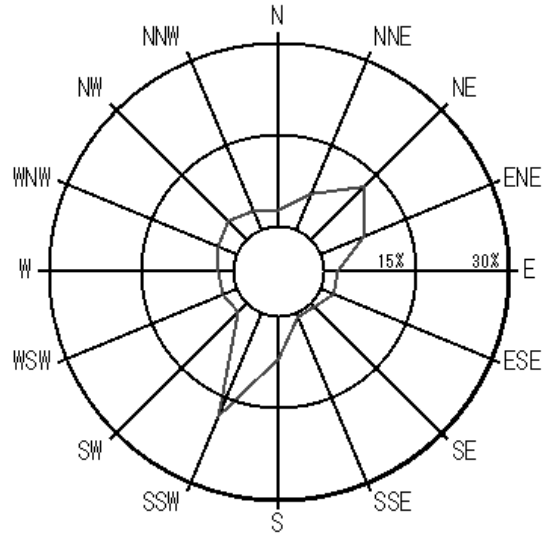
小黑飯観測局



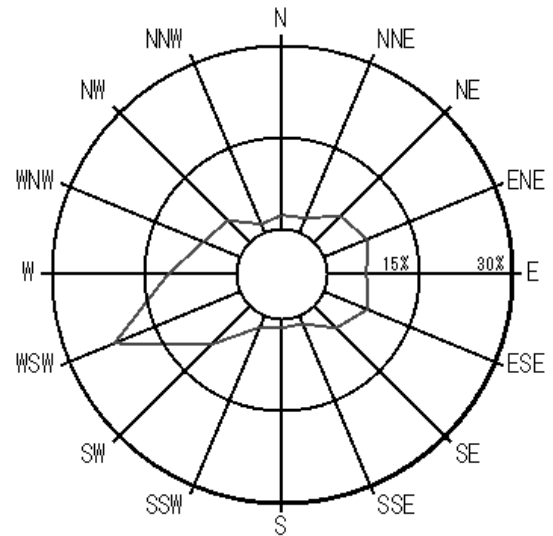
音海観測局



神野浦観測局



山中観測局



4. 3 大気中水分、雨水（降水）のトリチウム分析結果について

【測定目的・経緯】

大気中水分、雨水（降水）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは「表-1」に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素や⁶⁰Co等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールからの蒸発や定期検査時の原子炉キャビティからのパージがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降水）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTやT₂のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表-1 1 Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (mSv/Bq)

	経 口 摂 取	吸 入 摂 取
³ H	1.8 × 10 ⁻⁸	1.8 × 10 ⁻⁸
⁶⁰ Co	3.4 × 10 ⁻⁶ (³ Hに対する倍数 190)	3.1 × 10 ⁻⁵ (³ Hに対する倍数 1,700)
¹³¹ I	1.6 × 10 ⁻⁵ (// 890)	1.5 × 10 ⁻⁵ (// 830)
¹³⁷ Cs	1.3 × 10 ⁻⁵ (// 720)	3.9 × 10 ⁻⁵ (// 2200)

【試料の採取・測定法】

大気中水分は、線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取したものを測定試料としている。雨水は、降水物の核種分析用の水盤または別の水盤から月毎に分取し、それを3ヶ月分まとめたもの（集合試料）を測定試料としている。測定試料を蒸留後、40ml分取して60mlの乳化シンチレータと混合、静置し、低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により原則として計500分（50分×10回）測定している。検出限界値は測定条件によって多少違うが、およそ0.5～1Bq/lである。

【数値の取扱い・大気中濃度への換算方法】

分析結果はBq/l（水）で報告する。

測定値は、有効数字2桁または表示単位の小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。

トリチウム濃度をN、その誤差をΔNとした時に、N ≥ 3 ΔNの場合を検出されたものとする。

発電所影響の調査を行う検討基準として、海水の調査結果のうち、2.0Bq/l以上のデータを除いた過去3年間の調査結果（およそのバックグラウンドレベル）を基に平均値(M) + 3 × 標準偏差(σ)を算出し、(M + 3σ)が2.0Bq/l未満の時は、(M + 3σ)を、(M + 3σ)が2.0Bq/l以上の時は、2.0Bq/lを検討基準とする。（2008年度の検討基準は、2.0Bq/lである。p.29「測定値の取扱いについて」参照。）

なお、大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) は、空気中の水分量が気温、相対湿度によって変動するため季節によって3～4倍値が違い、空気中濃度が一定であっても冬季は大きな値となるので、測定結果を見る場合は注意を要する。

大気中水分のトリチウム (Bq/ℓ) を大気中濃度 (Bq/m³) に換算するには、当該期間の平均気温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (ℓ/m³) を乗じる。2008年度の月毎の平均的な空気中の水分量は「表-2」の通りである。過去に報告された大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) も、同様に当該期間中の空気中の水分量を用いて大気中濃度 (Bq/m³) に換算することができる。

表-2 月毎および年間の平均的な空気中の水分量 (単位: ml/m³) *

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月平均	7.6	10.1	14.6	15.1	19.4	17.3	11.4	7.5	5.6	4.8	4.1	5.3
年平均	10.2											

* : 敦賀特別地域気象観測所における2008年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した。

【線量評価】

大気中水分を吸入することによる預託実効線量は、仮に100 Bq/ℓのトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表-1の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$(100\text{Bq}/\ell \times 0.0102 \ell/\text{m}^3) \times 22.2\text{m}^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-8}\text{mSv/Bq} = 1.5 \times 10^{-4}\text{mSv}$
と計算される。これは、公衆の線量限度1 mSvあるいは1993年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量1.2mSv、ラドン等を除く国内の平均的な自然放射線による被ばく線量1.1mSv等と比べ、無視し得るくらいの極めて小さな値である。

【過去の実績およびバックグラウンドレベル】

「表-3」に過去の実績として1975～2007年度の間最高値を、また、参考として「表-4」に対照地点の調査結果を示す。

表-3 過去の実績 (1975～2007年度の最高値)

	地区	水中濃度	空気中濃度
大気中	高浜	52 Bq/ℓ	0.38 Bq/m ³
水分	07年11月小黒飯		
	対照	5.4Bq/ℓ	0.062 Bq/m ³
	81年4月福井		
雨水	大飯	24.1Bq/ℓ	
	99年3月宮留		
	対照	6.5Bq/ℓ	
	75年6月福井		

表-4 対照地点の測定結果 (2005～07年度)

	試料数	平均濃度±標準偏差
大気中水分	36	0.47±0.22Bq/ℓ
雨水	12	0.45±0.24Bq/ℓ

(検出限界値未満の場合を含む全試料の平均)

4. 4 環境モニタリング結果に基づく内部被ばく預託実効線量評価結果

1. はじめに

線量評価は、「環境放射線モニタリングに関する指針(平成20年3月、原子力安全委員会、以下、モニタリング指針)」に掲げられた環境放射線モニタリングの第1の目標であり、また最終的な帰結であって、次元(単位)の異なる空間放射線や環境試料の放射能のモニタリング結果を、人体への影響の程度(リスク)を表す「実効線量(Sv)」という共通の尺度で示すため実施される。この報告書では、既に本文で、「施設運転に起因する主要な放射性核種が検出されず、特に線量評価の必要はない」としながらも、検出された値に目安をつけるために評価を行い、0.001mSv(以下)までを報告し、安全を確認している。

ここでは、更に、核実験フォールアウトの実態や寄与の内訳までを読み取れるよう、内部被ばくに係るモニタリング結果をもとに0.001mSv以下までの算出された数値そのもので示す。

なお、ここでは省略したが、評価法の変遷の詳細や施設稼働開始時点まで遡る評価結果は、この形で最初に示した平成16年度年報(FERC第37巻5号)に示されている。

2. 内部被ばく預託実効線量の評価方法

内部被ばくは、預託実効線量(摂取後50年間にわたって個人が受ける積算の線量)で表される。預託実効線量は、基本的には、吸入または経口摂取された放射性核種について、各核種毎に、空気試料(大気中 ^{131}I ・大気浮遊じん並びに大気中水分)または飲食物区分毎に、

$$\boxed{\text{試料中核種濃度}(C) \times \text{呼吸量又は飲食物日摂取量}(V) \times \text{摂取期間}(t) \times \text{線量係数}(f) \times \text{各種補正係数}(k)} \cdots \text{式}(1)$$

の積を求め、それをすべて加算して得られる。

但し、「モニタリング指針」等に規定がなく、ところによっては線量計算に供する対象核種の(平均)濃度の求め方が異なる場合があることから、以下に、当技術会議が採用している内部被ばく線量評価の計算法・計算条件および留意点を再録する。

- ①実効線量係数(f)は、指針が示した吸入/経口摂取別に核種毎の値を用いる。指針では異なる存在形態がある場合は、最大の値を示すものが引用されており、いわば安全側(上限)の係数である。
- ②大気中トリチウムの測定については、かつて除湿機による捕集法等に懸念が示されたこともあったが、「HTOと自然水(水蒸気)は同じ挙動をするとみなすことができ、測定結果も水そのもののBq/L_水であること(即ち、比放射能法そのものであること)」や、「Bq/L_水の測定結果から気温・相対湿度を用いて空气中濃度を求める(その際必ずしも吸引量や全量捕集を必要としない)とするモニタリング手法」の妥当性に、各種学会等で専門家の理解が得られている。
- ③評価の対象としたのは、本文の評価同様、指針にも示された代表的年齢群の「成人」であり、摂取経路もモニタリング指針及び「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針(評価指針)」に示された「呼吸、飲料水、葉菜、魚類、貝類、藻類」とした。それぞれの摂取量は「モニタリング指針」の値を用いた(後出)。
- ④評価に供した濃度は、本文の評価同様、検出されたもの(即ち、検出限界値以上)だけの年間単純平均であり、農産物、海産物にはそれぞれ形状や性状がよく似ていて過去に食品と同等の検出実績があり補完試料としても用いている指標生物(ヨモギ、ホンダワラ等)の結果を加えている。
- ⑤従って、平均濃度自体が高め・安全側であり、先の指針の「異なる存在形態がある場合最大の値を示すもの」という線量係数採択の条件と合わせ、潜在的上限を示すものと言うことができる。
- ⑥但し、ここでの目的は核実験寄与とその内訳等を示すことにもあり、貝類・藻類の ^{137}Cs につ

いては、通常測定では検出限界以下となることが多く、結果が低い側に片寄り過ぎるので、アンチコインシデンスの測定結果がある場合はその平均値を用いた。

- ⑦これらの方法は、程度の差はあれど試料にも含まれる ^{137}Cs 等の核実験フォールアウト核種、あるいは施設起因核種であっても初期の数年間のようにほぼ年間連続で検出され続けた場合には比較の実態とよく合う方法であるが、検出が散発的となった場合は過大な結果となる。
- ⑧摂取期間は、殆どのは1年としたが、葉菜のみは栽培期間と同じ0.5年とした。但し、半減期の短い ^{131}I や一過性とみなせる大気浮遊じんでは検出されたものだけの平均濃度では過大となりすぎるので、 ^{131}I は個々の検出濃度の無限期間積分(=1/λ(^{131}I の壊変定数):実質11.6日の台形モデルと等価)とし、浮遊じんは検出期間(=試料採取期間)に限定することとしているが、両者とも今年度は全く検出されていない。
- ⑨式(1)では補正係数(k)として市場希釈補正や調理(洗浄)に伴う補正が加味されるが、前者については実態を捉えられないので1とし、後者では葉菜について実際に観測例があり一般的にも用いられている0.5を用いた。

3. モニタリング結果とそれに基づく線量評価結果

天然・自然放射能を別にして、モニタリング結果を大別すれば、便宜的に(1)トリチウム(^3H)を除く一般的な施設起因核種、(2)チェルノブイル事故影響を含む核実験フォールアウト核種、(3)トリチウム、に区分される。トリチウムでは核実験寄与と施設寄与が競合・混在する。表(1)～表(3)に2003年度以降の過去5ヵ年と今年度のこれらの区分毎の線量評価に供した年間平均濃度と、現在の評価法による内部被ばく預託実効線量評価結果を示す。(1)では1994年度以降、評価対象となる生物試料等には施設起因核種は全く検出されていない。(2)では ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu の3核種について集計した。(2)、(3)は各地区毎に示すのでは多すぎるので、県内平均等ある程度集約した結果で示した。いずれもモニタリング結果があるものだけについてであり、一部調査結果がない、またはここでの対象としていないものは含まれていない。従って、魚貝類の ^{90}Sr は含まれていないが、濃度が葉菜の約1/100、藻類の約1/2という過去の結果から類推して、線量評価結果を大きく左右する因子とはならないものと考えられる。

4. まとめ

今年度の内部被ばくの線量評価結果の概況をまとめれば、「トリチウムを除く施設起因核種は評価対象の大気・各種飲食物並びに生物試料からは、1994年以降全く検出されておらず、またトリチウムの内部被ばくに対する寄与は、呼吸・飲用合わせて $2.6 \times 10^{-5} \text{mSv}$ であり、変化は認められない。水道水のトリチウムでは明白な施設寄与は観測されず、バックグラウンドレベルとみなせるが、大気中水分の吸入では施設寄与が認められる。核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu では、それぞれ $0.8 \sim 1.5 \times 10^{-4} \text{mSv}$ 、3核種合わせ $3.6 \times 10^{-4} \text{mSv}$ の寄与がある」と集約される。

以上の評価結果を、県内原子力発電所稼動開始時点までに遡った結果と併せ図-1に示す。図-1では、(1)のトリチウムを除く施設起因核種は地区毎に、(2)の核実験フォールアウトの ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 Pu や(3)のトリチウムは県内全平均で示した。チェルノブイル事故影響の飛来時は ^{137}Cs 以上に ^{131}I 、 ^{103}Ru 、 ^{106}Ru 、 ^{134}Cs の寄与が大きく、それらによる預託実効線量を書き加えている。また、参考のために、次元は異なるが大地からの自然放射線寄与の県内平均とその地域差も示した。

表(1) ³Hを除く施設起因核種の年間平均濃度の推移と線量評価結果

平均濃度単位:Bq/kg生等

年度	地区	空気試料/水道水/葉菜/海産魚・貝・藻類 中間年平均濃度					預託実効線量 (mSv)
		⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	
2003	敦賀・白木・美浜・大飯・高浜	左記の年度の、 いずれの地区の、いずれの試料からも 上記核種は検出されず					—
2004	〃						—
2005	〃						—
2006	〃						—
2007	〃						—
2008	〃	〃					—

(注) 平均濃度単位: 空気試料—mBq/m³、水道水—mBq/l、その他—Bq/kg生。 —は検出例が1例もないもの。
葉菜には指標植物(ヨモギ)を、海産物にはホンダワラ・ムササカイ等の指標海産生物を含む。

表(2) 福井県内の¹³⁷Cs, ⁹⁰Sr, Pu平均濃度と線量評価結果

平均濃度単位: (mBq/Kg生, 海水mBq/l)

年度	Cs-137 平均濃度				Sr-90 平均濃度				Pu 平均濃度				預託実効線量 (単位:mSv)				海水中 Cs-137 濃度
	葉菜	魚類	貝類	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	葉菜	魚類	貝類	藻類	Cs-137	Sr-90	Pu	合計	
2003	129	113	38	56	508	73	0.92	—	39	7.9	—	—	1.4 E-4	1.6 E-4	1.0 E-4	4.0 E-4	2.2
2004	233	121	30	47	302	52	—	—	38	8.5	—	—	1.5 E-4	9.8 E-5	1.0 E-4	3.5 E-4	2.0
2005	159	89	27	44	442	45	0.39	4.2	33	7.4	—	—	1.1 E-4	1.3 E-4	1.7 E-4	4.1 E-4	1.9
2006	159	106	28	41	360	40	—	—	45	2.9	—	—	1.3 E-4	1.1 E-4	9.3 E-5	3.3 E-4	1.8
2007	143	104	26	42	480	46	0.39	—	40	13.0	—	—	1.3 E-4	1.4 E-4	1.2 E-4	3.9 E-4	1.8
2008	164	100	21	53	515	38	0.34	—	30	7.8	—	—	1.3 E-4	1.5 E-4	8.4 E-5	3.6 E-4	1.6

(注) 各年度の濃度は指標生物を含む検出値があるものだけの単純平均。PuはPu-239+240。 —: 検出例が1例もないもの。
貝類、藻類のCs-137はアンチコインシデンス測定によるものも含む。海水のCs-137は濃縮を通じたより一般化した評価をするための参考値。
その際使用する濃縮係数(cf)は、評価指針によれば、Cs-137では、魚類30、貝類20、藻類20である。

表(3) 大気中水分・水道水のトリチウム濃度とその吸入・飲用による預託実効線量

預託実効線量単位: 10⁻⁶mSv

年度	大気中水分のトリチウム平均濃度 (Bq/l)							水道水トリチウム平均濃度 (Bq/l)							(参考) 海水平均	県内平均線量(×10 ⁻⁶ mSv)			吸入最高 地区線量
	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均	敦賀	白木	美浜	大飯	高浜	対照	平均		吸入	飲用	合計	
2003	3.9	1.9	2.4	5.1	9.6	0.8	4.0	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0	0.5	1.0	1.0	5.8	17.4	23	14
2004	3.7	2.3	3.8	7.2	12.4	0.9	5.1	1.0	0.9	1.1	0.8	1.0	—	1.0	1.1	7.4	16.7	24	18
2005	3.4	2.4	3.6	5.6	10.7	0.63	4.4	1.0	1.1	1.1	0.8	0.9	0.6	0.91	1.7	6.6	15.8	22	16
2006	3.7	2.1	2.7	5.9	12.7	0.63	4.6	0.9	0.9	1.1	0.8	0.8	—	0.90	1.3	7.0	15.7	23	19
2007	5.3	2.4	2.8	4.6	15.0	0.80	5.6	1.1	0.9	0.9	0.7	0.9	—	0.91	1.2	8.3	15.8	24	22
2008	3.4	2.1	3.4	5.2	13.9	0.87	4.9	1.0	1.0	1.4	1.0	1.1	0.7	1.10	1.8	7.2	19.2	26	39

(注) トリチウムの大気中水分濃度から大気中濃度への換算には、平均的には年間の大気中水分絶対量10ml/m³を用いることができる。 —は検出例がないもの。
海水中濃度から海産物経由のトリチウム(濃縮係数1)による内部被ばくを計算することができる。魚貝藻類の総摂取量は0.26kgである。

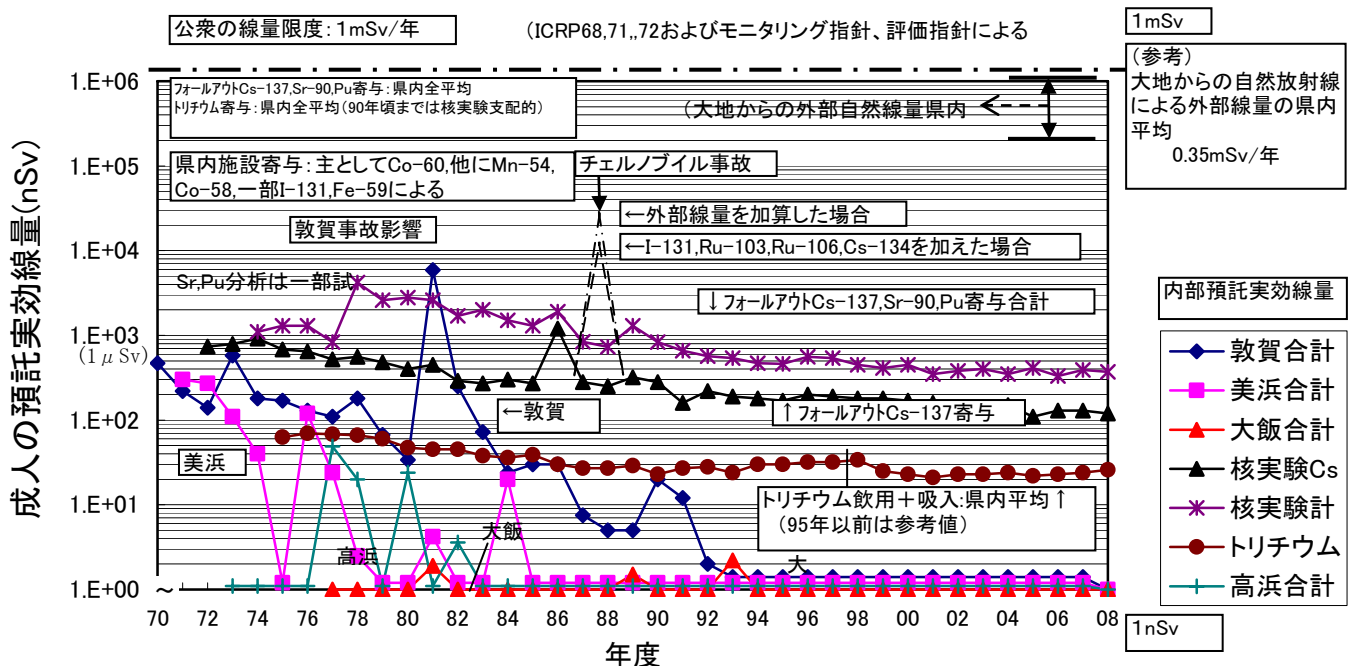


図-1 各種試料中核種濃度から計算した内部被ばく預託実効線量(nSv)

なお、以上の評価に用いた「モニタリング指針」が示す摂取量モデル及び線量係数を付記する。

「環境放射線モニタリングに関する指針」による摂取モデル(成人1人1日当たりの摂取量)

	呼 吸	葉 菜	牛 乳	魚 類	無脊椎類	海藻類	飲料水
成 人	22.2 m ³	100 g	200 ml	200 g	20 g	40 g	2,650 ml

注) 穀類、肉・卵・その他の摂取量は記述なし。成人以外の乳児(3ヶ月児)・幼児(5才児)の年齢群の評価を行う場合は、「評価指針」の摂取量による。但し、線量係数も年齢群別のものを用いる必要があり、放射性ヨウ素はモニタリング指針の値を用いる。なお、乳幼児の飲料水摂取量は平成10年11月までの旧「防災指針」に1%と既述されていたが、現在は記述はない。

線量評価の対象とした核種の現行の「モニタリング指針」が示す実効線量係数
(mSv/Bq)

核種	吸入摂取	経口摂取
³ H	2.6 × 10 ⁻⁷ (エアロゾル)	4.2 × 10 ⁻⁸ (有機物)
	1.8 × 10 ⁻⁸ (水)	1.8 × 10 ⁻⁸ (水)
⁵⁴ Mn	1.5 × 10 ⁻⁶	7.1 × 10 ⁻⁷
⁵⁹ Fe	4.0 × 10 ⁻⁶	1.8 × 10 ⁻⁶
⁵⁸ Co	2.1 × 10 ⁻⁶	7.4 × 10 ⁻⁷
⁶⁰ Co	3.1 × 10 ⁻⁵	3.4 × 10 ⁻⁶
⁹⁰ Sr	1.6 × 10 ⁻⁴	2.8 × 10 ⁻⁵
¹³¹ I	1.5 × 10 ⁻⁵ * 1	1.6 × 10 ⁻⁵ * 1
¹³⁷ Cs	3.9 × 10 ⁻⁵	1.3 × 10 ⁻⁵
²³⁹ Pu	1.2 × 10 ⁻¹	2.5 × 10 ⁻⁴

* 1 ヨウ素が体液から甲状腺へ達する割合を0.2として計算した値である。

4.5 新・旧リーダー間の測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の検定について

1. 概要

福井県では、2006年度第1期から積算線量測定に従来の手動読み取り方式のTLDリーダー（旧リーダー）に替えて自動読み取り方式のTLDリーダー（新リーダー）を採用している。

2004年度～2007年度の期間中に標準照射（200 μ Gy）を行った校正用素子（同一の40素子）について、新・旧リーダー間の測定値の相対標準偏差を比較したところ、旧リーダーの測定値の相対標準偏差（3.2%～4.9%；2004～2005年度）に比べて、新リーダーの測定値の相対標準偏差（5.9%～8.3%；2006～2007年度）が大きくなることが分かった。

このことから、環境に配布したTLD素子の測定結果についても新・旧リーダー間で測定値に差があることが考えられるため、県の全ての積算線量設置地点（51地点）について、新・旧リーダー間（2002年度第1期～2005年度第4期と2006年度第1期～2008年度第4期）の測定値の「平均値の差」および「ばらつきの差」の有意差検定を行った。

2. 結果

- ①「平均値の差」の検定では、立石A5、杉津A4、白木A4、白木トンネル北口A2、宮留A6、西勢A2、小浜市大原A3、神野A4、山中A3、六路谷A3、金津A2、福井市原目町A2、殿下A3、勝山A2および美山A4の計15地点で有意差があった。
- ②「ばらつきの差」の検定では、色ヶ浜A3、白城神社A2、白木トンネル北口A2、丹生A4、鯉川A2、神野小学校A、下A2、金津A2および殿下A3の計9地点で有意差があった。
- ③全体では51地点のうち21地点で、「平均値の差」および「ばらつきの差」のいずれかに統計的に有意差があった。（次ページ表参照）

平均値の差の t 検定およびばらつきの差のF検定結果

(両側検定;危険率5%)

地区名	地点名	2002～2005年度			2006～2008年度			平均値の差のt検定			ばらつきの差のF検定		
		平均値	標準偏差	相対標準偏差	平均値	標準偏差	相対標準偏差	t	t ₀	有意差	F	F ₀	有意差
敦賀	立石A5	0.2628	0.0096	3.65	0.2393	0.0116	4.83	5.865	2.056	有り	1.49	3.01	無し
	浦底A5	0.2467	0.0086	3.49	0.2445	0.0092	3.76	0.650	2.056	無し	1.16	3.01	無し
	色ヶ浜A3	0.2634	0.0078	2.95	0.2659	0.0158	5.95	0.552	2.056	無し	4.24	3.01	有り
	手ノ浦A3	0.2184	0.0074	3.39	0.2208	0.0127	5.74	0.629	2.056	無し	3.00	3.01	無し
	常宮A3	0.2252	0.0091	4.05	0.2267	0.0140	6.16	0.344	2.056	無し	2.40	3.01	無し
	赤崎A3	0.1803	0.0055	3.07	0.1838	0.0089	4.86	1.284	2.056	無し	2.66	3.01	無し
	阿曾A2	0.1857	0.0067	3.60	0.1885	0.0093	4.91	0.928	2.056	無し	1.96	3.01	無し
	杉津A4	0.1680	0.0045	2.70	0.1729	0.0067	3.85	2.317	2.056	有り	2.20	3.01	無し
	元比田A5	0.1630	0.0057	3.49	0.1681	0.0079	4.68	1.988	2.056	無し	1.95	3.01	無し
	大谷A3	0.1741	0.0051	2.92	0.1742	0.0067	3.85	0.045	2.056	無し	1.78	3.01	無し
吉河A2	0.1714	0.0066	3.87	0.1746	0.0080	4.61	1.160	2.056	無し	1.50	3.01	無し	
白木	白木A4	0.2205	0.0075	3.38	0.2338	0.0106	4.53	3.894	2.056	有り	2.06	3.01	無し
	白城神社A2	0.2328	0.0077	3.31	0.2324	0.0133	5.73	0.100	2.056	無し	3.04	3.01	有り
	白木トンネル北口A2	0.2648	0.0053	2.00	0.2552	0.0126	4.95	2.753	2.056	有り	5.82	3.01	有り
	白木トンネル南口A2	0.2279	0.0069	3.01	0.2297	0.0091	3.96	0.596	2.056	無し	1.79	3.01	無し
美浜	丹生A4	0.1898	0.0066	3.48	0.1923	0.0138	7.15	0.637	2.056	無し	4.43	3.01	有り
	丹生小中学校A	0.2050	0.0074	3.59	0.2088	0.0113	5.41	0.835	2.101	無し	2.25	4.72	無し
	竹波A4	0.2123	0.0071	3.35	0.2180	0.0106	4.87	1.705	2.056	無し	2.29	3.01	無し
	菅浜A3	0.2044	0.0063	3.07	0.2025	0.0131	6.49	0.509	2.056	無し	4.50	3.01	無し
	佐田A2	0.1786	0.0063	3.54	0.1754	0.0058	3.32	1.253	2.069	無し	1.12	4.1	無し
	和田A	0.1784	0.0064	3.58	0.1832	0.0088	4.80	1.322	2.101	無し	1.81	4.72	無し
大飯	宮留奥A	0.1163	0.0050	4.32	0.1200	0.0078	6.46	1.184	2.101	無し	2.28	4.72	無し
	宮留A6	0.1234	0.0048	3.91	0.1278	0.0065	5.07	2.064	2.056	有り	1.85	3.01	無し
	西村A2	0.1228	0.0045	3.68	0.1248	0.0057	4.55	1.039	2.056	無し	1.61	3.01	無し
	本郷A4	0.1402	0.0054	3.84	0.1359	0.0081	5.94	1.686	2.056	無し	2.31	3.01	無し
	鯉川A2	0.1391	0.0044	3.15	0.1379	0.0082	5.98	0.499	2.056	無し	3.61	3.01	有り
	加斗A4	0.1394	0.0046	3.32	0.1411	0.0076	5.37	0.735	2.056	無し	2.74	3.01	無し
	西勢A2	0.1292	0.0047	3.65	0.1336	0.0055	4.10	2.280	2.056	有り	1.38	3.01	無し
	小浜市大原A3	0.1784	0.0145	8.11	0.1902	0.0090	4.74	2.477	2.056	有り	2.52	3.01	無し
	若狭健康福祉センターA2	0.1694	0.0052	3.05	0.1679	0.0086	5.15	0.574	2.056	無し	2.87	3.01	無し
	西津A2	0.1381	0.0058	4.18	0.1391	0.0090	6.49	0.350	2.060	無し	2.49	3.01	無し
	堅海A2	0.1468	0.0051	3.49	0.1472	0.0074	5.04	0.170	2.056	無し	2.14	3.01	無し
	音海A3	0.1238	0.0055	4.47	0.1280	0.0068	5.34	1.808	2.056	無し	1.56	3.01	無し
高浜	小黒飯A3	0.1407	0.0058	4.13	0.1358	0.0068	5.04	1.804	2.056	無し	1.42	3.01	無し
	神野小学校A	0.1361	0.0028	2.02	0.1402	0.0066	4.69	1.649	2.101	無し	5.46	4.72	有り
	神野A4	0.1100	0.0043	3.89	0.1159	0.0060	5.22	3.036	2.056	有り	2.04	3.01	無し
	山中A3	0.1306	0.0043	3.32	0.1381	0.0067	4.87	3.606	2.056	有り	2.46	3.01	無し
	下A2	0.1092	0.0036	3.28	0.1084	0.0064	5.86	0.421	2.056	無し	3.22	3.01	有り
	上瀬A2	0.0945	0.0038	4.07	0.0940	0.0060	6.39	0.270	2.056	無し	2.49	3.01	無し
	六路谷A3	0.1056	0.0042	3.99	0.1110	0.0057	5.18	2.891	2.056	有り	1.91	3.01	無し
	東三松A4	0.1485	0.0051	3.41	0.1477	0.0055	3.74	0.397	2.056	無し	1.21	3.01	無し
	高浜町役場A3	0.1086	0.0048	4.40	0.1071	0.0071	6.66	0.668	2.056	無し	2.27	3.01	無し
	対照	金津A2	0.1443	0.0043	3.01	0.1502	0.0075	4.99	2.632	2.056	有り	3.04	3.01
川西A3		0.1268	0.0035	2.74	0.1293	0.0058	4.46	1.418	2.056	無し	2.81	3.01	無し
福井市原目町A2		0.1430	0.0042	2.95	0.1492	0.0065	4.37	3.065	2.056	有り	2.45	3.01	無し
殿下A3		0.1626	0.0044	2.72	0.1700	0.0086	5.05	2.974	2.056	有り	3.86	3.01	有り
勝山A2		0.1535	0.0090	5.84	0.1631	0.0081	4.98	2.913	2.056	有り	1.19	3.01	無し
美山A4		0.1378	0.0064	4.67	0.1473	0.0082	5.57	3.447	2.056	有り	1.67	3.01	無し
宮崎A3		0.1422	0.0064	4.51	0.1467	0.0072	4.92	1.746	2.056	無し	1.29	3.01	無し
武生A2		0.1562	0.0054	3.45	0.1602	0.0071	4.46	1.700	2.056	無し	1.79	3.01	無し
越前市妙法寺町A		—	—	—	0.2196	0.0090	4.08	—	—	—	—	—	—
池田A2		0.1454	0.0099	6.84	0.1493	0.0070	4.69	1.162	2.056	無し	1.97	3.33	無し

5 参考資料

5. 1 平成20年度福井県環境放射能測定技術会議議事経過
5. 2 (1)各発電所の設備の概要、建設経過
(2)主要設備の改造および新設工事
5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止措置作業状況
(2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況
5. 4 各発電所の運転実績
5. 5 各発電所の発電停止状況
5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）
5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）
5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比
5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量
5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

5. 1 福井県環境放射能測定技術会議議事経過

I. 定例会議

第198回 平成20年8月31日

場所：アトムプラザ

- 議題 (1) 平成20年度第1四半期の定期調査結果について
- ①第1期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②美浜地区モニタポスト周辺の環境変化について（関電）
 - ③TLD素子における棄却検定の定数変更について（監視センター）
 - ④今期の核種分析においてCs-137が過去3ケ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
 - ⑤高浜発電所周辺における海水中トリチウムの調査結果について（監視センター）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3) 平成20年度第1四半期報告書の検討
- (4) その他
- ①高浜発電所1号機 燃料リークに伴う放射性廃棄物の放出実績について（関電）
 - ②平成19年度「放射能分析確認」調査結果について（監視センター）
 - ③平成20年度積算線量クロスチェック結果（平成20年度第1四半期）（監視センター）

第199回 平成20年11月28日

場所：敦賀観光ホテル

- 議題 (1) 平成20年度第2四半期の定期調査結果
- ①第2期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②空間線量率連続測定における降雨時以外の「M+3 σ 」超過について（監視センター）
 - ③空間線量率連続測定における降雨時以外の「M+3 σ 」超過について（原電）
 - ④空間線量率連続測定における降雨時以外の「M+3 σ 」超過について（関電）
 - ⑤敦賀半島周辺の空間線量率連続測定における「M+3 σ 」超過について（監視センター、原電、関電）
 - ⑥美浜地区ー「丹生寮C」周辺環境変化状況（前期からの継続）（関電）
 - ⑦美浜地区佐田Aのあおなみ保育所建替工事について（監視センター）
 - ⑧美浜地区一菅浜C2周辺における環境変化状況報告（関電）
 - ⑨浦底湾海底土詳細調査結果について（監視センター、原電）
 - ⑩今期の核種分析結果においてCs-137が過去3ケ年の実績を超えて検出された事例について（監視センター）
- (2) 各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
- (3) 平成20年度第2四半期報告書の検討
- (4) その他
- ①平成20年度積算線量クロスチェック結果（第2四半期）（監視センター）

第200回 平成21年2月12日

場所：ニューサンピア敦賀

- 議題 (1) 平成21年度の各機関の調査計画（案）について
- (2) 平成21年度調査計画書の検討

- 講演会 演題1 「次世代のがん治療へー福井県における陽子線がん治療の計画について」
講師 山本和高氏（若狭湾エネルギー研究センター粒子線医療研究室長）
演題2 「福井県環境モニタリングの現状について」
講師 林 正樹（福井県原子力環境監視センター次長）

第201回 平成21年2月26日

場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1) 平成20年度第3四半期の定期調査結果
- ①第3期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②空間線量率連続測定（色ヶ浜）における平常の変動幅の超過について（原電）
 - ③美浜地区「丹生寮C」周辺の環境変化について（関電）
 - ④対照地区 武生A2の丹南土木事務所（旧武生土木事務所）の敷地工事について（監視センター）
 - ⑤積算線量測定地点「菅浜C2」における周辺の環境変化について（関電）
 - ⑥今期の核種分析結果においてCs-137が過去3ケ年の実績を超えて検出された事例

- について（監視センター）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 - (3)平成20年度第3四半期報告書の検討
 - (4)その他
 - ①大飯4号機燃料リークに伴う放射性気体廃棄物の放出実績について（関電）
 - ②平成20年度積算線量クロスチェック結果（第3四半期）（監視センター）

第202回 平成21年5月29日 場所：福井県原子力環境監視センター

- 議題 (1)平成20年度第4四半期の定期調査結果
- ①第4期の線量率測定結果と過去の平均値との比較（各機関）
 - ②積算線量測定地点における「M+3σ」超過について（監視センター）
 - ③積算線量測定値点「勝山A」の地点移動について（監視センター）
 - ④浮遊じん放射能連続測定データの欠測について（監視センター）
 - ⑤高浜地区海水トリチウムの結果について（関電）
 - ⑥敦賀発電所1号機 主排気筒からの粒子状物質について（原電）
- (2)各発電所の運転・建設状況、放射性廃棄物放出状況
 - (3)平成20年度第4四半期報告書の検討
 - (4)その他
 - ①平成20年度積算線量クロスチェック結果（第4四半期）（監視センター）

II. 小委員会

1. 年報検討小委員会

- (1)平成21年7月31日 場所：福井県原子力環境監視センター
- 議題 ①平成20年度放射化学分析結果の検討
②平成20年度年報の検討

2. 放射能分析確認ワーキンググループ

- (1)第1回 平成20年6月9日 場所：福井分析管理室
- ・平成19年度積算線量クロスチェック結果について
 - ・平成19年度Ge核種分析クロスチェック結果について
 - ・平成19年度とりまとめ書について
 - ・平成20年度クロスチェックについて（積算線量、プルトニウム）
- (2)第2回 平成20年11月14日 場所：福井県原子力環境監視センター
- ・平成20年度第1回ワーキンググループ議事録の確認について
 - ・平成20年度積算線量（第1四半期）クロスチェック結果について
 - ・プルトニウム迅速分析法について
 - ・プルトニウム分析方法について
 - ・平成20年度積算線量クロスチェック結果について
- (3)第3回 平成20年12月19日 場所：福井県原子力環境監視センター
- ・平成20年度第2回ワーキンググループ議事録の確認について
 - ・平成20年度積算線量（第2四半期）クロスチェック結果について
 - ・平成20年度からの「放射能分析確認」における積算線量の評価方法変更について（案）
- (4)第4回 平成21年3月13日 場所：福井県原子力環境監視センター
- ・平成20年度クロスチェックについて
積算線量（第1四半期から第3四半期）結果
プルトニウム結果
 - ・積算線量およびプルトニウムのクロスチェック方法について
 - ・平成21年「放射能分析確認」実施計画について
- (1)平成21年度 第1回 平成21年6月25日 場所：福井分析管理室
- ・平成20年度積算線量（第4四半期）クロスチェック結果について
 - ・平成21年度「積算線量クロスチェック」実施計画について
各機関の標準照射について（日程調整等）
 - ・WGの今後の進め方について
各測定結果の「不確かさ」について（TLD、核種分析、トリチウム）
各機関の技術継承について
技術会議における各種評価方法の取り決めについて

福 井 県 環 境 放 射 能 測 定 技 術 会 議 規 程

(会の名称)

第 1 条 本会議は、福井県環境放射能測定技術会議と称する。

(目的)

第 2 条 本会議は、福井県の関係機関ならびに原子力施設設置者が県内の施設周辺で実施する環境放射線モニタリングについて技術的に検討し、環境放射能の状況を常時確認することを目的とする。

(所掌事務)

第 3 条 本会議は前条の目的を達成するため、次の事項を行う。

- 1 原子力施設の平常運転時における環境放射線モニタリング項目の調整
- 2 放射能測定の方法の検討および調査
- 3 環境放射線モニタリングの結果の評価
- 4 報告書の作成ならびに福井県原子力環境安全管理協議会への提出
- 5 その他環境放射線モニタリングに関する技術的事項

(構成)

第 4 条 本会議は次の機関の専門技術者をもって構成する。

福井県安全環境部原子力安全対策課	日本原子力発電株式会社
福井県原子力環境監視センター	関西電力株式会社
福井県水産試験場	独立行政法人日本原子力研究開発機構

本会議は必要に応じて専門機関の意見を求めることができる。

(議長および事務局)

第 5 条 本会議の議長は、福井県原子力環境監視センター所長をもってあてる。

本会議の事務局を、議長の属する機関に置く。

(会議の開催)

第 6 条 本会議は、四半期ごとに定例会議を、また構成員が必要を認めた場合はその都度会議を開催する。

(定例会議以外の会議)

第 7 条 本会議には、四半期ごとの定例会議以外に、必要に応じ、小委員会、幹事会、作業部会を置くことができる。

(報告書の作成)

第 8 条 本会議は、年度開始に先立ち調査計画書を、また環境放射線モニタリングの結果に関し、四半期および年度ごとに報告書を作成する。

(規程の改廃)

第 9 条 この規程は構成員の同意を得て改廃することができる。

(その他)

第 10 条 この規程に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は議長が会議にはかって定める。

附 則

この規程は、昭和44年2月12日から施行する。

附 則

この規程は、昭和48年8月2日から施行する。

附 則

この規程は、平成7年5月31日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

会議の出席者（平成20年度（2008年度））

議長	福井県原子力環境 監視センター	寺川 和良	日本原子力発電 株式会社	環境保安Gr 敦賀発電所	山崎 克男 近江 正 竹野 正志 斉藤 俊彦 下尾崎寛子
	原子力安全対策課	神戸 真暁 有房 諒栄			
	福井県原子力環境 監視センター	林 正樹 長嶋 純一 徳山 秀樹 大西 勝基 島田 秀志 大森 靖子	関西電力株式会社	原子力事業本部 環境モニタリングセンター	柿花 英章 吉原 恵司 谷口 豊 古畑 智和 小林 高義 山下 清次
	福井分析管理室	永平 善一 高山 裕美 田賀 幹生 山田 人也 高橋 暁美 清水 健彦		美浜発電所 大飯発電所 高浜発電所	中村 孝治 藤田 進 初岡 賢政 今村 啓介 井上 勝
	福井県水産試験所	鈴木 康仁	日本原子力研究開発機構	安全品質推進部 環境監視課 ふげん環境管理課 もんじゅ安全管理課	鳥居 健男 奥山 慎一 圓尾 好宏 森田 聡 高城 久承 古川 誠

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過

		敦 賀 発 電 所		原子炉廃止措置研究 開発センター (ふげん) *6	高 速 増 殖 も ん じ 炉
		1 号機	2 号機		
設 備 の 概 要	炉 型	B W R	P W R	A T R	F B R
	定 格 電 気 出 力 (万 Kw)	35.7	116.0	16.5	28.0
	減 速 材	軽 水	軽 水	重 水	—
	冷 却 材	〃	〃	軽 水	ナトリウム
	燃 料 (材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	混合酸化物燃料体 *1	混合酸化物燃料体
	燃 料 装 荷 量 (t)	約 60	約 89	39	約 23 *3
	燃 料 集 合 体 数	308	193	224	370 *4
	蒸 気 発 生 器 数	—	4	—	6 *5
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	83	11	15
建 設 経 過	着 工	1966. 4	1982. 4	1970. 12	1985. 10
	格 納 容 器 組 立 開 始	1967. 2	1983. 4	1972. 8	1986. 7
	燃 料 装 荷 開 始	69. 9. 20	86. 4. 17	78. 3. 15	1993. 10
	初 臨 界	69. 10. 3	86. 5. 28	78. 5. 9	94. 4. 5
	営 業 運 転 開 始	70. 3. 14	87. 2. 17	79. 3. 20 *2	性能試験中
定 格 熱 出 力 一 定 運 転 運 用 開 始		03. 3. 14	02. 7. 15		

*1 低濃縮二酸化ウランも使用 *2 本格運転開始

*3 炉心燃料集合体約10t, ブランケット燃料集合体約13t

*4 炉心燃料集合体 198体、ブランケット燃料集合体 172体

*5 蒸発器 3基、過熱器 3基

*6 新型転換炉ふげん発電所は、2008年2月12日に廃止措置計画の認可を受け、原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)に改組した。

		美 浜 発 電 所		
		1 号機	2 号機	3 号機
設 備 の 概 要	炉 型	P W R	P W R	P W R
	定 格 電 気 出 力 (万 Kw)	34.0	50.0	82.6
	減 速 材	軽 水	軽 水	軽 水
	冷 却 材	〃	〃	〃
	燃 料 (材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃 料 装 荷 量 (t)	約 40	約 48	約 71
	燃 料 集 合 体 数	121	121	157
	蒸 気 発 生 器 数	2	2	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	21	36	51
建 設 経 過	着 工	1967. 8	1968. 12	1972. 7
	格 納 容 器 組 立 開 始	1968. 11	1969. 1	1972. 12
	燃 料 装 荷 開 始	70. 7. 4	72. 3. 6	75. 12. 11
	初 臨 界	70. 7. 29	72. 4. 10	76. 1. 28
	営 業 運 転 開 始	70. 11. 28	72. 7. 25	76. 12. 1
定 格 熱 出 力 一 定 運 転 運 用 開 始		02. 11. 21	02. 7. 17	03. 6. 19

5. 2 (1) 各発電所の設備の概要, 建設経過 (つづき)

		大 飯 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設 備 の 概 要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万Kw)	117.5	117.5	118.0	118.0
	減速材	軽水	軽水	軽水	軽水
	冷却材	〃	〃	〃	〃
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量(t)	約 89	約 89	約 89	約 89
	燃料集合体数	193	193	193	193
	蒸気発生器数	4	4	4	4
	復水器冷却水流量(t/秒)	71	71	81	81
建 設 経 過	着工	1972.10	1972.11	1987.5	1987.5
	格納容器組立開始	1973.1	1973.5	1988.6	1989.4
	燃料装荷開始	77.10.14	78.7.28	91.4.1	92.4.13
	初臨界	77.12.2	78.9.14	91.5.17	92.5.28
	営業運転開始	79.3.27	79.12.5	91.12.18	93.2.2
定格熱出力一定運転運用開始		03.6.4	02.12.18	03.2.25	02.4.16

		高 浜 発 電 所			
		1号機	2号機	3号機	4号機
設 備 の 概 要	炉 型	PWR	PWR	PWR	PWR
	定格電気出力(万Kw)	82.6	82.6	87.0	87.0
	減速材	軽水	軽水	軽水	軽水
	冷却材	〃	〃	〃	〃
	燃料(材料)	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン	低濃縮二酸化ウラン
	燃料装荷量(t)	約 71	約 71	約 72	約 72
	燃料集合体数	157	157	157	157
	蒸気発生器数	3	3	3	3
	復水器冷却水流量(t/秒)	51	51	63	63
建 設 経 過	着工	1970.4	1971.2	1980.11	1980.11
	格納容器組立開始	1970.8	1971.7	1981.6	1981.12
	燃料装荷開始	74.2.2	74.11.15	84.3.1	84.8.31
	初臨界	74.3.14	74.12.20	84.4.17	84.10.11
	営業運転開始	74.11.14	75.11.14	85.1.17	85.6.5
定格熱出力一定運転運用開始		03.2.15	02.6.6	02.11.6	03.6.17

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事

(日本原電(株) 敦賀発電所)

設 備 名	概 要	使用開始 年月日
希ガスホールドアップ装置	希ガスホールドアップ装置 (活性炭を充填した放射能減衰装置) を設置、 気体廃棄物の低減化	1971. 11. 30
ランドリードレンフィルター	洗濯排水処理系に活性炭式フィルターを新設 液体廃棄物の低減化	1975. 9. 9
放射性廃棄物処理設備	電磁濾過器, 超濾過器, 蒸発濃縮器, アスファルト固化装置, 雑固体焼却炉, サイトバンカーを増設 廃棄物発生量の低減化, 廃棄物の減容および長期貯蔵対策	1977. 9. 20 全設備 使用開始
低圧タービンランドシール	低圧タービン軸シール蒸気を主蒸気から蒸気発生器蒸気に変更 気体廃棄物の低減化	1977. 11. 15
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し, 活性炭式フィルターを更新	1981. 12. 13
放射性液体廃棄物 放出ライン	敦賀発電所 1. 2 号の放射性液体廃棄物放出系の共用化に伴い 液体廃棄物放出を 2 号放水口に一元化	1996. 3. 14
ランドリードレンフィルター	既設フィルターを撤去し, 活性炭式ロータリーフィルターを設 置	1996. 9. 1
雑固体減容処理設備	雑固体減容処理設備 (プラズマ溶融システム採用) を設置し, 放射性雑固体廃棄物量の低減化	2005. 4. 28
原子炉容器上部ふた保管庫	敦賀発電所 2 号機原子炉容器上部ふたの取替に伴い、原子炉容 器上部ふた保管庫を設置し、旧原子炉容器上部ふた保管を保管	2007. 9. 15

(日本原子力研究開発機構 原子炉廃止措置研究開発センター)

設 備 名	概 要	運用開始 年月日
固 体 廃 棄 物 貯 蔵 庫	雑固体廃棄物貯蔵庫の設置	1977. 3. 20
重 水 精 製 装 置	高濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1979. 5. 1
第 2 固 体 廃 棄 物 貯 蔵 庫	増設	1985. 4. 1
重 水 精 製 装 置 (II)	低濃度劣化重水を再濃縮する装置の設置	1986. 12. 20
廃 液 フ ィ ル タ ー	プレコートタイプから中空糸膜フィルターに変更 二次廃棄物発生量の低減化	1989. 8. 24
ド ラ イ ク リ ー ニ ン グ 装 置	ドライクリーニング装置の容量増量。液体廃棄物の低減化	1989. 8. 24
廃 棄 物 処 理 建 屋	雑固体廃棄物焼却設備、廃樹脂貯蔵設備および収納建屋の設置	1989. 9. 22
放 射 線 測 定 設 備	モニタリングポストの 1 基増設	2002. 11. 29

5. 2 (2) 主要設備の改造および新設工事 (つづき)

(関西電力, 美浜・大飯・高浜発電所)

設備名	概要	運用開始年月日		
		美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
廃液蒸発処理装置	廃液蒸発処理装置を増設し、処理能力を強化	1974.12.18 (1,2号共用)		
雑固体焼却設備	雑固体焼却設備を設置し、固体棄物量の低減化	1978.10.27 (1～3号共用)	1991.12.18 (1～4号共用)	1984. 8.31 (1～4号共用)
アスファルト固化装置	アスファルト固化装置を設置し、固体廃棄物量の低減化	1978.10.27 (1～3号共用)	1982. 1.19 (1,2号共用)	1984. 9. 5 (1,2号共用) 1985. 1.17 (3,4号共用)
洗濯排水処理設備	洗濯排水処理設備を設置し、液体廃棄物量を低減化	1996. 5.22 (1,2号共用) 1997. 4.16 (3号用)	1982. 1.14 (1,2号共用)	1981. 7.31 (1,2号共用) 1985. 1.17 (3,4号共用)
液体廃棄物放出ライン	美浜3号放射性液体廃棄物放出ラインの1, 2号機側への連絡配管設置	1984.10.25		
気体フィルタ圧縮用ベアラ	気体フィルタ圧縮用ベアラを設置し、固体廃棄物量の低減化	1987. 2.27 (1～3号共用)	1991.12.18 (1～4号共用)	1985. 1.17 (1～4号共用)
廃棄物庫	廃棄物庫を増設		1986. 9.18 (C廃棄物庫) 1992.11.27 (C廃棄物庫 2階部分)	1985. 1.17 (D廃棄物庫)
ドライクリーニング装置	ドライクリーニング装置を設置し、液体廃棄物量の低減化		1987.10. 1 (1,2号共用)	1987. 6.24 (1,2号共用) 1985. 3.10 (3,4号共用)
廃樹脂貯蔵タンク	廃樹脂貯蔵タンクの増設	1988. 1.22 (1,2号共用)		1985.12.18 (1,2号共用)
乾燥造粒装置	乾燥造粒装置を設置し、固体廃棄物量の低減化		1991.12.18 (3,4号共用)	
液体廃棄物放出ライン	美浜 1,2号機放射性液体廃棄物放出ラインを3号機からも放出可能なように改造	1993. 4.19		
蒸気発生器保管庫	蒸気発生器の取り替えに伴い、蒸気発生器保管庫を設置し、旧蒸気発生器を保管	1993.12.15 (2号用) 1995. 5.31 (1～3号共用)	1994. 4.25 (1,2号共用) 1996.11.20 (1,2号共用)	1994. 1.25 (1,2号共用) 1995.12.25 (1,2号共用)
廃樹脂処理装置	廃樹脂処理装置を設置し、固体廃棄物量の低減化	2001. 4.9 (1～3号共用)	1994. 9.27 (1,2号共用)	2000. 3.10 (1,2号共用)
雑固体固型化装置	雑固体固型化装置を設置し、固体廃棄物を固型化。	2001. 4. 9 (1～3号共用)	1999.11.12 (1～4号共用)	2004.12.20 (1～4号共用)
低線量使用済樹脂排出配管	排出配管を設置し、低線量の使用済樹脂の焼却減容処理		2005. 3.30 (1,2号共用)	2005. 3.25 (1,2号共用) 2004. 6.15 (3,4号共用)

5. 3 (1)原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）廃止

措置作業状況

廃止措置作業状況（廃止措置以降）

区分	年月日	概要説明
廃止措置	2008年2月12日	廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、廃止措置作業を開始した。
	2008年5月14日～ 2008年11月26日	第3、4給水加熱器等の解体撤去を実施し、終了した。
	2008年7月4日～ 2008年12月8日	主蒸気管等の解体撤去を実施、終了した。
	2009年1月28日～ 2009年3月11日	タービン補機冷却系熱交換器等の解体を実施し、終了した。
	2008年5月14日～ 2008年12月19日	重水循環ポンプ用熱交換器のトリチウム除去を実施し、終了した。
	2009年1月26日～	ヘリウム浄化系等の残留重水回収及びトリチウム除去を開始し、継続中である。
	2009年2月16日～	カランドリアタンク及び重水冷却系のトリチウム除去を開始し、継続中である。
定期検査	2008年10月1日～ 2009年3月26日	第21回定期検査を実施し、終了した。

※「新型転換炉ふげん発電所」は、2003年3月29日に運転を終了し、2008年2月12日に廃止措置計画及び保安規定の認可を受け、「原子炉廃止措置研究開発センター」に改組した。

5. 3 (2)高速増殖原型炉もんじゅの試験進捗状況

試験進捗状況（初臨界以降）

区分	年月日	概要説明	進捗率(%)
性能試験	1995年12月8日	2次主冷却系ナトリウム漏えいのため、原子炉手動トリップ。 現在、停止中。	39 [※]
—	1997年11月～	もんじゅの設備保全対策を目的として、1997年11月より設備保全等の工事を開始し、継続実施中である。	—
プラント確認試験	2007年8月31日～	長期停止設備の健全性確認を目的として、プラント確認試験を2007年8月31日から開始し、継続中である。 (プラント確認試験については、全141項目中133項目終了し、残り8項目については、屋外排気ダクト補修工事終了後に実施する。)	—

進捗率（※）： 初臨界以降の性能試験の進捗率として、本格運転開始までに実施される性能試験の試験終了実績等を考慮して算出したものを示す。

なお、39（%）については、2次主冷却系ナトリウム漏えい事故（1995年12月8日）までの実績である。

5. 4 各発電所の運転実績（県内年間発電電力量総計658.1億KWH）

敦賀発電所

2008年4月～2009年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
1号機	発電電力量	2.6	1.2	2.5	1.3	2.6	1.9	2.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.1
	最大電力	359	358	358	357	355	357	356	328	0	0	0	0	359
	稼働率	100	45.7	98.8	52.3	100	100	100	20.0	0	0	0	0	51.5
	発電日数	30	15	30	17	31	30	31	6	0	0	0	0	190
2号機	発電電力量	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	9.0	23.4
	最大電力	0	0	0	0	1191	1204	0	0	0	0	1216	1214	1216
	稼働率	0.0	0.0	0.0	0.0	77.4	52.8	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100	23.2
	発電日数	0	0	0	0	25	16	0	0	0	0	15	31	87

高速増殖原型炉もんじゅ

2008年4月～2009年3月（年間）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年 間
もんじゅ	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位（発電電力量：10⁵ MWH、最大電力：MW、稼働率：%、発電日数：日）

美浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0.5	2.6	2.5	2.5	2.6	2.3	2.6	2.6	2.4	2.6	23.0
	最大電力	0	0	350	349	342	345	348	349	351	353	353	353	353
	稼働率	0	0	23.8	100	100	100	100	92.7	100	100	100	100	76.4
	発電日数	0	0	8	31	31	30	31	29	31	31	28	31	281
2号機	発電電力量	0	0	0	0.0	3.6	3.6	3.7	3.4	3.8	3.8	3.4	3.8	29.1
	最大電力	0	0	0	154	497	503	507	510	511	511	511	511	511
	稼働率	0	0	0	3.9	100	100	100	96.8	100	100	100	100	66.6
	発電日数	0	0	0	2	31	30	31	30	31	31	28	31	245
3号機	発電電力量	6.2	6.4	6.2	6.3	6.3	0.1	0	3.4	6.4	6.4	5.8	6.4	60.1
	最大電力	869	869	867	866	851	848	0	864	866	866	867	867	869
	稼働率	100	100	100	100	100	1.5	0	60.8	100	100	100	100	80.2
	発電日数	30	31	30	31	31	1	0	19	31	31	28	31	294

大飯発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	8.5	8.8	0.9	0	7.7	8.4	8.8	8.5	8.8	8.8	7.9	8.8	86.1
	最大電力	1189	1189	1186	0	1173	1178	1181	1184	1186	1185	1185	1185	1189
	稼働率	100	100	11.4	0	92.1	100	100	100	100	100	100	100	83.6
	発電日数	30	31	4	0	29	30	31	30	31	31	28	31	306
2号機	発電電力量	8.7	9.0	8.7	8.9	8.8	8.6	8.9	8.7	9.0	9.0	1.5	0	89.7
	最大電力	1209	1207	1206	1201	1190	1199	1203	1210	1210	1211	1210	0	1211
	稼働率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	19.3	0	85.3
	発電日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	6	0	312
3号機	発電電力量	0	0	0	0	0	0	0	6.4	8.9	8.9	8.0	8.9	41.0
	最大電力	0	0	0	0	0	0	0	1196	1196	1202	1195	1195	1202
	稼働率	0	0	0	0	0	0	0	77.6	100	100	100	100	39.5
	発電日数	0	0	0	0	0	0	0	24	31	31	28	31	145
4号機	発電電力量	8.7	8.9	8.7	8.9	8.9	2.5	0	0	6.7	8.9	8.1	8.9	79.1
	最大電力	1204	1205	1204	1204	1196	1196	0	0	1201	1202	1202	1202	1205
	稼働率	100	100	100	100	100	29.9	0	0	78.4	100	100	100	75.7
	発電日数	30	31	30	31	31	9	0	0	25	31	28	31	277

高浜発電所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1号機	発電電力量	0	0	0	4.2	6.3	6.2	6.4	6.2	6.4	6.4	5.8	6.4	54.4
	最大電力	0	0	0	858	856	862	865	867	868	868	868	868	868
	稼働率	0	0	0	69.0	100	100	100	100	100	100	100	100	72.4
	発電日数	0	0	0	22	31	30	31	30	31	31	28	31	265
2号機	発電電力量	0	0	4.4	6.4	6.4	6.2	6.5	6.3	6.5	6.5	5.1	0	54.1
	最大電力	0	0	871	871	860	868	871	871	871	871	871	0	871
	稼働率	0	0	74.0	100	100	100	100	100	100	100	87.2	0	71.7
	発電日数	0	0	23	31	31	30	31	30	31	31	25	0	263
3号機	発電電力量	0	0	0	0	5.7	6.5	6.7	6.5	6.7	6.7	6.1	6.7	51.7
	最大電力	0	0	0	0	898	903	905	907	905	907	908	909	909
	稼働率	0	0	0	0	91.4	100	100	100	100	100	100	100	65.8
	発電日数	0	0	0	0	29	30	31	30	31	31	28	31	241
4号機	発電電力量	6.5	6.7	6.5	6.7	4.8	0	0	0	1.0	6.4	6.0	6.7	51.3
	最大電力	906	906	905	902	895	0	0	0	656	904	902	904	906
	稼働率	100	100	100	100	72.3	0	0	0	23.5	100	100	100	66.2
	発電日数	30	31	30	31	23	0	0	0	8	31	28	31	243

(単位) 発電電力量：10⁵MWh, 最大電力：MW, 稼働率：%, 発電日数：日

5. 5 各発電所の発電停止状況

2008年4月～2009年3月 (年間)

施設名	項目	発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
日本原電(株) 敦賀発電所	1号機	08.11.7～	第32回定期検査作業実施中	08.5.15～ 08.5.31 08.7.16～ 08.8.1 08.9.4～ 08.9.19	原子炉再循環ポンプC 軸封部点検に伴う原子炉手動停止 原子炉再循環ポンプC軸封部点検に伴う原子炉手動停止 原子炉給水ポンプ点検に伴い、150MWまで出力降下
	2号機	07.8.26～ 09.2.15	第16回定期検査作業実施	08.8.15～ 08.8.16 08.9.16～ 09.2.15 09.2.15 09.3.13	A2タービン動主給水ポンプ用ブラスターポンプ入口フランジからの僅かな漏えいに伴う主給水ポンプ切替えのため、1,145MWまで出力降下 高圧タービン車室からの蒸気漏れに伴う原子炉手動停止 調整運転開始 第16回定期検査を終了し営業運転再開
関西電力(株) 美浜発電所	1号機	08.3.25～ 08.6.23 08.11.20～ 08.11.22	第23回定期検査作業実施 送電系統への落雷に伴う原子炉自動停止	08.6.23～ 08.7.18～	調整運転開始 第23回定期検査を終了し、営業運転再開
	2号機	07.7.20～ 08.7.30 08.11.20～ 08.11.21	第24回定期検査作業実施 送電系統への落雷に伴う原子炉自動停止	08.7.30～ 08.8.22～	調整運転開始 第24回定期検査を終了し、営業運転再開
	3号機	08.9.1～ 08.11.12	第23回定期検査作業実施	08.11.12～ 08.11.20 08.12.10～	調整運転開始 送電系統への落雷に伴う系統単独運転 第23回定期検査を終了し、営業運転再開
関西電力(株) 大飯発電所	1号機	08.6.4～ 08.8.3	第22回定期検査作業実施	08.8.3～ 08.8.28～	調整運転開始 第22回定期検査を終了し、営業運転再開
	2号機	09.2.6～	第22回定期検査作業実施中		なし
	3号機	08.2.2～ 08.11.7	第13回定期検査作業実施	08.5.13 08.5.16 08.6.25 08.8.1 08.9.4 08.9.10 08.10.2 08.11.7～ 08.12.4～	原子炉下部炉心構造物吊込み 原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第13回定期検査を終了し、営業運転再開

5. 5 各発電所の発電停止状況(つづき) 2008年4月～2009年3月 (年間)

施設名		発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
関西電力㈱ 大飯発電所	4号機	08. 9. 9～ 08.12. 7	第12回定期検査作業実施	08. 8. 19	1次冷却材中のヨウ素濃度上昇を確認、燃料リークの疑いありと判断し、濃度の監視を強化しながら運転継続
				08.12. 7～ 09. 1. 8～	調整運転開始 第12回定期検査を終了し、営業運転再開
関西電力㈱ 高浜発電所	1号機	08. 3. 19～ 08. 7. 10	第25回定期検査作業実施	08. 4. 18 08. 5. 8 08. 7. 10～ 08. 8. 22～	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第25回定期検査を終了し、営業運転再開
	2号機	07. 8. 17～ 08. 6. 8	第24回定期検査作業実施	08. 6. 8～ 08. 7. 3～	調整運転開始 第24回定期検査を終了し、営業運転再開
		09. 2. 25～	第25回定期検査作業実施中	09. 3. 8 09. 3. 17	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み
	3号機	07. 11. 23～ 08. 8. 3	第18回定期検査作業実施	08. 8. 3～ 08. 8. 28～	調整運転開始 第18回定期検査を終了し、営業運転再開
4号機	08. 8. 23～ 08. 12. 24	第18回定期検査作業実施 *蒸気発生器伝熱管補修	08. 9. 4 08. 9. 12 08. 12. 24～ 09. 1. 21～	原子炉下部炉心構造物吊上げ 原子炉下部炉心構造物吊込み 調整運転開始 第18回定期検査を終了し、営業運転再開	

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
敦賀発電所 1号機	4月	—	—	—	—	—	—	4.9E+09
	5月	—	—	—	—	—	—	7.0E+09
	6月	—	—	—	—	—	—	7.0E+09
	7月	—	—	—	—	—	—	7.4E+09
	8月	—	—	—	—	—	—	6.9E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	6.6E+09
	10月	—	—	—	—	—	—	6.7E+09
	11月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
	12月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
	1月	—	—	—	—	1.7E-10	3.5E+04	1.2E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	6.2E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	5.9E+09
	年間	—	—	—	—	1.4E-11	3.5E+04	9.9E+10
敦賀発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	3.5E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	4.0E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	4.0E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.9E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	3.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	7.7E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	5.7E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	6.7E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	2.8E+12
ふげん	4月	—	—	—	—	—	—	2.0E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	3.6E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	4.0E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	3.5E+10
	8月	—	—	—	—	—	—	4.7E+10
	9月	—	—	—	—	—	—	2.9E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	8.0E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	9.1E+09
	12月	—	—	—	—	—	—	6.2E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	4.2E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	8.7E+09
	3月	—	—	—	—	—	—	1.3E+10
	年間	—	—	—	—	—	—	3.3E+11

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

敦賀発電所1号機の気体廃棄物放出量については、焼却炉排気筒からの放出も含まれている。
 敦賀発電所2号機の気体廃棄物放出量については、雑固体減容処理建屋排気口からの放出も含まれている。
 ふげんの気体廃棄物放出量については、重水精製施設からの放出も含まれている。
 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—	—	—	5.1E+08
	5 月	—	—	—	—	—	—	7.1E+06
	6 月	—	—	—	—	—	—	8.3E+08
	7 月	—	—	—	—	—	—	1.2E+07
	8 月	—	—	—	—	—	—	—
	9 月	—	—	—	—	—	—	7.1E+06
	10月	—	—	—	—	—	—	2.0E+02
	11月	—	—	—	—	—	—	—
	12月	—	—	—	—	—	—	2.5E+08
	1 月	—	—	—	—	—	—	1.2E+07
	2 月	—	—	—	—	—	—	3.7E+08
	3 月	—	—	—	—	—	—	1.9E+08
	年 間	—	—	—	—	—	—	2.2E+09
	美浜発電所 1号機	4 月	1.2E-06	2.1E+08	6.9E-10	1.2E+05	—	—
5 月		—	—	—	—	—	—	6.0E+11
6 月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
7 月		—	—	—	—	—	—	1.9E+11
8 月		—	—	—	—	—	—	1.8E+11
9 月		—	—	—	—	—	—	1.6E+11
10月		—	—	—	—	—	—	2.1E+11
11月		—	—	—	—	—	—	2.3E+11
12月		—	—	—	—	—	—	2.2E+11
1 月		—	—	—	—	—	—	1.3E+11
2 月		—	—	—	—	—	—	1.3E+11
3 月		—	—	—	—	—	—	1.5E+11
年 間		1.1E-07	2.1E+08	6.1E-11	1.2E+05	—	—	3.2E+12
美浜発電所 2号機		4 月	—	—	—	—	—	—
	5 月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	6 月	—	—	—	—	—	—	2.4E+11
	7 月	1.4E-08	2.1E+06	—	—	—	—	3.8E+11
	8 月	—	—	—	—	—	—	4.1E+11
	9 月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	2.6E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	1 月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	2 月	—	—	—	—	—	—	8.7E+10
	3 月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	年 間	1.3E-09	2.1E+06	—	—	—	—	2.8E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所 3号機	4月	5.5E-07	1.1E+08	—	—	—	—	1.0E+11
	5月	6.1E-07	1.2E+08	—	—	—	—	1.3E+11
	6月	3.0E-07	5.9E+07	—	—	—	—	1.5E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	8月	1.4E-06	2.7E+08	—	—	—	—	2.4E+11
	9月	3.6E-06	8.5E+08	—	—	—	—	8.0E+11
	10月	1.2E-06	2.8E+08	—	—	—	—	5.2E+11
	11月	1.2E-06	2.4E+08	—	—	—	—	2.0E+11
	12月	1.9E-06	3.7E+08	—	—	—	—	2.2E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	2月	5.5E-07	9.0E+07	—	—	—	—	1.0E+11
	3月	7.0E-07	1.4E+08	—	—	—	—	8.8E+10
	年間	1.1E-06	2.5E+09	—	—	—	—	2.8E+12
大飯発電所 1号機	4月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.7E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	1.0E+12
	7月	—	—	—	—	—	—	1.1E+12
	8月	1.4E-06	2.5E+08	—	—	—	—	6.4E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	5.0E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	4.4E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	3.6E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	2.7E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	4.3E+11
	3月	2.7E-06	4.7E+08	—	—	—	—	7.7E+11
	年間	3.4E-07	7.2E+08	—	—	—	—	6.0E+12
大飯発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	5.5E+09
	5月	—	—	—	—	—	—	5.1E+09
	6月	2.6E-07	3.2E+07	—	—	—	—	2.1E+10
	7月	—	—	—	—	—	—	8.9E+09
	8月	2.8E-07	3.6E+07	—	—	—	—	8.9E+09
	9月	—	—	—	—	—	—	1.4E+10
	10月	—	—	—	—	—	—	2.6E+10
	11月	—	—	—	—	—	—	1.5E+10
	12月	—	—	—	—	—	—	8.6E+09
	1月	—	—	—	—	—	—	6.7E+09
	2月	—	—	—	—	—	—	3.2E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	3.4E+11
	年間	4.4E-08	6.8E+07	—	—	—	—	7.7E+11

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
大飯発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	2.3E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	2.1E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	3.1E+11
	9月	9.4E-06	3.7E+09	—	—	—	—	2.7E+11
	10月	8.1E-07	3.2E+08	—	—	—	—	2.0E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	8.2E+10
	2月	—	—	—	—	—	—	6.1E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	6.2E+10
	年間	8.9E-07	4.0E+09	—	—	—	—	2.1E+12
大飯発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—	6.7E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.1E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.5E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	9月	4.2E-05	1.2E+10	—	—	—	—	2.1E+11
	10月	6.1E-06	1.9E+09	5.3E-09	1.7E+06	—	—	4.7E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	3.4E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	年間	4.0E-06	1.4E+10	4.8E-10	1.7E+06	—	—	2.2E+12
高浜発電所 1号機	4月	3.4E-04	7.8E+10	—	—	—	—	3.1E+11
	5月	3.0E-04	7.3E+10	—	—	—	—	4.5E+11
	6月	7.6E-04	1.8E+11	—	—	—	—	4.5E+11
	7月	4.4E-04	7.3E+10	—	—	—	—	3.3E+11
	8月	4.6E-06	7.5E+08	—	—	—	—	4.6E+11
	9月	1.2E-04	1.9E+10	—	—	—	—	3.5E+11
	10月	6.6E-04	1.1E+11	—	—	—	—	3.1E+11
	11月	7.2E-04	1.1E+11	—	—	—	—	2.6E+11
	12月	5.1E-04	8.5E+10	—	—	—	—	1.7E+11
	1月	2.6E-04	4.3E+10	—	—	—	—	1.3E+11
	2月	5.1E-04	7.6E+10	—	—	—	—	1.2E+11
	3月	4.7E-04	7.7E+10	—	—	—	—	1.4E+11
	年間	4.3E-04	9.2E+11	—	—	—	—	3.5E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 6 各発電所の放射性廃棄物放出実績（気体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm ³	放出量 Bq	放出量 Bq
高浜発電所 2号機	4月	—	—	—	—	—	—	2.2E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	3.0E+11
	6月	1.2E-06	1.4E+08	—	—	—	—	3.1E+11
	7月	1.3E-05	1.4E+09	—	—	—	—	2.6E+11
	8月	5.7E-06	6.2E+08	—	—	—	—	2.9E+11
	9月	6.6E-07	6.9E+07	—	—	—	—	3.2E+11
	10月	4.0E-07	4.3E+07	—	—	—	—	2.8E+11
	11月	6.8E-07	7.1E+07	—	—	—	—	2.5E+11
	12月	2.1E-06	2.3E+08	—	—	—	—	1.7E+11
	1月	1.4E-07	1.5E+07	—	—	—	—	1.3E+11
	2月	6.2E-06	6.7E+08	—	—	—	—	1.4E+11
	3月	—	—	—	—	—	—	5.9E+11
	年間	2.1E-06	3.2E+09	—	—	—	—	3.3E+12
高浜発電所 3号機	4月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	5月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	6月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	8月	—	—	—	—	—	—	1.9E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	1.8E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	1.6E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	8.3E+10
	2月	3.4E-06	8.4E+08	—	—	—	—	5.6E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	4.6E+10
	年間	2.4E-07	8.4E+08	—	—	—	—	1.7E+12
高浜発電所 4号機	4月	—	—	—	—	—	—	7.0E+10
	5月	—	—	—	—	—	—	9.2E+10
	6月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	7月	—	—	—	—	—	—	1.4E+11
	8月	1.7E-06	4.6E+08	—	—	—	—	2.7E+11
	9月	—	—	—	—	—	—	5.2E+11
	10月	—	—	—	—	—	—	3.8E+11
	11月	—	—	—	—	—	—	3.7E+11
	12月	—	—	—	—	—	—	2.0E+11
	1月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	2月	—	—	—	—	—	—	9.4E+10
	3月	—	—	—	—	—	—	1.1E+11
	年間	1.5E-07	4.6E+08	—	—	—	—	2.5E+12

(注) 1.0E-01は 1.0×10^{-1} のことである。—は検出限界値未満であることを示す。

美浜、大飯および高浜発電所の気体廃棄物には、それぞれの発電所の固体廃棄物処理施設からの放出量は、加算されていない。

各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm³)の和で除して算出している。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq
敦賀発電所	4 月	—	—	2.6E-01	1.1E+12
	5 月	—	—	5.0E-02	2.2E+11
	6 月	—	—	3.8E-02	1.6E+11
	7 月	—	—	1.4E-03	2.2E+11
	8 月	—	—	1.1E-03	2.4E+11
	9 月	—	—	7.4E-04	1.4E+11
	10月	—	—	1.4E-03	1.1E+11
	11月	—	—	1.1E-02	4.8E+10
	12月	—	—	3.8E-02	1.7E+11
	1 月	—	—	1.5E-02	6.6E+10
	2 月	—	—	3.3E-04	5.8E+10
	3 月	—	—	1.1E-02	2.4E+12
	年 間	—	—	4.6E-03	4.9E+12
ふげん	4 月	—	—	3.5E-02	8.3E+10
	5 月	—	—	3.1E-02	7.5E+10
	6 月	—	—	6.4E-02	1.5E+11
	7 月	—	—	1.0E-01	2.5E+11
	8 月	—	—	1.5E-01	3.8E+11
	9 月	—	—	1.2E-01	2.8E+11
	10月	—	—	1.5E-01	3.7E+11
	11月	—	—	5.5E-02	1.3E+11
	12月	—	—	4.7E-02	1.2E+11
	1 月	—	—	1.2E-02	2.9E+10
	2 月	—	—	1.3E-01	1.8E+11
	3 月	—	—	2.8E-01	6.8E+11
	年 間	—	—	9.7E-02	2.7E+12
高速増殖原型 炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—
	5 月	—	—	—	—
	6 月	—	—	5.3E-05	1.4E+08
	7 月	—	—	8.8E-06	3.0E+07
	8 月	—	—	1.0E-05	3.7E+07
	9 月	—	—	—	—
	10月	—	—	—	—
	11月	廃液の放出なし#		—	—
	12月	廃液の放出なし#		—	—
	1 月	廃液の放出なし#		—	—
	2 月	—	—	—	—
	3 月	—	—	1.4E-06	2.6E+06
	年 間	—	—	6.8E-06	2.1E+08

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。

ふげんの放射性廃棄物実績については、重水精製施設からの放出量も含めて記載した。

#：液体廃棄物処理系配管取替工事のため。

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq
美浜発電所* 1, 2号機	4 月	/	/	/	/
	5 月	/	/	/	/
	6 月	—	—	1.2E-02	4.8E+11
	7 月	—	—	1.0E-02	1.3E+12
	8 月	—	—	1.5E-03	2.5E+11
	9 月	—	—	3.3E-02	5.2E+12
	10月	—	—	1.8E-02	2.8E+12
	11月	—	—	9.1E-04	1.4E+11
	12月	—	—	1.3E-03	2.0E+11
	1 月	—	—	5.0E-04	7.9E+10
	2 月	—	—	1.5E-07	2.2E+07
	3 月	—	—	2.8E-03	4.5E+11
	年 間	—	—	7.7E-03	1.1E+13
	美浜発電所* 3号機	4 月	—	—	5.8E-03
5 月		—	—	8.4E-03	1.2E+12
6 月		—	—	4.3E-03	5.9E+11
7 月		—	—	8.6E-04	1.2E+11
8 月		—	—	1.5E-02	2.1E+12
9 月		/	/	/	/
10月		—	—	1.3E-06	2.9E+07
11月		—	—	3.8E-03	5.2E+11
12月		—	—	3.5E-03	4.9E+11
1 月		—	—	8.6E-04	1.2E+11
2 月		—	—	5.7E-03	7.3E+11
3 月		—	—	2.3E-03	3.2E+11
年 間		—	—	4.9E-03	6.9E+12
大飯発電所 1, 2号機		4 月	—	—	1.4E-02
	5 月	—	—	7.3E-03	3.1E+12
	6 月	—	—	9.0E-03	2.1E+12
	7 月	—	—	1.6E-02	3.7E+12
	8 月	—	—	8.6E-03	3.7E+12
	9 月	—	—	1.2E-02	4.9E+12
	10月	—	—	1.2E-02	5.2E+12
	11月	—	—	2.9E-03	1.2E+12
	12月	—	—	7.2E-03	3.1E+12
	1 月	—	—	2.9E-03	1.2E+12
	2 月	—	—	2.1E-02	5.0E+12
	3 月	—	—	1.7E-02	3.8E+12
	年 間	—	—	9.9E-03	4.3E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。
 *：美浜1, 2号機の定期点検に伴い、連絡配管により美浜3号機放水口から放出した。
 (3/23～6/10)
 ※：美浜3号機の定期点検に伴い、連絡配管により美浜1, 2号機放水口放出した。
 (9/1～10/28)

5. 7 各発電所の放射性廃棄物放出実績（液体廃棄物）

2008年4月～2009年3月

区分 施設	期 間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム（液体）	
		平均濃度	放出量	平均濃度	放出量
		Bq/cm ³	Bq	Bq/cm ³	Bq
大飯発電所 3, 4号機	4 月	—	—	6.1E-03	1.3E+12
	5 月	—	—	3.6E-03	9.6E+11
	6 月	—	—	6.5E-03	1.4E+12
	7 月	—	—	1.7E-02	3.8E+12
	8 月	—	—	5.0E-02	1.2E+13
	9 月	—	—	1.9E-02	3.7E+12
	10月	—	—	2.7E-02	3.7E+12
	11月	—	—	3.7E-03	1.1E+12
	12月	—	—	8.0E-03	3.5E+12
	1 月	—	—	1.3E-08	5.7E+06
	2 月	—	—	8.1E-08	3.2E+07
	3 月	—	—	7.1E-08	3.1E+07
	年 間	—	—	8.8E-03	3.1E+13
高浜発電所 1, 2号機	4 月	—	—	2.7E-03	3.2E+11
	5 月	—	—	2.5E-03	3.2E+11
	6 月	—	—	1.9E-02	2.8E+12
	7 月	—	—	1.2E-03	3.5E+11
	8 月	—	—	3.3E-03	9.6E+11
	9 月	—	—	6.9E-08	2.0E+07
	10月	—	—	3.1E-03	8.8E+11
	11月	—	—	1.1E-03	3.0E+11
	12月	—	—	1.4E-03	4.0E+11
	1 月	—	—	3.7E-03	1.0E+12
	2 月	—	—	1.3E-02	3.1E+12
	3 月	—	—	6.9E-03	9.9E+11
	年 間	—	—	4.1E-03	1.1E+13
高浜発電所 3, 4号機	4 月	—	—	2.7E-02	4.1E+12
	5 月	—	—	9.6E-03	1.6E+12
	6 月	—	—	2.2E-02	5.0E+12
	7 月	—	—	1.0E-02	3.1E+12
	8 月	—	—	1.0E-02	3.2E+12
	9 月	—	—	1.2E-02	2.0E+12
	10月	—	—	9.3E-03	1.6E+12
	11月	—	—	2.8E-03	6.4E+11
	12月	—	—	8.1E-03	2.5E+12
	1 月	—	—	1.6E-03	5.4E+11
	2 月	—	—	3.0E-03	8.5E+11
	3 月	—	—	1.1E-02	3.4E+12
	年 間	—	—	9.6E-03	2.9E+13

(注) 加圧水型発電所のトリチウムは、2次系から放出されたものを含めて集計している。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2008年4月～2009年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他	
敦賀発電所	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	7 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	8 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	9 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	10月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	11月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	12月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	1 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	3 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	年 間	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ふげん	4 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	7 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	8 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	9 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	10月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	11月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	12月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	1 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	3 月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	年 間	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
高速増殖原型炉 もんじゅ	4 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	5 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	6 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	7 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	8 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	9 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	10月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	11月	廃液の放出なし#										
	12月	廃液の放出なし#										
	1 月	廃液の放出なし#										
	2 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	年 間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

/は対象外であることを示す。

#：液体廃棄物処理系配管取替工事のため。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2008年4月～2009年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²²	⁵¹	⁵⁴	⁵⁹	⁵⁸	⁶⁰	¹³¹	¹³⁴	¹³⁷	その他
		N a	C r	M n	F e	C o	C o	I	C s	C s	
美浜発電所 1, 2号機*	4 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	5 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美浜発電所 3号機※	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大飯発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

*：美浜1, 2号機の定期点検に伴い、連絡配管により美浜3号機放水口から放出した(3/23～6/10)。

※：美浜3号機の定期点検に伴い、連絡配管により美浜1, 2号機放水口から放出した(9/1～10/28)。

5. 8 各発電所の液体廃棄物中の核種存在比

2008年4月～2009年3月

単位：%

核種 施設	期 間	²² Na	⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	その他
大飯発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 1, 2号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高浜発電所 3, 4号機	4 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 月	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	年 間	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-

/は対象外であることを示す。

(液体廃棄物中のストロンチウム-89、90)

2008年4月～2009年3月

区 分 施 設		ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
		平 均 濃 度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)	平 均 濃 度 (Bq/cm ³)	放 出 量 (Bq)
敦賀発電所	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
ふげん	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高速増殖 原型炉 もんじゅ	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
美浜発電所 3号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
大飯発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 1・2号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—
高浜発電所 3・4号機	4～6月	—	—	—	—
	7～9月	—	—	—	—
	10～12月	—	—	—	—
	1～3月	—	—	—	—

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	気体廃棄物廃棄物（希ガス）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	6.3×10^{13}					
70	4.8×10^{15}			3.3×10^{13}		
71	1.6×10^{15}			5.2×10^{13}		
72	1.8×10^{14}			3.3×10^{13}		
73	1.9×10^{14}			3.1×10^{13}		
74	2.1×10^{14}			1.5×10^{13}		3.6×10^{12}
75	4.4×10^{13}			1.1×10^{13}		7.8×10^{12}
76	6.7×10^{13}			4.9×10^{13}		7.6×10^{12}
77	7.4×10^{12}			1.5×10^{13}	1.1×10^{12}	5.6×10^{12}
78	2.0×10^{13}	3.1×10^{10}		5.5×10^{12}	9.5×10^{12}	5.1×10^{12}
79	5.6×10^{11}	8.9×10^{10}		2.1×10^{12}	5.0×10^{12}	5.3×10^{12}
80	1.9×10^{10}	4.1×10^{11}		3.0×10^{13}	1.4×10^{12}	7.7×10^{11}
81	1.4×10^{11}	2.2×10^{10}		3.1×10^{12}	2.7×10^{12}	9.6×10^{11}
82	2.1×10^{11}	9.6×10^{10}		1.1×10^{12}	2.2×10^{12}	2.9×10^{12}
83	4.7×10^{10}	2.4×10^{10}		2.4×10^{12}	1.7×10^{12}	3.7×10^{12}
84	2.5×10^9	—		1.9×10^{12}	1.9×10^{12}	1.4×10^{12}
85	1.6×10^9	—		1.4×10^{12}	1.3×10^{12}	2.0×10^{12}
86	8.9×10^{10}	—		1.5×10^{12}	3.8×10^{12}	6.4×10^{11}
87	2.6×10^9	—		9.1×10^{11}	1.5×10^{12}	4.8×10^{11}
88	5.8×10^9	—		2.8×10^{11}	9.1×10^{11}	1.1×10^{12}
89	8.9×10^9	1.2×10^9		2.5×10^{11}	1.0×10^{12}	3.5×10^{11}
90	1.0×10^{10}	—		2.7×10^{11}	6.8×10^{11}	3.5×10^{11}
91	1.0×10^{10}	2.2×10^{10}		2.8×10^{11}	5.6×10^{11}	1.8×10^{12}
92	2.9×10^9	—		1.1×10^{12}	5.3×10^{11}	4.4×10^{11}
93	2.7×10^9	—		2.0×10^{11}	4.7×10^{11}	6.2×10^{11}
94	3.6×10^9	—	—	1.1×10^{11}	6.0×10^{11}	2.0×10^{11}
95	3.8×10^8	—	—	1.6×10^{11}	5.1×10^{11}	2.1×10^{11}
96	3.8×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.3×10^{11}
97	3.0×10^9	—	—	1.9×10^{11}	4.3×10^{11}	3.7×10^{11}
98	8.4×10^8	—	—	1.7×10^{11}	6.1×10^{11}	4.2×10^{11}
99	—	—	—	2.3×10^{11}	1.2×10^{11}	4.0×10^{11}
00	2.6×10^9	—	—	1.6×10^{10}	5.7×10^{10}	1.6×10^{10}
01	8.8×10^8	—	—	1.4×10^{10}	1.5×10^{10}	1.8×10^{10}
02	9.1×10^8	1.2×10^{10}	—	1.1×10^{10}	2.8×10^{10}	1.2×10^{10}
03	1.6×10^9	—	—	6.1×10^9	1.8×10^{10}	1.1×10^{10}
04	7.4×10^8	—	—	1.9×10^9	4.1×10^{11}	1.6×10^{10}
05	—	—	—	1.2×10^9	6.2×10^9	1.2×10^{10}
06	—	—	—	2.3×10^9	2.9×10^9	1.5×10^{10}
07	—	—	—	4.6×10^9	2.2×10^9	1.8×10^{10}
08	—	—	—	2.8×10^9	1.9×10^{10}	9.3×10^{11}

（注）ふげんの希ガスはアルゴン-41である。美浜、大飯、高浜の各発電所では1979年度までは検出限界以下の場合、検出限界値を加算していたが、1980年度以降0として集計している（液体廃棄物も同じ）。

美浜、大飯、高浜発電所の気体廃棄物にはそれぞれの発電所の固体廃棄物処理建屋からの放出量も含まれている。1990年度の実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（気体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	気体廃棄物のヨウ素-131					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	1.4×10^{10}					
71	4.1×10^{10}					
72	8.9×10^9					
73	7.4×10^9					
74	1.0×10^{10}					—
75	7.4×10^8			5.6×10^7		5.9×10^7
76	6.7×10^8			2.5×10^8		8.4×10^7
77	2.7×10^8			1.2×10^8	2.5×10^6	1.9×10^7
78	2.0×10^8			3.5×10^7	8.1×10^7	1.4×10^7
79	1.3×10^8	—		3.7×10^7	1.3×10^8	1.3×10^7
80	2.7×10^7	—		1.3×10^9	1.4×10^7	8.0×10^6
81	1.0×10^7	—		9.4×10^7	2.6×10^8	1.4×10^6
82	9.1×10^6	—		6.2×10^7	6.3×10^7	3.4×10^6
83	3.9×10^6	—		4.6×10^6	5.6×10^6	9.0×10^7
84	4.0×10^5	—		8.9×10^7	5.0×10^5	1.8×10^6
85	2.0×10^5	—		2.7×10^7	5.9×10^6	2.1×10^7
86	$4.4 \times 10^7*$	$5.6 \times 10^7*$		$6.8 \times 10^7*$	$2.2 \times 10^{8*}$	$1.1 \times 10^{8*}$
87	1.3×10^6	—		3.8×10^6	1.6×10^6	2.7×10^6
88	—	—		1.3×10^6	5.7×10^7	2.0×10^7
89	—	—		2.5×10^6	1.2×10^6	2.2×10^5
90	4.8×10^5	—		3.5×10^8	8.8×10^5	2.9×10^5
91	5.7×10^4	—		6.1×10^6	1.1×10^6	2.2×10^8
92	—	—		1.9×10^7	3.4×10^6	4.3×10^7
93	—	—		1.0×10^7	2.8×10^5	4.4×10^5
94	—	—	—	2.7×10^5	2.2×10^5	3.1×10^5
95	—	—	—	1.6×10^5	—	2.4×10^5
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	1.8×10^6	8.6×10^5	3.8×10^6
98	—	—	—	2.4×10^6	1.2×10^5	9.9×10^6
99	—	—	—	3.2×10^5	1.6×10^5	2.7×10^5
00	3.8×10^5	—	—	—	1.1×10^6	—
01	—	—	—	9.9×10^4	2.7×10^5	1.9×10^5
02	—	—	—	3.8×10^5	—	3.4×10^5
03	—	—	—	2.3×10^5	—	—
04	—	—	—	—	1.9×10^8	—
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	1.2×10^5	1.7×10^6	—

（注）*印の1986年度の気体状ヨウ素-131の放出実績には、チェルノブイル原子力発電所の影響が含まれている。

1990年度の美浜発電所のヨウ素-131の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる補助建屋排気筒からの放出分、および排気筒以外からの放出分を含む。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq/年）

年度	トリチウムを除く液体廃棄物					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69	1.1×10^{11}					
70	6.7×10^{10}			5.9×10^{10}		
71	6.3×10^9			5.6×10^9		
72	7.8×10^9			1.1×10^9		
73	7.4×10^9			1.1×10^9		
74	1.1×10^{10}			9.6×10^8		1.1×10^8
75	1.7×10^{10}			5.6×10^8		1.5×10^8
76	3.4×10^9			2.8×10^8		3.6×10^8
77	2.7×10^9			3.3×10^8	1.8×10^7	8.5×10^7
78	8.9×10^8	3.3×10^7		3.0×10^8	3.7×10^7	7.0×10^7
79	4.8×10^8	5.3×10^7		4.5×10^8	6.3×10^7	6.3×10^7
80	2.6×10^8	3.7×10^7		1.4×10^8	5.9×10^7	4.8×10^7
81	1.4×10^8	2.9×10^8		8.8×10^7	1.9×10^8	1.1×10^7
82	1.8×10^7	3.1×10^7		8.6×10^7	2.9×10^7	7.0×10^6
83	2.9×10^7	4.8×10^7		1.0×10^8	2.2×10^7	8.9×10^6
84	2.5×10^7	1.9×10^7		3.8×10^7	1.9×10^7	6.2×10^6
85	1.9×10^7	1.0×10^8		2.2×10^7	2.1×10^7	8.2×10^6
86	1.2×10^7	4.8×10^7		1.5×10^7	1.6×10^7	1.3×10^7
87	1.1×10^7	1.9×10^7		1.7×10^7	4.4×10^6	2.6×10^6
88	1.1×10^7	4.8×10^7		2.1×10^7	2.1×10^5	—
89	4.2×10^6	5.8×10^7		6.5×10^6	—	—
90	5.6×10^6	1.4×10^7		1.6×10^7	7.4×10^5	—
91	6.6×10^6	4.7×10^6		5.1×10^5	—	—
92	2.5×10^6	1.1×10^7		3.0×10^6	7.8×10^4	—
93	1.5×10^5	1.6×10^6		3.4×10^5	1.4×10^5	—
94	—	—	—	1.0×10^5	—	—
95	9.4×10^4	—	—	4.8×10^5	—	—
96	—	—	—	—	—	—
97	—	—	—	—	—	—
98	—	—	—	—	—	—
99	—	—	—	—	—	—
00	—	—	—	—	—	—
01	—	—	—	—	—	—
02	—	—	—	—	—	—
03	—	—	—	—	—	—
04	—	—	—	—	—	3.1×10^5
05	—	—	—	—	—	—
06	—	—	—	—	—	—
07	—	—	—	—	—	—
08	—	—	—	—	—	—

（注）ふげんの液体廃棄物放出実績については、1984年度年報より重水精製施設からの放出量も含めて記載した。
 1990年度の美浜発電所の「トリチウムを除く液体廃棄物」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。
 2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出による。
 1981年の敦賀発電所の放出実績には、一般排水口からの放射能漏えい量は含まれていない。一般排水路の流出放射能は十数から数十mCi（1mCi=3.7×10⁷Bq）と推定されている。

5. 9 各発電所の年度別放射性廃棄物放出量（液体廃棄物）

（単位：Bq／年）

年度	トリチウム（液体）					
	敦賀 発電所	ふげん	もんじゅ	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所
69						
70	5.2×10^{11}			1.2×10^{12}		
71	2.3×10^{11}			5.2×10^{12}		
72	2.0×10^{11}			8.9×10^{12}		
73	3.0×10^{11}			1.1×10^{13}		
74	7.8×10^{11}			1.0×10^{13}		4.8×10^{12}
75	1.6×10^{12}			2.4×10^{12}		1.3×10^{13}
76	1.9×10^{12}			8.4×10^{12}		1.3×10^{13}
77	8.5×10^{11}			7.8×10^{12}	6.3×10^{11}	1.1×10^{13}
78	1.1×10^{12}	2.6×10^{11}		1.4×10^{13}	4.8×10^{12}	1.7×10^{13}
79	1.2×10^{12}	2.7×10^{11}		1.2×10^{13}	1.5×10^{13}	1.1×10^{13}
80	1.3×10^{12}	7.7×10^{11}		1.3×10^{13}	2.2×10^{13}	1.1×10^{13}
81	1.2×10^{12}	8.5×10^{11}		1.4×10^{13}	1.1×10^{13}	1.4×10^{13}
82	5.0×10^{11}	1.2×10^{12}		9.8×10^{12}	3.1×10^{13}	1.4×10^{13}
83	4.3×10^{11}	1.3×10^{12}		1.0×10^{13}	3.4×10^{13}	1.6×10^{13}
84	4.2×10^{11}	2.6×10^{12}		1.9×10^{13}	3.0×10^{13}	2.1×10^{13}
85	3.5×10^{11}	3.6×10^{12}		1.6×10^{13}	2.9×10^{13}	3.7×10^{13}
86	5.9×10^{12}	2.2×10^{12}		2.2×10^{13}	4.1×10^{13}	4.3×10^{13}
87	2.4×10^{13}	1.9×10^{12}		2.4×10^{13}	3.3×10^{13}	4.9×10^{13}
88	4.5×10^{12}	4.4×10^{12}		2.1×10^{13}	3.0×10^{13}	7.0×10^{13}
89	1.2×10^{13}	7.0×10^{12}		1.3×10^{13}	2.6×10^{13}	4.0×10^{13}
90	2.3×10^{13}	3.3×10^{12}		2.0×10^{13}	1.6×10^{13}	3.5×10^{13}
91	3.1×10^{13}	1.8×10^{12}		1.3×10^{13}	2.0×10^{13}	3.0×10^{13}
92	7.9×10^{12}	3.9×10^{12}		1.2×10^{13}	2.8×10^{13}	5.5×10^{13}
93	1.6×10^{13}	3.5×10^{12}		1.8×10^{13}	4.2×10^{13}	6.9×10^{13}
94	1.3×10^{13}	4.7×10^{12}	—	1.1×10^{13}	6.3×10^{13}	3.3×10^{13}
95	1.9×10^{13}	4.1×10^{12}	3.9×10^9	1.7×10^{13}	6.1×10^{13}	3.7×10^{13}
96	1.4×10^{13}	5.9×10^{12}	9.7×10^7	1.7×10^{13}	5.9×10^{13}	5.7×10^{13}
97	2.1×10^{13}	5.5×10^{12}	1.3×10^9	1.6×10^{13}	4.6×10^{13}	6.4×10^{13}
98	2.0×10^{13}	3.5×10^{12}	4.7×10^8	1.6×10^{13}	5.7×10^{13}	6.2×10^{13}
99	1.1×10^{13}	4.1×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.9×10^{13}	7.1×10^{13}
00	1.4×10^{13}	3.8×10^{12}	2.7×10^8	2.0×10^{13}	6.6×10^{13}	4.1×10^{13}
01	1.0×10^{13}	4.1×10^{12}	6.2×10^5	1.7×10^{13}	1.3×10^{14}	5.3×10^{13}
02	1.4×10^{13}	1.8×10^{12}	9.3×10^6	1.8×10^{13}	6.4×10^{13}	6.3×10^{13}
03	2.2×10^{13}	4.3×10^{11}	4.9×10^8	2.3×10^{13}	9.0×10^{13}	5.9×10^{13}
04	2.6×10^{13}	1.0×10^{12}	1.3×10^8	1.6×10^{13}	9.8×10^{13}	6.3×10^{13}
05	9.2×10^{12}	1.2×10^{12}	4.7×10^8	1.5×10^{13}	6.6×10^{13}	6.9×10^{13}
06	1.5×10^{13}	1.6×10^{12}	2.0×10^8	1.4×10^{13}	7.7×10^{13}	6.8×10^{13}
07	1.3×10^{13}	1.0×10^{12}	2.1×10^7	2.0×10^{13}	8.9×10^{13}	6.0×10^{13}
08	4.9×10^{12}	2.7×10^{12}	2.1×10^8	1.8×10^{13}	7.4×10^{13}	4.0×10^{13}

（注）1990年度の美浜発電所の「トリチウム（液体）」の放出実績には、蒸気発生器伝熱管損傷事故に係わる蒸気発生器ブローダウンからの放出分、および2次系へ流出した1次冷却材を含む2次系統水の処理分を含む。2004年度の高浜発電所については、4号機タービンサンプ水モニタ指示上昇事象時の放出分 1.1×10^7 Bqを含む。

5. 10 緊急時モニタリングルートでの線量率調査

1. 調査方法

(1) 調査期間

平成20年4月～10月

(2) 調査項目

空間 γ 線量率

(3) 測定器等

① 測定器

各機関が有するモニタリングカーに搭載の線量率計による。

機 関 名	検 出 器	検出器位置
県監視センター	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 2.7m)
原 電	3"×3"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 2.3m)
関 電	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 3.5m)
原子力機構	2"×2"NaI(Tl)検出器	屋根 (地上高 2.9m)

② 測定法

停車し、2分～5分間測定。

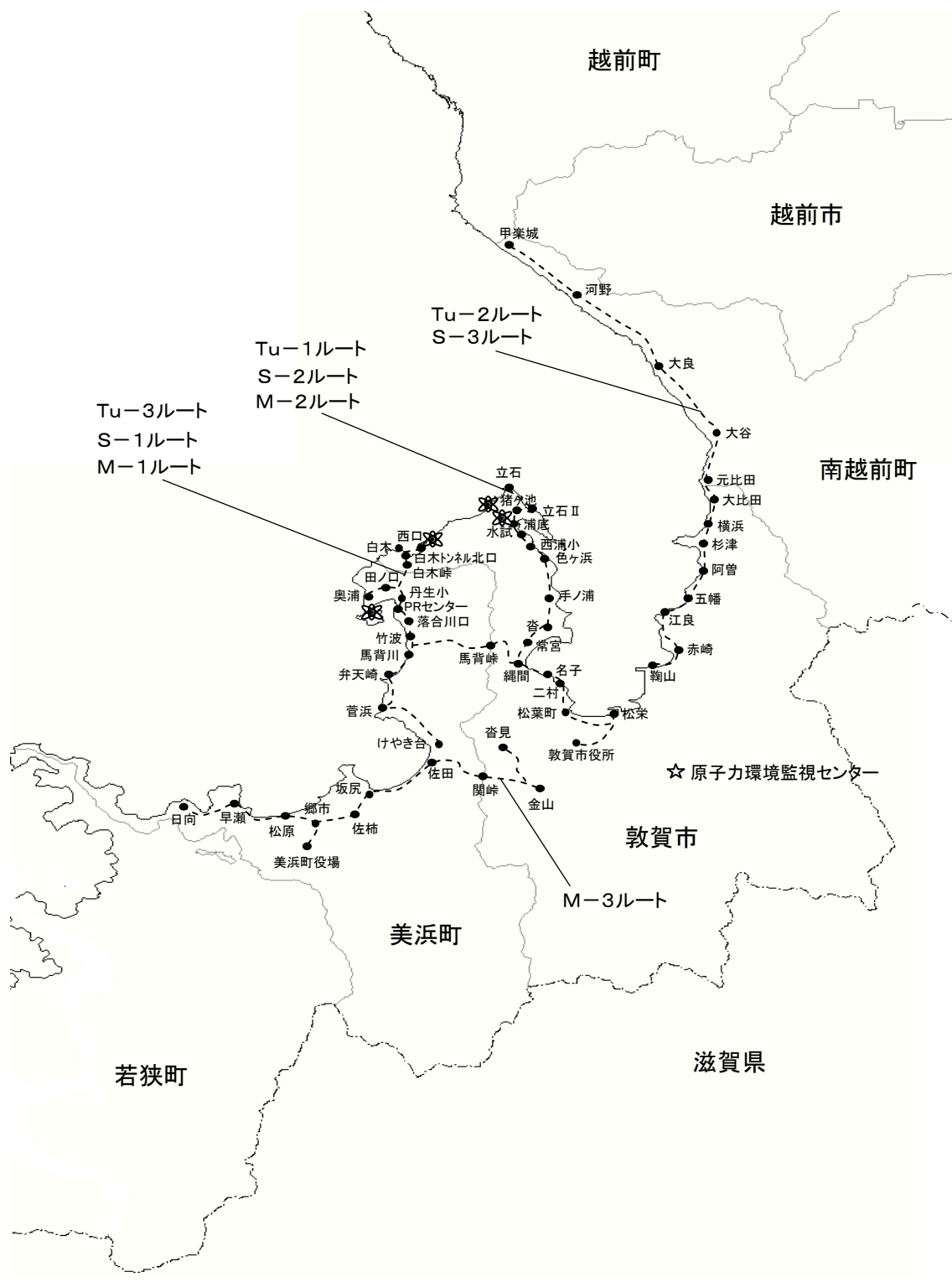
(4) 測定地点

第1図に、各ルートの測定地点を示す。

第1図 緊急時モニタリングルート調査地点

Tu-1ルート	立石	～	縄間	～	松栄	～	敦賀市役所
Tu-2ルート	鞠山	～	五幡	～	大比田	～	甲楽城
Tu-3ルート	白木	～	竹波	～	馬背峠	～	菅浜
S-1ルート	白木	～	白木峠	～	竹波	～	馬背川 ～ けやき台
S-2ルート	立石	～	縄間	～	馬背峠	～	松栄 ～ 敦賀市役所
S-3ルート	鞠山	～	五幡	～	大比田	～	甲楽城
M-1ルート	白木	～	丹生	～	馬背川	～	けやき台
M-2ルート	立石	～	縄間	～	馬背峠	～	松栄 ～ 敦賀市役所
M-3ルート	杳見公会堂	～	佐田	～	郷市	～	日向
O-1ルート	宮留(奥)	～	日角浜	～	犬見崎	～	大飯中学校
O-2ルート	高浜町役場	～	長井	～	荒木	～	小浜市役所
O-3ルート	小浜市役所	～	西津	～	阿納尻	～	泊
Ta-1ルート	音海(奥)	～	灘波江	～	三松駅	～	高浜町役場
Ta-2ルート	灘波江	～	神野浦	～	下	～	上瀬
Ta-3ルート	六路谷	～	高野	～	今寺	～	日置 ～ おおい町役場
Ta-4ルート	園部	～	川上	～	鹿野	～	おおい町役場





2008年度県データの結果入力済み(5月18日)

調査結果その1 敦賀、白木、美浜地区

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	立石	立石	県テレメータ観測局県道	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	62.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	53.2	B
敦賀市	立石	立石Ⅱ	恵比寿神社前	Tu-1	9月10日	晴れ	80.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	68.2	B
敦賀市	浦底	猪ヶ池	原電原子力館上り口	Tu-1	9月10日	晴れ	63.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	53.8	B
敦賀市	浦底	水試	県水産試験場玄関前	Tu-1	9月10日	晴れ	62.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	48.8	B
敦賀市	浦底	浦底	原電・明神寮上り口	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	69.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	57.2	B
敦賀市	色浜	西浦小・中学校	西浦小・中学校正門前	Tu-1	9月10日	晴れ	52.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	51.6	B
敦賀市	色浜	色ヶ浜	旅館みずしま前	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	56.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	47.4	B
敦賀市	手	手ノ浦	あけぼの旅館前	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	63.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	44.4	B
敦賀市	杓	杓	ひがし旅館駐車場入口	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	58.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	57.2	B
敦賀市	常宮	常宮	常宮小学校校門	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	51.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	47.6	B
敦賀市	縄間	縄間	西浦児童館前	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	47.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	33.4	D
敦賀市	名子	名子	ファーストハーバーツルガ南駐車帯	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	68.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	42.3	D
美浜町	馬背峠	馬背峠	峠西側駐車帯	Tu-3 M-2・S-2	9月10日	晴れ	87.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	71.3	D
敦賀市	二村	二村	二村バス停	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	58.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	44.8	D
敦賀市	松葉町	松葉町	市立体育館駐車場	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	52.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	34.9	D
敦賀市	松栄町	松栄	県漁連敦賀支所 製氷冷蔵工場横	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	50.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	37.1	D
敦賀市	中央2丁目	敦賀市役所	敦賀市役所正門玄関横	Tu-1 M-2・S-2	9月10日	晴れ	64.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	40.1	D
敦賀市	鞠山	鞠山	北陸電力鞠山寮前	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	57.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り時々晴れ	48.0	B
敦賀市	赤崎	赤崎	赤崎小学校入口	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	54.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り時々晴れ	47.6	B
敦賀市	江良	江良	おもや旅館駐車場横	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	53.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り時々晴れ	45.6	B
敦賀市	五幡	五幡・挙野	東浦公民館前	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	49.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り時々晴れ	39.6	B
敦賀市	阿曾	阿曾	JA敦賀市北部営農センター	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	48.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り時々晴れ	42.2	B
敦賀市	杉津	杉津	リゾートインすいず前山側駐車帯	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	49.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り時々晴れ	38.0	B
敦賀市	横浜	横浜	ドライブイン越前やべ清駐車場	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	38.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り時々晴れ	34.0	B

調査結果その2 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	大比田	大比田	大比田集落下非常用駐車帯	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	46.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	39.6	B
敦賀市	元比田	元比田	非常用駐車帯	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	47.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	38.0	B
南越前町	大谷	大谷	有料道路料金所 ゲート南駐車帯	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	45.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	38.8	B
南越前町	太良	太良	河野洞門南駐車帯	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	45.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	41.6	B
南越前町	河野	河野	南越前町役場河野総合 事務所駐車場入り口	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	40.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	35.8	B
南越前町	甲楽城	甲楽城	下長谷洞門前駐車場	Tu-2・S-3	9月10日	晴れ	42.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月26日	曇り時々晴れ	37.8	B
敦賀市	白木1丁目	白木	白木区営駐車場	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	69.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	46.5	D
敦賀市	白木1丁目	もんじゅトンネル西口	もんじゅ守衛所横	S-1	9月9日	晴れ	72.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	48.4	D
敦賀市	白木1丁目	白木トンネル北口	トンネル北口交差点	S-1	9月9日	晴れ	70.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	48.9	D
敦賀市	白木1丁目	白木峠	県テレ白木峠観測局前	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	89.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	70.5	D
美浜町	丹生	奥浦	漁協飼料保管解凍施設前	M-1	9月9日	晴れ	63.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	45.5	D
美浜町	丹生	丹生	丹生バス停 (県丹生観測局前)	M-1	9月9日	晴れ	52.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	38.3	D
美浜町	丹生	田ノ口	丹生漁協エコーポート前	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	44.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	26.6	D
美浜町	丹生	丹生小学校	丹生小学校・美浜中学校 丹生分校校門	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	57.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	52.5	D
美浜町	丹生	美浜PRセンター	関電・美浜PRセンター玄関前	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	61.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	43.5	D
美浜町	竹波	落合川口	落合橋右岸たもと	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	63.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	44.7	D
美浜町	竹波	竹波	庄屋旅館駐車場	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	46.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	42.6	D
美浜町	竹波	水晶浜馬背川	関電・水晶浜クラブ門前	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	60.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	43.7	D
美浜町	菅浜	弁天崎	弁天崎駐車帯	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	59.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	41.9	D
美浜町	菅浜	菅浜	農業構造改善センター玄関	Tu-3 M-1・S-1	9月9日	晴れ	47.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	30.0	D
美浜町	佐田	けやき台	関電社宅前バス停	M-1・S-1	9月9日	晴れ	37.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	28.5	D

調査結果その3 敦賀、白木、美浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
敦賀市	杵見	杵見公会堂	杵見公会堂前駐車場	M-3	9月9日	晴れ	55.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	40.8	D
敦賀市	桜ヶ丘町	桜ヶ丘	粟野交番横	M-3	9月9日	晴れ	55.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	45.4	D
敦賀市	関	関	関峠散水融雪設備横	M-3	9月9日	晴れ	52.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	6月11日	曇り	37.2	D
美浜町	佐田	佐田	山東郵便局前	M-3	9月9日	晴れ	48.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	49.0	C
美浜町	坂尻	坂尻	坂尻バス停	M-3	9月9日	晴れ	45.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	45.5	C
美浜町	佐柿	佐柿	山本工業所前(佐柿口バス停前)	M-3	9月9日	晴れ	32.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	33.4	C
美浜町	郷市	郷市	美浜町役場 駐車場	Tu-3 M-3・S-1	9月9日	晴れ	36.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	40.9	C
美浜町	郷市	郷市	関電原子力事業本部前	M-3	9月9日	晴れ	47.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	46.6	C
美浜町	久々子	久々子・松原	美浜町勤労者体育センター	M-3	9月9日	晴れ	38.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	39.4	C
美浜町	早瀬	早瀬	美浜漁業センター玄関前	M-3	9月9日	晴れ	47.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	48.9	C
美浜町	日向	日向(バス停)	集落排水処理場前駐車場	M-3	9月9日	晴れ	45.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	7月18日	曇り	42.5	C

調査結果その4 大飯地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	赤礁崎	オートキャンプ場	オートキャンプ場管理事務所前	O-1	9月12日	晴れ	31.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	曇り	37.9	C
おおい町	宮留	宮留(奥)	塩浜海水浴場入口	O-1	9月12日	晴れ	22.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	22.7	C
おおい町	宮留	宮留	県宮留観測局前	O-1	9月12日	晴れ	27.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	28.7	C
おおい町	脇今安	脇今安	田中旅館前	O-1	9月12日	晴れ	31.3	A
おおい町	脇今安	脇今安	おおい町えこあいらんど	O-1	9月12日	晴れ	25.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	24.3	C
おおい町	畑村	畑村	区標識下栈橋前 (上山旅館前)	O-1	9月12日	晴れ	23.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	曇り	24.8	C
おおい町	日角浜	日角浜	大島漁協漁村センター玄関前	O-1	9月12日	晴れ	37.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	曇り	34.5	C
おおい町	河村	河村	区標識下三叉路	O-1	9月12日	晴れ	24.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	曇り	23.8	C
おおい町	西村	西村	西村集落生活 改善センター前(区標識下)	O-1	9月12日	晴れ	29.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	曇り	25.5	C
おおい町	南浦	南浦・浦底	県道241号線・ 海岸道路三叉路	O-1	9月12日	晴れ	22.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	23.9	C
おおい町	大島	大島トンネル北口	大島トンネル北口駐車場	O-1	9月12日	晴れ	24.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	曇り	24.0	C
おおい町	犬見	犬見崎	青戸大橋北詰犬見入口	O-1	9月12日	晴れ	35.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	30.0	C
おおい町	本郷	おおい町役場	おおい町役場玄関前	O-1・Ta-3 Ta-4	9月11日	晴れ	43.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	33.3	C
おおい町	本郷	本郷小学校	小学校グラウンド南角	O-1	9月12日	晴れ	39.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	39.2	C
おおい町	野尻	大飯中学校	中学校上り口	O-1	9月11日	晴れ	41.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	36.6	C
おおい町	成和	プレーパーク大飯	総合運動公園体育館前	O-2	9月12日	晴れ	29.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	33.5	C
おおい町	尾内	尾内	マツミヤ前	O-2	9月12日	晴れ	34.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	36.8	C

調査結果その5 大飯地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
おおい町	長井	長井	長井区標識(長井西踏切)	O-2	9月11日	晴れ	35.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	36.3	C
小浜市	鯉川	鯉川	鯉川海水浴場入口駐車場	O-2	9月12日	晴れ	35.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	33.3	C
小浜市	岡津	岡津	喫茶「如」横	O-2	9月11日	晴れ	39.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	37.9	C
小浜市	飯盛	飯盛	加斗小学校前バス停	O-2	9月12日	晴れ	33.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	36.4	C
小浜市	飯盛(荒木)	荒木	荒木バス停	O-2	9月12日	晴れ	33.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	36.1	C
小浜市	勢	勢	国道27号・県道235号三叉路	O-2	9月12日	晴れ	30.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	31.1	C
小浜市	青井	青井	リバティールズ浜見台横三叉路	O-2	9月11日	晴れ	34.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	30.2	C
小浜市	大手6	小浜市役所	小浜市役所玄関前	O-2・O-3	9月12日	晴れ	39.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	34.0	C
小浜市	城内	大手橋北詰	小浜簡易裁判所玄関前	O-3	9月12日	晴れ	34.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	38.3	C
小浜市	西津	西津	西津公民館・保育所前	O-3	9月12日	晴れ	30.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	33.3	C
小浜市	福谷	福谷	福谷駐在所前(福谷三叉路)	O-3	9月12日	晴れ	26.9	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	24.9	C
小浜市	甲ヶ崎	甲ヶ崎	内外海郵便局前	O-3	9月12日	晴れ	29.7	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	28.1	C
小浜市	阿納尻	阿納尻	内外海小学校入口	O-3	9月12日	晴れ	28.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	28.5	C
小浜市	若狭	若狭	若狭土地改良事業記念碑前	O-3	9月12日	晴れ	40.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	40.3	C
小浜市	堅海	堅海	堅海バス停	O-3	9月12日	晴れ	29.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	27.3	C
小浜市	泊	泊	集落西端県道終端	O-3	9月12日	晴れ	25.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	9月18日	雨	31.4	C

調査結果その6 高浜地区

単位;nGy/h

市町村名	集落名等	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	音海	音海(奥)	音海集落奥漁協倉庫横	Ta-1	9月11日	晴れ	39.4	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	30.2	C
高浜町	音海	音海漁港	漁協音海支所・音海郵便局前	Ta-1	9月11日	晴れ	29.4	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	34.7	C
高浜町	音海	音海小中プール	県テレメータ観測局前	Ta-1	9月11日	晴れ	32.6	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	31.6	C
高浜町	音海	内浦港	日本海港湾(株)保税上屋前	Ta-1	9月11日	晴れ	34.1	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	26.3	C
高浜町	田の浦	内浦大橋南詰	高浜発電所正門前	Ta-1	9月11日	晴れ	28.9	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	27.8	C
高浜町	小黒飯	小黒飯	白浜トンネル北海側駐車帯	Ta-1	9月11日	晴れ	31.2	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	33.8	C
高浜町	難波江	難波江	難波江三叉路南山側駐車帯	Ta-1 Ta-2	9月11日	晴れ	28.0	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	28.6	C
高浜町	西三松	西三松	三松センター 玄関前	Ta-1	9月11日	晴れ	38.4	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	37.0	C
高浜町	東三松	三松駅口	三松駅口 信号下	Ta-1	9月11日	晴れ	34.1	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	34.0	C
高浜町	中寄	中寄・中津海	中津海山側バス停(中寄信号横	Ta-1	9月11日	晴れ	30.4	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	27.4	C
高浜町	立石	文化会館	高浜中央図書館・文化会館前	Ta-1	9月11日	晴れ	32.5	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	31.2	C
高浜町	宮崎	高浜町役場	高浜町役場前	O-2・Ta-1	9月11日	晴れ	27.0	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	34.4	C
高浜町	神野	神野	内浦電話交換所前駐車帯	Ta-2	9月11日	晴れ	22.2	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	23.4	C
高浜町	神野浦	神野浦	神野浦海岸三叉路	Ta-2	9月11日	晴れ	26.0	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	24.2	C
高浜町	山中・白井	白井	日枝神社交差点	Ta-2	9月11日	晴れ	24.4	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	25.3	C
高浜町	山中	山中	五色山公園入口看板前	Ta-2	9月11日	晴れ	20.1	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	21.1	C
高浜町	鎌倉	鎌倉	鎌倉集落入口交差点 (舞鶴カントリークラブ行交差点)	Ta-2	9月11日	晴れ	32.8	A
"	"	"	"	"	5月28日	曇り	30.3	C

調査結果その7 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	下	下	下集落入口三叉路(区標識)	Ta-2	9月11日	晴れ	26.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	26.7	C
高浜町	宮尾	宮尾	産霊神社参道前	Ta-2	9月11日	晴れ	23.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	24.1	C
高浜町	日引	日引	日引小学校下駐車帯	Ta-2	9月11日	晴れ	30.3	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	32.1	C
高浜町	上瀬	上瀬	山神神社石段前(県道終端)	Ta-2	9月11日	晴れ	26.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	26.5	C
高浜町	六路谷	六路谷	六路谷検問所(バス停)	Ta-3	9月11日	晴れ	21.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	23.5	C
高浜町	蒜畑	蒜畠	蒜畠バス停(喫茶らんぶる横)	Ta-3	9月11日	晴れ	23.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	22.9	C
高浜町	高野	高野	高野川青葉1号橋脇	Ta-3	9月11日	晴れ	19.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	20.1	C
高浜町	今寺	今寺	今寺集落生活改善センター	Ta-3	9月11日	晴れ	26.5	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	27.6	C
高浜町	関屋	関屋	関屋バス停	Ta-3	9月11日	晴れ	22.6	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	23.7	C
高浜町	青	青	若狭森林組合高浜支所前 (青警察駐在所横)	Ta-3	9月11日	晴れ	21.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	27.4	C
高浜町	日置	日置	日置バス停(青梅神社参道)	Ta-3	9月11日	晴れ	25.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	27.3	C
高浜町	岩神	岩神	国交省高浜スノーベース前	Ta-3	9月11日	晴れ	30.4	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	31.3	C
高浜町	和田	和田駅前	JR若狭和田駅前	O-2・Ta-3	9月11日	晴れ	33.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	31.1	C

調査結果その8 高浜地区(つづき)

単位;nGy/h

市町村名	地区名	地点名	詳細地点名	ルート名	月日	天気	線量率	機関
高浜町	園部	園部	高浜原子力防災センター	Ta-4	9月11日	晴れ	35.8	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	28.1	C
高浜町	笠原	笠原	高浜町浄化ランド	Ta-4	9月11日	晴れ	42.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	42.4	C
おおい町	川上	川上	川上公民館 (JA若狭川上出張所)	Ta-4	9月11日	晴れ	50.0	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	39.7	C
おおい町	安川	安川	安川・久保バス停	Ta-4	9月11日	晴れ	26.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	26.2	C
おおい町	鹿野	鹿野	佐分利小学校体育館前	O-1・Ta-4	9月11日	晴れ	36.2	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	30.5	C
おおい町	父子	父子・万願寺	農村広場さぶり川公園 南西角(やまびこ会館)	O-1・Ta-4	9月11日	晴れ	36.1	A
〃	〃	〃	〃	〃	5月28日	曇り	33.1	C

原子力発電所周辺の環境放射能調査報告

平成20年度（2008年度）年報

〔FERC第41巻 5号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council
(FERC)

平成21年9月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局
敦賀市吉河37-1（〒914-0024）
福井県原子力環境監視センター
TEL.（0770）25-6110

発行責任者 寺川 和良